



**718**

**Good to know - 取扱説明書**



「Porsche」、「Porsche Crest」、「718」、「PCCB」、  
「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、  
「Equipment」およびその他の名称は Dr. Ing.  
h.c. F. Porsche AG の登録商標です。  
抜粋、またはいかなる種類の複製は、転載は  
Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の書面による許可がない  
限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

## 車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Vertrieb Customer Relations  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、およびその他の Apple の商標は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。「App Store」は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社のサービスマークです。IOS は、米国またはその他の国における Cisco Technology の登録商標または商標で、Apple は認可を受けて使用しています。GooglePlay および Google Play ロゴは Google LLC の登録商標です。App Store は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社のサービスマークです。

## 車両の装備について

ボルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストまたは記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。車両が販売される国によって、装備品はオプションである場合や、異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

## 警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

### ⚠ 危険

重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

### ⚠ 警告

重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

### ⚠ 注意

ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

### 知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

## i インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。

▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

1. PCM でお守りいただく必要のある指示です。

▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

## エアバッグ警告ラベル

### ⚠ 危険

助手席でのチャイルドシートの使用

チャイルドシートが助手席に取り付けられている場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お様が重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ 「チャイルドシート」(149 ページ)を参照してください。



# マニュアルのレイアウト

## 目次



8000\_253

本書の目次から確認したいトピックを探することができます。

▷ ページ 1 ~

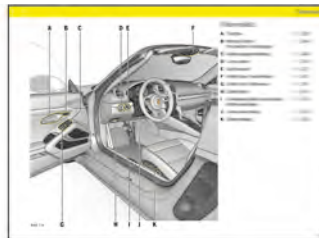
## ドライビングプレジャーと安全性



安全にドライビングプレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。

▷ ページ 3 ~

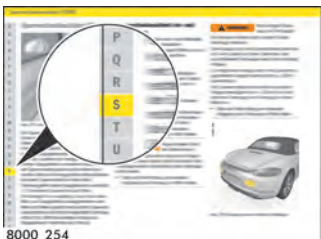
## 概要図



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ ページ 16 ~

## 五十音順トピック

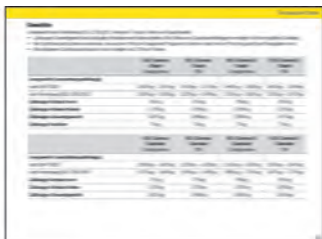


8000\_254

構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。

▷ ページ 26 ~

## テクニカルデータ



車両固有データについて記載されています。

▷ ページ 284 ~

## 索引



探したい情報を簡単に見つけることができます。

▷ ページ 307 ~

## 目次

## ドライビングプレジャーと安全性 .....3

## 概観図

運転席 .....	17
オーバーヘッド コンソール .....	21
コントロール パネル .....	20
ステアリング ホイールおよびインス トルメント パネル .....	18
センター コンソール .....	19
テキストおよび文字を PCM に入力する .....	25
PCM ドライブ .....	23
PCM の各操作部 .....	22
PCM の基本操作 .....	24

## 開閉操作とロック

ウィンドウ .....	41
警報システム .....	72
コンバーチブルトップ .....	93
セントラル ロッキング .....	128
ドライバーのキー .....	173
ラゲッジコンパートメント リッド .....	267

## エアコンおよび人間工学

インストルメントおよびインテリア ライト .....	39
エアコン システム [2ゾーンオートエアコン] .....	43
エアコン システム (マニュアル) .....	49
エアバッグ システム .....	52
サンバイザー .....	98
シート .....	99
シートベルト .....	103
ステアリング ホイール .....	116
チャイルドシート .....	149
パーソナル設定 .....	193
ミラー .....	249

リヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーター .....	273
--------------------------------------	-----

運転 / ドライバー アシスタンス  
システム

アダプティブクルーズコントロール (ACC) .....	27
エンジンの始動および停止 .....	58
オートスタート / ストップ機能 .....	60
クルーズコントロール .....	67
スポーツ エキゾースト システム .....	117
スポーツ クロノ ストップウォッチ .....	118
スポーツ クロノ モード スイッチ .....	122
スポーツ モード .....	125
トランスミッション .....	167
トランスミッションおよびシャーシ コントロール システム .....	172
ドライビング データ の表示 (トリップ情報) .....	176
盗難防止機能 .....	177
パーキング アシスタント .....	191
フロント ウィンドウ ワイパー .....	202
ブレーキ .....	206
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) .....	217
ボルシェ カーコネクト .....	218
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) .....	230
ボルシェ トラック プレシジョン アプリ .....	233
ライト類 .....	258
リヤ スポイラー .....	274
レーンチェンジアシスト (LCA) .....	275
HOLD 機能 .....	283

インストルメント パネルおよびマ  
ルチファンクション ディスプレイ

インストルメント パネル .....	36
警告および情報メッセージ .....	73
マルチファンクション ディスプレイ .....	236
マルチファンクション ディスプレイを 使用した車両の設定 .....	241

エンターテイメントおよびコミ  
ュニケーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメ ントシステム (PCM) .....	221
電話 .....	159
ボイス コントロール .....	211
メディア .....	253
ラジオ .....	270

## ナビゲーションおよび接続

ボルシェ コミュニケーション マネジメ ントシステム (PCM) .....	221
接続 .....	135
デバイス マネージャー .....	157
ナビゲーション .....	178
ボルシェ コネクト アプリ .....	219
Apple CarPlay .....	281

## 荷物および運搬

カップホルダー .....	63
収納 .....	114
スモーカーズ パッケージ .....	126
電気ソケット .....	158
ラゲッジコンパートメント .....	263

## モビリティおよび軽修理

エンジンオイル .....	54
クーラント (冷却水) .....	64
けん引およびけん引によるエンジンの始動 ..	69
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 .....	106
ジャッキおよびリフティング プラック	
トフォーム .....	105
車両のお手入れ .....	108
セレクター レバーの緊急解除 .....	127
洗浄水 .....	138
タイヤとホイール .....	139
テスト スタンドでの測定 .....	156
バッテリー .....	187
パンク .....	195
ヒューズ .....	198
ブレーキフルード .....	209
ヘッドライト .....	210
補給 .....	234
ワイパー ブレード .....	280

## テクニカル データ

テクニカル データ .....	285
無線装置 (EU の地域外) .....	299

索引 .....	307
----------	-----

## ドライビングプレジャーと安全性

ボルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、駆るもののみが知る興奮。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。そのためボルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。この章では、ボルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

## 完璧なテクノロジー、安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもボルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 損傷および正常な作動状態の点検

8000\_215



技術的な不備のある車両は思わぬ車両操縦を示し、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し（少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。

- タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
- ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
- エアロパーツに損傷がない
- ワイパー ブレードに損傷がない
- ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
- ドアミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
- センサーおよびカメラに亀裂や損傷がない
- クーリングエアダクト、センサーおよびカメラが[フィルム、ストーンガード、ナンバープレートホルダー等で]覆われていない

- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1か月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ボルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整

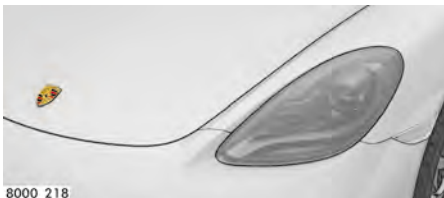


タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ 装着タイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(291ページ)を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(139ページ)を参照してください。

- ▶ マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンク」(195 ページ)を参照してください。

## ライトの点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

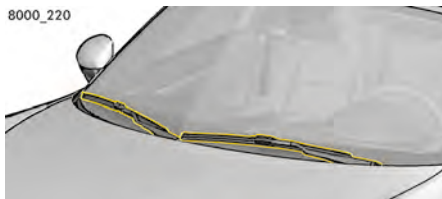
## 空力部品の点検



空力に影響する部品(リヤスポイラーやアンダーパネルなど)が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす危険性があります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

## ウィンドウおよびワイパーブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパーブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパーブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパーブレードは定期的に交換してください。特にフロントウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。

- ▶ 「ワイパーブレード」(280 ページ)を参照してください。

## ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



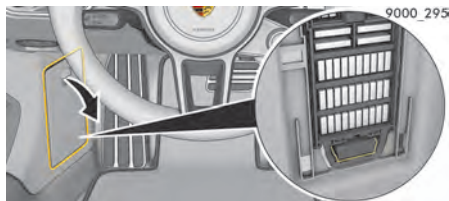
車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。イグニッションをオフにした状態で、外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

## ボルシェのスペア パーツ



- ▶ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ボルシェ純正部品、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車

両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、ボルシェテイクアップメント製品またはボルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。ボルシェテイクアップメントに関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## i インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ボルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

## あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合にのみ乗員保護効果を発揮できます。

## i インフォメーション

たとえ 30km/h 程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員 1 名に対して必ず 1 つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。
- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。
- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。

- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▷ 「シートベルト」(103ページ)を参照してください。

## エアバッグ



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

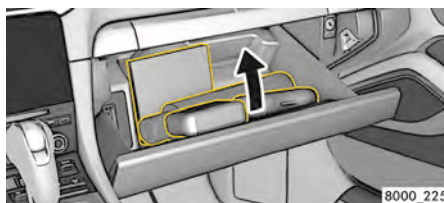
- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せしないでください。

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。

- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品（ステアリングホイール、フロントシート、ヘッドライナーなど）を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- ▷ 「エアバッグシステム」(52ページ)を参照してください。

## 車内の荷物をすべて固定する



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出すことがあります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

## **i** インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。例えば、1.5 リットルの水が入っているペットボトルは 75kg の力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。

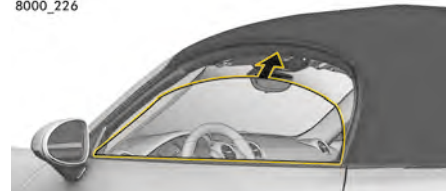
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

正しくボルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▷ 「荷物の積載」(263ページ)を参照してください。

## 狭み込みの防止

8000\_226



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたり怪我をしたりする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのリッド

▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

## お子様の動きの監視

9000\_265

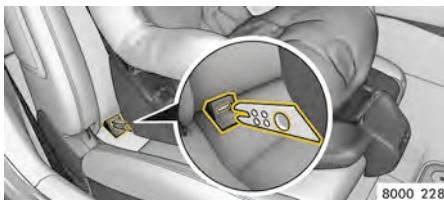


多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞ったりすることができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合など、緊急時に車外に脱出することができません。これは、特に小さなお子様にとって命に関わります。

- ▶ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- ▶ タイヤシーラントやエンジンオイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

## チャイルドシートの安全な使用



チャイルドシートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ポルシェ社で承認されたチャイルドシートのみを使用してください。

- ▶ チャイルドシートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▶ 「チャイルドシート」(149ページ)を参照してください。

## 安全で優れたドライビング：いつでも適切な判断力を発揮

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

## 注意力低下の防止

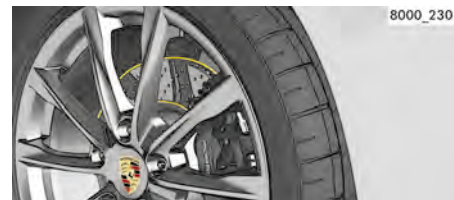


運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリングホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリングホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラーやシート、ステアリングホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイール、インフォテイメントシステムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、適切な場所に停車してください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

## 雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があります。ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

## 適切なタイヤと適切な運転スタイル



▷ 「タイヤおよびホイール」(139 ページ)を参照してください。

### 走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

### 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

### ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
  - ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
  - ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
- ▷ 「制限速度の設定」(239 ページ)を参照してください。

### サマータイヤでの走行

外気温が 15°C 以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温度が7°Cを下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

### スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ(パフォーマンスタイヤ)がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。有効性についての詳細情報：

ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット(安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント)での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えて

います。スポーツタイヤは、温度が約-7°Cを下回ると硬化します。これにより、タイヤに亀裂や腐食が生じる恐れがあります。

- ▶ 外気温度が約-7°Cを下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります。

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロブレーニング現象が発生しやすい状況(冠水路、水たまり、轍など)に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロブレーニング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

## アシスタンス システムとその限界



ボルシェ車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

アシスタンスシステムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	231
HOLD 機能	283
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	217
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	230
ボルシェ トルク ベクトリング (PTV)	172
PADM	172

	ページ
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	139
レーンチェンジアシスト (LCA)	275
オートマチックヘッドライト、ダイナミックハイビーム	258
パーキングアシスタント、リバースカメラ	191
クルーズコントロール	67
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	27
ナビゲーションシステム	178

## 緊急ブレーキ機能



例えば、フットブレーキが故障した場合はエレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時のみ使用してください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、(P)スイッチを押し続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
- ▶ 「ブレーキ」(206 ページ)を参照してください。

## 荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

## ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。
- ▶ 「トランスミッション」(167 ページ)を参照してください?

- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。そのため、社会的責任を自覚し、特に夜間は近隣住民のプライバシーを尊重してください。

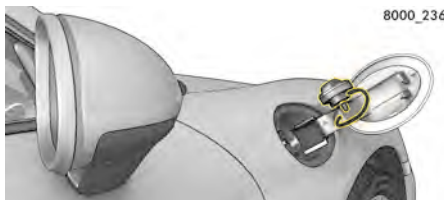
## 警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▶ 「警告灯およびインジケーター ライト」(37 ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

## 給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
  - ▶ 「補給」(234 ページ)を参照してください。
- 車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。
- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

## 有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジン オイルは発火することがあります。エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

## 有毒な排気ガス



8000\_238

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

## 安全な駐車



8000\_239

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。

▶ PDK 装備車：セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。インストルメントパネルでセレクターレバー位置 **P** が点滅している場合、パーキングロックが正しく作動していません。この場合は、セレクターレバーを **R** の位置に動かしてから **P** の位置に入れ直してください。

▶ マニュアルトランスミッション装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。

▶ 可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温のエキゾーストシステムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。

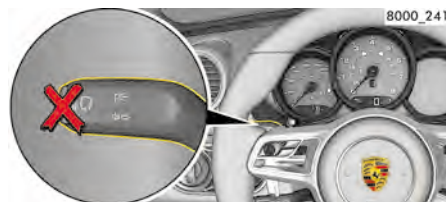
▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。

▶ お子様かテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

## 万一のときには：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

## 消火器を取り外す



車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの **PRESS** ボタンをもう片方の手で押してください。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点を守ってください。

▶ 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。

▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。

▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。

▶ 消火器は、正しく動作することを確認するために、専門の修理工場ですべて2年ごとに点検を行ってください。

▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

## 車両への作業に関する注意事項



エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。

▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

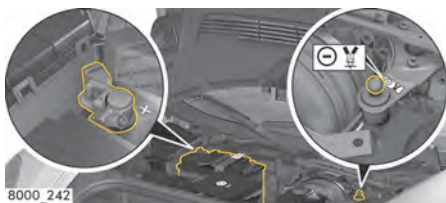
▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバーのキャップを開かないでください。水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

▶ 「クーラント [冷却水]」(64 ページ) を参照してください。

車両への作業を行う場合、その種類によっては負傷を防ぐために保護手袋を装着する必要があります。

▶ 資格を有する専門の修理工場ですべての作業を常に行ってください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ジャンパーケーブルによるエンジンの始動



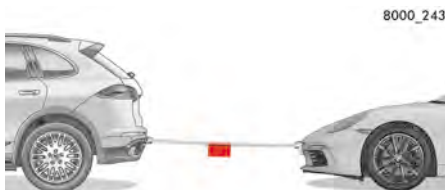
不適切なジャンパーケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。ジャンパーケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジンコンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーターファンなどの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

- ▶ 「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」(106 ページ)を参照してください。

## けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワーアシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワーアシスト機能またはブレーキブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引されるときは十分に注意してください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(69 ページ)を参照してください。

## パンク

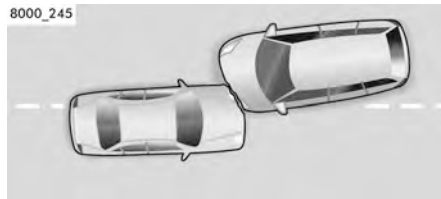
8000\_244



- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 「パンク」(195 ページ)を参照してください。

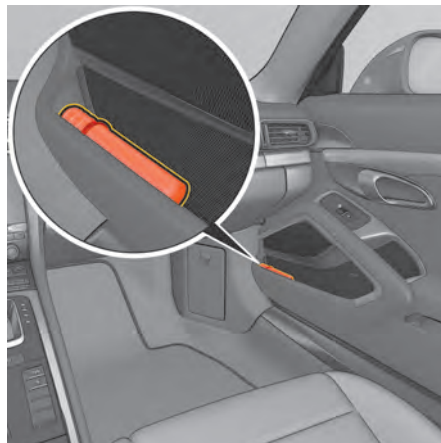
## 衝突後

8000\_245



事故の後には、シートベルトプリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。





## 発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

### 警告

火傷や火災につながる恐れがあります。

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けてたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様さわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります。

### 注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります。

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ランプを使用してください。

## 発炎筒の使い方

1. キャップを外します。本体をひねりながら、ケースから取り出します。
2. 本体を逆に付けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

### 知識

- ▶ 筒には有効期限があります。表示の有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 発進前：車両に関する重要な情報

### 車両の慣らし運転

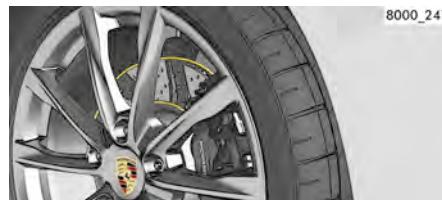


新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ 自動車レース、スポーツドライビングスクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

### 新しいブレーキパッドの慣らし運転



新品のブレーキパッドおよびブレーキディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要で

す。新しい部品を装着してから最初の数百 km は、ブレーキ性能を完全には発揮できません。ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。

ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

### 地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して走行してください。
  - 立体駐車場などの急な坂道
  - 縁石がある場合
  - 凹凸のある路面を走行する場合
  - 段差がある場合
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側を水に浸さないようにしてください。

## サーキット走行



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてご確認ください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

サーキット走行終了後は「クーリングラップ」走行を実施し、大きな熱負荷が加わったシャーシコンポーネントの温度を下げる必要があります。車両をすぐに停車すると、熱を効果的に冷却できないことにより構成部品の温度を更に上昇させる結果に繋がります。これは、個々のコンポーネントに修復不可能な損傷を与える可能性があります。

## ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。

▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

## タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。

▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

## エンジンオイル

▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。

▶ 「エンジンオイル」(54ページ)を参照してください。

## 海外での走行の前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。

その結果、スペアパーツが入手できない可能性があります。

またはポルシェパートナーがすべての修理作業を実施できない場合があります。

国外で走行する前に以下の点を確認してください。

– 車両故障時に修理を受けることができますか？

– 車両は技術的調整を必要としていますか？

– 燃料のオクタン価レートは十分ですか？

– ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか？

▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(245ページ)を参照してください。

## 車両のデータ処理



この車両はECU装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能(ドライバーアシスタンスシステム)を提供します。またこの車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

## 車両のテクニカルデータの保存

ECUは、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般に、この技術的な情報には以下のような構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

– システム構成部品の作動状態(充填レベルなど)

– 車両または各構成部品に関するステータスメッセージ(例：ホイール回転数、速度、減速度、横加速度)

– 重要なシステム構成部品の故障(例：ライト、ブレーキ)

– 損傷する可能性のあるイベントに関する情報車両

－ 特別な走行状況での車両の反応（例：エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムについて）

－ 環境要因（例：温度）

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部のみが故障メモリーに保存されます。またこの車両は、コンフォートまたはエンターテインメント機能装備車であり、これらも電子コントロールユニットによって制御されます。

#### テクニカルデータの読み出し

車両の整備時、サービスネットワーク作業者（例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー）は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。整備には修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。

データは車両のOBD（「オンボード診断」）用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービスネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障およびイベントメモリーは修理またはメンテナンス中にサービスセンターによるリセットが可能です。

#### 車両の機能の利用

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えてマルチメディアおよびアドレスブックデータ、またはナビゲーション目的地等の情報をご自身で追加できます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続した機器に保存されます（スマートフォン、USBスティックまたはMP3プレーヤーなど）。

車両にデータを保存している場合はいつでも消去可能です。このデータは特にオンラインサービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を制御可能です。スマートフォンからの画像および音はマルチメディアシステムにより出力可能です。特定の情報をスマートフォンに送信することもできます。これは一般的な車両情報または位置データを含みます。装備品のタイプにより異なります。これにより、ナビゲーションシステムの使用または音楽の再生など選択したスマートフォンのアプリを最適に使用できます。スマートフォンを使用して車両データに自動アクセスすることはできません。データ処理のタイプはご使用のサプライヤーにより異なります。設定可能であるかどうか、またどの設定が設定可能かは、ご使用のスマートフォンのアプリおよびオペレーティングシステムにより異なります。

#### オンラインサービスの使用

車両にワイヤレスネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器（スマートフォンなど）によりワイヤレスネットワークに接続可能です。このワイヤレスネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ボルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ボルシェ オンラインサービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所（例：ボルシェコネクトウェブサイト）に提供されてお

り、関連するプライバシー通知も提供されています。オンラインサービスの提供のために個人データが使用されることがあります。このデータは、ボルシェの専用ITシステムなど、安全性が確保された接続方法により送受信されます。サービスの規定以外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。通常、[料金ベース]サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。これは特に、法的要件機能およびサービスには適用されません。

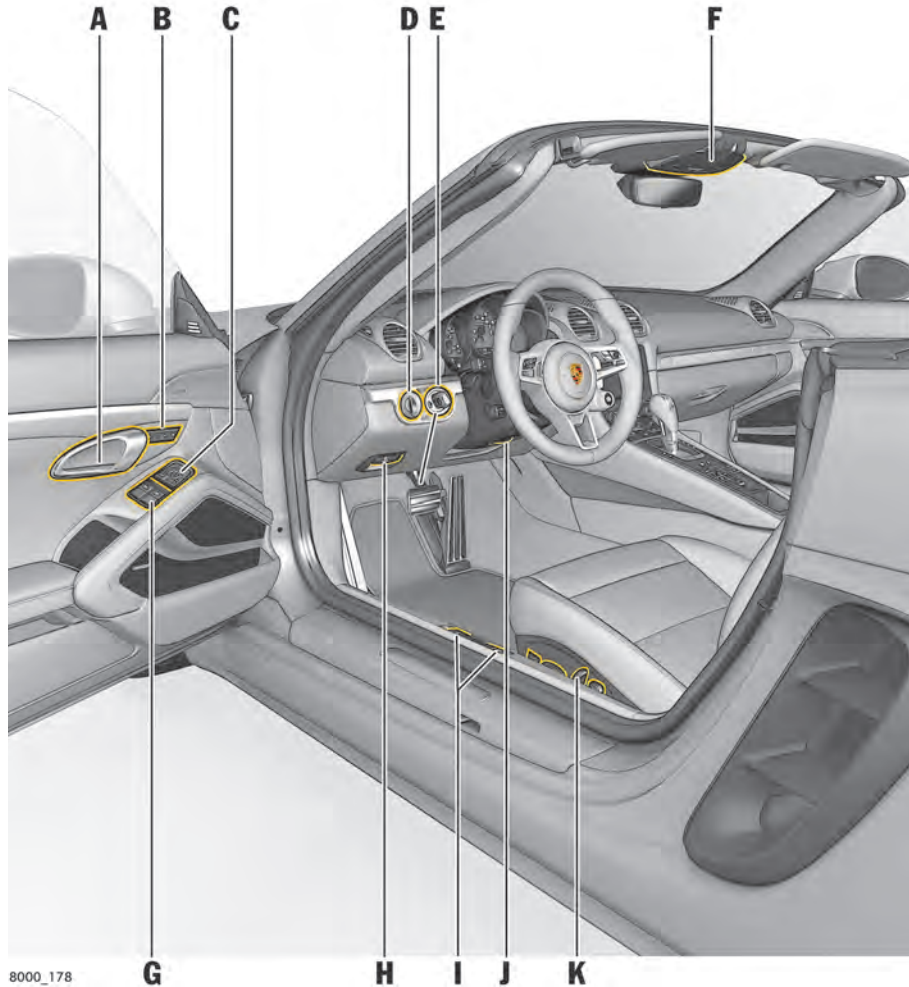
他のプロバイダーからオンラインサービスを使用する可能性がある場合は、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ボルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。第三者が提供するサービスにおける個人情報の取り扱いや、収集する個人情報の種類、範囲、またその目的については、各サービスプロバイダーに直接お問い合わせください。

## 概要図

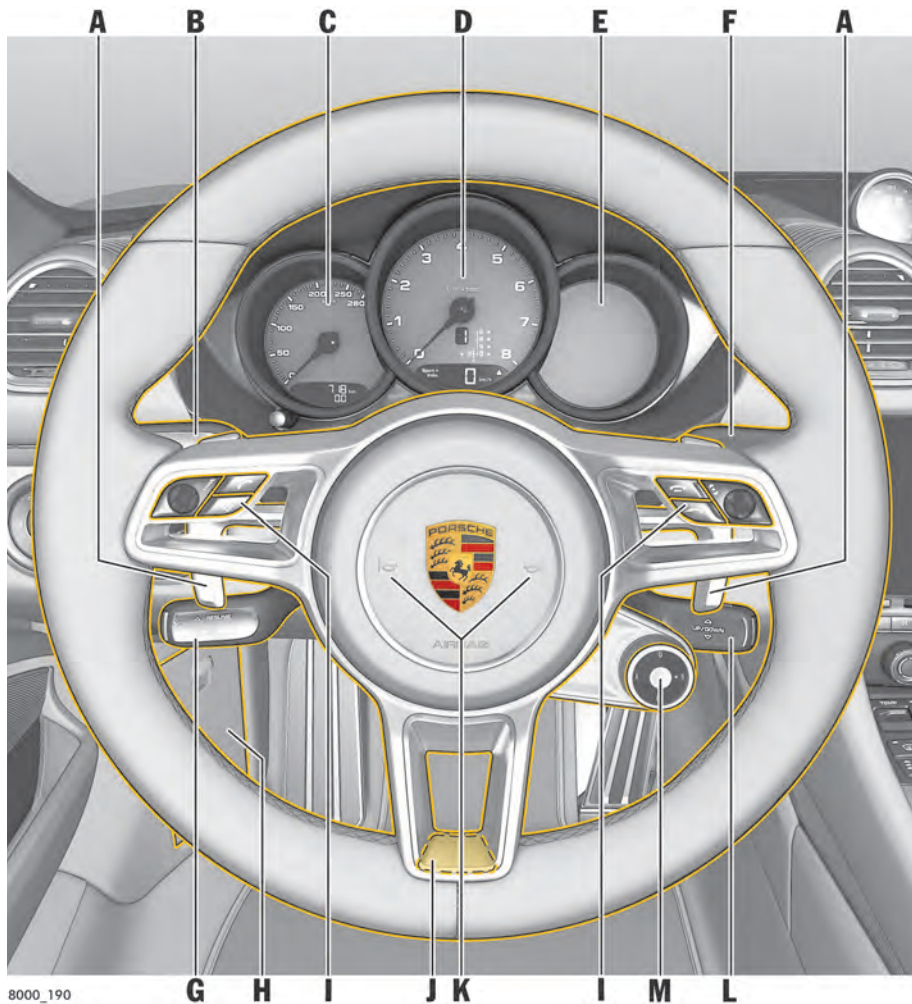
以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

## 運転席

- A ドアオープナー ▷ P132
- B メモリー ボタン  
パーソナル設定 ▷ P194
- C ドアミラーの調節 ▷ P249
- D ライトスイッチ ▷ P258
- E イグニッション ロック ▷ P58
- F オーバーヘッドコンソール ▷ P21
- G パワーウィンドウ ▷ P41
- H エレクトリック パーキング ブレーキ ▷ P206
- I フロント/リヤラゲッジコンパートメントリッドのリリース ▷ P263
- J ステアリングホイール調節 ▷ P116
- K シート調節 ▷ P99



8000\_178



## ステアリングホイールおよびインストルメントパネル

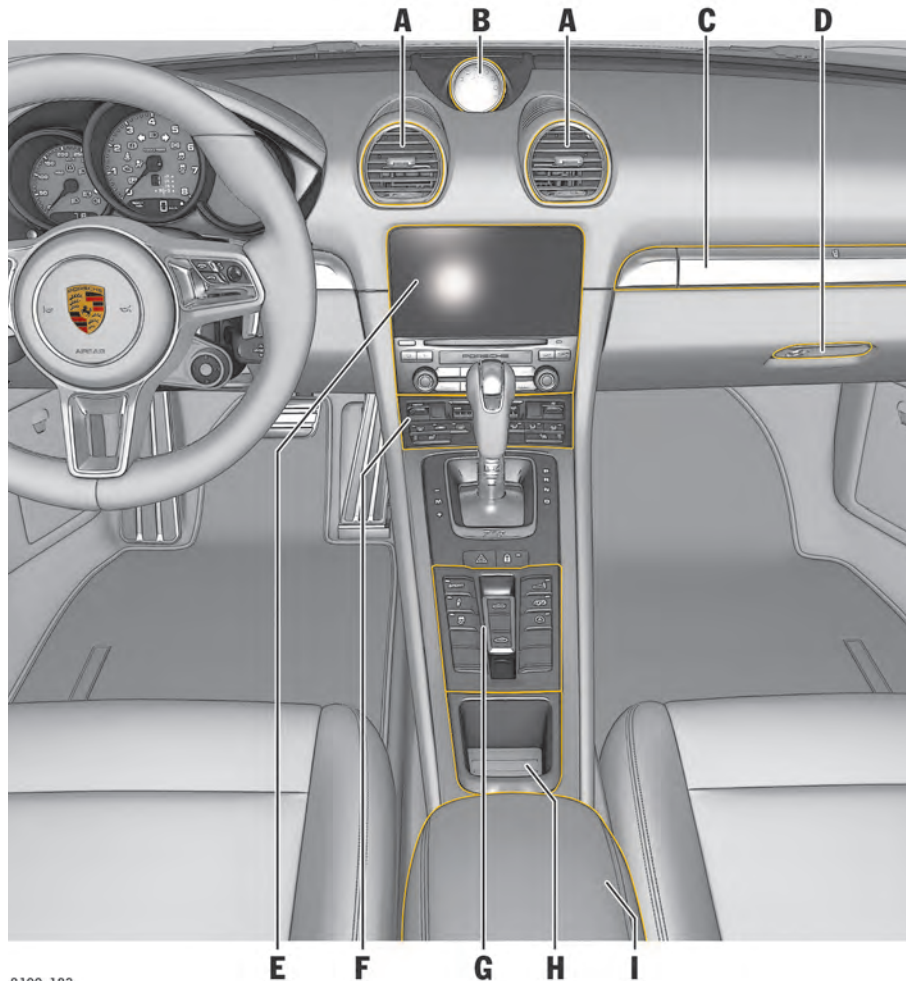
- A** PDK シフト パドル ▶ P167
- B** 方向指示灯およびハイビーム ▶ P258
- C** スピードメーター ▶ P36  
警告灯およびインジケーターライト ▶ P37
- D** タコメーター(回転計) ▶ P36  
警告灯およびインジケーターライト ▶ P37
- E** マルチファンクションディスプレイ ▶ P36  
警告および情報メッセージ ▶ P73
- F** フロントウィンドウワイパー ▶ P202
- G** クルーズコントロール ▶ P67  
ACC ▶ P27
- H** 故障診断用ソケット ▶ P5
- I** 電話、ラジオ、マルチファンクションディスプレイのマルチファンクションボタン ▶ P236
- J** ステアリングホイールヒーター ▶ P116
- K** ホーン
- L** マルチファンクションディスプレイのレバー[マルチファンクションステアリングホイール非装備車] ▶ P236
- M** モードスイッチ ▶ P122

8000\_190

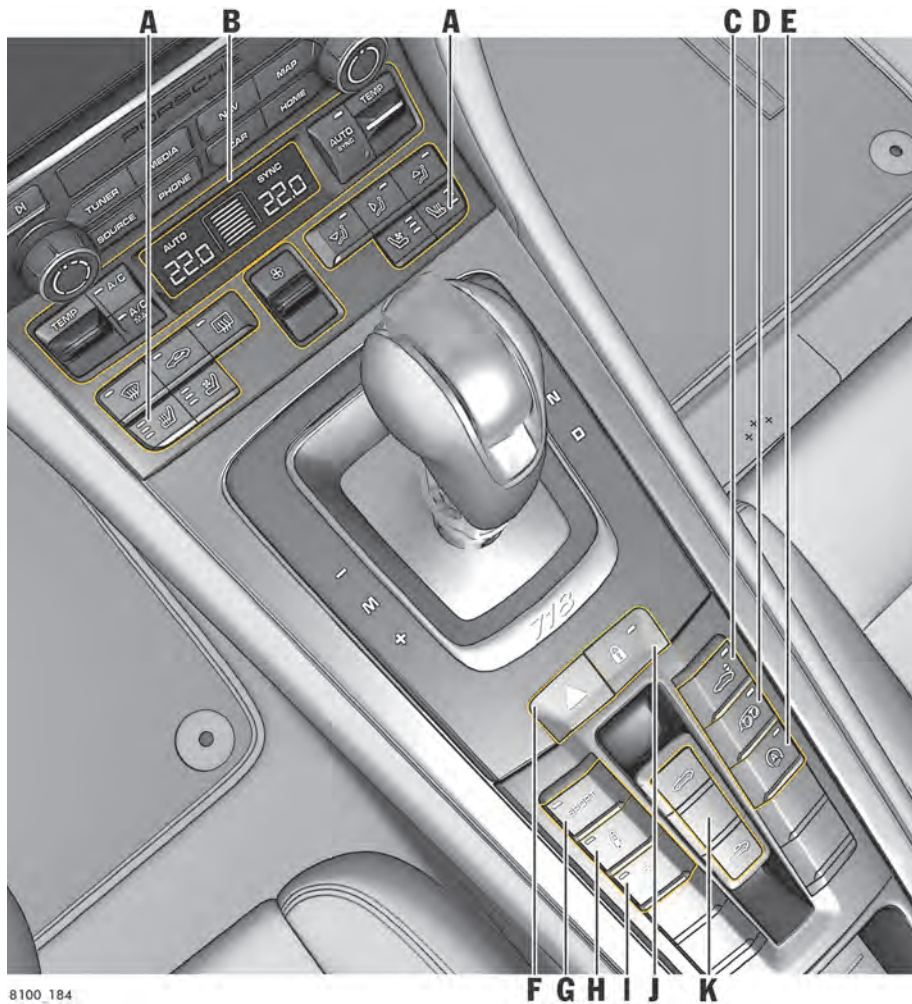
**G H I J K I M L**

## センターコンソール

- |          |                                   |   |      |
|----------|-----------------------------------|---|------|
| <b>A</b> | エアベント                             | ▷ | P46  |
| <b>B</b> | スポーツクロノ ストップ<br>ウォッチ              | ▷ | P118 |
| <b>C</b> | カップホルダー                           | ▷ | P63  |
| <b>D</b> | グローブボックス                          | ▷ | P114 |
| <b>E</b> | ポルシェコミュニケーションマ<br>ネジメントシステム (PCM) | ▷ | P22  |
| <b>F</b> | エアコンコントロール パネル                    | ▷ | P19  |
| <b>G</b> | コントロール パネル                        | ▷ | P20  |
| <b>H</b> | 灰皿、シガーライター                        | ▷ | P126 |
| <b>I</b> | 小物入れ                              | ▷ | P114 |



8100\_183



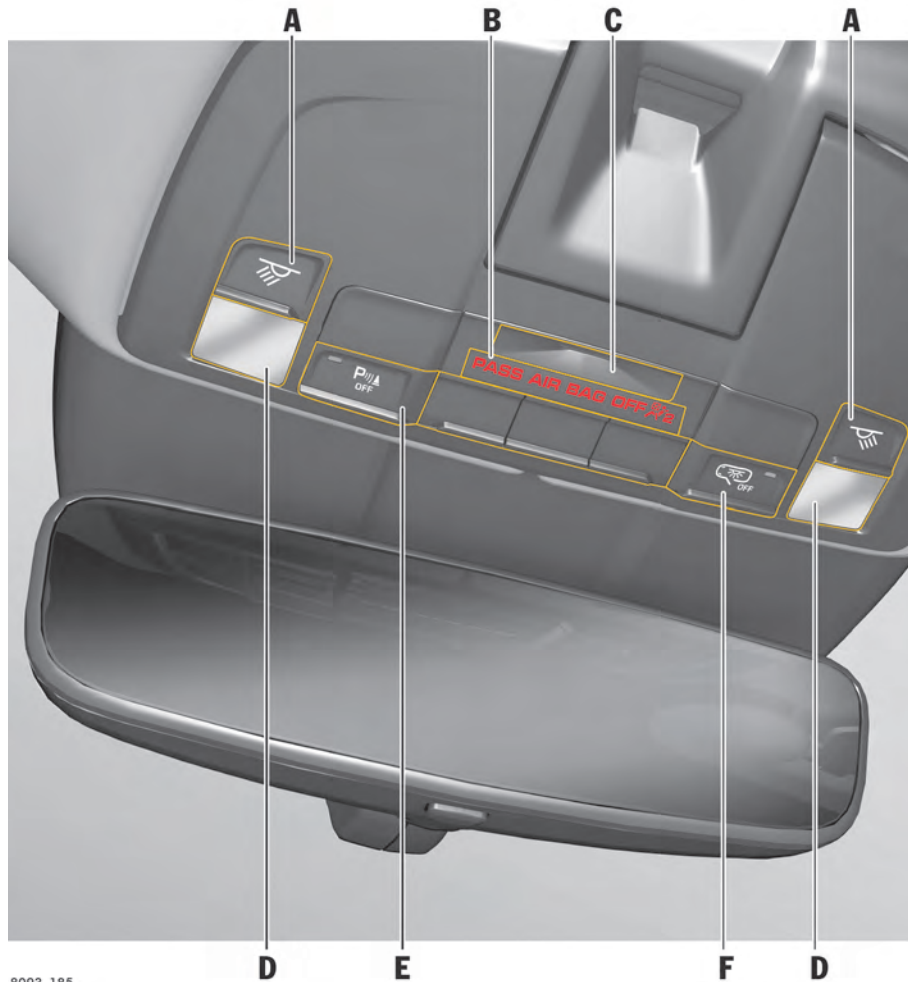
## コントロールパネル

- A** シートヒーター/シートベンチレーター ▶ P101
- B** エアコンコントロールパネル ▶ P43
- C** リヤスポイラー ▶ P274
- D** スポーツエキゾーストシステム ▶ P117
- E** オートスタート/ストップ ▶ P60
- F** ハザードライト ▶ P262
- G** スポーツモード ▶ P125  
( 装備により異なる )
- H** ボルシェアクティブサスペンションマネジメント (PASM) ▶ P217
- I** ボルシェスタビリティマネジメント (PSM) ▶ P230
- J** セントラルロック ▶ P128
- K** コンバーチブルトップ用コントロールパネル ▶ P93



## オーバーヘッドコンソール

- A インテリアライト / 読書灯用ボタン ▷ P39
- B 助手席エアバッグ OFF 警告灯 ▷ P155
- C インテリアライト ▷ P39
- D 読書灯 ▷ P39
- E パークアシスト ▷ P191
- F 自動インテリアライト ▷ P39



8093\_185

P170\_60



## PCM の各操作部

- A** 音量設定、PCM の ON/OFF の切り替え ▷ P228
- B** ラジオ ▷ P270
- C** メディアおよびラジオ音源 ▷ P254
- D** ミュージックおよびビデオ ▷ P254
- E** 電話、メッセージおよび Eメール ▷ P159
- F** ナビゲーション ▷ P178
- G** 車両およびシステムの設定 ▷ P228
- H** 地図および交通情報通知 ▷ P182
- I** メインメニュー、サウンド設定 ▷ P223
- ポルシェコネク ト サービス ▷ P136
- Apple CarPlay ▷ P281
- 個人画面 ▷ P223
- J** ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作) ▷ P223
- K** バック ボタン： 前の操作を取り消す、選択を中止する、または一つ前のメニューに戻る ▷ P223
- L** メインメニュー、サウンド設定に応じた設定 ▷ P222
- M** 時刻の設定 ▷ P223
- N** タッチスクリーン (PCM の操作) ▷ P223
- O** デバイスマネージャー (電話を接続する、ワイヤレスインターネットアクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay の接続状態を表示する) ▷ P157
- P** スキップ ボタン (曲 / 放送局の設定) ▷ P223

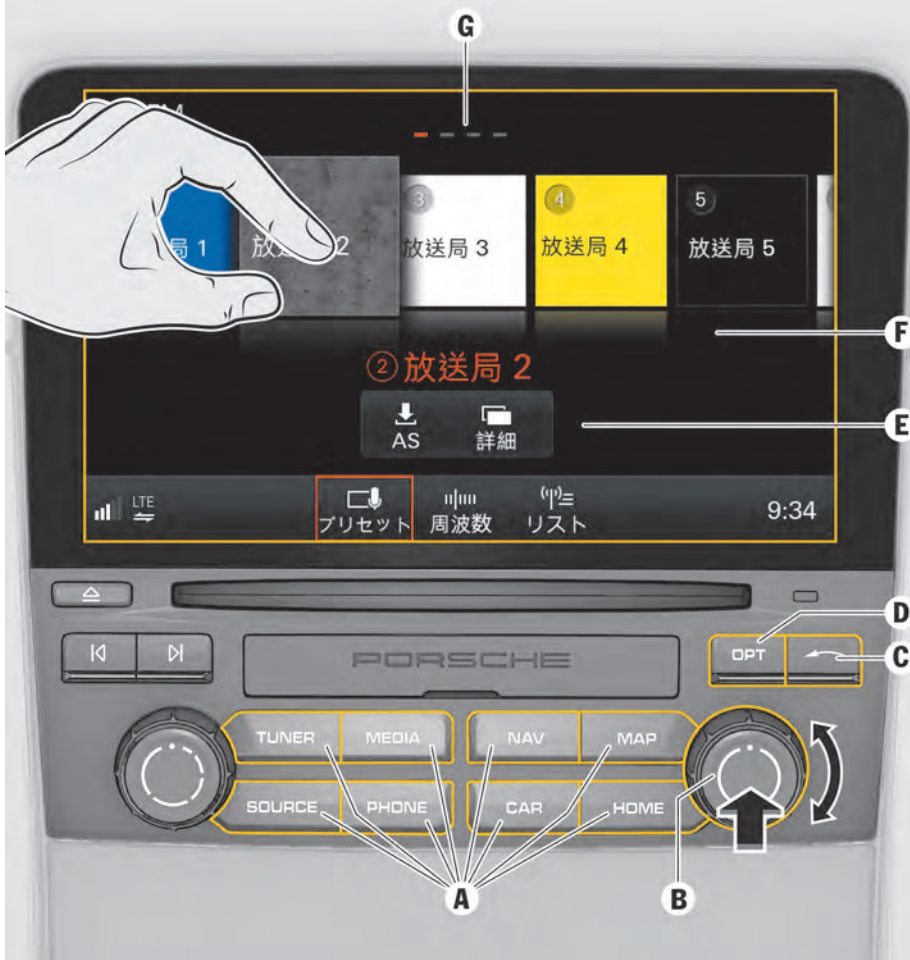
## PCM ドライブ

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| <b>A</b> CD/DVD ドライブ      | ▷ P226 |
| <b>B</b> SD カードリーダー 1     | ▷ P226 |
| <b>C</b> SIM カードリーダー      | ▷ P227 |
| <b>D</b> SD カードリーダー 2     | ▷ P227 |
| <b>E</b> CD/DVD イジェクト ボタン | ▷ P226 |

P170\_61



P170\_62



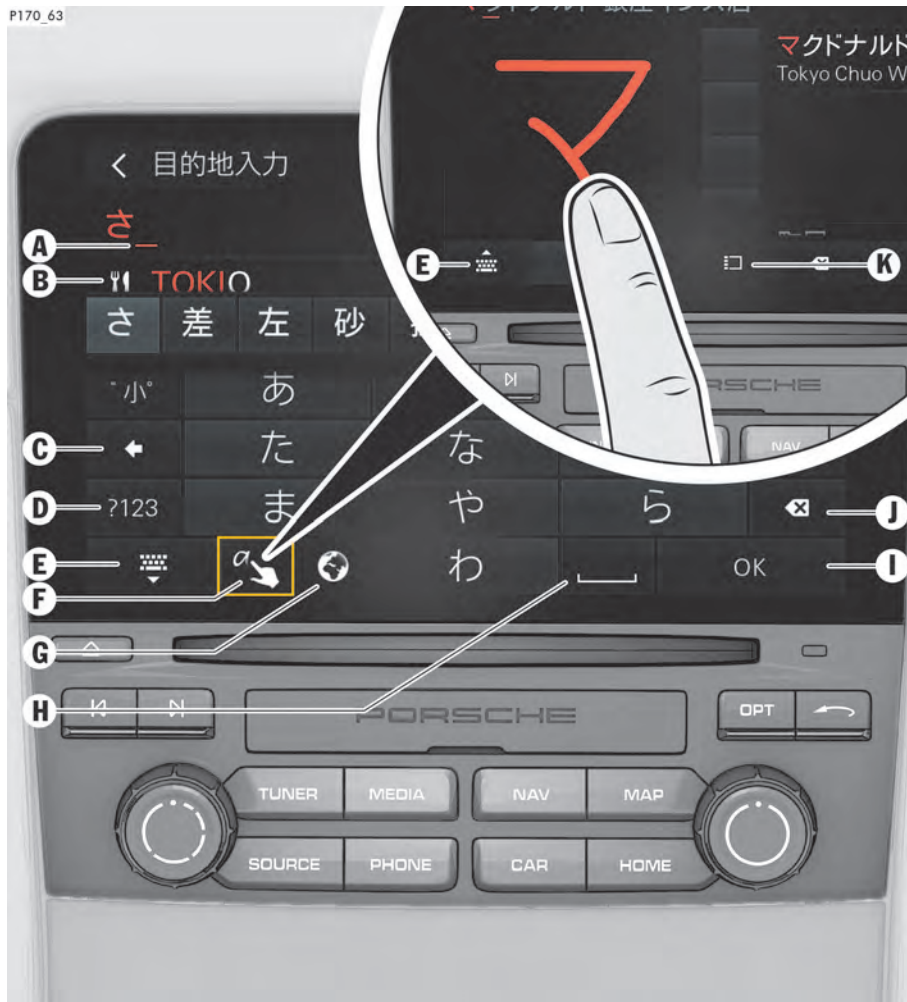
## PCMの基本操作

- A** メインメニューを開く
- ▶ ボタンを押す  
(例: **TUNER**)  
-または-  
メインメニューの機能  
**HOME** を選択してください。
- B** PCMの操作用ロータリーブッシュボタン
- ▶ ロータリーブッシュボタン **B**を回して機能を選択してください。
  - ▶ ロータリーブッシュボタン **B**を押して選択内容を確定してください。
- C** バックボタン: 前の操作を取り消す、選択を中止する、または一つ前のメニューに戻る
- D** メインメニュー、サウンド設定に応じた設定
- E** コントローラーの機能を開く
- ▶ P223 (近接センサーがアクティブの場合は、手をPCMの近くに動かすだけです)
- F** PCMの操作用タッチスクリーン
- ▶ P223
  - ▶ タップ (指で軽く触れる)
  - ▶ 長押し (指を押し付けてそのままにする)
  - ▶ スクロール (上下にスワイプする)
  - ▶ スワイプ (左右にスワイプする)
  - ▶ ドラッグ&ドロップ (項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す)
  - ▶ ズーム (2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- G** 他のページを表示: 左右にスワイプして他のページを開く

## テキストおよび文字を PCM に入力する

- A 現在のカーソル位置 ▷ P223
- B 候補のリスト ▷ P223
- C 大文字と小文字を切り替える ▷ P223
- D 文字、数字および特殊文字の入力切り替え ▷ P223
- E キーボードを表示 / 非表示 ▷ P223
- F 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する） ▷ P223
- G キーボードの調整 ▷ P223
- H スペースの挿入（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする） ▷ P224
- I 入力を決定する ▷ P223
- J 項目を削除する（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする） ▷ P223
- K 英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き認証：代替文字の表示 / 非表示の切り替え ▷ P223

P170\_63



## トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC)

✓ PDK 装備車。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルを踏まなくても、選択した速度を約 30 ~ 210 km/h に維持します。

アダプティブクルーズコントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

### ▲ 警告

集中力の低下

アダプティブクルーズコントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブクルーズコントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ アダプティブクルーズコントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフットブレーキをかけて車両を減速させてください。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

### ▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車と安全な距離を保って一定の車速で走行できない場合は、アダプティブクルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合〔冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面〕などでアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

### ▲ 警告

アダプティブクルーズコントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブクルーズコントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

## レーダー センサー

アダプティブクルーズコントロールは、フロントバンパー中央〔矢印〕のレーダーセンサーを使用します。

8000\_137



図 1: レーダー センサーの取り付け位置

### i インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダーセンサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて:

- ▷ 「車両のお手入れ」(108 ページ) を参照してください。

### ▲ 警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダーセンサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下ではアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 例外

レーダーセンサーの汚れが激しい場合や氷などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などに、アダプティブクルーズコントロールが自動的に解除されることがあります。

マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の基本的な作動

### 前方に車両がないとき - 一般道路での運転

アダプティブクルーズコントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

### 前走車を検出したとき - フォローモード

アダプティブクルーズコントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブクルーズコントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)を再開することができます。

## 追い越し加速

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が解除されます。

マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセルペダルを放すと、ACCは、前走車がない場合は希望の速度まで加速し、前走車がいる場合は車間距離を制御します。

ACCの作動状態に関するインフォメーション:

▷ 「アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON時の作動モード」(29ページ)を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の操作

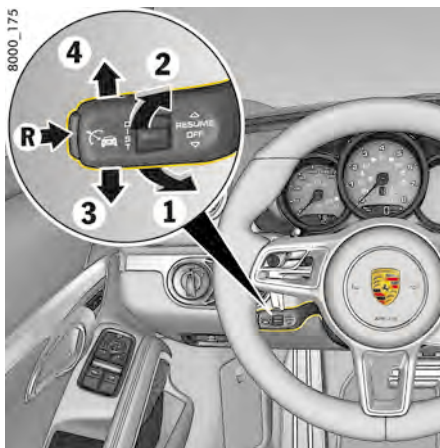


図2: アダプティブクルーズコントロール (ACC) レバー

R ACC のON/OFF 切り替え

1 設定 / 希望する速度を上げる

2 設定速度を下げる

3 中断 (OFF)

4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

## i インフォメーション

ブレーキペダルまたはアクセルペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。



## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の表示

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクションディスプレイのACCメインメニューに表示されます。

8070\_20






図 3: マルチファンクションディスプレイのACC

- A 前走車との設定車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 速度制御範囲のバー表示 (0 - 210 km/h)
- G 実際の速度

アダプティブクルーズコントロールをONにすると、マルチファンクションディスプレイ左下にステータスディスプレイ **B** が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ **B** が橙色に変わります。

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

-  アダプティブクルーズコントロールをONにすると、クルーズコントロールのシンボルマークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。
-  設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズコントロールのシンボルマークと設定速度が表示されます。
-  設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボルマークと設定速度が表示されます。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON/OFF

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にする

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。  
マルチファンクションディスプレイに灰色のシンボルマークが表示されます。  
アダプティブクルーズコントロールはスタンバイ状態になります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にする

- ▶ クルーズコントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。  
マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。  
保存されていた設定速度が削除されます。  
設定車間距離が初期値 (デフォルト値) にリセットされます。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON 時の作動モード

アダプティブクルーズコントロール ON 時には、3種類の作動モードがあります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

アダプティブクルーズコントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。  
ステータスディスプレイ **B** が橙色になります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

ブレーキペダルを踏んだときや、クルーズコントロール操作レバーを下方 (**3** の位置、**OFF**) に押したときは、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) が解除されます。  
設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。  
ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。  
アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の再開に関するインフォメーション:

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▷ 「クルーズコントロールと車間距離制御の再開-RESUME」(32ページ)を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の速度超過

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。アクセルペダルを放した後、アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)は再開されます。

## 速度の設定 / 設定速度の変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールがONになっている。
- ✓ 車両が動いている。
- ✓ 前方に静止した物体を検出していない。

## 速度の設定

1. ステアリングホイールのレバーを前方(図.2、1)に押ししてください。現在の走行速度は希望の速度として保存され、自動的に維持され(約30~210km/hの制御範囲内)、ステータスディスプレイ **B** が橙色になります。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マーク **G** が、現在の速度を示しています。
2. アクセルペダルから足を放してください。自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

## i インフォメーション

停止中にレバーを前方(1の位置)に押すと、マルチファンクションディスプレイに「ACC cannot be activated when parked (ACC不可停車中)」のメッセージが表示されます。

前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

## 設定速度を上げる

- ▷ ステアリングコラムのレバーを前方(図.2、1の位置)に短く押ししてください。希望の速度が段階的に増加します1km/h単位で。  
-または-  
ステアリングコラムのレバーを前方(1の位置)で保持してください。速度が10km/h単位で上がります。ステータスディスプレイ **B** が新しく設定した速度を表示します。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マーク **G** が、現在の速度を示しています。

## 設定速度を下げる

- ▷ ステアリングコラムのレバーを手前(図.2、2の位置)に短く引いてください。速度が1km/h単位で下がります。  
-または-  
ステアリングコラムのレバーを希望の速度になるまで手前(2の位置)で保持してください。速度が10km/h単位で下がります。ステータスディスプレイ **B** が新しく設定した速度を表示します。速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マーク **G** が、現在の速度を示しています。

## 車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。

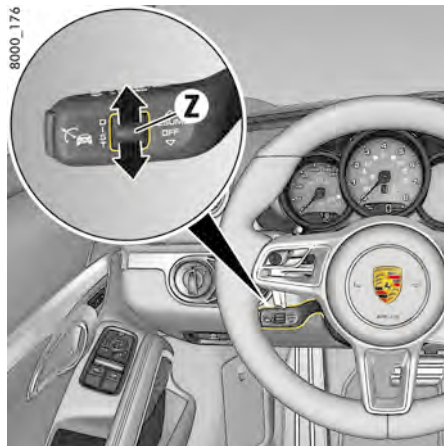


図4: 車間距離の設定

## i インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクションディスプレイに「ACC」(アダプティブクルーズコントロール)のメインメニューが一時的に表示されます。最初にロッカースイッチ **Z** を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メインメニューが表示されます。

## i インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

### 車間距離を長くする

- ▶ スイッチ **Z** を上方向に押してください。  
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント **A** の数が増えます。

### 車間距離を短くする

- ▶ スイッチ **Z** を下方向に押してください。  
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント **A** の数が減ります。

### 前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクションディスプレイまたはステータスディスプレイ **B** に車両のシンボルマーク **C** が表示されます。灰色のゾーン **D** が、前走車との現在の車間距離を示します (図. 3)。



走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との間隔は1秒です。この場合、120 km/h のときに約 33 m の車間距離になります。



少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との間隔は1.3秒です。この場合、120 km/h のときに約 43 m の車間距離になります。



プリセットされた車間距離  
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との間隔は1.8秒です。この場合、120 km/h のときに約 60 m の車間距離になります。



郊外路を走行するときに適しています。前走車との間隔は2.3秒です。この場合、120 km/h のときに約 77 m の車間距離になります。

### 自動ブレーキ制御での停止

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。

インストルメントパネルの **HOLD** インジケータライトが点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

**HOLD** 機能に関するインフォメーション:

- ▶ 「**HOLD** 機能」(283 ページ) を参照してください。

### **i** インフォメーション

周囲の交通の流れによっては (たとえば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

### **i** インフォメーション

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合や、**HOLD** 機能が作動したときは、ブレーキペダルの感触が変化したり、ブレーキシステムの油圧作動音が聞こえたりすることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

### 再発進

アダプティブクルーズコントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

- ▶ ステアリングコラムのレバーを上方 (**4** の位置、**RESUME**) に押してください。

– または –

アクセルペダルを短く踏んでください。  
車両が自動的に走行を再開します。

### **i** インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリングコラムのレバーを上方 (**4** の位置、**RESUME**) に押してください。

– または –

速度を設定する、または設定速度を変更してください。

## アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)の中断と再開

### 自動車速制御と自動車間距離制御の中断-OFF

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。  
-または-  
ステアリングコラムのレバーを下方(3)の位置、OFF)に押してください。  
アダプティブクルーズコントロールの制御が中断されます。  
設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。  
ステータスディスプレイBが橙色から灰色になります。

### クルーズコントロールと車間距離制御の再開-RESUME

- ▶ ステアリングコラムのレバーを上方(4)の位置、RESUME)に押してください。  
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。  
ステータスディスプレイBが灰色から橙色になります。  
-または-  
ステアリングコラムのレバーを上方(4)の位置、RESUME)で保持してください。  
車両が設定した希望速度まで加速します。

### **i** インフォメーション

レバーを3)の位置(OFF)に動かして、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後に前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

## 警告シンボル



図5: マルチファンクションディスプレイの警告シンボルマーク

### 制御モード(ACC作動中)でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

#### **▲** 警告

アダプティブクルーズコントロールによる自動ブレーキの制動力が不十分です

このような場合、アダプティブクルーズコントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## アダプティブクルーズコントロール(ACC)の例外

次のような状況では、アダプティブクルーズコントロールは利用できません。

- イグニッションがOFFのとき
- PSMがOFFのとき
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
- 駐車時や操舵時など、ステアリングホイールをいっぱいに切ったとき
- エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき
- セレクターレバーがN、RまたはPの位置にあるとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が20%を超えると  
アダプティブクルーズコントロールON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブクルーズコントロールはOFFになります。  
マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

## レーダーセンサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダーセンサーが前走車を検出できない、または検出が遅れる場合があります。その結果、アダプティブクルーズコントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブクルーズコントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

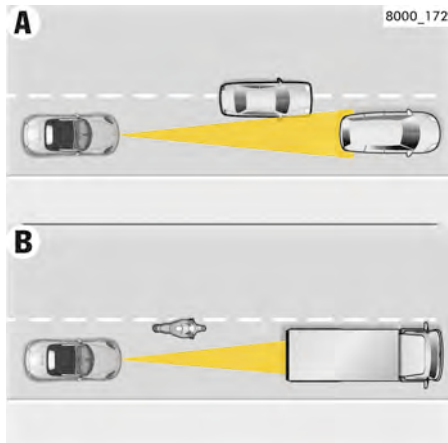


図6: 前方への割り込み、幅の狭い車両

**A-前走車の車線変更/前方への割り込み**  
他の車両が自車の車線に割り込んだときや離れる場合、自車と同一車線に完全に移動するまでその車両を検出しません。

**B-投影面積が小さな車両/幅の狭い車両**  
小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

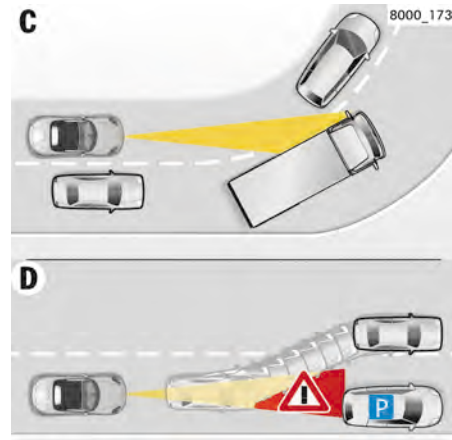


図7: コーナリングおよび停車中の車両

### C-コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅れて検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

### D-停止中の車両

レーダーセンサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき(前走車が車線変更したときなど)は、アダプティブクルーズコントロールはその車両を検出しません。

**警告** アダプティブクルーズコントロールの停止車両の不検出  
アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーは停車中の車両を検出しません。  
▶ 十分注意して運転してください。  
▶ 必要に応じて減速してください。

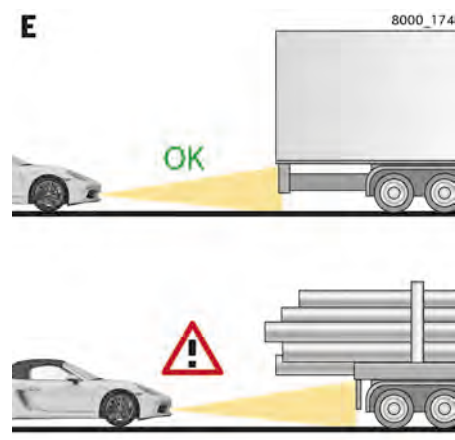


図8: オーバーハングの長い車両

### E-オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

**警告** 前走車の後端が正しく検出されない  
前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。  
▶ 十分注意して運転してください。  
▶ 必要に応じて減速してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## アクティブセーフティ - ポルシェ アクティブセーフ (PAS)

アダプティブクルーズコントロールセンサーは「ポルシェ アクティブセーフ (PAS)」機能に使用されます。

機能内容:

### - ブレーキシステムプレフィル

前走車に危険なほど近づいていることをレーダーセンサーが検出すると、ブレーキシステムの圧力をあらかじめ僅かに高めて制動時の応答性を向上させます。

### - ブレーキアシスト

急ブレーキ操作時にブレーキペダルを踏む力が弱いと、ブレーキアシストが4輪すべてのブレーキシステムの圧力を高め最大の制動力をかけます。車両が前走車に非常に接近していることをセンサーが検出すると、ブレーキアシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキアシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

### - ターゲットブレーキ

前走車に危険なほど近づいていることをレーダーセンサーが検出し、さらにブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します (必要に応じて最大の制動力まで)。

## **i** インフォメーション

すべてのポルシェ アクティブセーフ (PAS) 機能は、約 30 km/h 以上の速度で作動します。

## 潜在的な警告 (表示)

8070\_23



図 9: 潜在的な警告 (表示)

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクションディスプレイに潜在的な警告 (黄色のマーク) を表示してドライバーに警告します。

- ▶ 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

## 予期警告 (警告音、表示)

8070\_22



図 10: 事前警告作動

前走車に危険なほど近づいていて、前走車と衝突しそうなことをレーダーセンサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。



**警告**

車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## 緊急警告 (警告音、表示、ブレーキ振動)

8070\_22



図 11: 事前警告作動

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ドライバーの注意を交通状況に向けるため、ブレーキ圧を急上昇させてブレーキ振動を発生させます。

この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。



警告

車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

- 急カーブを走行しているとき
- ブレーキをかけているとき
- 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

**ポルシェ アクティブセーフ (PAS) 警告の ON/OFF**

潜在のおよび予期警告機能は、初期設定では OFF になっています。緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクションディスプレイで潜在のおよび事前警告機能を ON にする：

- ▷ 「ポルシェ アクティブセーフ (PAS) の ON/OFF」(243 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

# インストルメントパネル

8070\_1

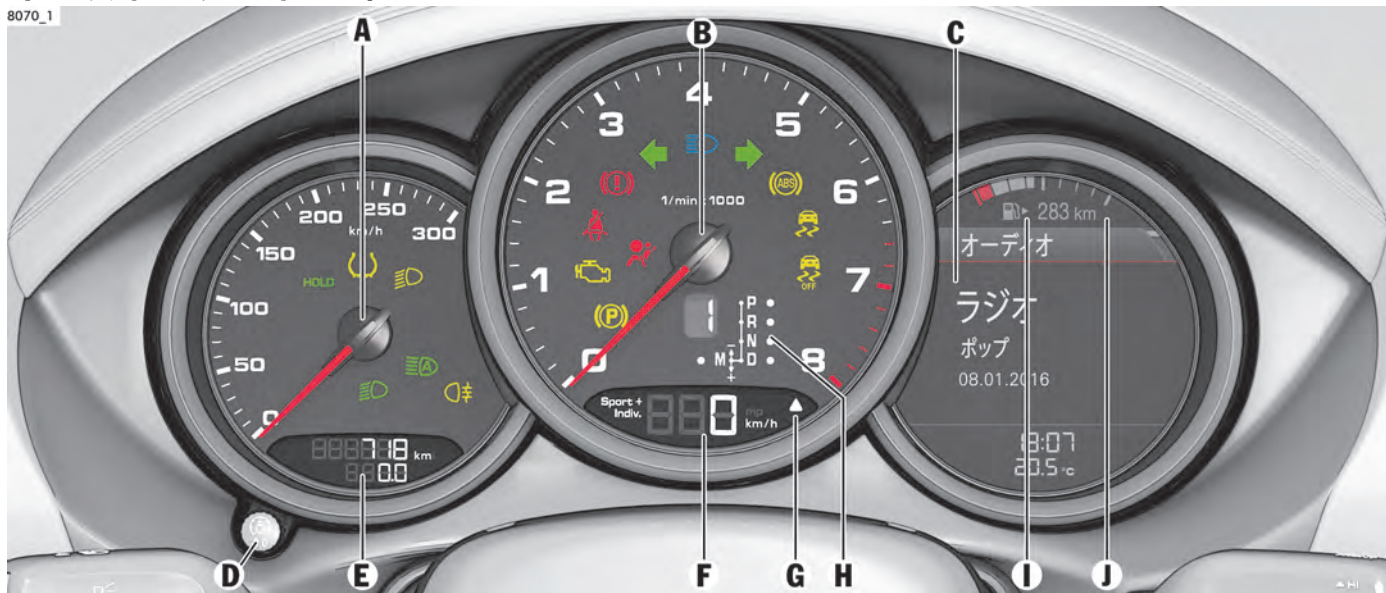


図 12: インストルメントパネルの表示

## A-スピードメーター

## B-タコメーター (回転計)

タコメータースケールのレッドゾーン開始地点は、エンジン許容最高回転数に対する警告です。

## C-マルチファンクションディスプレイ

▶ 「マルチファンクションディスプレイ」 [236 ページ] を参照してください。

## D-トリップメーター用のリセットボタン / インストルメントライトおよびPCMの明るさ調節設定

▶ 「インストルメントおよびインテリアライト」 [39 ページ] を参照してください。

## E-積算距離計 / トリップメーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。9,999km を超えると、トリップメーターの表示が「0」に戻ります。

トリップメーターの手動リセット：

▶ トリップ表示リセットボタン **D** を約 1 秒間押し続けてください。  
トリップメーターが「0」に戻ります。

## F-デジタルスピードメーター

## G-シフトアップインジケーター

経済的な運転を促すインジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセルペダルの踏み込み方に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

PDK 装備車の場合、マニュアルモードでのみシフトアップインジケーターが使用可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



- ▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

## H-セレクターレバー ポジションインジケーターおよびギヤシフトインジケーター

### I-フィラーフラップ位置の表示

矢印は車両のフィラーフラップの付いている側面を示しています。

### J-燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

- ▶ 「補給」(234ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

#### 燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値(モデルにより異なる)または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジン作動している場合、燃料警告シンボルが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。

#### 知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告メッセージが表示されたりした場合は、カーブを曲がる時にスピードを出さないようにしてください。

## 警告灯およびインジケーターライト

#### 知識

イグニッションをONにすると、すべての警告灯および一部のインジケーターライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。


- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する場合。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

## スピードメーター内

 HOLD 機能インジケーターライト



タイヤ空気圧警告灯  
ライトの点滅または連続点灯の原因:

- 新しく装着したホイール(タイヤ空気圧センサー)を学習している、またはホイールを認識できない場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPM)の故障または一時的な不具合
- タイヤ空気圧の低下

- ▶ 空気圧が低下した場合:適切な場所に停車してください。運転を続けしないでください。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(139ページ)を参照してください。



PDLs 警告灯



ロービームインジケーターライト





ダイナミックハイビームインジケーターライト




リアフォグライトインジケーターライト


タコメーター内


 スポーツ/スポーツ プラス/パーソナル インジケーター ライト


 エレクトリック パーキング ブレーキ 警告灯


 エミッション コントロール 警告灯 (チェック エンジン)  
 ライトの点滅または連続点灯の原因：  
 汚染物質の排出量を増加させ、損傷を  
 引き起こす原因となる作動不良 (エン  
 ジンの失火など)

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジン  
 の負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車  
 してください。可燃物 (乾燥した  
 草や枯れ葉など) が高温の排気シ  
 ステムに接触しないよう注意し  
 てください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッシ  
 ョンコントロールシステムの不具合  
 を解消してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」  
 (73 ページ) を参照してください。


 エアバッグ 警告灯


 シート ベルト 警告灯

 ブレーキ 警告灯


 方向 指示 灯、左

 ハイ ビーム インジケーター ライト

 方向 指示 灯、右

 ABS 警告 灯

 PSM 警告 灯

 PSM OFF 警告 灯



## インストルメントおよび インテリアライト

### インストルメント照明の明る さ調整

8000\_46



図 13: 調節ボタン

ライトセンサーにより、周囲の明るさに応じて照明が自動的に調節されます。

更に、車両のライトスイッチがONのときはインストルメントパネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節ボタン **A** を、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

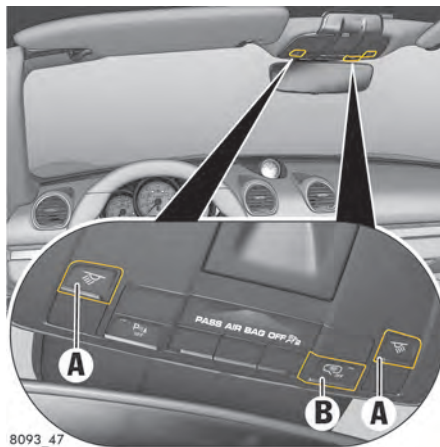
#### ▲ 警告

走行中の明るさの調整

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。

### インテリアライトのON/OFFの 切り替え



8093\_47

図 14: インテリアライト / 読書灯用ボタン

- A** インテリアライト / 読書灯用ボタン
- B** 自動インテリアライトのON/OFFの切り替え

### インテリアライト / 読書灯のON/OFFの 切り替え

- ▶ ボタン **A** を押してください。

#### 明るさを調節する (減光)

- ▶ ボタン **A** を希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

### 自動インテリアライトのON/OFFの切り 替え

装備仕様により、自動インテリアライトはボタン **B** を使用して、またはマルチファンクションディスプレイのメニューからON/OFFを切り替えることができます。

ボタン **B** を使用する :

- ▶ ボタン **B** を押してください。

インテリアライトをOFFにすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

インテリアライトをONにし、暗くなったとき、インテリアライトは :

- 点灯 : ドアのロックが解除されているまたは開いているとき、キーがイグニッションロックから抜かれているとき。
- 消灯 : 約 120 秒の遅延後、両方のドアが閉じたとき。この遅延消灯時間は、マルチファンクションディスプレイで変更できます。イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリアライトが消灯します。

#### マルチファンクションディスプレイでの操作 :

- ▶ 「ドアを開いたときのインテリアライト自動点灯の有効 / 無効」(245 ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## バッテリー保護のためのインテリアライトの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約 15 分後にインテリアライトが自動的に消灯します。周囲が明るいときは、インテリアライトを手動で点灯した後、約 1 分が経過すると自動的に消灯します。

か

さ

## オリエンテーションライト

オーバーヘッドコンソールおよびイグニッションロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーションライトの明るさはマルチファンクションディスプレイで調節（減光）することができます。

た

な

▷ 「オリエンテーションライトの明るさを調節する」(245 ページ)を参照してください。

ま

## アンビエントライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエントライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

や

ら

わ

A-Z

# ウィンドウ

## サイドウィンドウの開閉



**警告**

サイドウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するときは、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：ポルシェエントリー&ドライブを搭載した車両では、イグニッションキーのボタンまたはドアハンドルの近接センサーをすぐに放します。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図 15: 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A 左側パワーウィンドウスイッチ
- B 右側パワーウィンドウスイッチ

- ✓ イグニッションがONになっている。  
-または-
- ✓ イグニッションを10分以内OFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態

### サイドウィンドウを開く

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

### サイドウィンドウを閉じる

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカースイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

### 1 段目 - 手動操作

- ▶ 該当するスイッチを1段目まで押すか、または引いてください。  
サイドウィンドウが手動で開閉します。  
ボタンを放すとウィンドウが止まります。

### 2 段目 - ワンタッチ操作

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ▶ 該当するスイッチを2段目まで素早く押すか、または引いてください。  
サイドウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ サイドウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。



### インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。  
サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。  
サイドウィンドウは手動で閉じることができません。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動開操作で一度完全に閉じてください。



**警告**

サイドウィンドウを手動で閉じる

ワンタッチ操作がサイドウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動閉機能を使用してサイドウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## キーによるサイドウィンドウの開閉



図 16: キーによるサイドウィンドウの開閉

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまでキーのウィンドウ開閉ボタンを押し続けてください。

## ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる(ポルシェエントリー&ドライブ装備車)

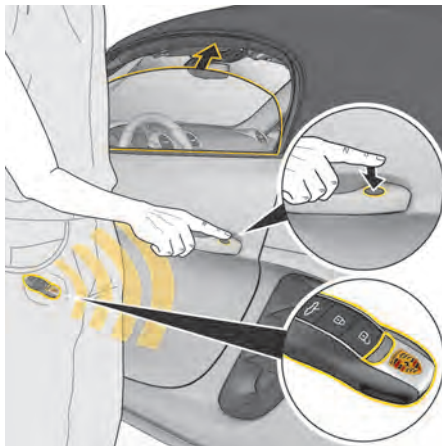


図 17: ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる(ポルシェエントリー&ドライブ装備車)

- ▶ 車両をロックするときにサイドウィンドウが希望の位置になるまで、ドアハンドルの近接センサーに触れ続けてください。

## サイドウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりした場合、サイドウィンドウの停止位置が消去されます。サイドウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

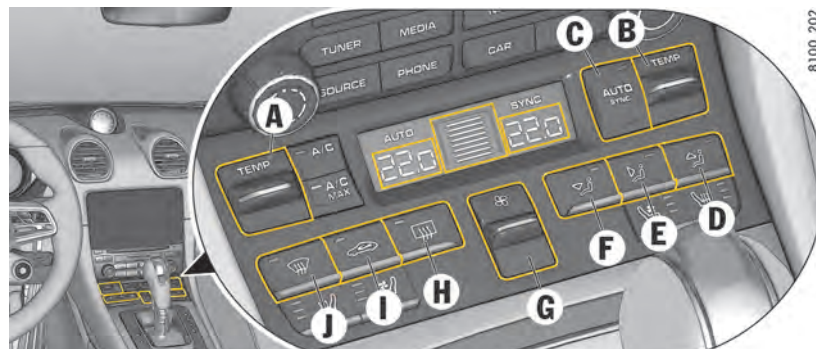
すべてのサイドウィンドウに以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段目まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じてください。
2. サイドウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで3回引いてください。
3. スイッチを押して、一度サイドウィンドウを完全に開いてください。

## エアコンシステム(2ゾーンオートエアコン)

### 概要

この概要説明は、「エアコンシステム(2ゾーンエアコン)」に記載された包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



希望する操作	操作方法	ページ
エアコンをONにする	ボタンCを押してください。	44
温度の設定	車内左側：ボタンAを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。 車内右側：ボタンBを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。	45
送風量を手動で設定する	ボタンGを上(多くする)または下(少なくする)に押してください。	45
送風口を手動で設定する	フロントウィンドウ/サイドウィンドウへの送風ボタンDを押してください。 中央およびサイドベントからの送風：ボタンEを押してください。 足元への送風：ボタンFを押してください。	45
フロントウィンドウデフロスター	ボタンJを押してください。	48
リアウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする	ボタンHを押してください。	273
手動で内気循環モードをONにする	ボタンIを押してください。	47

一般情報

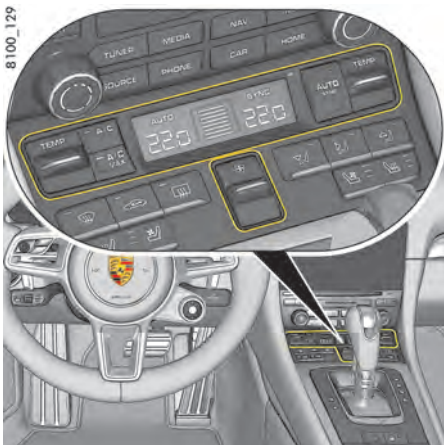


図 18: エアコンコントロールパネル

オートモードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコンシステムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。温度は、左と右のゾーンで個別に設定できます。

エアコンシステムの設定を手動で変更すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

**i** インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクションディスプレイで行うことができます。

▷ 「エアコン設定」(246 ページ) を参照してください。

メモリーパッケージ装備車では、エアコンシステムの設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定」(193 ページ) を参照してください。

センサーを覆わない



図 19: エアコン用室内温度センサー

エアコンシステムの能力を維持するために、次のことを遵守してください：

- ▷ エアコンシステムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

**i** インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約 2°C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限されて OFF になります。

オートモードを ON にする

各ゾーンはオートモードに切り替えることができます。

- ▷ エアコンコントロールパネルの **AUTO SYNC** ボタンを押してください。エアコンディスプレイの **AUTO** インジケータが点灯します。

温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



**i** インフォメーション

必要であればオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または **AUTO SYNC** ボタンを押すまで設定が維持されます。

温度の設定

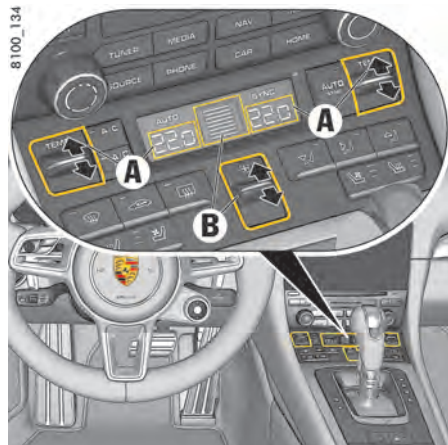


図. 20: 温度設定および送風量調節

- A** 各ゾーンの温度設定
- B** 送風量の設定

各ゾーンの温度は 16.5°C ~ 29°C の範囲で個別に調整できます。推奨：22°C  
選択した温度がディスプレイに表示されます。

温度を上げる / 下げる

- ▶ 該当するゾーンの **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合、エアコンは冷房または暖房の最大出力で作動しています。このときオートモードは **OFF** になります。

**i** インフォメーション

**SYNC** モード選択時にいずれかのゾーンで温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、初期設定温度の 22°C に切り替わります。

- ▶ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNC モード)」(48 ページ) を参照してください。

送風量の設定

**OFF** ボタンの上部にあるエアコンディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が増えるほど、車室内の風量が多いことを示します。

送風量を上げる / 下げる

- ▶ **OFF** ボタンを上方向または下方向に押しください。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、オートモードに戻ります。  
送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが **OFF** になります。

**警告** 風量 **OFF** による視界の妨げ

送風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 空気量をさらに増加させるため、**OFF** ボタンを上方向に押すか、またはオートモードに戻してください。

送風口の設定




図 21: 送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

- ✓ エアイベントが開いている
- ▶ **OFF** ボタンを押してください。フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶ **OFF** ボタンを押してください。中央および左右エアイベントからの送風を開始します。


あ

- ▶  ボタンを押してください。フットウェルへの送風を開始します。該当するボタンのインジケータライトが点灯します。

## 送風口の自動切り替えの解除

- ▶ インジケータライトが点灯している (手で切り替えた) 送風口切り替えボタンを再度押してください。該当するボタンのインジケータライトが消灯します。

—または—

 ボタンを押してください。送風量および送風口が自動的に制御されます。

## エアベントの調整



図 22: エアベントの調整

## 知識

エアベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ エアベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど) を挟まないでください。

## エアベントの開閉

- ▶ エアベントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

## 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

## アッパーベンチレーションパネルの ON/OFF

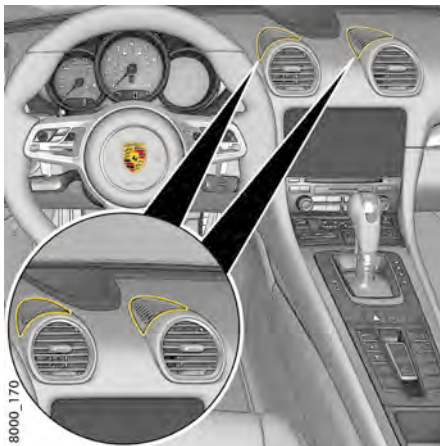


図 23: アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。

ベンチレーションパネルを OFF にすると、室内で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。アッパーベンチレーションパネルの ON/OFF の切り替えに関するインフォメーション:

- ▶ 「エアコン設定」(246 ページ) を参照してください。

## 冷房機能の ON/OFF の切り替え

オートモードでは、冷房機能が常に ON になります。冷房出力は完全に自動制御されます。

- ▶ 「オートモードを ON にする」(44 ページ) を参照してください。



図 24: 冷房機能の ON/OFF の切り替え

### 冷房機能を ON にする

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。  
-または-  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。  
冷房機能が作動します。

### 冷房機能を OFF にする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動で OFF にすることができます。

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。  
冷房機能が解除されます。

## A/C MAX モード(最大冷房出力)の ON/OFF

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。  
このとき車内温度は自動調節されません。



図 25: 最大冷房出力の作動

### A/C MAX モードを ON にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

### A/C MAX モードを OFF にする

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。  
-または-  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

## 内気循環モードの ON/OFF



図 26: 内気循環モード ボタン

### 手動で内気循環モードを ON にする




**警告**


手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

### 手動で内気循環モードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。  
-または-  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

### **i** インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

## 自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温が約5°Cを下回ると、内気循環モードは自動的に停止します。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「エアコン設定」(246ページ)を参照してください。

## **i** インフォメーション

通常は自動内気循環モード(初期設定)にしておくことを推奨いたします。

## 運転席のエアコン設定を車内全体に適用する(SYNCモード)

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

### SYNCモードをONにする

- ▶ エアコンディスプレイに**SYNC**が表示されるまで、**AUTO SYNC**ボタンを押し続けてください。
- ▶ 運転席側の**TEMP**ボタンを操作して、運転席側および助手席側の温度を調整してください。

### SYNCモードをOFFにする

- ▶ **AUTO SYNC**ボタンを押してください。  
-または-  
助手席側の**TEMP**ボタンを押してください。  
エアコンディスプレイの**SYNC**インジケータが消灯します。

## 風量調節

オートモードでは3段階で送風の強さを調節できます。

送風の強さ調節に関するインフォメーション:


- ▶ 「エアコン設定」(246ページ)を参照してください。

## フロントウィンドウデフロスター




図.27: フロントウィンドウデフロスターボタン

### デフロストモードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。  
フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。  
なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

### デフロストモードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。  
-または-  
**AUTO SYNC**ボタンを押してください。

# エアコンシステム (マニュアル)

## 一般情報



図 28: エアコンコントロールパネル

マニュアルエアコンシステムの風量、エア配分および温度設定は手動で調節することができます。

### 冷房機能

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

## **i** インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。  
外気温度が約 2°C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON できません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限されて OFF になります。

## 温度の設定

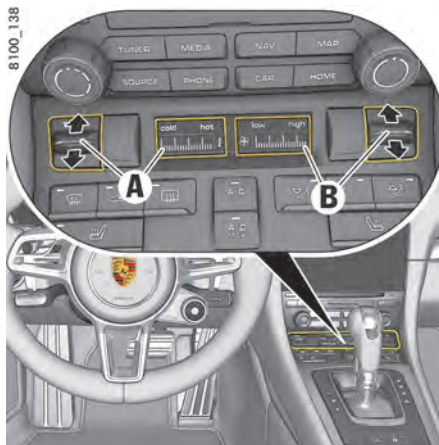


図 29: 温度設定および送風量調節

- A 温度の設定
- B 送風量の設定

## 温度を上げる / 下げる

- ▶ **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押してください。  
温度設定が最高温度に設定されているときは、エアコンディスプレイにすべてのバーが表示されます。  
温度設定が最低温度に設定されているときは、エアコンディスプレイにバーは表示されません。

## 送風量の設定

**⊞** ボタンの隣にあるエアコンディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が増えるほど、車室内の風量が多いことを示します。

## 送風量を上げる / 下げる

- ▶ **⊞** ボタンを上方向または下方向に押してください。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに OFF と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。

**⚠ 警告** 風量 OFF による視界の妨げ

送風量を OFF にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ **⊞** ボタンを上方向に押すと、送風量が増加します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z




## 送風口の設定



8000\_167

図 30: 送風口切り替えボタン

### 送風口の設定

- ✓ エアメントが開いている
- ▶  ボタンを押してください。  
フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶  ボタンを押してください。  
中央および左右エアメントからの送風を開始します。
- ▶  ボタンを押してください。  
フットウェルへの送風を開始します。  
該当するボタンのインジケータールイトが点灯します。

## エアメントの調整



8000\_11

図 31: エアメントの調整

### 知識

エアメントを損傷する恐れがあります。

- ▶ エアメントに物(携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど)を挟まないでください。

### エアメントの開閉

- ▶ エアメントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

### 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

## 冷房機能の ON/OFF の切り替え

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、冷房機能を ON にしてください。



8000\_168

図 32: 冷房機能の ON/OFF の切り替え

### 冷房機能を ON にする

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータールイトが点灯します。  
冷房機能が作動します。

### 冷房機能を OFF にする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を OFF にすることができます。

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータールイトが消灯します。  
冷房機能が解除されます。

## A/C MAXモード(最大冷房出力)のON/OFFの切り替え

A/C MAXモードでは、最大出力で車内が冷却されます。



図 33: 最大冷房出力の作動

### A/C MAXモードをONにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。

### A/C MAXモードをOFFにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

## 内気循環モードのON/OFF



図 34: 内気循環ボタン

### 内気循環モードをONにする




**警告**


内気循環モードでの視界の低下

内気循環モードではウィンドウが曇る場合があります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 内気循環モードは長時間ONにしないでください。

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。

### 内気循環モードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

## **i** インフォメーション


手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

## フロントウィンドウデフロスター




図 35: フロントウィンドウデフロスターボタン

### デフロストモードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

### デフロストモードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エアバッグシステム

### 適切なシート位置の選択



**危険**

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。ドアの内側（サイドエアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

### 機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。フロントエアバッグは、運転席側のステアリングホイール中央のパッド内、および助手席側のダッシュボード内に取り付けられています。

サイドエアバッグはシート側面のシートボルスターに格納されています。

ヘッドエアバッグはドアトリムの側面に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。



**危険**

エアバッグシステムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。




**危険**

作動済みエアバッグシステムの交換

エアバッグシステムは一回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグは直ちにボルシェ正規販売店で交換してください。

### 警告灯への対応

エアバッグシステムが故障した場合、タコメーターの赤いエアバッグ警告灯によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。
  - イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない。
  - または-
  - イグニッションがONのときに警告灯が消灯しない。
  - または-
  - 走行中に警告灯が点灯する。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 助手席エアバッグを OFF にする

8093\_42



図 36: 助手席エアバッグ OFF 警告灯

## ⚠ 危険

## 助手席エアバッグ OFF

チャイルドシートを取り外した後も、助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。

## ⚠ 危険

## 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグを OFF にして、イグニッションを ON にしたときに**助手席エアバッグ OFF** 警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグを OFF にするキースイッチ、**助手席エアバッグ OFF** 警告灯および ISOFIX アタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

- ▶ 「助手席エアバッグの ON/OFF 切り替え - 助手席エアバッグ OFF 警告灯」(154 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## エンジンオイル

### エンジンオイルレベルの点検

オイルレベルは定期的に点検してください  
〔車両に燃料を補給するときなど〕。

▶ 「サーキット走行」〔14ページ〕を参照してください。

#### オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低過ぎる場合、マルチファンクションディスプレイにまたはのシンボルが警告メッセージとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があります。ことを知らせます。

▶ 「警告および情報メッセージ」〔73ページ〕を参照してください。

#### エンジンオイルレベルの測定と表示

##### 知識

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。  
最小マーク。

#### エンジンオイルレベルの表示

##### i インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合
- リヤラゲッジコンパートメント リッドが開いている。

マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止している。

##### ▶ 車両 ▶ オイルレベル

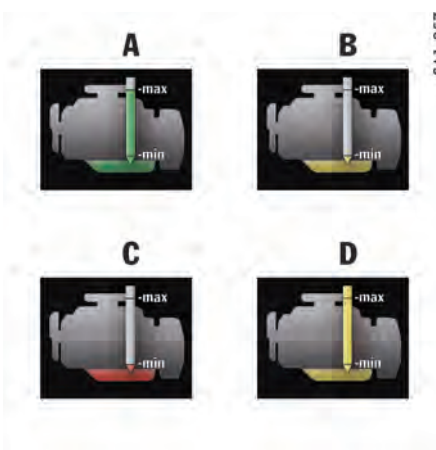


図 .37: オイルレベル表示

- A オイルレベルは適正 - 上限に達している
- B オイルレベル下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 **A** の場合、オイルレベルは適正です。

最下部が黄色 **B** で表示されている場合、オイルレベルが下限まで低下しています。オイルレベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 次の機会にマルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最下部が赤色 **C** で表示されている場合は、オイルレベルが下限を下回っています。オイルレベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を直ちに補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最上部 **D** まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。

エンジンオイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

SA1-357

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### エンジンオイルの補充

- ▶ 「エンジンオイルの選択と補充」(55ページ)を参照してください。

### 故障

オイルレベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジンオイルの選択と補充



警告

エンジンオイルの発火

- エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。
- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
  - ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。



警告

高温のエキゾーストシステム

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンオイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

### 知識

エンジンオイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジンオイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
  - ▶ 上限マークを超えるまでエンジンオイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 知識

エンジンオイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジコンパートメントとラゲッジコンパートメント内の荷物が汚れる恐れがあります。

- ▶ エンジンオイルを点検したり補充したりするときは、こぼしてラゲッジコンパートメントや荷物を汚さないように注意してください。

下記の点を必ず守ってください。

- ポルシェでは、ポルシェが承認したエンジンオイルのみを使用することを推奨しています。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせるができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

### エンジンオイルの選択

ポルシェでは**Mobil 1**を推奨します。

車両	認証オイル	SAE粘度等級
すべて	Porsche C40、 または VW 511 00	SAE 0W-40 <sup>1)</sup> SAE 5W-40 <sup>2)</sup>

1) すべての温度範囲に適用。

2) -25℃を超える温度範囲に適用。

ポルシェでは、エンジンオイルの補充が必要な場合には、適切なエンジンオイルの情報をポルシェ正規販売店にお尋ねいただき、そのオイルを使用することをお勧めします。



### インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジンオイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エンジンオイルの補充 (4 シリンダー モデルのみ)

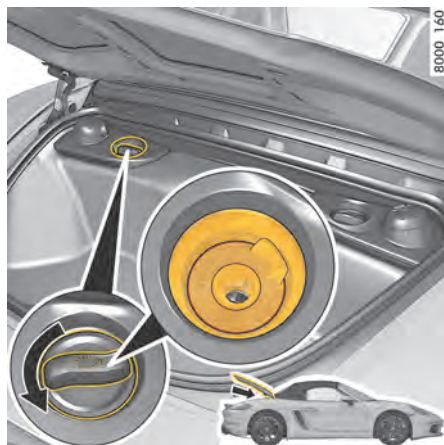


図 . 38: Boxster



図 . 39: Cayman

1. マルチファンクションディスプレイのエンジンオイルレベルを確認してください。  
 ▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」 (54 ページ) を参照してください。
2. リヤラゲッジコンパートメントを開いてください。
3. ケイマン：キャップを反時計回りに回して取り外してください。
4. オイルフィルターキャップを緩めて取り外してください。
5. マルチファンクションディスプレイに表示されている量のエンジンオイルを補充してください。  
 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約 1 リットルです。  
 ▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」 (54 ページ) を参照してください。
6. ケイマン：キャップを取り付け、時計回りに回してください。
7. オイルフィルターキャップを慎重に取り付けます。

## エンジンオイルの補充 (6 シリンダー モデル)

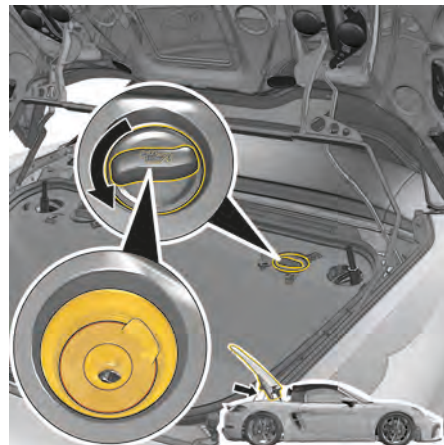


図 . 40: 718 Boxster GTS 4.0、718 Spyder

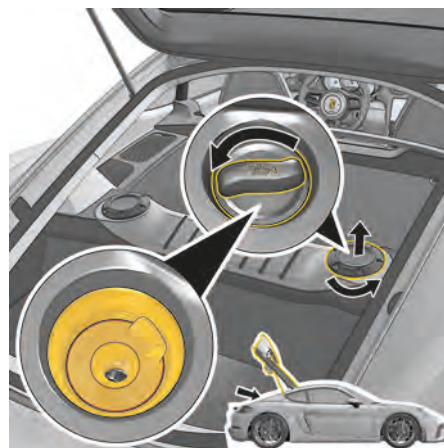


図 . 41: 718 Cayman GTS 4.0、718 Cayman GT4

- ✓ **6 シリンダー エンジン搭載 718 モデルのみ**：  
718 GTS 4.0、718 Cayman GT4、718 Spyder。
1. マルチファンクションディスプレイのエンジンオイルレベルを確認してください。  
▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」  
(54 ページ)を参照してください。
  2. リヤラゲッジコンパートメントを開いてください。
  3. ケイマン：キャップを反時計回りに回して取り外してください。
  4. オイルフィルターキャップを緩めて取り外してください。
  5. マルチファンクションディスプレイに表示されている量のエンジンオイルを補充してください。  
表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。  
▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」  
(54 ページ)を参照してください。
  6. ケイマン：キャップを取り付けた後、時計回りに回してください。
  7. オイルフィルターキャップを慎重に取り付けます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エンジンの始動および停止

### イグニッションロック

キーは、ステアリングコラム左側のイグニッションロックに差し込んでください。

#### 知識

過剰な重さにより損傷する恐れがあります。差し込んだキーに過剰な重さ（キーの束、キーホルダーなど）がかかると、イグニッションロックが損傷する恐れがあります。

▶ 差し込んだキーに過剰な重さがかからないようにしてください。

ポルシェエントリー&ドライブ装備車では、キーは携帯するだけでイグニッションロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。このコントロールユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッションロックに差し込んでおいてください。



図 42: イグニッションロックへのキーの差し込み

#### i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッションロックからキーを抜き取ることができます：

▶ 「キー/コントロールユニットの緊急ロック解除」(174 ページ)を参照してください。

イグニッションロックには3つのスイッチ位置があります。

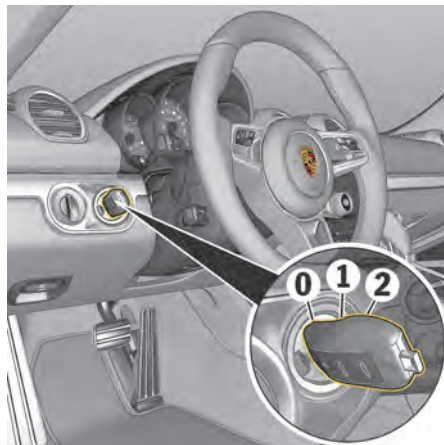


図 43: イグニッションロックの位置

- 0 初期位置
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動

#### 0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置にあるときのみ抜き取ることができます。

#### 1-イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯がランプチェックのために点灯します。

**i** インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。まずキーをロック位置に回してください**0**(初期位置)。イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

**2- エンジン始動**


エンジンが始動すると、キーがロック位置**2**から**1**に自動的に戻ります。

**エンジンの始動**

1. フットブレーキを踏んでください。
  2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっぱい踏み込み続けてください。
  3. ギヤレバーをニュートラルに、あるいはセレクトレバーを**P**または**N**の位置にしてください。
  4. アクセルペダルは踏まないでください。
  5. キーまたはコントロールユニット(ポルシェエントリー&ドライブ装備車)をロック位置**2**に回してください。エンジンスターターを約 10 秒以上連続して作動させないでください。  
イグニッションロック位置**2**(エンジン始動)にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
- ▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置**0**(初期位置)に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

**触媒コンバーターの加熱フェーズ(モデルおよび国によって異なります)**

図 44: 触媒コンバーターの加熱フェーズ用シンボル

モデルや国によっては、触媒コンバーターの加熱フェーズ中はトルクが低下します。この間、インストールメントパネルのマルチファンクションディスプレイに  のシンボルマークが表示されます。エンジンが作動温度に達すると、このシンボルマークはすぐに消灯します。

**エンジンの停止****警告**

パワーステアリングおよびブレーキブースターの作動が停止します。

パワーステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリングホイールやブレーキペダルの操作に強い力が必要になります。

- ▶ イグニッションを OFF にする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
  2. キーまたはコントロールユニットをイグニッションロック位置**0**に戻してください。
- ▶ 降車時はキーを抜き取り、エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、PDK 装備車の場合はセレクトレバーを**P**位置に、マニュアルトランスミッション装備車の場合はギヤレバーを1速またはリバースにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## オートスタート/ストップ機能

たとえば、信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オートスタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止しているときもイグニッションはONの状態のままで、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

## アダプティブシリンダーコントロール

✓ 718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0 アダプティブシリンダーコントロールは、エネルギー効率を高めるために、3気筒の動作を自動的に無効にします。この3気筒休止機能はエンジンノイズに影響を及ぼします。

## アダプティブシリンダーコントロールをOFFにする

- ▶ オートスタート/ストップ機能をOFFにします。
- ▷ 「オートスタート/ストップ機能のON/OFF」(62ページ)を参照してください。

## エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ラゲッジコンパートメントリッドが閉じている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。

- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ **PKD 装備車**：  
ブレーキペダルが踏み込まれている。  
セレクトアーレバーを位置 **D**、**N**、または手動で選択した **1 速**または **2 速**の位置に移動します。  
-または-  
運転席ドアが閉じている状態で、セレクトアーレバーが **P** 位置にある。
- ✓ **マニュアルトランスミッション 装備車**：  
シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている。  
シフトレバーがニュートラル位置で、クラッチペダルを踏んでいない。

## マニュアルトランスミッション 装備車：エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. フットブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ギヤシフトレバーはニュートラルにしてください。
3. クラッチペダルから足を放してください。エンジンが停止します。

### 自動始動

- ✓ シートベルトを着用している。
- ✓ 運転席ドアを閉じている。
- ▶ クラッチペダルを踏んでください。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

## i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

## PKD 装備車：エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. フットブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. フットブレーキを踏み続けてください。  
-または-  
停車中にセレクトアーレバーを **P** の位置に動かしてください。

## i インフォメーション

停車中にブレーキペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD 機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。エンジンはアクセルペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

- ▷ 「HOLD 機能」(283ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。



**自動始動**

- ✓ セレクターレバーが **P**、**D**、**N** の位置にある、またはトランスミッションレンジ **1** または **2** が手動選択されている。
  - ▶ ブレーキペダルを放してください。  
〔セレクターレバーが **P** の位置にない〕。
    - または -
    - アクセルペダルを踏み込んでください。
    - または -
    - ステアリングホイールを動かしてください。
    - または -
    - PDKセレクターレバーを **R** の位置にしてください。
- エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

**i** インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

**i** インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

**降車後の作動 (セレクターレバーが P の位置にあるとき)**

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーを **P** 位置にして、ガレージドアを開くためなどの理由で車両から降車する場合〔運転席ドアが開いていて、ブレーキペダルが踏まれていない場合〕には、エンジンは自動的に始動しません。

ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてフットブレーキを踏むと、オートスタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

**降車後の作動 (セレクターレバーの位置 D、M、または N が選択されているとき)**

PDKセレクターレバーを **D**、**M** または **N** の位置にした状態で自動停止した後、車両を離れたままにする (ドライバーのドアが開いてフットブレーキが解除された場合)、オートスタートが行われ、オートスタート/ストップ機能がまだ作動中であることをドライバーに知らせます。

セレクターレバーが **D** または **M** の位置にある場合、エレクトリックパーキングブレーキも作動します。

**(P)** スイッチのインジケータライトおよびブレーキ警告灯 **(!)** が点灯します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

**オートスタート/ストップ機能の例外**

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツプラスモードが作動しているとき
- PSMがOFFのとき、またはPSMがスポーツモードのとき
- 操作中
- エアコン機能 (最大冷却出力) が作動しているとき
- 「フロントウィンドウデフロスター」機能が有効です。
- 標高が高いとき

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オートエンジンチェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき (国別仕様により異なる)

**i** インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

## オートスタート/ストップ機能の ON/OFF



図 45: オートスタート/ストップ ボタン

### OFF にする

- ▶ **(A)** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。  
エンジンの自動停止およびアダプティブシリンダーコントロール (718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0 のみ) は作動解除されます。


### ON にする

- ▶ **(A)** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。  
アダプティブシリンダーコントロール (718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0 のみ) が作動状態のとき、車両を停止するとエンジンは自動的に停止します。


アダプティブシリンダーコントロールに関するインフォメーション:

- ▷ 「アダプティブシリンダーコントロール」 (60 ページ) を参照してください。

## オートスタート/ストップ機能の表示

 **エンジンの自動停止および再始動の準備**

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが緑色に点灯します。

 **エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない**

オートスタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが黄色に点灯します。

以下の原因によります:

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか 1 つが満たされていない。  
- または -
- オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも 1 つ以上満たされている。
- ▷ 「エンジンを自動停止するための条件」 (60 ページ) を参照してください。
- ▷ 「オートスタート/ストップ機能の例外」 (61 ページ) を参照してください。

### 故障の表示

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマ

ルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## カップホルダー

### カップホルダーを使用する

グローブボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップホルダーが2個装備されています。

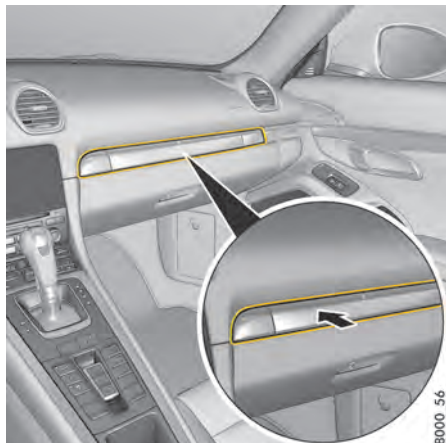


図46: カップホルダー

#### ▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。
- ▶ 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- ▶ 運転中はカップホルダーを収納しておいてください。

#### 知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。

### カップホルダーを開く

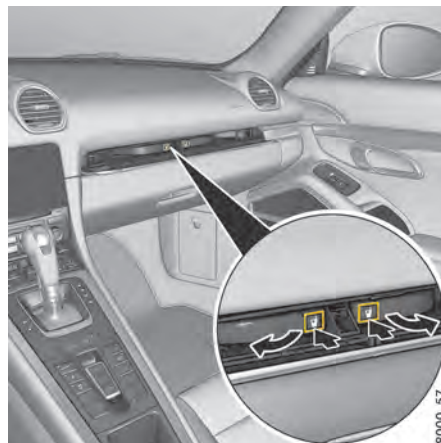


図47: カップホルダーを開く

1. カップホルダーパネルを押してください(図46)。パネルが開きます。
2. 左右どちらかのカップホルダーのマークを押してください。カップホルダーが開きます。
3. パネルの中央を閉じて、カップホルダーを固定してください。

### カップホルダーを引き出す

カップホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。



図48: カップホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください(図48)。
2. カップ/容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを押し込み、カップ/容器のサイズに合わせてください。

### カップホルダーを折り畳む

1. カップホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## クーラント (冷却水)

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37℃までの凍結防止の働きがあります。

クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。



▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェによる推奨：

Glysantin® G40®

## 警告シンボルへの対応

### 知識

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに  シンボルが表示されます。  シンボルが表示された場合は、クーラントレベルが低くなりすぎています。

赤色の警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。

ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

## クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する (4 シリンダーモデル)



警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバーのキャップを開かないでください。水温計の表示が 60℃ を下回るまで待ってください。
- ▶ 「B - 冷却水温度」(241 ページ)を参照してください。

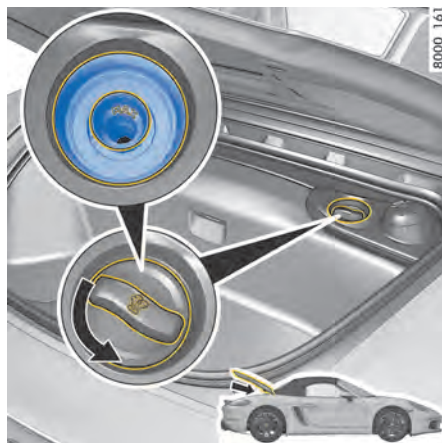


図 . 49: Boxster のクーラントリザーバータンク

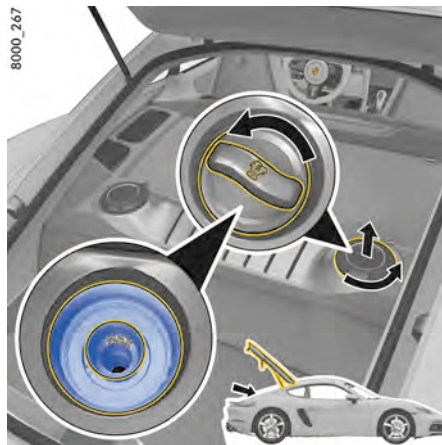






図 . 50: Cayman のクーラントリザーバータンク

8000\_161

8000\_267

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
  - ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が60℃以下である場合
  - ✓  または  のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示されている
  - ✓ クーラントの補充を促すメッセージとともに  または  のシンボルが表示されていない場合は、給水パイプ基部でクーラントが目視確認できない場合のみクーラントを補充する給水パイプ内のクーラントレベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAX マークは補充中のみの目安となります。
1. リヤラゲッジ コンパートメントを開いてください。
  2. ケイマン：キャップを反時計回りに回して取り外してください (図. 50)。
  3. 慎重にクーラントリザーバー タンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
  4. キャップを完全に取り外してください。
  5. クーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルが MAX マークを超えないように注意してください。(給水パイプ基部でクーラントレベルが目視で確認できない)
  6. 必要に応じてクーラントを MAX マークまで補充してください。MAX マークを超えないように注意してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。給水パイプ内のクーラントレベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAX マークは補充中のみの目安となります。
  7. クーラントリザーバー タンクのキャップを動かなくなるまで回して閉めてください。

8. ケイマン：キャップを取り付け、時計回りに回してください (図. 50)。
9. 冷却システムを点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する (6 シリダーモデル)



**警告**

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバーのキャップを開かないでください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。
- ▶ 「B-冷却水温度」(241 ページ) を参照してください。



図 . 51: 718 Boxster GTS 4.0

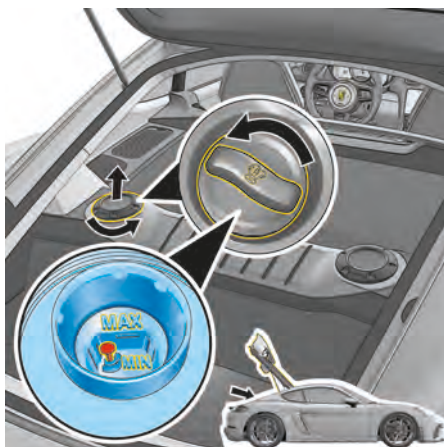






図 . 52: 718 Cayman GTS 4.0

- ✓ 6シリンダー エンジン搭載718モデルのみ：718 GTS 4.0
- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が60℃以下である場合

✓  または  のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示されている

マルチファンクションディスプレイに  および  シンボルが表示されなかった場合は、クーラントレベルインジケーターのMINおよびMAXマークがクーラント追加時のゲージとして機能します。

1. ケイマン：キャップを反時計回りに回して取り外してください(図.52)。
2. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
3. キャップを完全に取り外してください。
4. クーラントレベルを読み取ります。水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときに、クーラントレベルインジケーターがMINマークとMAXマークの間になければなりません。

5. 必要に応じてクーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。

#### クーラント内の不凍液濃度：

50%は、不凍液保護を提供します-37℃まで。クーラントレベルインジケーターがMAXマーキングにあるときに、最大充填レベルに達します。

6. 補充するときにMAXマークを超えないようにしてください。充填レベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAXマークは補充中の目安となります。クーラントリザーバータンクのキャップを動かなくなるまで回して閉めてください。

7. ケイマン：キャップを取り付け、時計回りに回してください(図.52)。
8. 冷却システムを点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

▶ 早急に修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、約30～240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

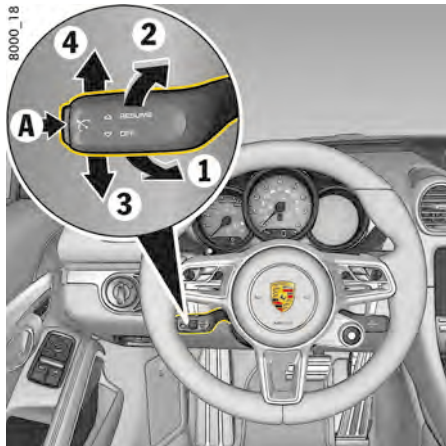


図 53: クルーズコントロールレバー

- A クルーズコントロールのON/OFF
- 1 設定速度の設定 / 加速
- 2 減速
- 3 クルーズコントロールの中断 (OFF)
- 4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

### **i** インフォメーション

アクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

### **⚠** 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズコントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズコントロールを使用しないでください。

## クルーズコントロールON (スタンバイ)

- ▶ レバーのボタンAを押してください。



クルーズコントロールスタンバイマルチファンクションディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

## 速度の維持と保存

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングコラムのクルーズコントロール操作レバーを前方(1の位置)に押ししてください。



### 設定速度

オレンジ色に変わったクルーズコントロールアイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

## 速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールの操作レバーを前方に押しします(図.53、1)。

短く押す = 1 km/h、長く押す = 10 km/h

- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリングホイール側に操作レバーを引きます(図.53、2)。

短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h

新しく設定した速度がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

### **i** インフォメーション

通常走行と同じようにアクセルペダルを踏みと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

## クルーズコントロールの中断 (OFF)

クルーズコントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズコントロールのレバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▷ 「クルーズコントロールの再開 - 再開」(68ページ)を参照してください。
- ▶ コントロール操作レバーを下に押ししてください(図.53、3)
  - または-
  - ▶ ブレーキペダルを踏みます
    - または-
    - ▶ セレクターレバーをNの位置にしてください。

### クルーズコントロールの自動中断:

- 設定速度より約 25 km/h 以上速い速度で、20秒以上走行した場合。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

- 上り坂などで、設定速度より約 60 km/h 以上遅い速度で 60 秒以上走行した場合。
- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) が 0.5 秒以上作動した場合

か

## クルーズコントロールの再開 - 再開

- ▶ 操作レバーを上を押してください (図 .53、4)。  
設定速度に加減速します。

さ

た

## クルーズコントロール OFF

- ▶ レバーのボタン **A** を押してください。  
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

な

は

### インフォメーション

保存された速度はイグニッションを OFF にすると消去されます。

---

ま

や

ら

わ

A-Z



## けん引およびけん引によるエンジンの始動

### **i** インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要ことがあります。

## けん引または押しがけによるエンジンの始動

- Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- マニュアルトランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にのみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する可能性があります。
- けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムをOFFにします。

## けん引ロープまたはけん引バーの使用

- けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参

照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。

- けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

### けん引ロープの使用

- 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。
- 「けん引フックの取り付け」(70ページ)を参照してください。
- けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

### けん引バーの使用

- けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

## 車両のけん引

### **⚠** 警告

パワーアシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

- けん引されている車両のエンジンが停止している場合、ステアリングアシスト機能を利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。

けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。

エンジンが停止している場合、トランスミッションオイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

### PDK 装備車に関する重要なインフォメーション:

- セレクターレバーの緊急解除を行った、またはPDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合(警告メッセージがトランスミッション故障を表示している)、車両を絶対にけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
- 「セレクターレバーの緊急解除」(127ページ)を参照してください。
- 「鉄道、船舶、積載車で輸送」(71ページ)を参照してください。

### バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。
- 「バッテリー」(187ページ)を参照してください。
  - 「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」(106ページ)を参照してください。

### 4 輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- けん引される車はイグニッションスイッチをONにして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。ポルシェエントリー&ドライブ装備車では、コントロールユニットをイグニッションロックから取り外して、キーを挿入してください。

## 片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引時の注意事項

- ▶ イグニッションを OFF にしてください。キーをイグニッションロックに残し、ステアリングロックがかからないようにしてください。ボルシェエントリー&ドライブ装備車では、コントロールユニットをイグニッションロックから取り外して、キーを挿入してください。
- ▷ 「キー/コントロールユニットの緊急ロック解除」(174 ページ)を参照してください。
- ▶ 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

## 車両のけん引

- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：シフトレバーをニュートラルにしてください。
- ▶ PDK 装備車：セレクターレバーを位置 **N** に移動します。ディスプレイとセレクターレバーのセレクターレバー位置 **N** を正しく作動させるには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動します。セレクターレバーが **N** の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクターレバー位置が **N** になれば、車両をけん引できます。
- ▶ けん引されるときの速度は 50km/h 以下にしてください。けん引距離は 50km 以内にしてください。50km を超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▷ 「鉄道、船舶、積載車での輸送」(71 ページ)を参照してください。

## 雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

## けん引フックの使用



図 54: リヤのけん引フック

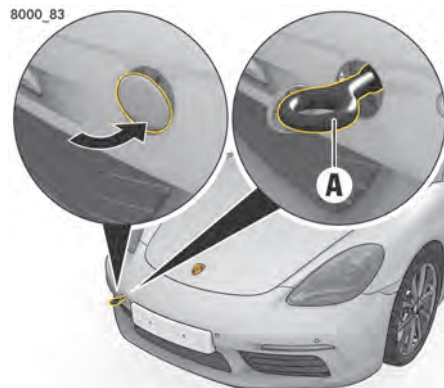


図 55: フロントのけん引フック

## けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▷ 「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム - TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ)を参照してください。

1. プラスチックカバーのフロント下端およびリヤ上端をバンパー内に押し込む、または適切な工具を使用して慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック **A** を反時計回りにいっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

### けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を時計方向に回して外してください (逆ねじ)。
2. プラスチック カバーのフロント側を開口部の下端に、リヤ側を開口部の上端に差し込んでください。
3. プラスチック カバーをかぶせ、端部を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

### 鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。絶対にけん引フックにひもを取り付けしないでください。
- ▶ 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
- ▶ 「車室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを OFF にする」(72 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 警報システム

### 作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、ラゲッジコンパートメントリッド、およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばサイドウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾斜センサー（国別の装備仕様：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）。

これらの警報接点のいずれかが1つでも作動すると、アラームサイレンが約30秒間鳴り、ハザードライトが点滅します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

### **i** インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッションロックから抜き取った場合は、最後にドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ▶ ドアをロック解除するまたはイグニッションをONにしてください。

### 表示機能

ボルシェエントリー&ドライブ非装備車の場合、セントラルロックボタンライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。ボルシェエントリー&ドライブ装備車の場合、ドアのインジケータライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

### 警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケータライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### 警報システムが作動し、車室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーが作動解除されます。

車両をロックしたときにインジケータライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

### セントラルロックシステムおよび警報システムの故障

インジケータライトが10秒間点灯した後、短く2回ずつ20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムが無効になります。

### **i** インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

### 作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ロック解除  
-または-  
イグニッションをONにします。

### 車室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリングシステムと傾斜センサー\*を一時的にOFFにする必要があります。

▶ 「ドアをロックする」(130ページ)を参照してください。

- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

### **i** インフォメーション

室内モニタリングシステムと傾斜センサーは、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、必ずこのマニュアルの該当する章をお読みください。







一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルードレベルは定期的に点検してください。

### 警告と情報メッセージの分類

<b>赤色</b>	システムの故障または警告
<b>黄色</b>	故障、システム故障、情報、または指示
<b>白</b>	故障、システム故障、情報、または指示

### 安全

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 安全ベルトを装着します	シートベルトが着用されていません。 ▶ シートベルトを着用してください。
	助手席エアバッグ オン/オフ	助手席エアバッグが ON または OFF です。
	<b>故障</b> エアバッグ表示灯 要修理	エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングを解除します	ステアリングロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリングホイールを左右に回して、ステアリングロックを解除してください。
	完了するとハンドルが ロックされます	ステアリングロックが作動していません。 ▶ ステアリングホイールをロックするには、車両をロックしてください。

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	安全			
か	インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置	
さ		故障 ステアリングサポート 上昇したトルク - 消費 継続走行可	パワー ステアリングは利用できません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
た		ステアリングサポート制限中 相応の継続走行可	パワー ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
な	(!) 点灯		ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	ブレーキ液面が低過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は	(!) 点灯		故障 制動力配分 安全な場所に停車して下さい	制動力配分に故障があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	(!) 点灯		ブレーキ冷却 故障	ブレーキ温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や	(!) 点灯		故障 ABS/PSM 相応の継続走行可	ABSまたはポルシェスタビリティマネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら	(!) 点灯		摩耗限度ブレーキング 要交換 継続走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。			

安全		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
 点滅		<b>緊急ブレーキ</b> 電動パーキング ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
 点灯		<b>故障</b> <b>パーキングブレーキ</b> パーキング ブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<b>電動パーキングブレーキが サービスモードです</b> パーキング ブレーキがサービス モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅		<b>パーキングブレーキ解除</b> パーキング ブレーキが作動しています。 ▶ 電動パーキング ブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 「エレクトリック パーキング ブレーキ」(206 ページ)を参照してください。
 点灯		<b>ブレーキペダルを操作</b> パーキング ブレーキが作動しています。 ▶ 電動パーキング ブレーキを解除するときは、ブレーキ ペダルを踏んでください。
		<b>雨 / 光センサー故障 修理が必要です</b> 雨 / 光センサーが故障しています。 ▶ フロントウィンドウ ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅		<b>コーナリングライト故障 要修理</b> コーナリングライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯		<b>ドライビングライト制御故障 要修理</b> ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<b>ヘッドライトレベリング制御故障 要修理</b> ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## 安全

インストールメント  
パネルの表示

マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

か



点滅



ヘッドライト制御 故障  
要修理

ヘッドライト制御が故障しています。  
▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

さ



例：  
左前ウinkerを点検します

インジケーターライトが故障しています。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

た



ハイビームアシスト使用不可  
ハイビーム手動で操作  
要修理

ハイビームアシスタントが故障しています。  
▶ ハイビームを手動で点灯してください。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

な



ハイビームアシストオフ,  
加減視野無  
場合により要洗浄

カメラの不具合により、ハイビームアシスタントが一時的に使用できなくなっています。  
▶ 必要であればフロントウィンドウを清掃してください。

は



PDLs+ 制限中  
加減視野無  
場合により要ガラス洗浄

エラーが継続する場合：  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

ま



故障 PDLs+  
ハイビーム手動で操作  
要修理

カメラの故障により、ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLs Plus) は一時的に使用できません。  
▶ 必要であればフロントウィンドウを清掃してください。  
エラーが継続する場合：  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

や

ら

サイドマーカーランプ点灯

ドライビングライトまたはパーキングライトが点灯しています。

パーキングライトオン

左または右のパーキングライトが点灯しています。

わ



ワイパー故障  
要修理









ワイパーが故障しています。  
▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

A-Z

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 安全

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
 点灯		<b>タイヤ点検</b> 1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▷ 「タイヤ損傷の点検」[143 ページ]を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▷ 「パンク」[195 ページ]を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気の充填」[142 ページ]を参照してください。
 点灯		<b>空気を充填</b> 1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気の充填」[142 ページ]を参照してください。
 点滅または 点灯		<b>故障 監視タイヤ圧 要修理</b> タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅または 点灯		<b>監視タイヤ圧 短時間 無効</b> タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) に一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

77

あ

## 安全

か

さ

た

な

は

ま

や

ら


わ

A-Z

78


インストールメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

 点滅または  
点灯


監視無効化  
システム 学習 25 km/h 以上  
(16 mph)

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。  
このプロセスを実行中は、マルチファンクションディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。  
▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。

 点滅または  
点灯


ホイールを交換しますか?  
選択し直します

タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。  
▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を更新してください。  
▶ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」 [139 ページ] を参照してください。

 点灯


コンフォートプレッシャー  
/ タイヤ圧  
速度を落とす

設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。  
▶ 速度を落としてください。  
▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。  
▶ 「タイヤ空気の充填」 [142 ページ] を参照してください。

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	油量最低以下 直ちにオイル充填	<p>オイルレベルが最低値を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。</li> <li>▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください： <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」(54 ページ)を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。</li> <li>▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(55 ページ)を参照してください。</li> </ul>
	油量上限超過 整備工場へ 継続走行可	<p>オイルレベルが最大値を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可	<p>オイルレベル測定に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	油量最低以下 必要充填	<p>オイルレベルが最低値に達しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エンジン オイルを補充してください。</li> <li>▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(55 ページ)を参照してください。</li> </ul>
	現在オイルレベル表示は 不可	<p>特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- エンジン冷間時。</li> <li>- エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時</li> <li>- エンジン油温が高すぎます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ オイルレベル測定を再度実施してください。</li> <li>▷ 「エンジン オイルレベルの測定と表示」(54 ページ)を参照してください。</li> </ul>

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エンジン

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

油圧が低すぎます  
停車して下さい

- エンジン油圧が低過ぎます。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。
  - ▶ 運転を続けしないでください。
  - ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。
  - ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください：
  - ▷ 「エンジン オイル レベルの測定と表示」(54 ページ)を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。
  - ▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(55 ページ)を参照してください。
  - ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示される場合は、運転を続けしないでください。
  - ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

故障 油圧測定  
継続走行可  
整備工場へ

- オイル圧力測定に故障があります。
- 継続走行可能です。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

油温高過ぎ  
負荷軽減

- エンジン油温が高過ぎます。
- ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。
  - ▶ 運転を続けしないでください。
  - ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください：
  - ▷ 「エンジン オイル レベルの測定と表示」(54 ページ)を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてエンジン オイルを補充してください。
  - ▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(55 ページ)を参照してください。

故障 表示油温  
継続走行可  
整備工場へ

- エンジン油温計が故障しています。
- 継続走行可能です。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
クーラント表示が 最高マーク	 <b>すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可</b>	クーラントレベルが低過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充する。 ▷ 「クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する [4 シリンダー モデル]」 [64 ページ] を参照してください。  エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <b>冷却水要充填 クーラント温度要監視</b>	クーラントレベルが低くなっています。 ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充する。 ▷ 「クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する [4 シリンダー モデル]」 [64 ページ] を参照してください。  エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
クーラントまたは エンジン オイルの 温度表示が最高 マーク	 <b>クーラント温度超過 停車して冷まして下さい</b>	クーラント温度またはエンジン油温が高過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン オイル レベルを点検してください： ▷ 「クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する [4 シリンダー モデル]」 [64 ページ] を参照してください。 ▷ 「エンジン オイル レベルの測定と表示」 [54 ページ] を参照してください。 ▶ クーラントまたはエンジン オイルを、必要に応じて補充してください。  エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

82

## エンジン

インストルメント  
パネルの表示

マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置



故障表示  
冷却水温  
継続走行可  
整備工場へ

冷却水温度計が故障しています。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



故障冷却システム  
整備工場へ  
要修理

冷却システムが故障しています。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



故障エンジン  
全負荷回避  
継続走行可

エンジンコンパートメントブロワーが故障しています。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



低下したエンジン出力  
継続走行可  
整備工場へ

エンジン出力が低下します。  
継続走行可能です。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



故障エンジン制御  
整備工場へ  
継続走行可

エンジン制御システムが故障しています。  
継続走行可能です。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

水温計の警告灯が  
点滅します。






故障  
エンジン制御

エンジン制御システムが故障しています。  
▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



触媒コンバーターの加熱フェーズ  
エンジンが作動温度に達すると、このシンボルマークはすぐに消灯します。

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>微粒子フィルターを確認 取扱説明書をお読みください</b>	<p>粒子フィルターがすすでいっぱいです。 フィルターを自動清掃するためのドライビングスタイルで運転してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スポーツ走行プログラムを選択します。</li> <li>▶ クルーズコントロールおよびアダプティブクルーズコントロール (ACC) を OFF にします。</li> <li>▶ (可能であれば路上で) 最高許容速度まで加速し、アクセルペダルから足を完全に離して再度減速します。</li> <li>▶ メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<b>微粒子フィルター 継続走行可 整備工場へ</b>	<p>粒子フィルターがすすでいっぱいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<b>微粒子フィルター 安全な場所に停車してください</b>	<p>粒子フィルターがすすでいっぱいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。*</li> </ul>
* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## 車両

インストールメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

か

故障ジェネレーター  
停車して下さい

オルタネーターが故障しています。

- ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

さ

バッテリー機能制限中  
整備工場へ

バッテリー機能が制限されます。  
継続走行可能です。

- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

た

バッテリー弱  
エンジンを始動し  
しばらく稼働させて下さい

バッテリーの残量が低過ぎます。

- ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。

な

バッテリー残量低  
電力消費物オフ

バッテリーの残量が低過ぎます。  
バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。  
継続走行可能です。

は

停車中にバッテリー保護  
が有効でした

バッテリー保護が有効です、または有効でした。  
バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。  
継続走行可能です。

ま

バッテリーの放電  
保護が有効です  
容量 xx %

バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。  
バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。  
継続走行可能です。

- ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電してください。
- ▶ 「バッテリーの充電」[189 ページ]を参照してください。

や

バッテリー要充電  
正しい極性に注意

バッテリーの残量が低過ぎます。

- ▶ バッテリーを充電してください。
- ▶ 「バッテリーの充電」[189 ページ]を参照してください。

わ

エンジンを手動で  
始動してください

- ▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。

A-Z

\* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



車両		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 ギアレバーを正確に入れて下さい	PDK 装備車：セレクターレバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください。
	 選択レバーをP位置にします	PDK 装備車：キーを抜き取る前や駐車する場合は、選択レバーをP位置にします。 ▶ 選択レバーをP位置にします。
	 選択レバーをP位置またはN位置にします	PDK 装備車：セレクターレバーがPまたはNの位置にあるときのみ車両を始動することができます。 ▶ 選択レバーをP位置またはN位置にしてください。
	 ブレーキを踏んでください	PDK 装備車：ブレーキペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 <b>T/M 故障</b> 安全に停車してください	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。インストルメントパネルにセレクターレバーの位置が表示されなくなります。次に停車するまでは走行が可能です。運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(69ページ)を参照してください。
	 ドライブが過熱しています 冷却のため停車して下さい	PDK 装備車：トランスミッション温度が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 <b>T/M 故障</b> リバースギヤ不可 運転可能	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。リバースギヤに入らないことがあります。スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## 車両

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

か

T/M  
温度高すぎる  
負荷を下げる

PDK 装備車：トランスミッション温度が高過ぎます。  
継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。

- ▶ 適切な場所に停車してください。
- ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。
- ▶ アクセルペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。
- ▶ 警告が消えるまでセレクターレバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。

さ



クラッチを踏みます

マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルが踏まれているときのみ始動可能です。

- ▶ 始動時はクラッチペダルを踏んでください。

な



非常通報が有効です

車両からの緊急通報がセキュリティオペレーティングセンター (SOC) で確認されました。

は

緊急通報故障  
整備工場へ

緊急通報機能が故障しています。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

ま



非常通報機能故障

車両からの非常電話を、セキュリティオペレーティングセンター (SOC) に転送できませんでした。

や

非常通報のサービス契約  
が終了しました

緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェサービスポータルで延長可能です。

ら

表示外気温故障  
要修理

外気温表示に故障があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

わ

故障時に  
要減速

走行安定性が損なわれます。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

A-Z

減速してください  
幌を  
停止位置へ移動

- ▶ コンバーチブルトップを全開または全閉にしてください。

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	コンバーチブルトップのサービス位置への移動 車両を走行させないでください	コンバーチブルトップがサービス位置にあります。 ▶ サービスポジションから移動させてください。
	フードを開きます/閉じます	終端位置になるとメッセージが消えます。
	ソフトトップコントロールシステムの故障 要修理	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例： xxx km 以内に修理してください。	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。
燃料警告灯が点灯	 目的地までの距離に注意してください	燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「補給」[234 ページ]を参照してください。
	故障 燃料計 修理が必要です	燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ドア/後ろカバー開	▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。
	洗浄水を補充します	洗浄水が空です。 ▶ 洗浄水を補充してください。 ▷ 「洗浄水」[138 ページ]を参照してください。
	ポルシェ エントリー&ドライブ 故障	ポルシェ エントリー&ドライブが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	キーが見つからない/障害 キーの位置を変更してください	ポルシェ エントリー&ドライブ装着車： キー位置が正しくありません。 ▶ キーを携行するか、キー位置を変更してください。
* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## 車両

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

か



キーをトランクから抜いて下さい

ボルシェ エントリー & ドライブ装着車：  
キーがラゲッジコンパートメント内にあります。  
▶ ラゲッジコンパートメントからキーを取り出してください。

さ

車両内に複数のキー  
が検知されました

ボルシェ エントリー & ドライブ装着車：  
複数のキーが車内にあります。(乗員の荷物の中など)

た

車両キー内のバッテリー  
を交換します

キーの電池が消耗しています。  
▶ 電池を交換してください。  
▷ 「キーのバッテリー交換」(174 ページ)を参照してください。

な

イグニッションキー  
を抜いて下さい

▶ イグニッションキーを抜き取ってください。

は

作動部品：左に回し、  
引き抜き、キーを挿入します

ボルシェ エントリー & ドライブ装着車：  
車内にキーが検出されません。  
イグニッションを ON にできず、エンジンを始動できません。  
▶ コントロールユニットをイグニッションロック位置 0 に戻し、イグニッションロックから取り外してください。  
▶ キーを使用してイグニッションを ON にしてください(エマージェンシーキーは除く)。

ま

や

ら

わ

A-Z



















\* ボルシェ では ボルシェ 正規販売店 のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ドライビング システム

インストルメント  
パネルの表示

マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

 点灯		<b>故障 PSM 要修理</b>	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムが故障しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ 正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
			
			
 点灯		<b>故障 ABS/PSM 整備工場へ 相応の継続走行可</b>	ポルシェ スタビリティ マネージメントが故障しています。 継続走行可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ 正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
			
 点灯		<b>PSM オフ</b>	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が OFF になっています。
		<b>PSM オン</b>	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になっています。
 点滅		<b>PSM が診断モードです</b>	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が診断モードです。
			
			
			
		<b>PADM 無効 要修理 継続走行可</b>	ポルシェ アクティブドライブトレイン マウント (PADM) が無効になっています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ 正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ ではポルシェ 正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## ドライビング システム

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

90

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置



故障 懸架装置

サスペンション システムが故障しています。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

故障 懸架装置  
相応の継続走行可

サスペンション システムが故障しています。  
ハンドリング性能に悪影響が出ます。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

故障 アシスタンス /  
カメラ  
要修理

アシスタンス システムまたは車両カメラが故障しています。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

視野 前面カメラ制限中  
場合により要ガラス洗浄

アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。

- ▶ 必要であればフロント ウィンドウを清掃してください。

エラーが継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

ラウンチ  
コントロールが  
有効です

ローンチ コントロールが作動しています。

システムエラー  
走行可能  
整備工場へ

複数の電気システムのシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

故障 音声出力  
デバイス /  
カメラ前  
要修理

警告音およびパーキング アシスタントなどの距離信号が使用できません。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング システム		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	故障 音声出力 パークアシスト 要修理	警告音およびパーキングアシスタントの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 パークアシスト	パーキングアシスタントが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 先行車両との車間距離を大きくしてください。
	ACC 使用不可 センサーに汚れ 要洗浄	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブクルーズコントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ センサーの清掃が必要な場合があります。  エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ACC/PAS 使用不可 要修理	アダプティブクルーズコントロール (ACC) が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。  エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ACC / 走行制御 不可 ギアレバー-D/M へ切替	PDK 装備車： アダプティブクルーズコントロール (ACC) はセレクターレバーが D 位置または M 位置にある場合にのみ可能です。 ▶ セレクターレバーを D 位置または M 位置に入れてください。
	制限 1 / 制限 2 を越えました	設定した速度制限 1 または 2 を超過しています。

\* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## ドライビング システム

インストールメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

か

**LCA 現在使用不可**

レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。

さ

**LCA 故障  
要修理**レーンチェンジアシスト (LCA) が故障しています。  
▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

た

**LCA  
センサー遮断  
リパブ - 要洗浄**レーンチェンジアシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、または氷結などにより遮断されています。  
▶ センサーの清掃が必要な場合があります。

\* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## コンバーチブルトップ

- ▶ 「車両のお手入れ」(108 ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

### 知識

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバーチブルトップを操作しないでください。
  - 温度が0℃以下のとき。
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
- ▶ エンジンを停止した状態でコンバーチブルトップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- ▶ 走行するときは、コンバーチブルトップは必ず完全に開いた状態が完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ コンバーチブルトップの開閉はコンバーチブルトップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると、布地やラバーが傷んだり色褪せが起こったりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ コンバーチブルトップは、水平な路面を走行しているときのみ操作できます。
- ▶ 強風や嵐のときはコンバーチブルトップを作動させないでください。

## コンバーチブルトップの開閉操作

### 警告

コンバーチブルトップの開閉

コンバーチブルトップを開閉するときは、コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドと固定車両部品との間に身体の各部分が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況でキーによるコンバーチブルトップの操作はしないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにボタンもしくはキーのボタンから手を放し、操作を中止してください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じるときは、サンバイザーのパニティーミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブルトップの全開または全閉後にコンバーチブルトップの開閉操作をすると、**コンバーチブルトップが開閉する**ときに、フロントサイドウィンドウが自動で開いて、その後再び自動で閉じます。

### 車内のボタンを使用したコンバーチブルトップの開閉

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ✓ 最高速度は最大約50km/hです。制限速度を超えると開閉操作は中断します。

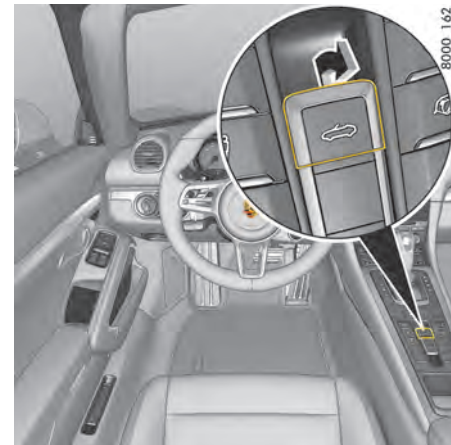


図 56: ボタンによるコンバーチブルトップの開閉操作

### コンバーチブルトップを開く (最大速度約10 km/h)

- ▶ コンバーチブルトップが終端位置に達するまで、またはサイドウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップ開ボタンを引き続けてください。マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合:

- ▶ ボタンを放してください。コンバーチブルトップは作動を停止します。

### 約10km/hから約50km/hの速度でコンバーチブルトップを開く (国によって異なります)

- ▶ コンバーチブルトップ開ボタンを短く引いてください。コンバーチブルトップが自動で開きます。マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ もう一度ボタンを短く引いてください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。



図 57: ボタンによるコンバーチブルトップの閉操作

## コンバーチブルトップの閉操作


- ▶ コンバーチブルトップが終端位置に達するまで、またはサイドウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップ閉ボタンを引き続けてください。  
マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。

## 車両キーを使用してコンバーチブルトップを閉じる (国別仕様)

1. 車両をロック解除します。

2. コンバーチブルトップが終端位置になるか、サイドウィンドウが希望の位置になるまで、キーの  ボタンを押し続けてください。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。

## ウィンド デフレクターの取り外し/取り付け

### 知識

- ▶ すべてのウィンド デフレクター部品が正しい位置にしっかり固定されていることを確認してください。特にコンバーチブルトップを開いて走行するときは注意してください。

## アウター ウィンド デフレクターの取り付け

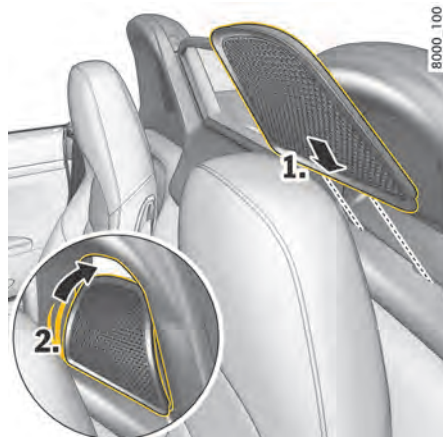


図 58: アウター ウィンド デフレクターの取り付け

1. ウィンド デフレクターを前方からロールオーバーバーの底部に差し込んでください。

2. ウィンド デフレクターをわずかに曲げて、ロールオーバーバーの上部にはめ込んでください。
3. ウィンド デフレクターがロールオーバーバーに完全にはまっているか確認してください。

## アウター ウィンド デフレクターの取り外し

- ▶ ウィンド デフレクター部を前方に押ししてロールオーバーバーから取り外してください。

## センター ウィンド デフレクターの取り付け

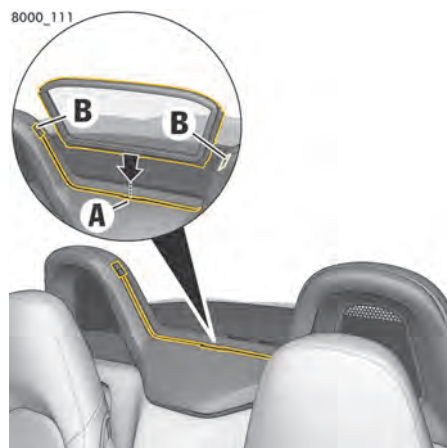


図 59: センター ウィンド デフレクターの取り付け

- ▶ ウィンド デフレクターを上方からマウント A に差し込み、次に固定箇所 B でカチッと音がするまでウィンド デフレクターを押し下げてください。

## センター ウィンド デフレクターの取り外し

- ▶ 固定箇所 B の 1 つを押して、ウィンド デフレクターをマウント A から引き上げて取り外してください。

**i** インフォメーション

コンバーチブルトップが閉じているときに、センターウィンドデフレクターを取り外すと車内の換気が促進され、リヤウィンドウの曇りを防ぐことができます。特に寒く湿度の高い場合に有効です。

## コンバーチブルトップの緊急操作

**▲ 警告**

緊急作動中のコンバーチブルトップの作動

- ▶ 緊急作動を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急操作を行っている間は、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。

**知識**

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作中または直後、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## コンバーチブルトップシステムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- コンバーチブルトップをボタンで操作するとき、イグニッションをONにしましたか？
- ヒューズに不具合がありませんか？

- ▶ 「ヒューズの点検および交換」(198 ページ)を参照してください。
- ▶ ウィンドデフレクターおよびコンバーチブルトップが不意に動き出さないよう、キーを抜き取ってください。

## ステップ1：コンバーチブルトップ機構へのアクセス

1. 運転席と助手席のシートを前方に動かして、バックレストを前に倒してください。

**▲ 注意**

鋭い外端部

ベルトリールトリムの鋭い外端部で皮膚を傷つける恐れがあります。

- ▶ これらのトリムの取り扱いには特に注意してください。

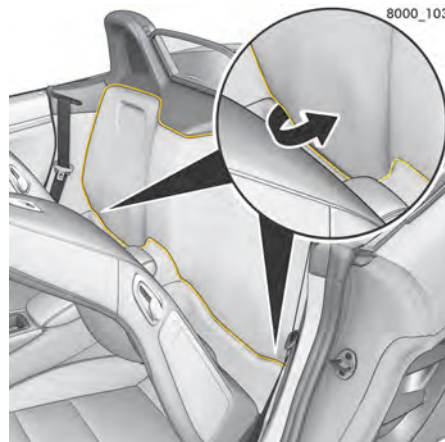


図 60: コンバーチブルトップ機構へのアクセス

2. カーベットの隙間(図.60)に手を入れて、ベルトリールトリムに沿って下からカーベットを注意深く引き出して折り畳んでください。

## ステップ2：コンバーチブルトップドライブの解除

1. 車載工具から両口スパナ(13 A/F)を取り出してください。
- ▶ 「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ)を参照してください。

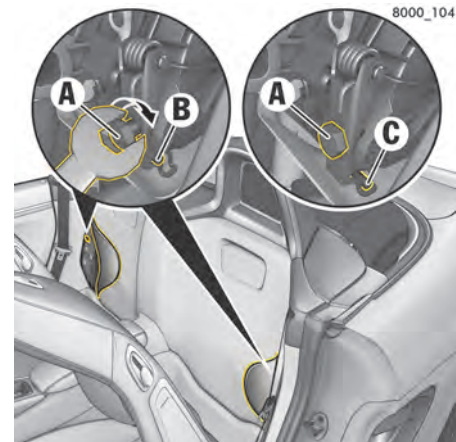


図 61: コンバーチブルトップドライブの解除

2. 両口スパナを使用して、ガイドピンBがC位置になるまで、スクリューAを時計方向に約3回転回してください。
3. 反対側でも同じ手順を繰り返してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ステップ3：コンバーチブルトップ機構を小物入れから引き出す

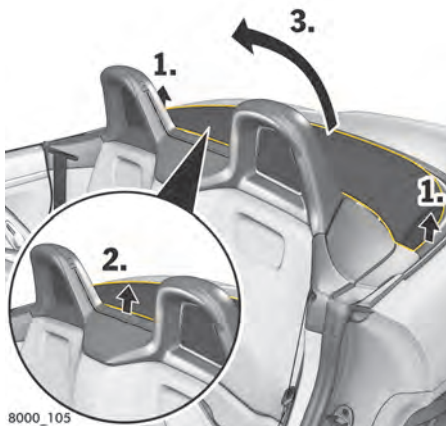


図 62: コンバーチブルトップ機構を小物入れから引き出す

▶ 車両に乗ってください。

1. 片方の手でコンバーチブルトップの右または左側を持ち上げてください。
2. もう片方の手でコンバーチブルトップの中央をつかんでください。
3. コンバーチブルトップを収納部から約半分閉じる位置まで引き出してください。

## ステップ4：コンバーチブルトップの閉操作

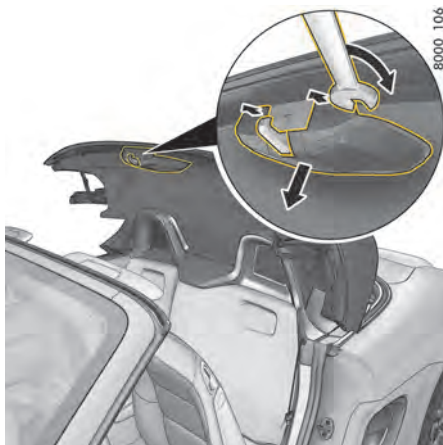


図 63: コンバーチブルトップロックカバーの取り外し

1. スパナを使用して注意深くこじり、コンバーチブルトップロックのプラスチックカバーを固定箇所(図.63)から外してください。

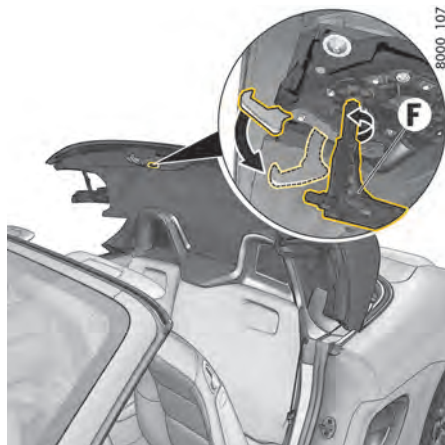


図 64: コンバーチブルトップラッチフックの展開

2. コンバーチブルトップの緊急操作用キーFを車載工具から取り出してください。
  - ▶ 「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ)を参照してください。
3. キーFをコンバーチブルトップロックに差し込み(図.64)、反時計方向に回してラッチフックを完全に開いてください(回すときに抵抗を感じます)。

8000\_107

8000\_105

8000\_106

F

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

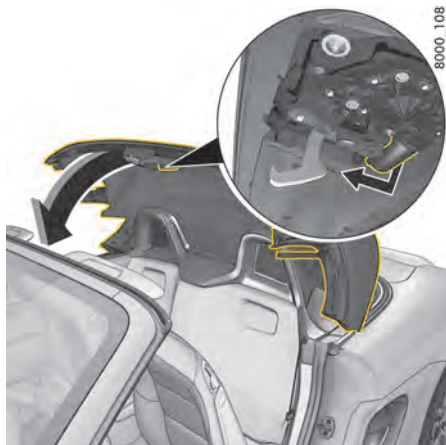


図 65: コンバーチブルトップをフロント ウィンドウのフレームに引き寄せ

- 4 コンバーチブルトップのコンバーチブルトップモーター部(図.65)を手でつかみ、フロント ウィンドウ フレームに引き寄せてください。

**▲ 注意**

閉じるときに挟まれてケガをする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブルトップが作動する範囲内またはコンバーチブルトップロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

- ▶ 以下に注意してください。
- 閉じるときは、コンバーチブルトップの作動範囲内に誰もいないこと。
- コンバーチブルトップの可動部やコンバーチブルトップロック周辺のエリアに手を入れないでください。

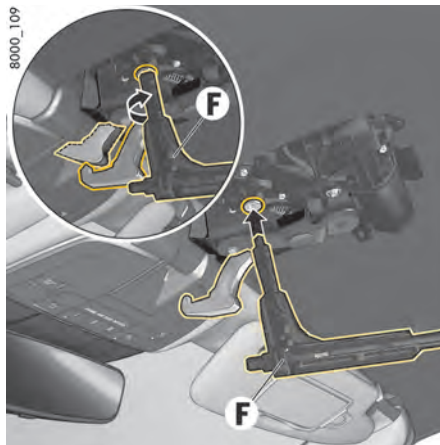


図 66: コンバーチブルトップのロック

- 5 コンバーチブルトップを完全に閉じる場合、ラッチフックがキャッチに完全に噛み合い、コンバーチブルトップが完全に閉じるまで、キー F を時計回りに回してください(回すときに抵抗を感じます 図.66)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## サンバイザー

### サンバイザーの調節

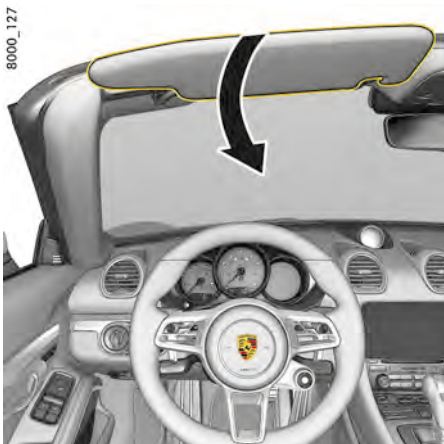


図 67: サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

### バニティー ミラーを開く

#### ⚠ 注意

バニティー ミラーの  
カバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はカバーを閉じてください。

8000\_128

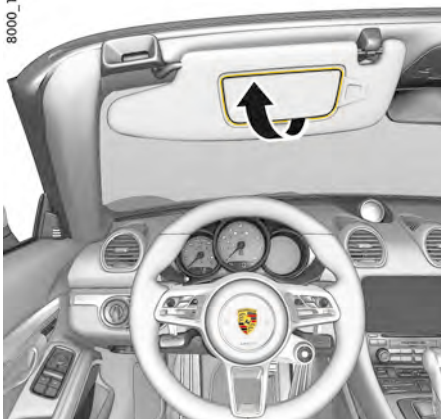


図 68: バニティーミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのカバーを開きます。  
バニティーミラーのライトが点灯します。

#### 知識

バニティーミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

## シート

## 適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキペダルをいっばいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。シートのバックレストの角度とステアリングホイールの位置は、腕がほとんどまっすぐ伸ばされた状態になるように調節してください〔フルポケットシートを除く〕。ただし、肩はバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

## シートの調節



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

## 知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。



## インフォメーション

チャイルドシートシステム用 ISOFIX リテーニングラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

## スポーツシート/スポーツシートプラスの調節

8000\_37

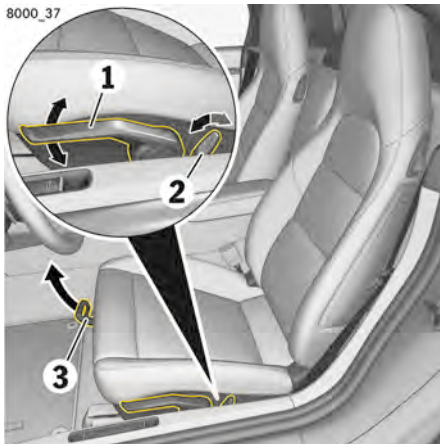


図 69: スポーツシート/スポーツシートプラスの調節

- 1 シートの高さ調節
- 2 シートバックレストの角度調整
- 3 シートの前後調節

- ▶ レバー **1** を操作して、シートを希望の高さに調節してください：  
レバーを上げる = 座面が上昇します。  
レバーを下げる = 座面が下降します。
- ▶ スイッチ **2** を操作して、シートバックレストを希望の角度に調節してください。
- ▶ ロックレバー **3** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。  
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

## フル電動スポーツシートの調節

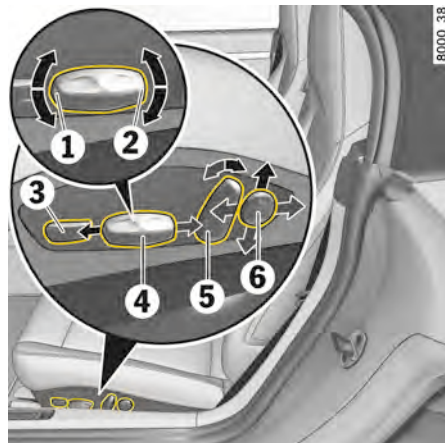


図 70: フル電動スポーツシートの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートの前後調節
- 5 シートバックレストの角度調整
- 6 ランバーサポートの調節

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

### アダプティブスポーツ シート プラスの調節

8000\_39

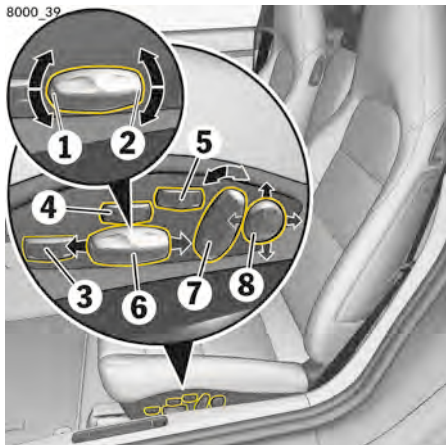


図 71: アダプティブスポーツ シート プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートクッションのサイドボルスターの調節
- 5 シートバックレストのサイドボルスターの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 シートバックレストの角度調整
- 8 ランバーサポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

### フルバケット シートの調節

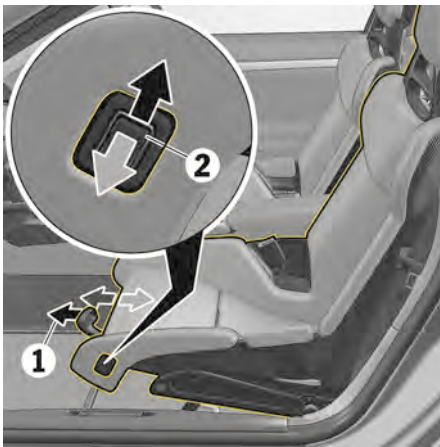


図 72: フルバケット シートの調節



危険

チャイルドシートの  
使用

フルバケット シートでのチャイルドシートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

フルバケット シートでチャイルドシートを使用した場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ フルバケット シートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ ロックレバー **1** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。  
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

- ▶ スイッチ **2** を矢印方向に押し、希望のシート位置、または最低 / 最高位置になるまで調節してください。

### シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」(193 ページ) を参照してください。

### バックレストを倒す

8000\_40

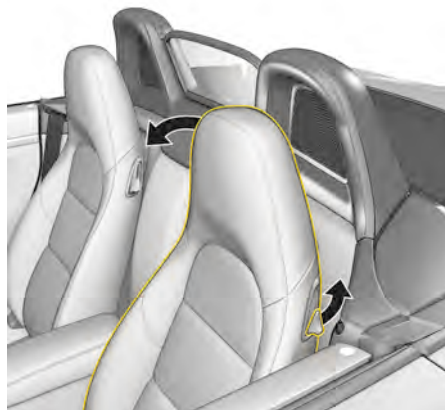


図 73: バックレストを倒す

### バックレストを倒す

- ▶ シートバックレストの側面にあるレバーを引き上げて (図 .73)、バックレストを前方に倒してください。



## バックレストを垂直位置に調節する

### ▲ 警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ シートバックレストをカチッとほまるまで後方へ倒してください。

## イージーエントリー機能を使用する

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

- ▶ 「イージーエントリーの ON/OFF」(246 ページ)を参照してください。

### ▲ 注意

運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- ▶ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージーエントリー機能を OFF にしてください。

## 降車するとき

- ✓ 機能が作動している。

ボルシェエントリー&ドライブ非装備車：

1. キーを抜き取ってください。  
ステアリングホイールが上方に移動します。
2. 運転席ドアを開いてください。  
運転席シートが後方に移動します。

ボルシェエントリー&ドライブ装着車：

- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。  
ステアリングホイールが上方に移動します。  
運転席シートが後方に移動します。

## 乗車するとき

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ 運転席シートおよびステアリングホイールがイージーエントリー位置にある
- ▶ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、またはボルシェエントリー&ドライブ装備車の場合はイグニッションを ON にしてください。  
運転席シートとステアリングホイールが保存した位置まで戻ります。

### i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

### i インフォメーション

- シート設定を手動で変更すると、イージーエントリー機能が中断します。
- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

## シートヒーター/シートベンチレーターを ON/OFF にする



図 74: シートヒーターボタン

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図 75: シートベンチレーターボタン

### シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 該当のボタンを押してください(数回)。ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーターライトが点灯します。

### シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ 該当のボタンをすべてのインジケーターライトが消灯するまで(数回)押してください。

## i インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が 15 °C を下回っているときは、シートベンチレーターを使用できません。バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

## シートベルト

### シートベルトの正しい使用方法

#### ⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ ゆったりした衣服やかさばる衣服(ジャケットなど)は、シートベルトの正しい装着および動きの自由が制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください(例:メガネ、ボールペン、携帯電話など)。衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。

#### ⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- ▶ シートベルトバックルが汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 「シートベルトの清掃」(113ページ)を参照してください。

### シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件:

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が横転した場合

#### i インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

### シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

イグニッションをONにすると、運転席側または助手席側のシートベルトが着用されるまでインストルメントパネル内の赤色の警告灯が点灯します。

さらに、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

約24km/h以上の速度で走行している場合、運転席側または助手席側(乗車している場合)のシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、インストルメントパネルの赤い警告灯が点滅します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## シートベルトを着用する

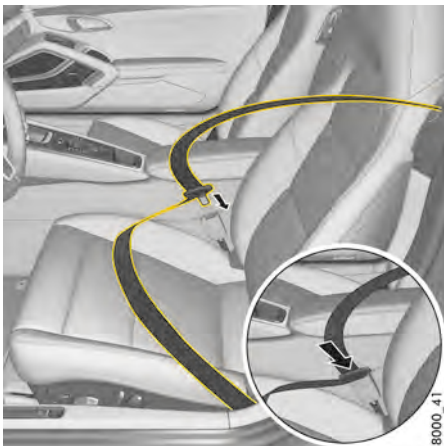


図 76: シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
- 2 シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
- 3 シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

**i** インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 傾斜地。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

- 4 シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください(図. 76)。
- 5 シートベルトが引っかかり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
- 6 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。妊娠中の方の場合：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

## シートベルトバックルを解除してシートベルトを外す

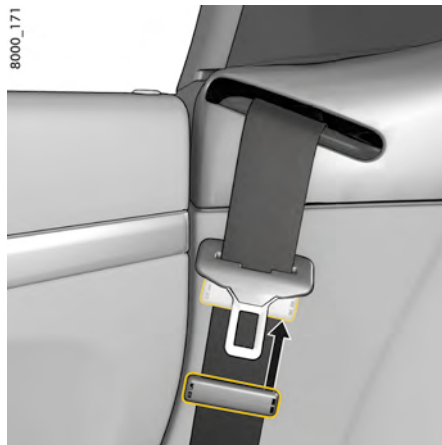


図 77: シートベルトを外す

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
- 2 シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
- 3 シートベルトのバックルプレートを、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチックスライドで固定してください(図. 77)。  
プラスチックスライドがシートベルトラッチを手の届きやすい位置で保持します。

## ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

サイドスカートのジャッキアップポイントのエリアには矢印マークがあります。

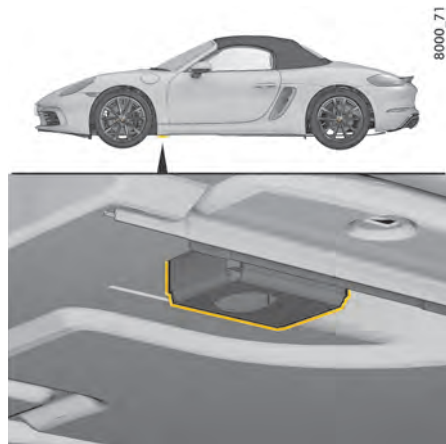


図.78: フロント側のリフティングプラットフォームとジャッキのジャッキポイント

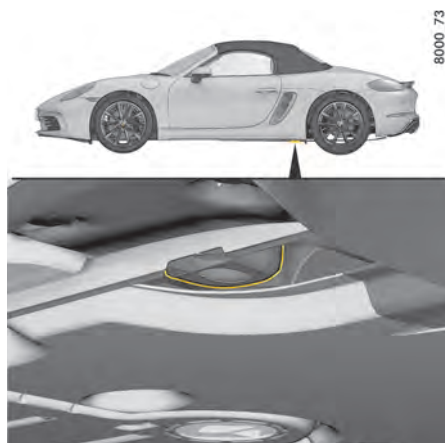


図.79: リヤ側のリフティングプラットフォームおよびジャッキ用のジャッキポイント

### 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップポイント (図.78、図.79) で持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させて**なおかつ**、ギヤレバーをニュートラル位置に入れるか、セレクトレバーを**P**の位置にしてください。

▶ 「ホイール交換」(146ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパーケーブルを使用して外部電源を接続することができます。両方のバッテリーを12Vにする必要があります。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないよう確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 「バッテリー」(187ページ)を参照してください。

通常の作動状態でジャンパーケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

### 警告

不適切なジャンパーケーブルや始動手順

不適切なジャンパーケーブルを使用した場合や、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ ジャンパーケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 導電性の装飾品(指輪、チェーン、時計ストラップなど)が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパーケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパーケーブルは、必ずジャンパーケーブル接続用端子に接続してください。

### 警告

凍結または損傷したバッテリーのジャンプスタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプスタートすると、爆発したり酸による火傷を負う危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーには決してジャンパーケーブルを接続しないでください。

### 注意

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

## ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

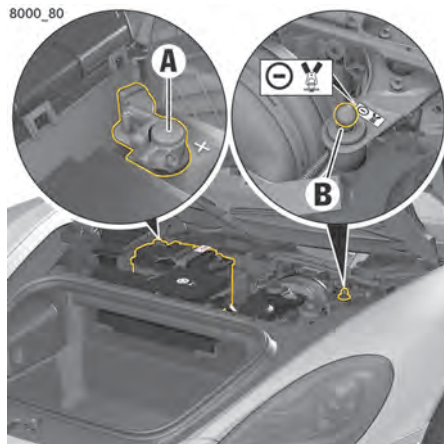


図 80: バッテリー端子

- A プラス端子 +  
B アース箇所(マイナス端子) -

1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。
  - ▷ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(268ページ)を参照してください。
2. フロントラゲッジコンパートメントのカバーを取り外してください。
  - ▷ カバーを取り外すには: 「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263ページ)を参照してください。
3. 充電器の赤色のプラスケーブルを放電したバッテリーのプラス端子Aに接続してください。

4. 赤色のプラス ケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナス ケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. マイナス側のケーブル(黒)をアース箇所 **B** に接続してください。マイナス側のケーブル(黒)は**絶対**にバッテリーに直接接続しないでください。
7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動してください。ジャンパーケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース箇所 **B** から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず支援車のバッテリー プラス (+) 端子から赤色のプラスケーブルを外してください。次に、ジャンプスタートした車両のバッテリーのプラス端子 **A** からケーブルを外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 車両のお手入れ

### 警告

ブレーキディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

### i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェは、ポルシェテイクアップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店ではコンディションレポートを発行し、「整備手帳」の小冊子の「ロングライフ保証状態レポート」にその結果を記録します。

### 知識

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- コンバーチブルトップ (Boxster)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム
- 塗装面
- エンジンコンパートメント内の構成部品と電装部品/装備品スペース
- パークアシストセンサー
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) 用レーダーセンサー
- リバースカメラ
- ワイパーブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50cm以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせて使用しないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェットノズルを直接向けしないでください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアクリーナーなど) に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

### 知識

以下を装備した車両の清掃時ポルシェエントリー&ドライブ装備車を清掃する場合、ラゲッジコンパートメントリッドが不意に開き、ラゲッジコンパートメント内に水が浸入する場合があります。

- ▶ 車両を清掃するときは、キーをラゲッジコンパートメントリッドセンサーの範囲外に置いてください。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車体に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両またはコンバーチブルトップは、完全な防漏構造ではありません。車両/コンバーチブルトップの洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェは、ポルシェテイクアップメントのカーケア用品の使用を推奨します。



- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

## 自動洗車機

### 知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください。

危険	守るべきこと
コンバーチブルトップのファブリックを損傷する恐れがあります (Boxster)	▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。
ウィンドウが下がっていると車内に水が入ります (Boxster)	▶ イグニッションをOFFにしないでください。 -または- ▶ 車両をロックします。
洗車機で洗車中にフロントウィンドウワイパーが不意に作動して損傷する恐れがあります	▶ フロント/リアウィンドウワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。

危険	守るべきこと
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ リヤスポイラーを展開している場合、格納してください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

## コンバーチブルトップの清掃 (Boxster)

### 知識

- 高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車機、またはホットワックス処理により、コンバーチブルトップを損傷する恐れがあります。
- ▶ 高圧洗浄機をコンバーチブルトップの洗浄に使用しないでください。
  - ▶ カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動洗車機を使用してください。
  - ▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- ▶ コンバーチブルトップは車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、清潔な水でコンバーチブルトップを洗うのみで十分です。

- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブルトップのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー&コンバーチブルトップクリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- ▶ その後きれいな水でシャンプー&コンバーチブルトップクリーナーを残さず洗い流してください。ポリシェは、ポリシェテクニップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブルトップケア製品を使用してコンバーチブルトップカバーのお手入れを行ってください。コンバーチブルトップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブルトップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。ポリシェは、ポリシェテクニップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。排せつ物に含まれる酸がコンバーチブルトップのゴムを膨張させ、水漏れを起こす原因となります。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントは天候が良いときのみ開いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重に擦って除去してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 塗装面のお手入れ

### 知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

### 知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

## 塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

## 塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポリシェは、ポリシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

## 汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装が変色する原因となります。ポリシェは、ポリシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

## 小さな傷の補修

- ▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポリシェ正規販売店にご相談ください。ポリシェではポリシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。ペイントデータは車両のデータバンクに表示されています。

- ▶ 「車両の識別データ」(285ページ)を参照してください。

## ウィンドウの清掃

- ▶ 「ワイパーブレード」(280ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

フロントサイドウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポリシェ正規販売店にご相談ください。ポリシェではポリシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポリシェは、ポリシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▶ 虫の死骸はインセクトリムーバーで取り除きます。ポリシェは、ポリシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

## アンダーコーティングの補修



エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステム部に防錆剤やアンダーコーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- ▶ エキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒コンバーター、ヒートシールド、およびその周囲には、アンダーコーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポリシェ正規販売店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポリシェ正規販売店にお問い合わせください。

## デコラティブフィルムの清掃

### 知識

清掃中にデコラティブフィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高压洗浄機やスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブクルーズコントロール用レーダーセンサーおよび車両カメラの清掃

### 知識

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と少量の中性洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ホイールのお手入れ

### 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

ブレーキディスクにクリーナー（リムクリーナーなど）が付着した場合、ブレーキディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着した場合、高压洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。金属同士の間による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗剤や不適切なpH値の洗剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください（pH値：4～10）。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポリッシュは、ポリッシュキットのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 「自動洗車機」(109ページ)を参照してください。

## ドア、ルーフ、コンバーチブルトップ、リッドおよびウィンドウシールの清掃

### 知識

インナードアシールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 全てのシールの汚れ（凍結防止剤、砂塵など）を、温かい石鹼水で定期的に清掃してください
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカーケア用品でアウタードアシール、リッドやフラップのシールを保護してください。

## 革製品のお手入れ

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な手入れをすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直ちに取除いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み以外）レザークリーナーで取り除いてください。
- ▶ 容器にある使用上の注意を確認してください。ポリシェは、ポリシェテックアップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。ポリシェは、ポリシェテックアップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

### シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

#### 水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターがOFFです。
- ✓ 直射日光を避ける。
- 1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を湿る程度に拭いてください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- 2. シートカバーを直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションをONにしないでください。
- 3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## カーペット、フロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。例：清掃などの際に。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポリシェは、ポリシェテックアップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ポリシェは適正なサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

## エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃してエアバッグシステムに浸透させたり、不適切な取り扱いを行うと、システムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ ステアリングホイールのカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

## ファブリックライニングの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

## Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のお手入れ

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のできたマイクロファイバーカバーの清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara® の表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

Alcantara®/Race-Tex 製マイクロファイバーカーの付いたステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でより汚れやすくなります。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、汚れた部分の外側から内側へ軽くたたいてください。

## シートベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## ポルシェコミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の清掃

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用するとPCMに浸透し、不適切な取り扱いを行うとPCMに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCMに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。
- ▶ 湿らせた布で慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

## 車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 「バッテリー」(187ページ)を参照してください。

バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：

- ▶ 「緊急ドアロック」(134ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 収納

### 荷物の収納



**警告**

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていなかったり不適切な位置に配置された荷物は、急ブレーキ、急加速、方向転換、または事故の場合に、位置からずれて車両の乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

#### 知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- カップホルダー
- ペンホルダー付きグローブボックス
- ドアの小物入れ
- 助手席シート側のドアシルポケット
- センターコンソールアームレストの小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- シートバックレストの後方の衣類用フック

### グローブボックスの開閉

#### グローブボックスを開く

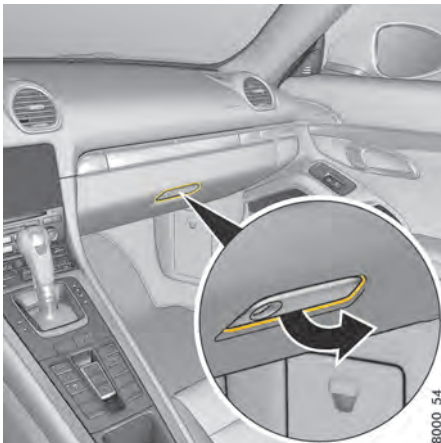


図 81: グローブボックスを開く

- ▶ ハンドル(図.81)を引いて、リッドを開いてください。

#### **i** インフォメーション

グローブボックスリッドの内側にはペンホルダーがあります。

#### グローブボックスを閉じます。

- ▶ 盗難防止のため、エマージェンシーキーでハンドルを常にロックしてください。
- ▶ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(173ページ)を参照してください。

### センターコンソールアームレストの小物入れを開く

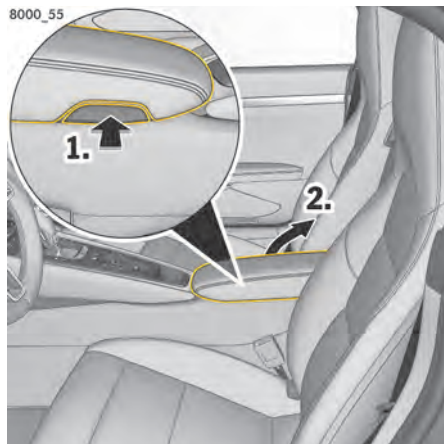


図 82: センターコンソールアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタン(図.82)を押してください。  
リッドが自動的に開きます。

国別仕様に応じて、小物入れにスマートフォントレイが内蔵されているものもあります。

- ▶ 「設定の変更」(165ページ)を参照してください。

## シート後方の外側の小物入れを開く

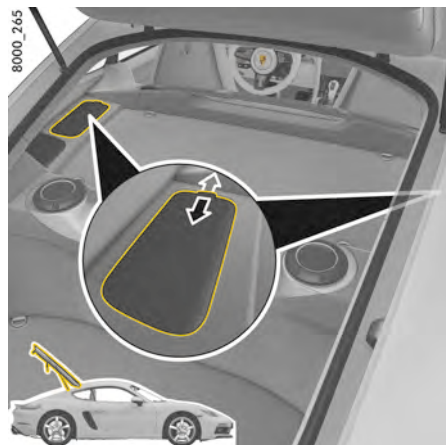


図 83: カバー付きのシート後方の外側の小物入れ

### 開く

- ▶ カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引いてください。

### 閉じる

- ▶ カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押しつけてください。

## ドアの収納ボックスを開く

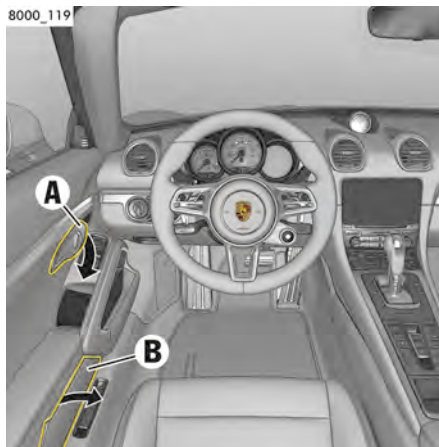


図 84: ドアの収納ボックス

- A** ドアオープナー  
**B** ドアの収納ボックス

- ▶ リッド **B** (図 .84) を持ち上げてください。

### 知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損傷する恐れがあります。

- ▶ ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ステアリングホイール

### ステアリングホイールの調節



**警告**

運転中のステアリングホイールの調節

運転中にステアリングホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

### ステアリングホイールの手動調節



図 85: ステアリングホイール調節用ロックレバー

1. キーをイグニッションロックに完全に差し込んでください。
2. ロックレバーを押し下げてください。
3. シートバックレストの角度や着座位置に合わせて、ステアリングホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。

4. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、ロックレバーを元の位置まで戻してください。

### ステアリングホイールの電動調整



**注意**

メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリングホイールを調節するとき、人や動物がステアリングホイールの動く範囲にいますと、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図 86: ステアリングホイール調節用コントロールスイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているコントロールスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

## ステアリングホイール設定の保存


メモリーパッケージ装備車では、ステアリングホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(193 ページ)を参照してください。

## ステアリングホイールヒーターの ON/OFF



図 87: ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに「図 87 ステアリングホイールヒーターオン」または「ステアリングホイールヒーターオフ」のメッセージが短時間表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタン  を押し続けます。




## スポーツエキゾーストシステム

### スポーツエキゾーストシステムのON/OFFの切り替え



図 88: センターコンソールのスポーツエキゾーストシステム操作ボタン

- ✓ イグニッションがONになっている。  
スポーツエキゾーストシステムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。
- ▶  ボタンを押してください。  
スポーツエキゾーストシステムが作動すると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スポーツクロノストップウォッチ

スポーツクロノストップウォッチはレースサーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。PCMのディスプレイが利用できます（装備によって異なります）。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
  - ラップ距離
  - ラップタイム
  - オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）
- 記録中、以下の項目を表示することができます。
- 現在のラップ回数
  - 最速ラップタイムおよび、それと比較した現在のラップタイム
  - 基準ラップに関して走行した距離の割合
  - 現在のラップタイムが最新のラップタイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラーレート。
  - 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
  - まだ残っている記憶時間
  - オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

## ダッシュボードのストップウォッチ

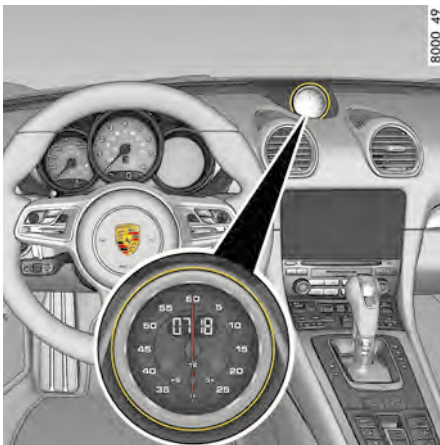


図 89: ダッシュボードのスポーツクロノストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログディスプレイとデジタルディスプレイがあります。

### アナログディスプレイ

- 長針：秒
- 短針：時間と分

このディスプレイは 12 時間が経過するとゼロから再スタートします。

### デジタルディスプレイ

- 秒、1/10 秒、および 1/100 秒

デジタルディスプレイおよびマルチファンクションディスプレイは 99 時間と 59 分まで表示できます。

### ストップウォッチの明るさ調節

- ▷ 「インストルメント照明の明るさ調整」(39 ページ)を参照してください。

### ダッシュボードのストップウォッチライトの ON/OFF


- ▷ 「インストルメント照明の明るさ調整」(39 ページ)を参照してください。

### ストップウォッチに時刻を表示

- ▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(243 ページ)を参照してください。

### ストップウォッチタイムの表示

ラップタイムは異なる場所に表示することができます。

- ダッシュボードのスポーツクロノストップウォッチ
- マルチファンクションディスプレイのクロノメニュー。
- PCM の **CAR** メインメニューの **SC** 

## マルチファンクションディスプレイでの実行

8070\_14



図 90: クロノメニュー

- A ラップカウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップタイム (緑色: 最速ラップよりも速い、黄色: 最速ラップと同タイム、赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 最速ラップタイム
- D サークルディスプレイ (基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す)

### **i** インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。ストップウォッチはイグニッションを OFF にすると停止します。約 4 分以内にイグニッションを再度 ON にすると、ストップウォッチは作動を再開します。

### 計時の開始

- ▶ クロノ ▶ 開始  
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ クロノ ▶ 停止

### 計時の継続

- ✓ 計時が停止している。

- ▶ クロノ ▶ 停止 ▶ 連続

### ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ クロノ ▶ ラップ

ラップカウンターの値 (図 .90、A) が 1 ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム (図 .90、C) として保存されます。現在のラップタイム (図 .90 の B) とサークルディスプレイ (図 .90 の D) の色が変わることによって、現在のラップタイムが最速ラップよりも速いか、遅いか、または同一かを表示します。

### **i** インフォメーション

1 回のセッションで最大 99 ラップを保存することができます。

### 中間ラップの保存

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ Chrono ▶ 中間

中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

### ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止している。

- ▶ クロノ ▶ 停止 ▶ リセット

すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## PCMでの計時の表示

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

## ストップウォッチの表示

- ✓ 計時が開始されている。
  - ▷ 「計時の開始」(119 ページ) を参照してください。

- CAR** ボタン ▶ **SC**
- ストップウォッチ ディスプレイ をスクロール (スワイプ) してください。



図 91: ストップウォッチ ディスプレイ (記録中)

- A 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数  
現在のフューエルレベル
- B まだ残っている記憶時間
- C 最速ラップタイム
- D 現在のラップタイム  
(緑: 最速ラップよりも速い、  
黄: 最速ラップと同タイム、  
赤: 最速ラップよりも遅い)
- E ラップカウンター - 現在のラップ回数
- F サークルディスプレイ (どれだけラップを完了しているかを示す  
基準ラップとの比較して)

## トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されています。
  - ▷ 「計時の開始」(119 ページ) を参照してください。
- ✓ **CAR** ボタン下で ▶ **SC** ▶ **Sport Chrono** 設定 で追加データを記録機能が作動しています。

- CAR** ボタン ▶ **SC**
- トラック進捗ディスプレイ をスクロール (スワイプ) してください。



図 92: 記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 基準ラップ (灰色)
- B 現在の車両位置
- C 現在のラップ  
(緑: 最速ラップよりも速い、  
黄: 最速ラップと同タイム、  
赤: 最速ラップよりも遅い)

## 記録の表示および編集

1回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で 10 時間の記録が可能です。

## 記録の表示

- ✓ 計時が停止している。
  - ▷ 「計時の停止」(119 ページ) を参照してください。



- CAR** ボタン ▶ **SC**
- 記録ページまでブラウズ (スワイプ) してください。
- 記録フォルダーを選択してください。
- 希望の記録を選択して (記録 001 など)、記録を表示させてください。

## 記録データの表示



- CAR** ボタン ▶ **SC**
- 記録ページまでブラウズ (スワイプ) してください。
- 記録フォルダーを選択してください。
- 希望の記録を選択して (記録 001 など)、記録を表示させてください。
- コントローラーの統計 を選択してください。  
個別のラップに関する情報が表示されます。




## 記録のトラック進捗の表示

- ✓ **CAR** ボタン▶SC▶スポーツクロノ設定、追加データを記録機能が作動しています。

1. **CAR** ボタン▶SC▶
2. 記録ページまでブラウザ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの地図を選択してください。  
ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。


## ラップの表示および編集

1. **CAR** ボタン▶SC▶
2. 記録ページまでブラウザ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの統計を選択してください。  
個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

- 保存 : 基準ラップとしてラップの保存
- 地図 : ラップのトラック進捗を表示
- 削除 : ラップの削除


## 基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止され、リセットされている。  
▶「マルチファンクションディスプレイでの実行」(119ページ)を参照してください。

1. **CAR** ボタン▶SC▶
2. 記録ページまでブラウザ(スワイプ)してください。
3. 基準ラップより、希望の基準ラップを選択してください。  
希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーのRef設定を選択してください。


## PCMの設定入力

### 記録および基準ラップの管理

1. **CAR** ボタン▶SC▶▶**OPT** ボタン
2. 以下の希望の項目を選択してください：
  - データ名を変更する：基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
  - データを転送します。記録および基準データを、SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
  - インポート：データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノフォルダーに保存される必要があります。選択および選択解除で、インポートするデータを選択してください。インポートで、選択したデータをインポートしてください。

- エクスポート：選択および選択解除で、エクスポートするデータを選択してください。エクスポートで、選択したデータをエクスポートしてください。
- データを削除：基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

### その他の設定

1. **CAR** ボタン▶SC▶▶**OPT** ボタン▶スポーツクロノ設定
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 追加データを記録：ラップの長さおよびラップタイムに加えて、他の走行データ(速度など)を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。  
▶「記録の表示および編集」(120ページ)を参照してください。
- 許容距離差の設定：基準ラップの長さや任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
- 評価の最大タイム差：記録時に速度が同一(黄色マーク)と評価されるラップの最大の時間差を示します。

## スポーツクロノモードスイッチ

### モードスイッチでのモード選択

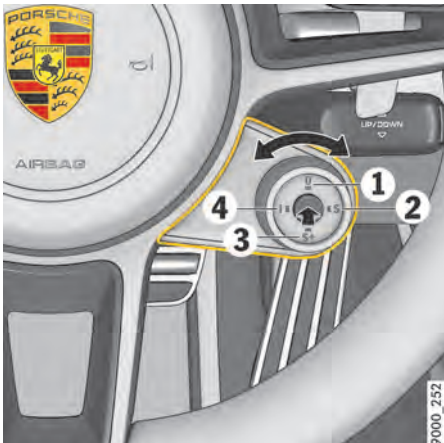


図 93: ステアリングホイールのモードスイッチ

- 1 ノーマルモード
  - 2 スポーツモード
  - 3 スポーツプラスモード
  - 4 パーソナルモード
- スイッチ中央スポーツレスポンスボタン

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。選択したモードのインジケータライトが点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

各モードの車両設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(123ページ)を参照してください。

## パーソナルモードの設定

パーソナルモードでは、PASM、スポーツエキゾーストシステム、オートスタート/ストップ機能、およびリヤスポイラーの設定を、ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラスの各モードに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、次の車両始動時にモードスイッチを回すことで再び呼び出すことが可能です。

マルチファンクションディスプレイでのパーソナルモードの設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナルモードの調整」(244ページ)を参照してください。

## スポーツレスポンスモードの使用

- ✓ PDK 装備車。



図 94: スポーツレスポンスの表示

スポーツレスポンスモードでは、エンジンおよびトランスミッションが時間制御されて、最大レスポンスに設定されます。

- ブーストプレッシャーの急速上昇
- PDKが専用の変速特性に切り替わる

## スポーツレスポンスモードの作動

- ▶ スポーツレスポンスボタンを押してください。

マルチファンクションディスプレイ内の減少する円状に配置されたバーは、この機能が有効な残り時間を示しています。約20秒が経過すると、車両は前に選択していたモードに戻ります。

## スポーツレスポンスモードの作動停止

- ✓ SPORT Responseモードが作動していること
- ▶ スポーツレスポンスボタンを再度押してください。

車両は前に選択していたモードに戻ります。

## 選択した走行モードの車両設定の概要

走行モード	ノーマル	スポーツ	スポーツ プラス	パーソナル	スポーツレスポンス ボタン
<b>ドライブ</b>					
レスポンス	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ プラス	パフォーマンス
レブリミッター (GTS 4.0 を除く)	ノーマル	スポーツ	スポーツ		スポーツ
アイドル回転数上昇	---	有効	有効		有効
シフトダウン時のスロットル ブリップ					
車内のエンジン サウンド最適化					
バックファイアー (GTS 4.0 を除く)	---	有効	---		---
ローンチ コントロール	---	---	有効		有効
PDK	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス		Sport Response
オート スタート / ストップ	有効	---	---	<input checked="" type="checkbox"/> OFF/ON	---
<b>シャーシ</b>					
ダイナミック エンジン マウント	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ プラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ プラス
PTV	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
PASM	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
ボルシェ スタビリティ マネージメント	センター コンソールの PASM ボタンによる PSM スポーツ機能				
<b>その他</b>					
ライト システム	ノーマル	スポーツ	スポーツ	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ プラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ プラス
アダプティブ クルーズ コントロール					
スポーツ エキゾースト システム	---	有効	有効	<input checked="" type="checkbox"/> ON/OFF	
リヤスポイラー	走行速度による			<input checked="" type="checkbox"/> 展開 / 格納	

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## ノーマル

日常の走行において、コントロールシステムは快適性と経済性が両立するように作動します。

か

## スポーツ

日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロールシステムを切り替えます。

さ

## パフォーマンス

レースサーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## スポーツモード

全体的によりスポーティで多様なシャーシ設定が選択できます。

スポーツモードは日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようにコントロールシステムを切り替えます。

- 電子制御式エンジンマネジメントシステムは、パワーユニットのより素早い制御を開始します。エンジンはよりダイレクトなダイナミクスを発揮します。
- PDK 装備車：スポーティなシフト特性に切り替わり、ギヤシフト時間が短くなります。
- オートスタート/ストップ機能は自動的に解除されます。
- オプションのスポーツエキゾーストシステムが自動的に作動します。

スポーツクロノパッケージ装備車の「スポーツ」および「スポーツプラス」モードでの車両の設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(123 ページ) を参照してください。

## スポーツモードの ON/OFF の切り替え

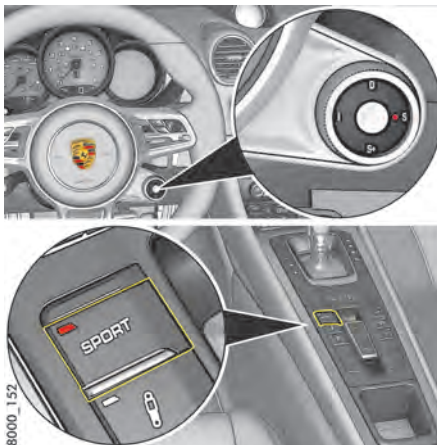


図 95: スポーツモードの ON/OFF の切り替え

- ▶ **SPORT** ボタンを押すか、またはステアリングホイールのモードスイッチを **S** に回します (車両装備によって異なる)。  
スポーツモードが ON になると、ボタン/スイッチのインジケータライトが点灯します。  
デジタルスピードメーターに **SPORT** の文字が表示されます。

### **i** インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、スポーツモードは自動的にノーマルモードにリセットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スモーカーズ パッケージ 灰皿の使用

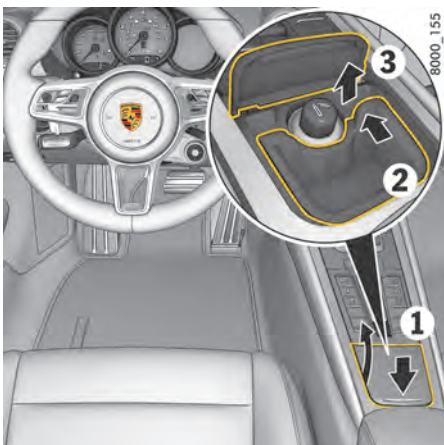


図 96: 灰皿を開く / 中身を空にする

### 警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

- ▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

### 灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押します (図 .96. 1)。リッドは自動で開きます。

### 灰皿を空にする

2. 灰皿インサートの右上を前方に押し、ロック解除してください (図 .96. 2 および 3)。

3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置に戻し、手応えを感じるまで押し込んでください。

## シガーライターを使用する

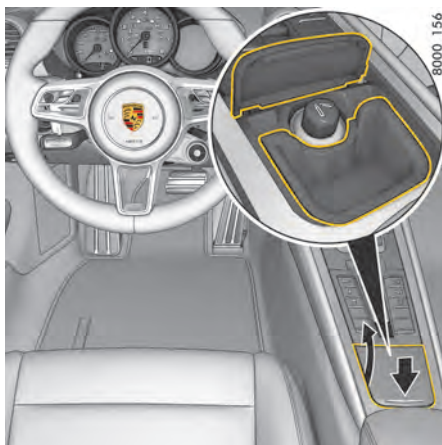


図 97: シガーライターを使用する

### 警告

高温のシガーライター

シガーライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーターエレメントまたはシガーライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガーライターを持たないでください。

1. 灰皿のリッドを軽く押します (図 .97. 矢印)。

2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください。ライターのフィラメントが赤熱すると、シガーライターが元の位置まで飛び出します。
3. シガーライターを取り外してください。

シガーライターソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション:

- ▶ 「充電アダプターの接続」(158 ページ)を参照してください。

### 危険

火のついた煙草の投げ捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエアインレットに入り込み、エンジンコンパートメント内で火災が起こる危険があります。

- ▶ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

## セレクターレバーの緊急解除

### 知識

セレクターレバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまったため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。
- ▶ 「エレクトリックパーキングブレーキ」（206ページ）を参照してください。

PDK 装備車両の電気系統が故障した場合は、セレクターレバーの緊急解除を行ってセレクターレバーを **N** 位置に動かしてください。

### セレクターレバーの緊急解除

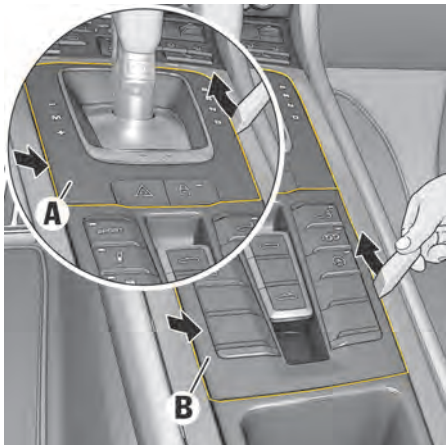


図 98: セレクターレバーゲートおよびスイッチモジュールの取り外し

1. 工具セットからプラスチックウェッジを取り出してください。
  - ▷ 「タイヤシーラント [タイヤモビリティシステム - TMS] または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ) を参照してください。
2. セレクターレバーゲート **A** の両側のリヤ部分 (矢印) をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
3. ダッシュボード **B** の両側のフロント部分 (矢印) をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
4. スイッチモジュール **B** を取り外し、脇に置いてください。スイッチモジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。

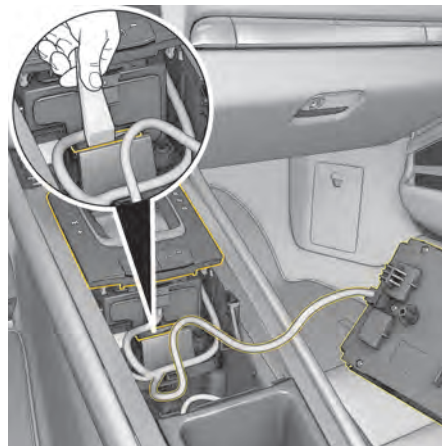


図 99: セレクターレバーロックの解除

5. セレクターレバーロックを押しのまま、セレクターレバーを **N** 位置に動かしてください。

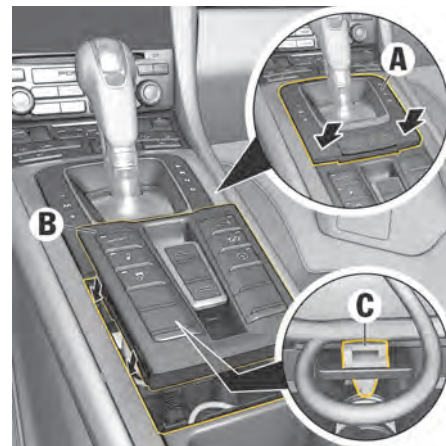


図 100: スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

### スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

1. ケーブルクリップ **C** がセレクターサポートに正しくはまっていることを確認してください。スイッチモジュール **B** をフロントガイドにはめて、モジュールを完全に差し込み、しっかりと押し込んでください。
2. セレクターレバーゲート **A** がしっかりとまるまで押し込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## セントラルロック

### 概要 - 車外からのドアの開閉 操作とロック

この概要説明は「セントラルロッキング」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 101: キー

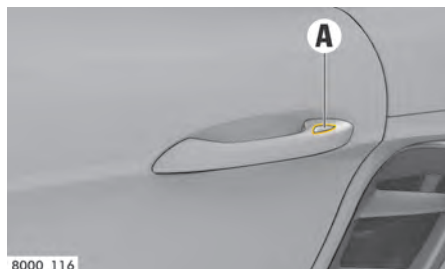






図 102: ボルシェ エントリー & ドライブ

希望する操作	操作方法	結果	ページ
ロック解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルをしっかりと握ってください。</li> </ul>	ハザードライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	129
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルの近接センサー <b>A</b> に触れてください。</li> </ul>	ハザードライトが2回点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリングシステム装備車の場合：ドアは、インナードアハンドルを引いて車内から開くことができません(セーフロック)。	130
室内モニタリングシステム装備車両で人/動物を車内に残してロックする： <ul style="list-style-type: none"> <li>- セーフロックの作動を無効にする おおよび</li> <li>- 警報システムの室内モニタリングシステムをOFFにする</li> </ul>	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを2回押してください(約2秒以内)。</li> </ul> ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルにある近接センサー <b>A</b> に2回触れてください(約2秒以内)。</li> </ul>	ハザードライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。	130
警告システムの警告音をOFFにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> <li>- または -</li> <li>イグニッションをONにします。</li> </ul>	警告音がOFFになります。	72

## セントラルロックシステムの使用

### **i** インフォメーション

- ▶ 車両が視野に入る位置にある場合にのみ、キーを使用してください。

車両装備により、キーまたはボルシェ エントリー&ドライブ装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。セントラルロックシステムは、次の部位をロック/ロック解除します。

- ドア
- フィラーフラップ

### キーを使用する

- ▶ キーのボタンを使用します。

### **i** インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(246ページ)を参照してください。



### ボルシェ エントリー&ドライブ装備車<sup>1)</sup>

ボルシェ エントリー&ドライブ装備車は、キーを使用せずにロック解除およびロックを行えます。車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

1) ボルシェ エントリー&ドライブシステムは最先端技術です。しかし、無線キーのキーコードが傍受され、使用されて車両の盗難にあう、といった可能性を完全に排除できていません。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してボルシェ エントリー&ドライブを一時的に解除することができます。

### 車両キーによるボルシェ エントリー&ドライブの解除

1.  スイッチを押し続けてください。
2.  ボタンを1秒以内に押し、車両キーのインジケーターライトが継続して点灯するまで両方のボタンを押し続けてください。

車両キーのインジケーターライトが継続して点灯することで、車両キーによる解除を確認できます。

車両キーのボタンを押す、またはコントロールユニットを回転させると、ボルシェ エントリー&ドライブは自動的に起動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ボルシェ エントリー&ドライブに悪影響を与える場合があります。


## ドアロックを解除してドアを開く

### ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(246ページ)を参照してください。


選択した設定にかかわらず、両側のドアをロック解除できます：

- ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押し続けてください。

### キーによるドアのロック解除



図 103: キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押しってください。ハザードライトが1回点滅します。ドアロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェエントリー&ドライブ(キーレス)によるドアのロック解除

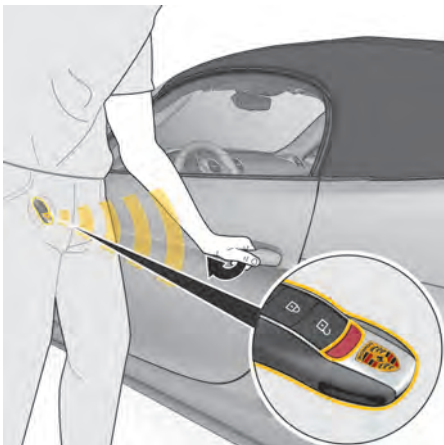


図 104: ボルシェエントリー&ドライブによるドアのロック解除

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯する

1. ドアハンドルをしっかり握ってください。ハザードライトが1回点滅します。ドアロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてください。

**i** インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ボルシェエントリー&ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドアハンドルを1回引くと、ボルシェエントリー&ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドアハンドルをもう1回引くと、ドアが開きます。

**i** インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開かなかった場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサーと室内モニタリングシステムは解除されます(盗難防止機能が制限されます)。

この場合、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。再びロックされると、室内モニタリングシステムと傾斜センサーが再び作動します。

**i** インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロックの使用(国別仕様による)

セーフロック(室内モニタリングシステム装備車)は、ロックされた車両のインナードアハンドルとセントラルロックボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

**▲ 警告** 車外からドアをロックする

車内モニタリングシステム装備車では、車外から車両をロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーによるドアのロック


1. ドアを閉じてください。
2. ボタンを1回押してください。ハザードライトが2回点滅します。  
室内モニタリングシステム(セーフロック)装備車の場合:

インナードアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。

室内モニタリングシステム非装備車の場合: ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

-または-

人や動物を車内に残してロックする場合  
(ロックされた車両のセーフロックの解除):

- ▶  ボタンを2秒以内に2回押してください。ハザードライトが2回短く点滅しますその後、1回長く点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

### インフォメーション

- ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ハザードライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
- ▶ 残りのドアまたはラゲッジコンパートメントリッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。キーを車内に残したままにすると、スペアキーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

ポルシェ エントリー&ドライブ (キーレス) によるドアのロック



図 105: ポルシェ エントリー&ドライブによるドアのロック

- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯する
- 1. ドアを閉じてください。
- 2. ドアハンドルの近接センサー A に触れてください。

ハザードライトが2回短く点滅してその後、1回長く点滅します。

**室内モニタリングシステム(セーフロック) 装備車の場合:**

インナードアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。

**室内モニタリングシステム非装備車の場合:** ドアはロックされますが、インナード

アハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- または -

**人や動物を車内に残してロックする場合  
(ロックされた車両のセーフロックの解除):**

- ▶ ドアハンドルの近接センサー A に2秒以内に2回触れてください。ハザードライトが2回短く点滅してその後、1回長く点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

### インフォメーション

- ロックするときは、ドアハンドルのタッチセンサーにのみ触れるようにしてください。ロック時にドアハンドルを握った場合、車両のドアはロックできません。
- ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。ハザードライトは点滅しません。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z


## 車内からのドアの開閉操作とロック

### ドアのロック

8100\_118




図 106: セントラル ロッキング ボタン

- ✓ ドアが閉じられています。
- ▶  ボタンを押してください。  
すべてのドアがロックされます。  
イグニッションがONの場合、ボタンのインジケータライトが点灯します。  
ドアはインナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

### 自動ドアロック

- この機能を有効にすると、車両が自動的にロックされます  
速度が約 5 km/h(3 mph) を超えたとき。
- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(246 ページ) を参照してください。

### ドアのロック解除

- ▶  ボタンを押してください。  
すべてのドアがロック解除されます。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。

### 自動ドアロック解除

- ポルシェ エントリー & ドライブ非装備車：  
キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。  
ポルシェ エントリー & ドライブ装着車：  
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。
- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(246 ページ) を参照してください。

### インフォメーション

キーまたはスペアキーで車両をロックした場合、セントラル ロッキング ボタンでロックを解除することはできません。

### ドアを開く

8000\_119

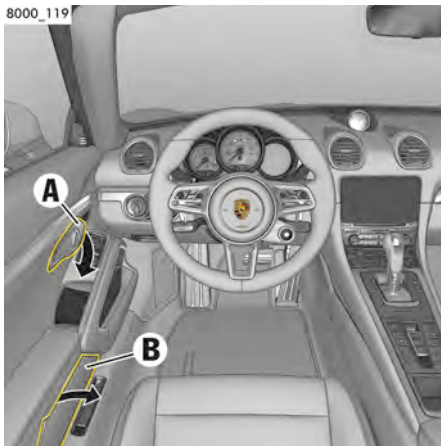


図 . 107: 車内からドアを開く

- A ドア オープナー
- B ドアの収納ボックス

- ▶ インナー ドア ハンドル **A** を引いてください (図 . 107)。

### インフォメーション

車両がロックされ、セーフロックが作動している場合、ドア、フロントおよびリアラゲッジコンパートメントリッド、およびエンジンコンパートメントリッドを内側から開くことはできません。



## 緊急ドア操作

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 送信中に電磁波が干渉している場合があります(ボルシェエントリー&ドライブの場合、キーと車両間の電波接点)。キーと電源の入った電子機器(携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
- リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります。
  - ▷ 「キーのバッテリー交換」(174 ページ)を参照してください。

## 緊急ドアロック解除の実行

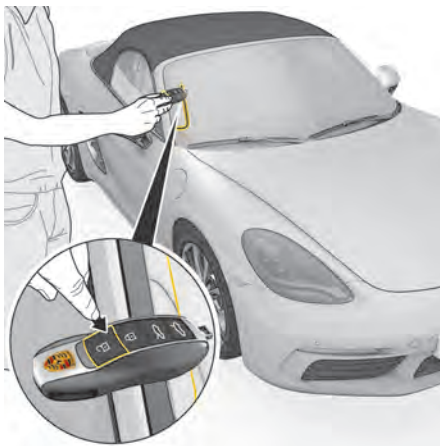



図 108: リモコンが故障した場合の緊急解除

- ▶ 助手席側のフロントウィンドウの外端部にキーを置き、同時に  ボタンを押してください(図.108)。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. エマージェンシーキーをキーから取り外してください。
  - ▷ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(173 ページ)を参照してください。



図 109: ドアロックシリンダー

2. エマージェンシーキーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください：ドアハンドルを引いたまま保持してください。ドアロックにエマージェンシーキーを挿入し、90°時計回りに回してエマージェンシーキーを再度抜き取ってください(図.109)。
3. ドアハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
4. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、10秒以内にイグニッションをONにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェントリー&ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションをONにできない、またはエンジンが始動しない場合は、マルチファンクションディスプレイにメッセージ「キーが見つからない/故障、キーの位置を変更してください」が表示されます。

5. コントロールユニットをイグニッションロック位置0に戻してください。

6. エンジン再度始動してください。エンジンが始動しない場合、メッセージ「キーが見つからない/故障、キーの位置を変更してください」が再度表示されます。

7. 約1秒後に充電プロセスが再開され、**操作部：左に回す、引き抜く、キーを挿入**というメッセージが表示されます。

8. コントロールユニットをイグニッションロック位置0に戻し、イグニッションロックから取り外してください。

▷ 「キー/コントロールユニットの緊急ロック解除」(174ページ)を参照してください。

9. キーを使用してイグニッションをONにしてください(エマージェンシーキーは除く)。

## 緊急ドアロック

### **i** インフォメーション

緊急ロックをドアに使用する際は、必ずエンジンを停止してください。

▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. エマージェンシーキーをキーから取り外してください。

▷ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(173ページ)を参照してください。

2. 運転席ドアを開いてください。

3. 運転席ドアのドアハンドルを持ち上げます(図.109)。

ドアロックにエマージェンシーキーを挿入し、進行方向と反対に90°回してエマージェンシーキーを再度抜き取ってください。ハザードライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。

4. ドアハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。

運転席ドアがロックされます。

5. **助手席ドアの緊急ロックの場合**、エマージェンシーキーを運転席ドアのドアロックに再び挿入し、進行方向と反対に90°回し、エマージェンシーキーを再び抜き取ります。

助手席ドアがロックされます。

### **i** インフォメーション

セントラルロックシステムに異常があるときは、運転席ドアのドアロックにエマージェンシーキーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。

▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ラジオアンテナの取り付け位置

### **▲ 警告**

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

▶ アンテナとの距離は約22cm保持します。

▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。

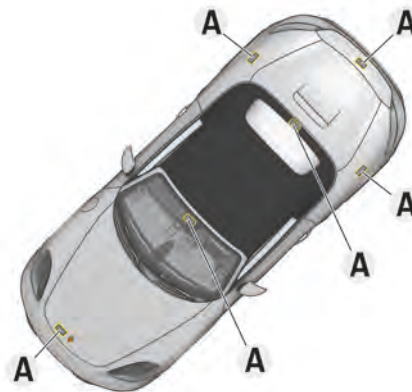


図 110: ラジオアンテナの取り付け位置

無線アンテナAの数(図.110)は、装備によって異なります。

▶ 「テクニカルデータ」(285ページ)を参照してください。

## 接続

### 外付け SIM カード経由でデータ接続を確立する

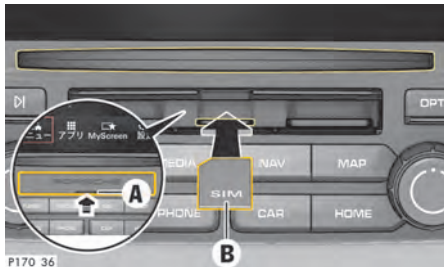


図 111: 外部 SIM カードの挿入および取り出し

- ✓ SD および SIM カードリーダーのカバー **A** を開く

- 外部 SIM カード **B** を挿入します (ミニ SIM、寸法: 25x15mm) を挿入してください (切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください)。
- PIN 付き SIM カード:
  - 外部 SIM カードの PIN を入力し **OK** で確定します。
  - PIN を保存** を選択してください。
- 有効** を選択し、データ接続を有効にしてください。このメッセージが繰り返し表示されるのを防ぐには、 **常に許可する** を選択してください。データ接続が確立されます。
  - ▶ 外部 SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

#### 知識

SIM カードを正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

SIM カードアダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れ、カードピースが PCM から取り出せなくなる恐れがあります。

- ▶ SIM カードアダプターは使用しないでください。

#### i インフォメーション

複数のアクセスポイントが利用可能な場合は、**複数のアクセスポイント (APN) を利用できません。選択してください。** というメッセージが表示されます。利用可能なアクセスポイント (APN) のリストが表示されます。

- ▶ 希望のアクセスポイント (APN) を選択してください。
- ▶ 外部 SIM カードにアクセスポイントが設定されていない場合は、携帯電話プロバイダーに APN の設定を確認してください。アクセスポイント (APN) の設定を PCM で行うには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ??? ▶ **電話設定 ▶ データ接続 ▶ アクセスポイント** を設定を選択してください。設定をリセットするには、**アクセスポイント設定をリセット** を選択してください。

#### i インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください:

- SIM カードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている。
- SIM カードが損傷していない、および適切に作動している。
- APN 設定 (インターネットアクセス) が正常である APN 設定は通信事業者に連絡して点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)
- 必要に応じて PCM を再起動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション:

- ▷ 「データ接続設定」(166 ページ) を参照してください。

SIM カードの PIN 設定およびその他の電話設定に関するインフォメーション:

- ▷ 「電話設定の変更」(165 ページ) を参照してください。

Bluetooth® を用いて、PCM に携帯電話を接続する方法の詳細については:

- ▷ 「電話」(159 ページ) を参照してください。

## 接続の利用

### ポルシェコネクトサービスを起動する

ポルシェコネクトサービスを初めて使用する前に、起動 / 設定が必要です。

- ▶ [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で、ポルシェコネクトサービスを起動してください。

### ナビゲーションシステムおよびボイスコントロールシステムを使用する


✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている

- ▶ 「接続」(135 ページ) を参照してください。
- ナビゲーション目的地、ポータル POI、および他の POI カテゴリ入力のためのオンライン検索機能を、My Porsche から読み込んでください。
- 追加地図画面
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

### 「アプリ」メニューのサービスを使用する

✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている

- ▶ 「接続」(135 ページ) を参照してください。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ アプリ 

利用可能なサービスが表示されます。

アプリの機能に関する詳細情報：


- ▶ 「ポルシェコネクト アプリ」(219 ページ) を参照してください。

### インフォメーション

- ポルシェコネクトサービス（カーコネクトサービスを含む、セーフティおよびセキュリティサービスを除く）は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも 3 カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェコネクトサービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータパッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めいたします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。


## ポルシェコネクトへのログイン

一部のサービスでは、My Porsche からパーソナル設定を取得するには、PCM にペアリングコードを入力する必要があります。


1. **HOME** ボタン ▶ アプリ  ▶ **OPT** ボタン
2. ポルシェコネクトへのログイン ▶ 新しいユーザーの作成 ▶ ペアリングコードを入力。
3. My Porsche でサービスを正常に作動 / 設定した後に表示されたペアリングコードを入力してください。

## ポルシェコネクトからのログアウト


✓ ポルシェコネクト ユーザーが作成され登録されます。

1. **HOME** ボタン ▶ アプリ  ▶ **OPT** ボタン
2. ポルシェコネクトからのログアウト  
現在ログインしているユーザーをログアウトします。

## コンテンツの更新

- ▶ **HOME** ボタン ▶ アプリ  ▶ **OPT** ボタン ▶ ボタン更新  
購入したサービスのコンテンツが更新されます。



## サービス情報の表示

- ▶ **HOME** ボタン ▶ アプリ  ▶ **OPT** ▶ ボタンサービス情報  
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

## PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス) の起動

ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

✓ 外部 SIM カード経由でデータ接続が確立されている

1.  または  フッターの (接続状況により異なる) ▶ ホットスポットを選択してください。
2. **OK** でメッセージを確認してください。  
PCM の WiFi アクセス データ (デバイス名および WiFi パスワード) が表示されます。
3. PCM の WiFi アクセス データを機器の WiFi 設定に入力してください。  
PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

WiFi 設定に関するインフォメーション :

▷ 「WiFi 設定の設定」(166 ページ) を参照してください。

### インフォメーション

お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータパッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めいたします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 洗淨水



8000\_68

図 112: フロント ウィンドウおよびヘッドライト用洗淨水タンク

下記の点を必ず守ってください。


- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。
- 冬季：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライトレンズ適合品

ボルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 警告シンボルへの対応

洗淨水のレベルが低下すると、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイに  シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会に洗淨水を補充してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

## 洗淨水の追加

## 知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗淨水を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. 洗淨水タンクのキャップを開いてください。
2. 洗淨水を追加します。
  - ▷ 「充填容量」(286 ページ)を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

## タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャーシ設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

▶ 「サーキット走行」(14 ページ)を参照してください。

### 知識

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを同時に使用しないでください。

▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

## 積載荷重および速度の要件を満たす

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。
- ▶ 「重量」(287 ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧の点検

### 知識

不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

8000\_113



図 113: ドアシル(ドア開口部)のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドアシル(ドア開口部)にあるタイヤ空気圧プレート(図.113)、および本書 Page 291 の「テクニカルデータ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20°C)を基準にしています。

- ▶ 少なくとも 2 週間に 1 回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(139 ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧モニタリング(TPM)

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧(実測空気圧)の表示。

- 2 段階のタイヤ空気圧警告(黄色と赤色の警告)。
- 停車しているとき規定空気圧との差、選択されたタイヤ種類およびコンフォートブレーッシャーを表示します。

### 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングシステムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

- ▶ 装着タイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(291 ページ)を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。タイヤを交換したときは、TPMメニューの設定を更新してください。
- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクションディスプレイで改めて選択しなければなりません。
- ▶ マルチファンクションディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧


- ▶ マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▷ 「パンク」(195 ページ)を参照してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を**続け**ないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を**続け**ないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

## タイヤ空気圧モニタリングシステムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメントパネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ エラーが継続する場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合には監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合。
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合。
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中。
- ホイールを交換した後、タイヤ設定を更新しなかった場合。
- タイヤの温度が高すぎる場合。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

▷ 「警告灯およびインジケーターライト」(37 ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧の確認

### i インフォメーション

イグニッションを ON にした後、車両の速度が約 25km/h を超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-」を表示します。イグニッションを OFF にするか再度 ON にした場合、または車両を約 10 分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。



図 114: TPM ディスプレイ

- ▶ **タイヤ圧力メニュー**を選択します。

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。



- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

### 充填情報を見る

8070\_8



図 115: 圧力差の例

- ✓ 車両が停止している。

#### ▶ タイヤ圧力 ▶ 充填情報

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に「**-0.1 bar**」と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録」(142 ページ)を参照してください。

### タイヤ種類の選択 (装着タイヤの種類とサイズ)

#### **i** インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルタイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクションディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクションディスプレイに不足情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

- ✓ 車両が停止している。

#### ▶ タイヤ圧力 ▶ タイヤ種類

選択できる設定と略語：

- 18" サマー：18" (S)
- 18" ウィンター：18" (W)
- 19" サマー：19" (S)
- 19" ウィンター：19" (W)
- 20" サマー：20" (S)

タイヤ圧力メニューの**タイヤ種類**の行に選択された設定の略語が表示されます。

### コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーの選択

- ✓ 車両が停止している。

#### ▶ タイヤ圧力 ▶ コンフォート プレッシャー

- **コンフォート プレッシャー**：コンフォートプレッシャーが選択されます。
- **コンフォート プレッシャー**：標準プレッシャーが選択されます。

#### **i** インフォメーション

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。「コンフォート」を選択した場合、空気圧モニタリングシステムは空気圧をモニターして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- ▶ コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「充填情報を見る」(141 ページ)を参照してください。
- ▶ 「270 km/h の速度までに適用するコンフォートタイヤ空気圧」(292 ページ)を参照してください。

### タイヤ空気圧速度警告

設定したコンフォートプレッシャーの制限速度を超えたり、タイヤ空気圧が危険限界を下回ったりすると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ▲ 警告

コンフォートプレッシャーでの制限速度を超過して走行する

コンフォートプレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。


## タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録

タイヤ/ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。登録中に冷間時のタイヤ(20°C)の規定圧力が充填情報に表示され、**タイヤ圧力のモニタリングなし、システム学習 25 km/h 以上**というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。


登録中に冷間時のタイヤ(20°C)の規定圧力が充填情報に表示され、**タイヤ圧力のモニタリングなし、システム学習 25 km/h 以上**というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

▷ 「警告灯およびインジケータライト」(37ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧警告

インストルメントパネルのタイヤ空気圧警告灯、およびマルチファンクションディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階(黄色/赤色)で異常を知らせます。

## i インフォメーション

タイヤ空気圧を適正值に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## タイヤ空気の充填

### ▲ 注意

高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロントラゲッジコンパートメント内のカバーの下にあります。

▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(264ページ)を参照してください。

▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサーの充填ホースをタイヤバルブから取り外してください。

## i インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

## タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

## タイヤ表記の読み取り



図 116: タイヤ表記

- A 公称タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤ構造記号
- D リム径 (インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

- H 210 km/h まで    V 240 km/h まで
- W 270 km/h まで    Y 300 km/h まで
- (Y) 300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合)。タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを積載した状態で 300km/h 以上の速度で走行することも可能です (300km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

## ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤバルブの近くのホイールスポーク裏面に刻印されています。



図 117: ホイール表記

- A リム幅 (インチ)
- B リムフランジ形状記号
- C ドロップセンターリム記号
- D リム径 (インチ)
- E ダブルハンプ
- F リムオフセット (mm)

## タイヤ損傷の点検

**警告** 見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなければ確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り 1 回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## タイヤとホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションをOFFにしてください。

### ⚠ 警告

グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 最初の200kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。

- ▶ 4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様〔「N...」など〕に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ボルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30%を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で行ってください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

## i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。この車両の適正ホイールとTPMに関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤ交換時、バッテリーを点検します  
タイヤ空気圧センサーの充電状態：ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## i インフォメーション

フロントまたはリヤタイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤタイヤを交換した場合に顕著になります。効果は継続的に減少します  
タイヤ走行距離が増加するにつれて。

## バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

## ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M + S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンタータイヤを装着できます。オールシーズンおよびオールラウンドタイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライパーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
- ▶ 「制限速度の設定」(239 ページ) を参照してください。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
- ▶ ボルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## i インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能と快適性は、温度が7°Cを下回ると低下します。そのため、気温が7°Cを下回ると、ボルシェではウィンタータイヤへの交換を推奨しています。

更に外気温度が極端に低くなると(-15°C以下)、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

## スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。また「テクニカルデータ」の章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ スノーチェーンとホイールハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ボルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ 認定スノーチェーンに関するインフォメーション：  
「ホイールおよびタイヤ」(288 ページ) を参照してください
- ▶ スノーチェーンを装着する前に、ホイールハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。「ホイールおよびタイヤ」(288 ページ) を参照してください

## タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6 mm になると現れます。安全のため、ウェアインジケーターが現れる前にタイヤを交換してください。ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

### トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

## i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。たとえば、コードの下4桁が「3015」の場合、2015年の第30週に製造されたタイヤです。

## タイヤの装着

- タイヤをリムに正しく装着しないと、タイヤやリムが損傷する場合があります。これによりタイヤがバーストする可能性があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で行ってください。
  - ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で行ってください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイールのバランス調整

- 安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマータイヤは春に、M+S付きのタイヤは冬に入る前にホイールバランスの調整を受けてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイール交換



警告

車両の下に入った作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面(上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など)に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。



### インフォメーション

ホイール交換に必要な工具(ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など)は車両に標準装備されていません。必要となる工具に関する情報:ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。



### インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイールサイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

## ホイール取り付け面のお手入れ

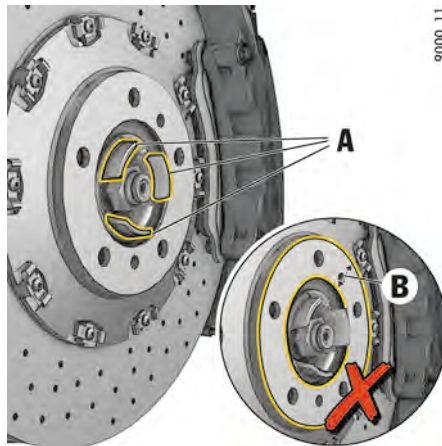


図 118: ホイール取り付け面

### 知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面Bおよびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しないでください**。
- ▶ A部分のみに油脂類を塗布できます。この部分にはOptimoly® TA グリースを薄く塗布してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

## ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。

- ▶ 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイール ボルト、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。

### 盗難防止ホイール ボルトの使用



図 119: 盗難防止ホイール ボルト用アダプター

盗難防止ホイール ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止機能付きホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

### ホイール交換

#### 車両の準備

1. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤレバーを 1 速にしてください。  
- または -  
PDK 装備車：セレクター レバーを P 位置に入れてください。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. キーを抜き取ってください。ボルシェ エントリー&ドライブ装着車：コントロールユニットを取り外します。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。  
▶ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」(105 ページ)を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

### ホイール交換

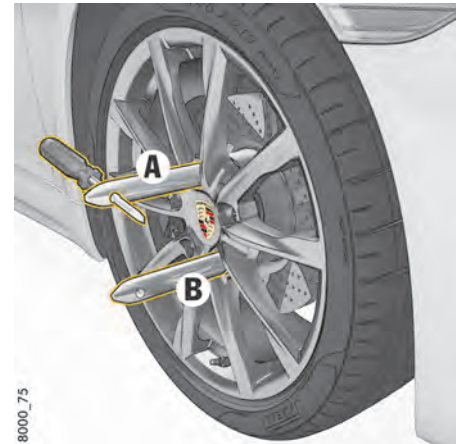


図 120: アセンブリ・エイド

1. PCCB 非装備車：ホイール ボルト A を取り外してください (図 .120)。  
- または -  
PCCB 装着車：ホイール ボルト A および B を取り外してください (図 .120)。
2. 取り外したホイール ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具 (図 .120) をねじ込んでください。

#### 知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特に PCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

3. 残りのホイールボルトを取り外してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
  - ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(146 ページ)を参照してください。
  - ▷ 「ホイールボルトのお手入れ」(146 ページ)を参照してください。
5. ホイールボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイールボルトを仮締めしてください。すべてのホイールボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧」(291 ページ)を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイールボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。  
ホイールの交換後、直ちにトルクレンチを使用してホイールボルトの規定締め付けトルク(160 Nm)を確認します。

## **i** インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定をマルチファンクションディスプレイで更新する必要があります。

- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(139 ページ)を参照してください。



## チャイルドシート

### ⚠ 危険

チャイルドシート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。チャイルドシートが車種に適合していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
  - ▷ 「各種シートへのチャイルドシートの取り付け」(153ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ社推奨のチャイルドシートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様 の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するとき は、必ず助手席エアバッグをOFFにしてから行ってください。

ポルシェでは、ポルシェテクニクイップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ [www.porsche.com/tequipment](http://www.porsche.com/tequipment)
- ▷ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」(151ページ)を参照してください。
- ▷ 「チャイルドシートの取り付け」(153ページ)を参照してください。

### ⚠ 危険

助手席でのチャイルドシートの使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

- ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF切り替え-助手席エアバッグOFF警告灯」(154ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。



図 121: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ 決してエアバッグの警告ステッカー A を剥がしたり、表面を汚したり、読み取りできない状態にしたりしないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1つずつ遵守していただく必要のある3つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の3つの項目すべてを注意深くお読みください。
- 1. 適切な体重および身長カテゴリーのチャイルドシートを使用してください。
  - ▷ 「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」(150ページ)を参照してください。
- 2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
  - ▷ 「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」(150ページ)を参照してください。
- 3. チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。
  - ▷ 「チャイルドシートの取り付け」(153ページ)を参照してください。

## 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、適切な取り付け位置も確認してください。
- ▷ 「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」(151ページ)を参照してください。
- ▷ 「チャイルドシート」(149ページ)を参照してください。

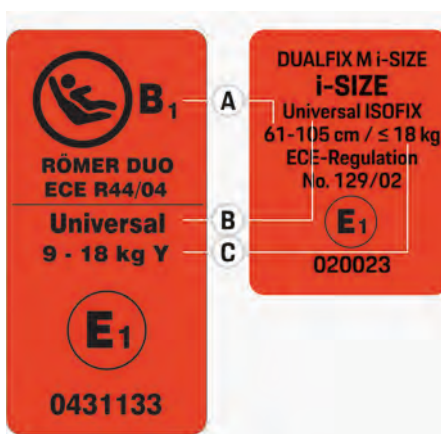


図 122: チャイルドシートのECEラベルの例

- A サイズ分類
- B 「汎用 (ユニバーサル)」 または 「準汎用 (セミユニバーサル)」 マーク
- C 体重グループ

- ▶ 準汎用 (セミユニバーサル) 認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

### チャイルドシートの体重グループによる分類

#### 13kg まで (ISOFIX システムおよび車両シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

#### 体重グループ I のお子様：9～18kg (ISOFIX システムまたは車両シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

#### 体重グループ II のお子様：15～25 kg (シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

#### 体重グループ III のお子様：22～36 kg (シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1 ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- C ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート

**D1** ISO/R2: 後ろ向き、小型サイズチャイルドシート

**E** ISO/R1: 後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート

**F** ISO/L1: 左向きチャイルドシート(ベビーキャリア)

**G** ISO/L2: 右向きチャイルドシート(ベビーキャリア)

バックレスト装備または非装備のブースターシート

ISO/B2: 正面チャイルドシート(バックレスト装備/非装備のブースターシート)、幅縮小440mm  
ISO/B3: 前方向きチャイルドシート(バックレスト装備/非装備のブースターシート)、全幅520mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

### 体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの向き	サイズグループ / ISOFIXグループ
グループ0 0 ~ 10 kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ0+ 0 ~ 13 kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1

体重グループ	チャイルドシートの向き	サイズグループ / ISOFIXグループ
グループI 9 ~ 18 kg	前向き	A/F3
		B/F2
	後ろ向き	B1/F2X
		C/R3
グループII 15 ~ 25 kg	前向き	D/R2
	後ろ向き	-
グループIII 22 ~ 36 kg	前向き	-
	後ろ向き	-
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2、F2X
ブースターシート	前向き	-/B2、B3

### チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ 「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」(150ページ)を参照してください。
- ▶ 「チャイルドシートの取り付け」(153ページ)を参照してください。

下表は、ECE-R16規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

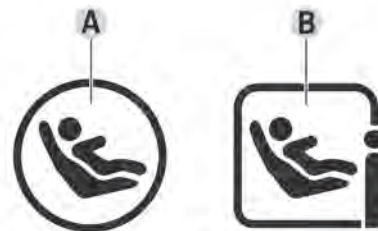


図 123: ISOFIX および i-Size のシンボル

- A** ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)
- B** i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R129 および ECE-R44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

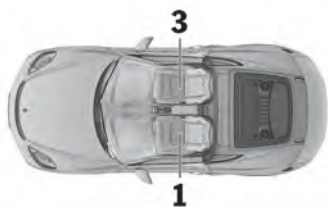
や

ら

わ

A-Z

**A**



**B**

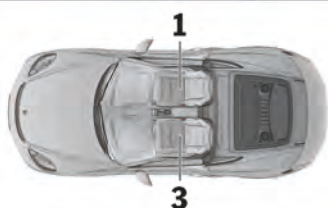


図 124: チャイルドシート取り付けのためのシート番号

**A** 左ハンドル車

**B** 右ハンドル車

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定 <sup>1)</sup>
シート番号に応じて許容される取り付け位置		3	3
1) 装備によって異なります			
<b>チャイルドシート取り付けのためのシート番号</b>			<b>3<sup>1)</sup></b>
シートベルトによる固定			可
ISOFIX の取り付け位置			可
i-Size の取り付け位置			不可
横向きのチャイルドシート			不可

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	3 <sup>1)</sup>
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	R2
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	F3
適切なチャイルドシートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースターシート)	B3
(B2/B3)	

No. シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

1) 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。

チャイルドシートの体重とサイズグループの説明、および i-Size チャイルドシートとバックレスト装備または非装備のブースターシートの分類:

- ▷ 「体重およびサイズグループの概要」(151 ページ)を参照してください。

### 助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

「汎用」(U)または「準汎用」(L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください ( )。図. 122 150 ページ

X: シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/L: 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席シート	
	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0: 0 ~ 10 kg	X	U/L
グループ 0+: 0 ~ 13 kg	X	U/L
グループ I: 9 ~ 18 kg 後ろ向き	X	U/L
グループ II: 9 ~ 18 kg 前向き	U/L	U/L
グループ III: 15 ~ 25 kg	U/L	U/L
グループ III: 22 ~ 36 kg	U/L	U/L

## チャイルドシートの取り付け

各種シートへのチャイルドシートの取り付け



図 125: フルバケットシート

フルバケットシート (図. 125) ではチャイルドシートを使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▷ 「シート」(99ページ)を参照してください。
- ▷ 「ISOFIXチャイルドシートの取り付け」(155ページ)を参照してください。

### ベビーキャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート(ベビーキャリアなど)は、いかなるシートにも使用できません。

▷ 「チャイルドシートの取り付け」(153ページ)を参照してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルドシート(ポルシェベビーシートISOFIX GO+など)を使用することを推奨いたします。

- ▷ 「ISOFIXチャイルドシートの取り付け」(155ページ)を参照してください。

### 助手席エアバッグのON/OFF切り替え - 助手席エアバッグOFF警告灯

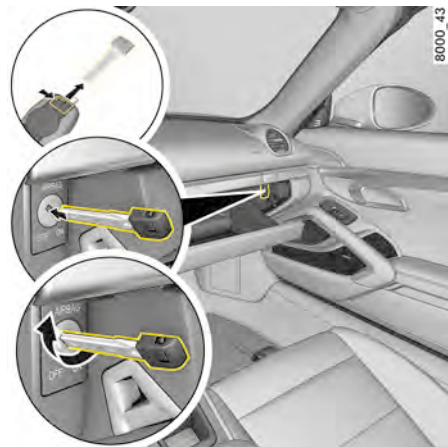


図 126: 助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え

1. イグニッションを OFF にしてください。

2. グローブボックスを開いてください。
3. エマージェンシーキーをキーから取り外ししてください。
  - ▷ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(173ページ)を参照してください。

### 知識

助手席エアバッグスイッチまたはエアバッグシステムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでから回してください。キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグはイグニッションがOFFのときのみ、ON/OFFを切り替えてください。

4. エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでください。エマージェンシーキーの歯がキースイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシーキーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**OFF(解除)**または**ON(作動)**にしてください。  
助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。

### 危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行すると、振動によりエマージェンシーキーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

6. エマージェンシーキーをキーから取り外ししてください。
7. グローブボックスを閉じます。

### 危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

### i

### インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**および助手席のISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様のみに取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください(フルバケットシート装備車には取り付けができません)。このシステムを取り付けた場合、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側(シート2)エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグOFF警告灯**が常時点灯します。

8093\_42



図 127: 助手席エアバッグ OFF 警告灯

**危険**

助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグを OFF にして、イグニッションを ON にしたときに**助手席エアバッグ OFF 警告灯**が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルドシートの取り付け

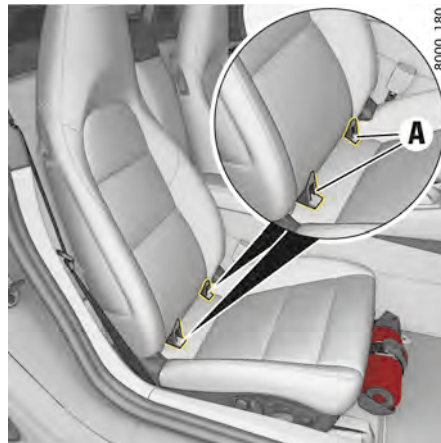


図 128: 助手席シートの ISOFIX チャイルドシート

- ▶ 「ISOFIXチャイルドシートの取り付け」(155 ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。ISOFIXチャイルドシートを固定するリテーニングラグ **A** の位置を示すマークは、助手席のシート面にあります(装備によって異なります)。

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。オーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯します。
  - ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF切り替え - 助手席エアバッグOFF警告灯」(154 ページ)を参照してください。

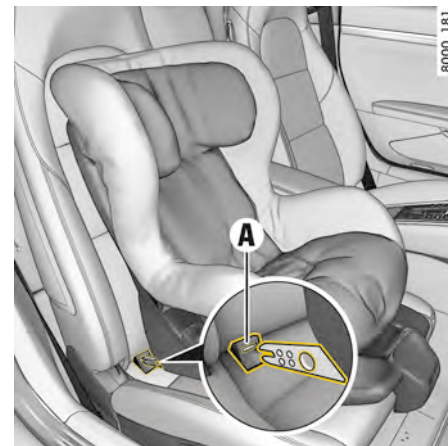


図 129: チャイルドシートの ISOFIX システムとの取り付け

2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
  - ▶ 「シートの調節」(99 ページ)を参照してください。
3. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ **A** に固定してください。
4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## テストスタンドでの測定

### ▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときには、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

### ▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
  - ▷ 「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」(105 ページ)を参照してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

## テストスタンド測定の実施

### パフォーマンステスト

ポルシェでは、ローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

### ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- テスト速度 7.5 km/h
- 測定時間 20 秒

### エレクトリックパーキングブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドでエレクトリックパーキングブレーキのテストを行うときは必ずイグニッションを ON にし、マニュアルトランスミッション車ではギヤシフトレバーをニュートラルに、**Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車はセクターレバーを N の位置に**します。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、エレクトリックパーキングブレーキのテストが可能になります。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。





## デバイスマネージャー

### デバイスマネージャーを開く



図 130: デバイスマネージャーを開く

- ▶ フッターの  または  を選択してください。  
(接続ステータスによって異なります)。  
- または -  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー** を選択してください。

以下の接続は、デバイスマネージャーを使用して集中管理できます：

- **電話**:PCM を携帯電話に Bluetooth® で接続してください。
  - ▶ 「携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)」 [160 ページ] を参照してください。
  - ▶ 「別の携帯電話の接続と使用」 [161 ページ] を参照してください。
- **Bluetooth オーディオ**:PCM を外部 Bluetooth® メディアソースに接続してください。
  - ▶ 「外部機器を Bluetooth® 経由で接続する」 [227 ページ] を参照してください。

- **データ接続**:外部SIMカード経由でデータ接続を確立します。
  - ▶ 「接続」 [135 ページ] を参照してください。
- **ホットスポット**:PCM のワイヤレスインターネットアクセスを利用する
  - ▶ 「PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス) の起動」 [137 ページ] を参照してください。
- **ボルシェコネクトアプリ**:アプリをPCMにWiFi経由で接続します。
  - ▶ 「ボルシェコネクトアプリ」 [219 ページ] を参照してください。
- **スマートフォンリンク**: Apple CarPlay を使用してください。
  - ▶ 「Apple CarPlay」 [281 ページ] を参照してください。

### 接続ステータスの表示

- ▶ 「接続ステータスの表示」 [161 ページ] を参照してください。

### インフォメーション

- ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」 [221 ページ] を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 電気ソケット

## 12V プラグソケットの使用

電装品〔アクセサリ〕は 12 ボルトのソケットに接続できます。

12 ボルト プラグソケットは助手席側の足元にあります。

## 充電アダプターの接続

## i インフォメーション

- 12 ボルト プラグソケットおよび接続している電装品〔アクセサリ〕は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを ON にしてください。
- 電装品が 1 つだけ作動している場合、12V プラグソケットまたはシガーライターの最大電流値は 20A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、12 ボルト プラグソケットまたはシガーライター 1 つ当たりの電流値が 10A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

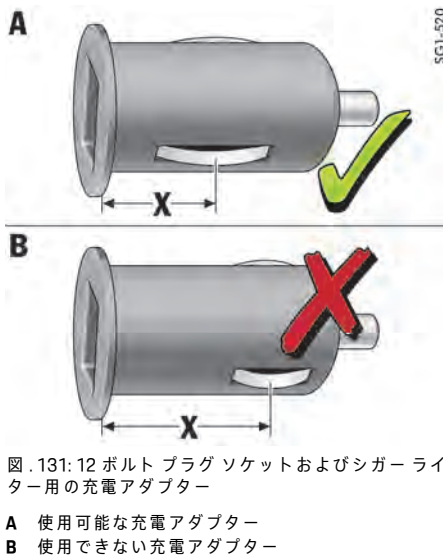


図.131: 12 ボルト プラグソケットおよびシガーライター用の充電アダプター

- A 使用可能な充電アダプター  
B 使用できない充電アダプター

## 知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください：グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X は、約 16 mm 以下である必要があります。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X が 16 mm 以上の不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12 ボルトプラグソケットが損傷することがあります。

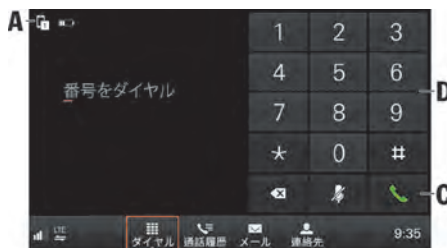
## 電話

## 概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。



P170\_14

図 132: 電話番号の入力(キーパッド)



P170\_53

図 133: 電話番号の入力(キーパッド)

希望する操作	操作方法	ページ
Bluetooth® 経由で電話を接続する (携帯電話の準備)	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 電話を接続 ▶ 新しい電話を検索	160
接続された2つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッドラインの <b>[1]</b> または <b>[2]</b> (A および E を参照) を選択してください。	161
データ接続を確立する(接続)	▶ ポルシェ専用 SIM カード経由でデータ接続を確立します。	137
ばんごうをだいやるする	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ キーパッド <b>[#]</b> (B を参照) ▶ 数値フィールド <b>D</b> を使用して番号を入力 ▶ <b>[C]</b> (C を参照) を選択してください。	161
着信に応答する/拒否する	▶ <b>[C]</b> 応答または <b>[C]</b> キャンセルを選択してください。	162
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの <b>[C]</b> を選択してください。	162
電話会議を開始する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 番号をダイヤル ▶ キーパッド <b>[#]</b> ▶ <b>[+]</b> ▶ 他の参加者の番号をダイヤルする ▶ <b>[C]</b> ▶ <b>[Q]</b>	163
ボイスメールを聞く	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ キーパッド <b>[#]</b> ▶ 長押し <b>1</b> <b>[od]</b>	162
通話履歴を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 通話履歴 <b>[F]</b> (F を参照) ▶ 通話履歴を選択してください。	163
メッセージを表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ メッセージ <b>[G]</b> (G を参照) ▶ SMS または Eメール ▶ フォルダーを選択してください。	164
連絡先を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 連絡先 <b>[H]</b> (H を参照) を選択してください。	163

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**⚠ 警告**

事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

**⚠ 警告**

ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

**i インフォメーション**



適合する携帯電話の一覧はウェブサイト ([www.porsche.com](http://www.porsche.com)) から入手することができます。

**携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)****新しい携帯電話を接続する**

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能を有効にする
  - ▷ 「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」 (160 ページ) を参照してください。


**1. PHONE ▶ ボタン電話を接続**

— または —

 または  フッターの [接続状態により異なる] ▶ 電話を選択してください。

**2 新しい電話を検索** を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。  
6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。

**3 PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較** してください。

**4 PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致** していれば確定してください。  
**電話の接続に成功すると、数字入力 (キーパッド  メニュー) が PCM に表示** されます。

**i インフォメーション**

Windows® および iOS オペレーティングシステムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。**PHONE** ボタンを押して PCM を探索可能な状態にしてください。接続操作の際は、ディスプレイに **電話を接続** が表示されている必要があります。
- ▶ 使用可能な機器リストから PCM を選択します。PCM の Bluetooth® デバイス名を表示させるには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth の名前** を選択します。
  - ▷ 「Bluetooth® 機能とデバイスを管理する」 (165 ページ) を参照してください。

**PCM の Bluetooth® 機能を有効にする**

**1. PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定**

**2 Bluetooth** ▶ **Bluetooth を ON** を選択して、PCM の Bluetooth® 機能を有効にしてください。

**i インフォメーション**



Bluetooth® 接続の場合、ハンズフリープロファイル (HFP) を介して、携帯電話を PCM に接続することができます。

ハンズフリープロファイルを使用すると、PCM は接続された携帯電話の Bluetooth® ハンズフリーユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。



▷ Bluetooth® のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。



## 登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能を有効にする
  - ▷ 「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」(160 ページ)を参照してください。
- ✓ これまでに PCM と接続したことのある携帯電話

1. フッターの  または  を選択してください。  
(接続ステータスによって異なります)。  
- または -  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー**
2. **電話 1** を選択してください。  
登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
3. リストから携帯電話を選択してください。  
携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

## 別の携帯電話の接続と使用

- ✓ 携帯電話が PCM に既に接続されている
1. フッターの  または  を選択してください。  
(接続ステータスによって異なります)。  
- または -  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー**
  2. **電話 2** を選択してください。
  3. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。  
▷ 「新しい携帯電話を接続する」(160 ページ)を参照してください。  
接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。

- ▷ ヘッドラインの  または  (A を参照、図. 132) を選択し、接続された 2 つの携帯電話を切り替えてください。

## Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth デバイス**
2. リストから携帯電話を選択してください。
3. 登録された Bluetooth® デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**削除**を選択してください。  
- または -  
Bluetooth® デバイスの情報を見るには、**詳細**を選択してください。  
Bluetooth® アドレス、接続ステータス、および利用可能な Bluetooth® プロファイルが表示されます。  
- または -  
Bluetooth® デバイスと PCM 間の接続を確立する、または切断するには、**接続を確立する / 切断**を選択します。

## i インフォメーション







開始後、PCM は前のデバイス設定を自動的に復元します。デバイスが車内にない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探索します。

## 電話をかけるには PCM を使用してください

アジア諸国では、データ接続を確立する際のみ外部 SIM カードを使用します。データ接続に関するインフォメーション：  
▷ 「接続」(135 ページ)を参照してください。

## 接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます (接続状態により異なる)。



記号	意味
	電話が接続されていません。
	データ接続が利用できません (考えられる原因: 接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続の中断)。
	LTE 携帯電話ネットワーク経由など、外部 SIM カードのデータ接続が確立されています。
	UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。
	EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) 経由でデータ接続が確立されています。
	電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

## デバイス マネージャーを開く

- ▷ 「デバイス マネージャー」(157 ページ)を参照してください。

## 電話番号をダイヤルする

### 電話番号を入力する (キーパッド)

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2. 数字フィールドから番号を入力してください。  
電話番号が既知の場合は、選択が提示されます (vCard が表示されます)。
3.  を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら




わ

A-Z

**i** インフォメーション

DTMF (デュアルトーン マルチ周波数) トーンおよび付加サービス (\* 及び # キーによるコードサービス) に対応しています。

## リダイヤル機能を開く



1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2.  キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示させる。
3.  を選択してください。

**i** インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。



## 通話履歴から番号をダイヤルする

▶ 「通話履歴を表示する」(163 ページ) を参照してください。



1. **PHONE** ボタン ▶ 通話履歴 
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3.  を選択してください。

## 連絡先から番号をダイヤルする

▶ 「連絡先を使用する」(163 ページ) を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4.  を選択してください。

## ボイスメールを聞く

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2. ボイスメールを聞くには、 を押し続けてください。



**i** インフォメーション

この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入カプロンプトが1回表示されます。  
▶ 「電話設定の変更」(165 ページ) を参照してください。

## 着信に応答する / 通話を終了する

## 着信に応答する / 拒否する


✓ 着信が入ったとき

- ▶  応答を選択してください。  
- または -  
携帯電話の通話ボタンを押してください。  
- または -  
ステアリング ホイールの通話ボタンを押してください。
- ▶ 着信を拒否するには、 拒否を押してください。  
- または -  
携帯電話の終話ボタンを押してください。  
- または -  
ステアリング ホイールの終話ボタンを押してください。

**i** インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にも PCM の呼び出し音が鳴らないことがあります。


## 通話を終了する

- ▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。  
- または -  
携帯電話の終話ボタンを押してください。  
- または -  
ステアリング ホイールの終話ボタンを押してください。

## 通話中の各種機能



## マイクのミュート

✓ 通話中である。

- ▶ マイクをミュートするには、 を選択してください。





## 通話の保留

✓ 通話中です。

- ▶ 接続表示の隣にある  を選択してください。  
- または -  
**OPT** ボタン ▶ 通話を保留を選択してください。
- ▶ 通話を再開するには、保留中表示の隣にある  を選択してください。  
- または -  
**OPT** ボタン ▶ 通話するを選択してください。

## 電話会議を開始する

✓ 通話中です。

1. **PHONE** ボタン▶キーパッド 
2.  を選択して、新たな会議を追加してください。
3. 新しい会議を追加するには：  
数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。  
- または -  
通話履歴から電話番号を選択します。  
- または -  
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4.  を選択してください。
5. 会議を開始するには  を選択してください。  
- または -  
**PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶**会議**  
▶ 会議を保留にするには、**PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶**会議を保留**を選択してください。

## 2つの会議間の切り替え(スワッピング)


✓ 通話中である。

✓ 通話が保留中である

- ▶ 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。  
- または -  
**PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶**通話**を切り替え


## 通話履歴を表示する

### 通話の表示

1. **PHONE** ボタン▶**通話履歴** 
2. 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。  
- すべての通話  
- 不在着信  
- 発信  
- 着信
3. 通話履歴から項目を選択してください。  
詳細画面が表示されます。

### 通話を消去

✓ 携帯電話がBluetooth®経由で接続されている

1. **PHONE** ボタン▶**通話履歴** 
2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. PCMの通話履歴から通話を消去するには、**通話を削除**を選択してください。

### インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

## マルチファンクションディスプレイで電話を使用する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイ」(236ページ)を参照してください。

## 電話番号をダイヤルする

1. 電話メニューを選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

- 電話帳
- 発信履歴

### 着信に応答する / 拒否する

✓ 着信が入ったとき

- ▶ 電話メニューを選択してください。

- 通話応答
- 通話拒否

### 同時に複数の通話を行う / 通話を終了する


✓ 通話中である

- ▶ 電話メニューを選択してください。

- 新しい通話：通話中に別の参加者に電話します。
- 通話を切り替え：別の通話を行うために、参加者を切り替えます。
- 会議通話：電話会議に参加者を追加します。
- 通話終了：通話中の電話を終了します。

## 連絡先を使用する

### 連絡先の表示

1. **PHONE** ボタン▶**連絡先** 

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら


わ

A-Z


## 連絡先の検索

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ 連絡先を検索
- 2 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
- 3 希望の項目を選択してください。


## 連絡先の送信



1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
- 2 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. **vCard** で送るを選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信(SMS、Eメール)またはメモリーオプション(SD、USB)を選択してください。

## 連絡先リストの並び替え

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ **OPT** ボタン ▶ 並び替え条件
- 2 並び替えの順序を姓、名または名、姓から選択してください。

## 個人画面にお気に入りを追加

1. **HOME** ボタン ▶ 個人画面  ▶ **OPT** ボタン ▶ 個人画面設定
- 2 個人画面1、個人画面2または個人画面3を選択してください。
- 3 カテゴリー電話を選択してください。
- 4 タイル山田太郎を左プレビュー側にある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナに挿入することができます。

5.  または  を使用して、個人画面を設定メニューを終了してください。
6. ここをタッチして連絡先を選択。連絡先リストが開きます。
7. 希望する連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
8. 電話番号をダイヤルしてください。選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。


## 個人画面のお気に入りを消去

▷ 「個人画面の設定」(225ページ)を参照してください。

## メッセージの表示および消去



メッセージ機能を使用することで、SMSやEメールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりできます。

この機能は、携帯電話がBluetooth®メッセージアクセスプロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキストメッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。



 インフォメーション


- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話メッセージリストには表示されません。
- PCMはマルチメディアメッセージングサービス(MMS)に対応していません。

## テキストメッセージの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ メッセージ  ▶ SMS
2.  ▶ フォルダを選択してください。
- 3 希望のテキストメッセージを選択してください。




## Eメールの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ メッセージ  ▶ Eメール
- 2 Eメールアカウントを選択してください。受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
- 3 必要に応じて、 ▶ フォルダを選択してください。
- 4 希望のEメールを選択してください。

 インフォメーション



多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

## メッセージを聞く(テキスト、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶ メッセージ 
- 2 SMSメニューまたはEメールメニューを選択してください。
3.  ▶ フォルダを選択してください。
- 4 希望のテキストメッセージまたはEメールを選択してください。
5. 読み上げ  を選択してください。






## メッセージの削除（テキスト、Eメール）




1. **PHONE** ボタン▶メッセージ 
2. **SMS** メニューまたは**Eメール** メニューを選択してください。
3. ▶フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキストメッセージまたはEメールを選択してください。
5. **OPT** ボタンを押してください。
6. メッセージの削除を選択してください。メッセージが消去されます。

## メッセージのさくせい

### テキストメッセージの作成

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶表示されているアカウントから一つを選択します。
2. ▶**新しいSMS** を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。  
-または-  
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキストボックスを選択してください。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK** で確定してください。
6. **送信**  を選択してください。メッセージが送信されます。

### Eメールの作成

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶**Eメール**
2. ▶**新しいEメール**を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者のEメールアドレスを入力してください。  
-または-  
4. 電話帳にある既存の連絡先を選択します。
5. テキストボックスを選択してください（件名など）。
6. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK** で確定してください。
7. **送信**  を選択してください。Eメールが送信されます。

## 設定の変更

### 通話中の設定（プライベートモード）

- ✓ 携帯電話がBluetooth® およびハンズフリープロファイル（HFP）を介して接続されている
- ✓ 通話が確立している

1. **PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **プライベートモードを起動**: 通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

### 電話設定の変更

1. **PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶**電話設定**▶**電話**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **PCM 電話のON/OFF**: PCM 内の電話モジュールをON/OFFにしてください。
- **通信事業者検索**: 通信事業者を選択するか、または自動通信事業者検索を作動します。
- **3者通話を有効にする**: 現在の通話に別の相手を追加することを許可します。
- **SIMカード**: 挿入された外部SIMカードの設定を変更します。
- **ボイスメールナンバー**: 接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
- **シリアルナンバー**: PCM 電話モジュールのIMEIシリアルナンバーを表示します。

### Bluetooth® 機能とデバイスを管理する

1. **PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶**PHONE 設定**▶**Bluetooth**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **新しいデバイスを追加する**: 新しいBluetooth® デバイスを検索し、PCM に登録します。
- **Bluetooth デバイス**: 登録したBluetooth® デバイスを管理し、登録したBluetooth® デバイスをPCM に接続します。
- ▷ 「Bluetooth® デバイスの削除、またはBluetooth® インフォメーションの表示」（161ページ）を参照してください。
- **Bluetooth を起動 / Bluetooth を停止**: Bluetooth® 機能を作動 / 停止します。
- **Bluetooth デバイス置き忘れ警告**: 車両を離れるときは、接続したBluetooth® デバイスのリマインダーを作動させてください。
- **Bluetooth 名**: 設定PCMのBluetooth® 名を設定します

## WiFi 設定の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ WiFi 設定

2 以下から希望の設定を選択してください。

- **WiFi を起動 / 停止** : PCM の WiFi 機能を ON/OFF にします。
- **PCM の WiFi ホットスポット設定** : PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (携帯電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、PCM の WiFi ホットスポットを使用するために必要です。

## データ接続設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ データ接続

2 以下から希望の設定を選択してください。

- **データ接続設定** :
  - **On** : 常にデータ接続を許可します。
  - **オフ** : データ接続を OFF にします。
  - **プロンプト** : データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
- **データ接続を共有する** : WiFi デバイス用のデータ接続を有効にします。
- **ローミング** : 他のネットワークへのデータ接続を許可する / 許可しません。
- **アクセスポイントを設定** : SIM カードのデータ接続用ネットワークアクセスデータ (APN 名、ユーザー名、およびパスワード) を変更します。
- **設定をリセット** : APN 設定を工場出荷時の設定に戻します。APN の設定に関するインフォメーション :

▷ 「接続」(135 ページ) を参照してください。

## 連絡先の管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ 連絡先

2 以下から希望の設定を選択してください。

- **連絡先メモ** : 使用している連絡先メモリーを表示します。
- **並べ替え条件** : 姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
- **連絡先を同期** : Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話の連絡先を PCM に手動で移動することができます。

## 着信音設定の変更

✓ 携帯電話が PCM に接続されている、または SIM カードが挿入されている

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ 着信音設定

2 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択** : 接続している携帯電話が Bluetooth® 経由で着信音を送信しない場合、PCM の着信音を設定します。
- **着信音量** : 着信音量を設定します。
- **マイク音量** : 電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音** : メッセージの受信音を設定または OFF にします。

## トランスミッション

## マニュアルトランスミッションによる走行

8000\_51

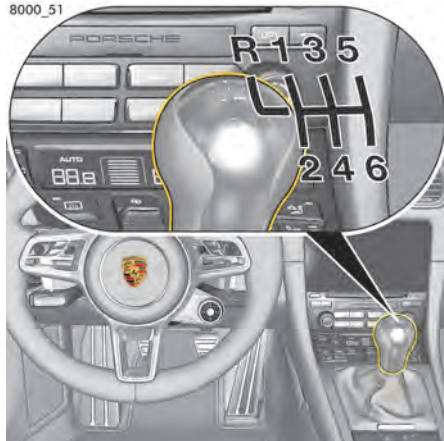


図 134: ギヤレバーのシフトパターン



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマット、正しく固定されていないフロアマット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロアマットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。

- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

## トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置は3速ギヤと4速ギヤの間にあります。

## リバース(後退)に入れる

- ▶ ギヤをリバース(後退)に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- ▶ リバースギヤには、ギヤレバーを左にいったいまで動かした後にシフトすることができます。イグニッションONでギヤレバーをリバース(後退)に入れると、リバースライトが点灯します。

## 締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤポジションディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。

## シフトアップインジケータを使用した走行

8000\_88



図 135: シフトアップインジケータAおよびギヤシフトインジケータB

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータAは、ドライバーが経済的な運転できるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

## エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア（レッドゾーン）に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

### 知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転（オーバーレブ）が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

## Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung(PDK) はオートマチックモードとマニュアルシフトモードを備えた7段変速トランスミッションです。

**オートマチックモード**（セレクターレバーが**D**の位置）では、変速が自動的に行われます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックモードからマニュアルモードに切り替えることができます。

**マニュアルモード**（セレクターレバーが**M**の位置）では、セレクターレバーまたはステアリングホイールのシフトパドルの操作で変速できます。

セレクターレバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリングホイールのシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

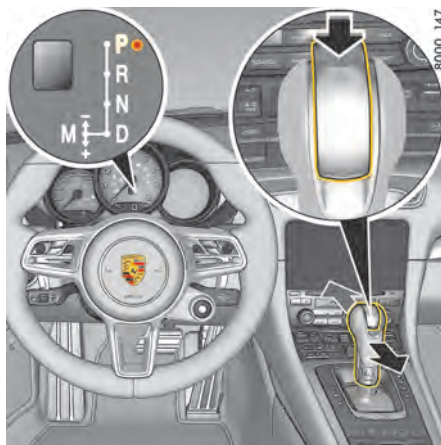


図 136: セレクターレバーの操作

### セレクターレバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクターレバーは動かないように**P**位置に固定されます。イグニッションがONの場合、リリースボタンを押し、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、セレクターレバーを**P**および**N**の位置から動かすことができます。

### ロック解除ボタン

セレクターレバーのロック解除ボタン（矢印）は、ギヤシフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクターレバーを**R**または**P**の位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

### エンジンの始動

セレクターレバーが**P**か**N**の位置にあり、ブレーキペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

### 車両の発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、または**R**）にシフトしてください。
- ▶ セレクターレバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

### 坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフットブレーキを解除した直後にブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▶ 「HOLD機能」(283ページ)を参照してください。

### 車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを走行位置のまま保持し、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、セレクターレバーを**P**の位置にしてください。

### 駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フットブレーキを使用して速度を調節してください。

8000\_90



図 137: セレクターレバーポジションインジケータおよびギヤポジションインジケータ

### セレクターレバーポジションインジケータおよびギヤポジションインジケータを読み取る

エンジン作動中、セレクターレバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクターレバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセレクターレバーポジションが点滅し、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

処置:

- ▶ フットブレーキを踏んで、セレクターレバーを正しい位置に動かしてください。ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクターレバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合（故障または誤った操作で）、このトランスミッション範囲もディスプレイに点滅し、駆動力は発生しません。

- ▶ 発進するには、ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを再びPまたはNから希望のギヤに入れてください。

### インストルメントパネルのセレクターレバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因:

- フットブレーキを踏まずにセレクターレバーを切り替え
- 最高許容速度以上でセレクターレバーをRにシフトした。

処置:

- ▶ ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを再びPまたはNから希望するギヤに入れてください。

### セレクターレバーポジション

#### P-パーキングロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。

セレクターレバーポジションPが点滅している場合、パーキングロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

セレクターレバーを再びRからPの位置に入れてください。

#### ボルシェエントリー&ドライブ非装備車:

キーは、セレクターレバーがPの位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

#### R-リバースギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

#### N-ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクターレバーをNの位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドル状態、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、またはR)にシフトしてください。

#### D-オートマチックモード

- ▶ 「通常」走行時には、セレクターレバーのDの位置を使用してください。

車速とアクセルペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

#### i インフォメーション

ステアリングホイールのシフトボタンを操作することにより、一時的にオートマチックモードDからマニュアルモードMに切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- コーナー前でシフトダウンしたいとき
  - 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
  - 急加速時にシフトダウンしたいとき
- 次の場合は、マニュアルモードが維持されます。
- オーバーラン時
  - 車両が交差点などで停車した場合
- 次の場合は、マニュアルモードが解除されます。
- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後
  - 発進後

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## M-マニュアルモード

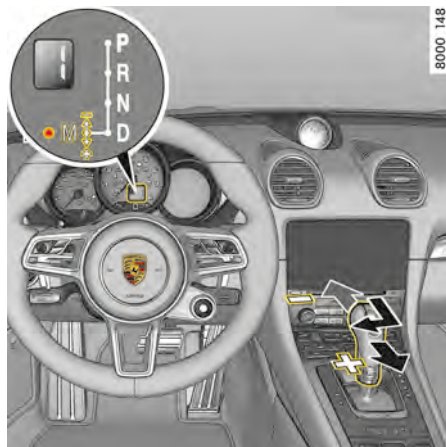


図 138: マニュアルモード

▶ セレクターレバーを **D** から **M** の位置に押ししてください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

**M** から **D** にシフトした場合は、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図 139: シフトパドル付きステアリングホイール

**セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ**

▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

**セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン**

▶ セレクターレバーを前方に押ししてください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

**シフトパドルを使用してN-ニュートラルにシフトする**

▶ 両方のシフトパドルを同時に引いて、すぐに放してください。トランスミッションは **N**-ニュートラルにシフトします。

車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。ギヤシフトインジ

ケーターの数値は消し、セレクターレバーポジションが点滅します。

シフトパドルの1つを引くか、セレクターレバーを操作すると、トランスミッションレンジが再び作動します。

**低燃費走行のためのシフトアップインジケータ**

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータ **A** は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

図 140: シフトアップインジケータ **A**

### キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はセクターレバーがDのときに作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセルペダルを素早くいっぱい(キックダウンの位置まで)踏み込んでください。

車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。

そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

### 惰性走行モードで走行する

惰性走行モードでは、締結ギヤが自動的に切り離され、エンジンブレーキによる減速を防止します。車両はニュートラルで惰性走行します。

#### 惰性走行モードを手動で開始する

- ✓ 操作モードDまたはMが選択されている。
  - ✓ ポルシェスタビリティマネージメント(PSM)が有効になっている。
  - ✓ クルーズコントロールが有効になっていない。
  - ✓ アダプティブクルーズコントロール(ACC)が有効になっていない。
1. アクセルペダルから完全に足を離します。
  2. ギヤシフトパドルまたはセクターレバーを使用して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップします。  
惰性走行モードが有効になります。

#### 惰性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルを踏み込んでください。  
-または-  
シフトパドルまたはセクターレバーを使用してギヤを切り替えます。  
エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

### ローンチコントロールを使用した発進

- ✓ PDK 装備車。

ローンチコントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

#### 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

#### i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
  - ✓ スポーツプラスモードがONになっている。
1. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
  2. 素早くアクセルペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。  
エンジン回転数が約6,000 rpm以上に維持されます。  
マルチファンクションディスプレイにローンチコントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
  3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

## トランスミッションおよびシャーシコントロールシステム

システム / 名称	範囲	ページ
あ か ボルシェ スタビリティ マネージメント ボルシェ スタビリティ マネージメント	- ドライビング スタビリティ コントロール - アンチロック ブレーキ システム (ABS) - ブレーキ システム プレフィル - ブレーキ ブースター (油圧ブレーキ アシスト) - オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) - アンチスリップ コントロール (ASR) - エンジン ドラッグ トルク コントロール (MSR) - ステアリング トルク パルス - HOLD 機能: マニュアル トランスミッション 装備車の 発進 アシスタント、PDK 装備車の 停止 制御	230
さ た な <b>PASM</b> ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント	- 無段階補正コントロール付きショック アブソーバー システム	217
は <b>PADM</b> ボルシェ アクティブ ドライブトレイン マウント	- ダイナミック エンジン マウントは、感じられるほどの振動やドライブトレイン全体の振動を自動的に最小限に抑制します。 - スポーツ モードを ON にすると、ドライブトレイン / ボディ間の結合がより強固な状態になり、スポーティなドライビングスタイルになります。 - スポーツ プラス モードを ON にすると、ドライブトレイン / ボディ間の結合がレース サーキットでの走行に最適となります。	--
ま や <b>PTV</b> ボルシェ トルク ベクトリング	- より俊敏なコーナリングのためのラテラル ダイナミック ブレーキ制御 - ロック率非対称型リヤ ディファレンシャル ロック	--



## ドライバーのキー

### 知識

車両キーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両キーを湿気から保護します。
- ▶ 車両キーを汚れ、ほこり、鋭利な物から遠ざけます。

## ドライバーのキーを使用する

### i インフォメーション

- ▶ 車両が視野に入る位置にある場合のみ、ドライバーのキーを使用してください。



図. 141: ドライバーのキー

- A ロック解除
- B ロックする
- C フロントラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する
- D リヤラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する
- E エマージェンシーキー

各キーにはエマージェンシーキーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ ドライバーのキーの取り扱いにはご注意ください：特別な場合を除き、キーを放置しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、ドライバーのキーを抜き取り、携行してください。
- ▶ ドライバーのキーを車内に残さないでください。

## エマージェンシーキーを使用する場合

### エマージェンシーキーの取り外し

8000\_190



図 142: エマージェンシーキーを取り外す

1. リリースボタンを横に押してください (図. 142)。
2. エマージェンシーキーを抜き取ってください。

### エマージェンシーキーを収納する

- ▶ リリースボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシーキーを押し込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## キーのバッテリー交換



**警告**

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーをお子様に近づけないでください。お子様がキーを開いて、バッテリーを取り外す恐れがあります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

### **i** インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。



図 143: バッテリーの交換

### 電池の交換 (CR 2032、3V)

1. エマージェンシーキーを取り出してください。
2. 適切な物(エマージェンシーキーなど)を使用して、キーハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. バッテリーを交換します(電極の向きに注意してください)。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシーキーを挿入してください。

## キー/コントロールユニットの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。車両とキーの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェエントリー&ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッションロックからコントロールユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。



図 144: メタルフックの取り外し

1. 運転席側のヒューズボックスカバーのハンドルをつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズボックスカバーの裏に収納してあるメタルフックAを取り出してください。

9000\_232

8000\_3

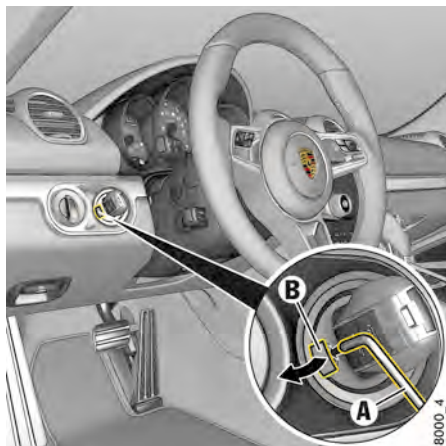


図 145: イグニッションロックからのプラスチックカバーの取り外し

3. メタルフック **A** を使用して、イグニッションロックからプラスチックカバー **B** を取り外してください。
4. 取り外したプラスチックカバー **B** は紛失しないように十分注意してください。

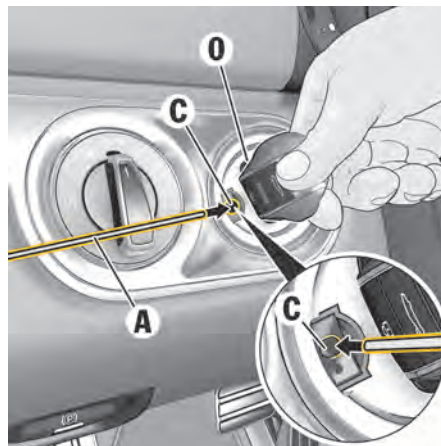


図 146: 緊急ロック解除

5. コントロールユニット/キーをイグニッションロック位置 **O** (初期位置) に回してください。
  6. メタルフック **A** を開口部 **C** に押し込んでください。
- キー/コントロールユニットの解除音が聞こえます。
7. 初期位置 **O** でコントロールユニット/キーを取り外してください。
  8. プラスチックカバー **B** を元の位置に取り付けてください。

## スペアキーの注文と登録

車両のスペアキーは、ポルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。特定の状況では、これには時間がかかる場合があります。

- ▶ いつでもスペアキーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペアキーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべてのキーを再登録してください。

### **i** インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

### **i** インフォメーション

- ▶ キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカルロックを交換してください。
- ▶ キーを紛失したり盗難に遭ったりしたとき、またはスペアキーを追加したり交換したりしたときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

トリップメニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータが表示されます。

ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

## マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する

1. トリップメニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

- **以降**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッション OFF で 2 時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーを OFF にして長時間駐車した場合でも保持されます。


- **目的地まで**: ルート案内を開始すると目的地までのドライビングデータが計算され、表示されます。

## マルチファンクションディスプレイでドライビングデータをリセットする

1. トリップ▶リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **開始**
- **合計**
- **すべて**: 以降および合計のドライビングデータをリセットします。

## PCM のドライビングデータを表示する / リセットする


1. **CAR** ボタン▶トリップ 
2. 希望の表示レベルをブラウズ (スワイプ) してください。

- **パーソナルトリップ**: 必要に応じて、ドライビングデータを 4 つのデータフィールドにグループ分けできます。
- **トリップデータ**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッション OFF で 2 時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **トリップ合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーを OFF にして長時間駐車した場合でも保持されます。

3. **リセット** を選択して、希望のドライビングデータをリセットしてください。

## PCM のパーソナルディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップメニューでは、個々のデータフィールドの内容を個別に設定することができます。ユーザーは、日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーションエリアから選択されたさまざまなデータフィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. **CAR** ボタン▶トリップ ▶パーソナルトリップ▶設定
2. 変更したいデータフィールドを選択してください。
3. データフィールドの希望のコンテンツを選択してください。

## インフォメーション

メニュー項目次のガソリンスタンドまでの距離をデータフィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリンスタンドまでのルート計算が開始されます。このガソリンスタンドまでのルート案内開始を選択してください。

## 盗難防止機能

### 盗難防止機能

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください。

- ▶ サイドウィンドウを閉じてください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じます。
- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを動作させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください(またはポルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください)。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを閉じてください。
- ▶ 車両をロックします。

### イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー(電子回路)が組み込まれています。

イグニッションをONにする前に、イグニッションロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

## ステアリングコラムのロック解除/ロック

### ポルシェエントリー&ドライブ非装備車

ステアリングコラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーで車両のロックを解除してください。  
-または-  
キーをイグニッションロックに差し込んでください。

ステアリングコラムを自動的にロックする

- ▶ キーを抜き取ってください。

### ポルシェエントリー&ドライブ装備車

ステアリングコラムを自動的にロック解除する

- ▶ ポルシェエントリー&ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。  
-または-  
イグニッションをONにします。

ステアリングコラムを自動的にロックする

- ▶ イグニッションをOFFにした状態で、運転席ドアを開いてください。  
-または-  
車両をロックします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ナビゲーション

## 概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。



P170\_21

D

図 . 147: 目的地入力



P170\_54

E F G H

図 . 148: マップビュー

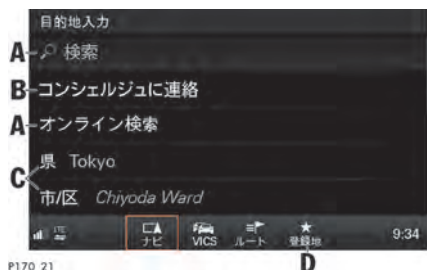
希望する操作	操作方法	ページ
目的地を検索する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 検索 または オンライン検索 (A を参照) ▶ 目的地を入力 / 選択してください。	179
ポルシェ コンシェルジュを開始する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ ポルシェ コンシェルジュ (B を参照) ▶ コンシェルジュを呼び出すには、「ポルシェ コンシェルジュに連絡」を選択してください。	179
目的地の住所を入力する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 県、市区町村 (C を参照) ▶ 目的地住所を入力してください。	179
目的地履歴から選択する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 目的地履歴 ▶ リストから項目を選択します。	180
施設情報を入力する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 施設 ▶ 施設のオプションを選択 ▶ 施設を選択してください。	180
マップコードを入力する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ マップコード ▶ マップコードを入力してください。	180
連絡先から目的地を選択する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 登録地 ★ (D を参照) ▶ 連絡先ページまでブラウズ (スワイプ) ▶ リストから項目を選択してください。	180
すぐにルート案内を開始 / 停止する	▷ <b>MAP</b> ボタン ▶ 開始 (H を参照) または 停止 (H を参照) を選択してください。	181
経由地を入力する / ツアーを計画する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 目的地を入力 ▶ 新規 (E を参照) ▶ 経由地を入力 ▶ 追加 (F を参照) を選択してください。	180
保存したツアーを開始する	▷ <b>NAV</b> ボタン ▶ 登録地 ★ (D を参照) ▶ 保存された目的地までブラウズ (スワイプ) ページ ▶ ツアーを選択 ▶ 開始を選択してください。	180
交通情報を表示する	▷ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ VICs (F を参照) を選択します。	183
ルートを表示および編集する	▷ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ ルート (G を参照) を選択してください。	182
道路通行料自動徴収システム (ETC) を設定する	▷ <b>CAR</b> ボタン ▶ 料金 (G を参照) を設定してください。	185

**警告**

事故を起こす恐れがあります

ポルシェナビゲーションシステムは、目的地まで快適に到着できる走行ルートを案内し、ドライバーを補助します。推奨された走行指示が実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。




P170\_21

図 . 149: 目的地入力

## 目的地を検索する (検索 / オンライン検索)

検索機能を使用して検索すると、PCM の内部データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、オンライン検索機能を利用してください。

- ✓ **オンライン検索:** オンライン検索を行うにはデータ接続を確立する
  - ▶ 「接続」(135 ページ) を参照してください。


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 検索または**オンライン検索**を選択してください (A 図 . 149 を参照)。
3. 検索語句を入力してください (県、市 / 区、名称など)。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

## ポルシェコンシェルジュを開始する

コンシェルジュサービスはドライバーのパーソナルアシスタントです。リクエストに応じて、希望の施設や個人住所へのナビゲーションデータを PCM に直接送信し、ドライバーをサポートします。

- ✓ 挿入された SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている。
- ✓ 携帯電話が PCM に接続されている。
  - ▶ 「携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)」(160 ページ) を参照してください
- ✓ Apple CarPlay を使用していない。


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. ポルシェコンシェルジュを選択 (B 図 . 149 を参照)。
3. コンシェルジュを呼び出すには、**ポルシェコンシェルジュに連絡**を選択してください。
4. 呼び出しを開始することを通知で承認してください。

5. コンシェルジュエージェントと会話を開始し、施設情報または個人住所を要求してください。  
コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。
6. POI または個人住所を選択してください。
7. **開始**  を選択してください。

## i インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的位置などのコンシェルジュサービスデータの使用时は、車両識別データ、言語設定がコンシェルジュコンタクトセンターに転送される場合があります。
- 1 回のコンシェルジュサービスにつき、最大 5 つの目的地のナビゲーションデータを PCM に送信することができます。

## 目的地住所の入力

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 都道府県または市 / 区町村を選択する (C 図 . 149 を参照)。
3. 住所を入力してください (県、市 / 区、施設情報、またはマップコードなど)。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら


わ

A-Z

## 保存した目的地または連絡先の使用（目的地履歴）

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 前回の目的地を選択してください。
3. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
  - 前回の目的地：最近使用した目的地
  - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地
  - ▷ 「保存した目的地の呼び出し（お気に入り）」[181 ページ]を参照してください。
  - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. 開始  を選択してください。


## 施設情報の入力

1. **NAV** ▶ 施設
2. リストから施設を選択してください。  
〔目的地周辺検索など〕。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. 開始  を選択してください。

### インフォメーション


- NAV** ▶ ナビ  ▶ 施設 ▶ 希望の施設情報オプションを選択（目的地周辺検索など）▶ ポータルリスト POI My Porsche から他の施設情報カテゴリーを読み込んでください。
- ▷ 「ポルシェ コネクトへのログイン」[136 ページ]を参照してください。

## マップコードを使用した目的地の入力

1. **NAV** ▶ ボタンマップコード
2. 希望する目的地のマップコードを入力してください。
3. マップコード ポジションを入力し、**OK** をクリックして確定してください。
4. 開始  を選択してください。


## 地理座標を使用した目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. **NAV** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **GPS 座標を入力**
2. GPS 座標を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
3. 開始  を選択してください。

## 地図からの目的地入力




✓ ルート案内がまだ開始されていません。

1. **MAP** ボタンを押してください。
2. 地図上で目的地を選択してください（必要に応じて、ボタンを長押しする）。
3. ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。  
目的地の詳細が表示されます。
4. 開始  を選択してください。


## ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは1つの目的地、および1箇所～8箇所までの経由地で構成されます。

### ツアーの入力および保存



1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. ルート  を選択してください。
4. ツアーを選択してください。
5. 新規  を選択してください。
6. 経由地を入力してください。
7. 追加  を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK** をクリックして確定してください。  
ツアーが保存されました。

### インフォメーション

経由地は後で変更することができます。ボタン **NAV** ▶ ルート  ▶ ツアーを選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動してください。

### 保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されました。

1. **NAV** ボタン ▶ 登録地 
2. 保存された目的地のページまでブラウズ（スワイプ）してください。
3. ツアーを選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. 開始  を選択してください。



## マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▷ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(236ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(236ページ)を参照してください。

### 1. ナビゲーション▶目的地入力

2. 希望のリストを選択してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存した目的地: 恒久的に保存した目的地

3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

## ルート案内の開始 / 停止


目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない

▶ **NAV** ボタン▶開始

目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されている

▶ **開始**  を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の停止

- ✓ ルート案内を開始している

▶ **NAV** ボタン▶**停止**  を選択してください。

マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない


1. ナビゲーションメニューを選択してください。
2. 以下の希望の項目を選択してください:

- ルート案内の開始: ルートを計算します。
- ルート案内の停止: ルート案内を停止します。

## 目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し (お気に入り)

目的地の保存 (お気に入り)


- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内が開始されていない

1. **保存**  を選択してください。
2. **OK** をクリックして目的地名を確定してください。目的地が保存されます。
  - または -
  - 目的地名を変更し、**OK** をクリックして確定してください。


目的地は、入力した名前で保存されます。  
- または -  
既に割り当てられている名前 (自宅など) をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。

既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。


### i インフォメーション

目的地は、**NAV** ボタン▶登録地  ▶保存された目的地▶お気に入りとして保存を使用して保存することもできます。

保存した目的地の呼び出し (お気に入り)

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン▶登録地  ▶
2. 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存した目的地: お気に入りとして保存した目的地またはツアー
  - 連絡先: 接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

### i インフォメーション

My Porsche から他の目的地を読み取るには、**NAV** を選択、または **MAP** ボタン▶登録地  ▶保存された目的地▶パーソナル施設情報 POI を使用してください。

▷ 「ポルシェコネクトへのログイン」(136ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 目的地およびツアーの消去または編集

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ 登録地 **★**
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
  - 前回の目的地：最近使用した目的地
  - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地
  - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. **OPT** ボタンを押してください。
5. 以下の希望の項目を選択してください：
  - 削除
  - 住所を地図上に表示

**i** インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、**NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ 登録地 **★** ▶ **OPT** を選択してください。

## ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されています。

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ ルート **≡**
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- ルートオプション：
  - ルートの設定条件：ルートの計算方法（推奨、有料回避、時間優先）を設定します。
  - ルート回避オプション設定：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節的な制限を除外するか、または含めるかを設定します。
  - ダイナミックリルート：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
  - 手動ダイナミックリルート：確認後に、動的なルート管理が作動
- リスト表示：次の特徴的なルート地点（施設情報、分岐点など）が表示されます。
- ツアー：開始されたツアー ルート案内の目的地および距離が表示されます。
- 代替ルート：ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**開始** **▶** を選択してください。

## マップビューを開いて設定する

## マップビューを開く



図 150: 表示および機能要素を含むマップビュー

- ▶ **MAP** ボタンを押してください。  
地図 **≡** メニューおよび現在地のマップビュー、およびルート案内中の場合は現在のルートが表示されます。

- **A**: 車両位置を地図の中央に置く
- **B**: ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
- **C**: 縮尺表示とオートズームを切り替える
- **D**: 地図サイドメニューを開く
  - ▶ 「地図コンテンツの設定」(182 ページ) を参照してください。
- **E**: 地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える

## 地図コンテンツの設定



図 151: 地図サイドメニューを含む地図コンテンツ

1. **MAP** ボタン ▶ サイドメニュー **≡** を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリープッシュボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイドメニュー内をスワイプダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

- ✓ インターネットからデータを読み込むマップビューの利用には、有効なデータ接続が必要

▶ 「接続」(135 ページ)を参照してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

- **3D** : 3D ビュー (または 2D ビュー)
- **オンライン交通情報** : インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報の表示 / 非表示を切り替えます。
- **ルート情報** : 現在のルート計画が表示される
- **POI 表示** : 地図上の施設情報の表示 / 非表示を切り替える
- **コンパス** 地図上のコンパスの表示 / 非表示を切り替える
- **天気** 地図上の天気情報の表示 / 非表示を切り替える
- **オートズーム** : 地図上のオートズーム機能の表示 / 非表示を切り替える

### **i** インフォメーション

地図のサイドメニューから各種機能に素早くアクセスすることができます。これらの機能を設定するには、**MAP** ボタン▶**OPT** ボタン▶地図設定▶マップビュー▶マップレイヤーを選択します。

## マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 「マルチファンクションディスプレイ」(236 ページ)を参照してください。

1. **地図メニュー**を選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

- **オートズーム** : 現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3D マップ** : 3次元地図を表示します。
- **北向き** : 常に地図の上方が北になります。
- **マニュアルズーム** : 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **目的地を表示** : 地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示** : 地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

## 交通情報の表示



図 . 152: 交通情報の表示

**NAV** メニューおよび **MAP** メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。以下の情報が表示されます。

- 斜線区間 : 交通渋滞の長さを示します。

- 色付き警告シンボル : 選択したルート上に差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- グレー表示の警告シンボル : 選択したルート上ではない交通渋滞

## VICS 交通情報の表示



図 . 153: DSRC/VICS 交通情報

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタンを押してください。
2. **交通** を選択してください。受信したすべての交通情報通知のリストが表示されます。**交通** メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報通知の件数を示します。
3. 希望の交通情報通知を選択してください。  
- または -  
すべての交通情報を表示するには、**すべての交通情報通知を表示**を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

あ

か

さ

た

な

は


ま

や

ら


わ

A-Z

- **DSRC/VICS 交通情報**： アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップはエリア内の交通情報の概要を提供します。
- ▷ 「全般的な VICS 設定の変更」(185 ページ) を参照してください

- **FM 図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式の FM 交通情報を表示します。
- **FM テキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供される FM 交通情報を表示します。
- **DSRC 交通ボイスメッセージ**：DSRC 交通情報の自動アナウンスの ON/OFF を切り替えます。

交通情報通知は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。


**MAP** ボタン▶**ルート** ▶**ダイナミック** ルートを  
使用して、迂回のための自動ルート変更機能を ON にすることができます。  
**手動ダイナミック** ルートにより、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

### インフォメーション

ラジオ局には交通情報通知に対する責任があります。従いまして、この情報の完全性および正確性に関してボルシェでは責任を負いかねます。

### 交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと
  - ▷ 「接続」(135 ページ) を参照してください。

1. **MAP** ボタン▶サイドメニュー  を選択してください。
2. **オンライン交通情報** を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：円滑に流れる交通状態
- 橙色のライン：流れの遅い交通状態
- 赤色のライン：渋滞
- ▷ 「地図コンテンツの設定」(182 ページ) を参照してください。

### インフォメーション

- ボルシェコネクトサービス（カーコネクトサービスを含む、セーフティおよびセキュリティサービスを除く）は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも 3 カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、www.porsche.com/connect またはボルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからボルシェコネクトサービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

## ナビゲーション設定の変更

1. **NAV** ボタン▶**OPT** ボタン
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **位置情報**：現在の位置情報が表示されます。
- **GPS 座標を入力**：GPS 座標を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
- **NAV 設定**
  - **ナビゲーション案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内の ON/OFF を切り替え
  - **ナビゲーションデータベースアップデイト**：ナビゲーションデータベースを SD カード、CD/DVD または USB デバイスを使用してアップデートします。
  - ▷ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
  - **燃料警告**：残可走距離情報の表示 / 非表示
  - **ナビ情報非表示**：ナビゲーション情報の表示 / 非表示

## 地図設定の変更

1. **MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 地図設定

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- マップビュー：マップビューの調整（北向き、3D マップ、3D 建物）およびマップレイヤー。
- ズーム：拡大縮小の適用
  - オートズーム：現在のルート案内におけるズームレベルの自動選択
  - 交差点拡大：現在のルート案内で交差点に接近したときのズームレベルの自動選択
  - 交差点詳細地図：交差点に近づいた場合、より詳細な走行案内を表示
- 警告：施設に近付いた場合の警告、または燃料警告を設定
  - 燃料警告
  - ITS スポット / VICS 交通情報通知
  - 交通イベント通知マップ
  - 合流警告
  - 踏み切り
  - レーン警告
  - スピードカメラ
- 一般設定
  - 昼 / 夜表示：日中 / 夜間表示を切り替えます。
  - フッターを表示：マップビューにタッチスクリーンフッターを表示
  - レイヤー表示：マップビューにレイヤーサイドバーのボタンを表示
  - 到着時刻表示：到着時刻と残りの走行時間を切り替え
  - 経由地までの走行データ：経由地までの時間および距離を表示

## 全般的な VICS 設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン

- または -

2. **MAP** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン

3. 以下の希望の項目を選択してください：

- ポップアップ設定ポップアップの ON/OFF 切り替え、および：
  - ポップアップ表示時間とポップアップメッセージ割込
  - DSRC 運転支援情報
  - ITS スポッター一般
  - DSRC 交通ボイスメッセージ
- VICS 受信ステータス：
  - 選択した局（東京など）
  - 受信ステータス：{ 検索など }
  - 受信時間
  - オン / オフライン VICS 状態
- DSRC 更新機能：ON/OFF を切り替えます。
- NAV 設定：「ナビゲーション設定の変更」（184 ページ）を参照してください
- MAP 設定：「地図設定の変更」（185 ページ）を参照してください

## ETC (道路通行料自動収受システム) の使用

ETC カードリーダーにカードを挿入 / 取り出し

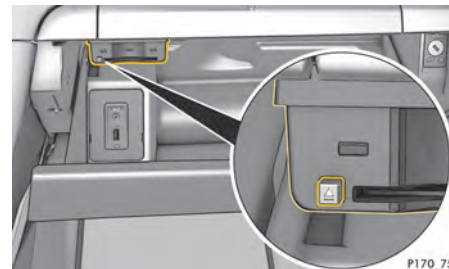




図 154: グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードを、グローブボックス内のカードリーダーにロックされるまで差し込んでください。  
**ETC** アイコンはスクリーンの下部に表示されます。
2. ETC カードを取り出すには、 ボタンを押してください。  
カードの紛失またはカードのエラーを表示する **ETC** アイコンは PCM スクリーンの下部に表示されます。

### 支払履歴の表示

✓ ETC カードが挿入されていること

- ▶ **CAR** ボタン ▶ 料金  ▶ 通行料履歴。通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



**i** インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカードリーダーから抜き取ることを推奨いたします。これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。

- ▷ 「一般的な ETC 設定」(186 ページ)を参照してください

**一般的な ETC 設定**

- ✓ ETC カードが挿入されていること

1. **CAR** ボタン ▶ **料金**  ▶ **設定**  ▶ **ETC 設定**
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスの ON/OFF を切り替えます。
- **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示 / 非表示します。
- **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETC カードをカードリーダーから抜き取ることを促すメッセージの ON/OFF を切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## バッテリー

### ▲ 警告

感電、ショート、または火災

車両の通電部に触れると、感電する恐れがあります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

### ▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。

### ▲ 注意

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

### 知識

回路的ショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

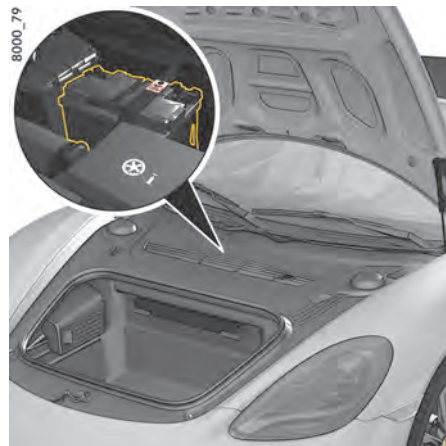


図. 155: バッテリー

バッテリーはフロントラゲッジコンパートメント内のプラスチックカバーの下にあります(図. 155)。

プラスチックカバーの取り外しに関するインフォメーション:

- ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(264ページ)を参照してください。
- ▶ ジャンパーケーブルによるエンジンの始動時は、黒色のマイナスケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所(マイナス端子)B(図. 156)に接続してください。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション:

- ▶ 「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」(106ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま




や

ら

わ

A-Z

## 警告シンボルへの対応

バッテリーの充電レベルが低いときは、マルチファンクションディスプレイに  または  シンボルが表示されます。 のシンボルは、オルタネーターの故障を示します。  
▷ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ) を参照してください。

## バッテリーに記載されている安全に関するシンボルに注意してください。



作業の前に取扱説明書をお読みください。



保護眼鏡を着用してください



お子様を絶対に近づけたりしないでください



**爆発の危険があります**  
バッテリー充電中には、爆発性の高い混合ガスが発生します。そのため、



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています  
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



**腐食性やけどの危険があります**  
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。  
保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。  
バッテリーを傾けないでください。傾けると、排気口からバッテリー液〔酸〕がこぼれる可能性があります。

### 応急処置

バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。  
バッテリー液〔酸〕が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。  
万一バッテリー液〔酸〕を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者診察を受けてください。



**廃棄**  
古いバッテリーは  
バッテリー回収ポイント



絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

## バッテリーのお手入れ

### **i** インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0℃であっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

希望する操作	操作方法
バッテリー上りを避ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 短距離走行時には、不要な電気装備のスイッチをOFFにしてください。</li> <li>▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。</li> <li>▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。</li> </ul>
バッテリーのお手入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。</li> <li>▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。</li> </ul>
冬季走行の準備をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。</li> </ul>
バッテリーを充電する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。</li> <li>▷ 「バッテリーの充電」(189 ページ) を参照してください。</li> </ul>

## 車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、車両のドアやリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。ボルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。



**i** インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報システムは作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

- ▶ 「警報システム」(72 ページ)を参照してください。

**i** インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはAGM (Absorbent Glass Mat (アブソーバント ガラス マット))バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェでは、ボルシェ テクニップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

## バッテリーの充電

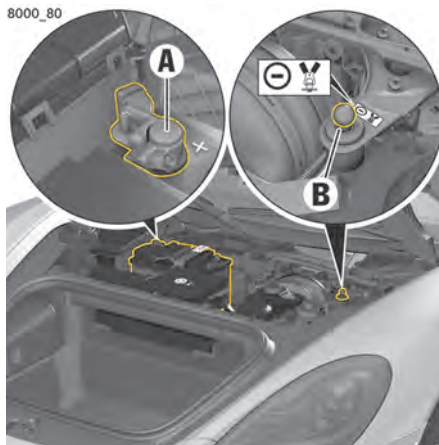


図 156: バッテリー端子

- A プラス端子 +  
B アース箇所 (マイナス端子) -

**⚠ 警告**

凍結または損傷した  
バッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。
  - ▶ 充電器の使用はメーカーの取扱説明書に従ってください。
  - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。
- ▶ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(268 ページ)を参照してください。

2. ラゲッジコンパートメントカバーを取り外してください。
  - ▶ カバーを取り外すには:「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ)を参照してください。
  3. 充電器の赤色のプラスケーブルをバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
  4. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所Bに接続してください。
  5. 充電器のスイッチをONにしてください。
  6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチをOFFにして切り離します。
- ▶ 「バッテリー交換後の車両の運転」(190 ページ)を参照してください。
  - ▶ 適切な充電器に関する推奨事項:ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格 / 仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェの要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たした AGM (Absorbent Glass Mat : 浸透ガラスマット) バッテリーを必ず使用してください。ボルシェ純正バッテリーの使用を推奨します。
- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。
- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロールユニットでの初期化が必要です。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## バッテリー交換後の車両の運転

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存してください。
  - ▷ 「サイドウィンドウ停止位置の保存」 [42 ページ] を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) にタイヤを登録してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」 [139 ページ] を参照してください。

## パークアシスト

ドライバーが駐車操作をしているとき、パークアシストが車両と障害物の間の距離を表示(車両装備により異なる)と音で知らせます。パークアシストのパーキングエイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

### 警告

運転中または駐車中の不注意

パーキングアシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキングアシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

## 距離測定

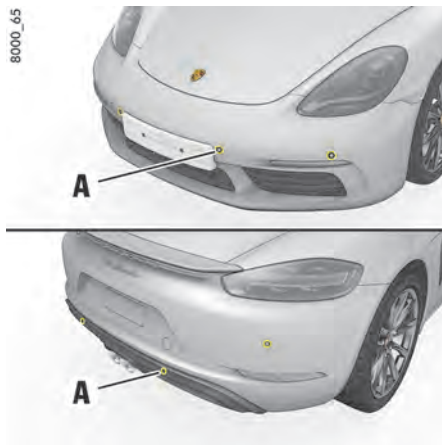


図 157: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサー **A** が障害物との距離を測定します(車両装備により異なる)。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキングアシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクションディスプレイで変更できます。

- ▶ 「警告音量およびパーキングアシスタントの調節」[247 ページ]を参照してください。

## パークアシストの作動

自動作動(約 15km/h (9mph) の速度まで)

- ✓ イグニッションが ON になっています。
- ✓ リバース(後退)ギヤが入っています。
  - または -
- ✓ 前方の距離が約 80 cm 以下。
  - または -
- ✓ 車両の後退が検知されている

### 手動での作動

### PCM の表示

- ▶ **CAR** ボタン ▶ アシスト ▶ パークアシストを表示する

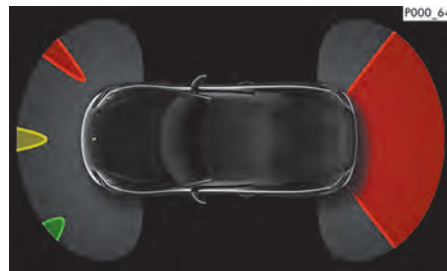


図 158: 色で距離を知らせる

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
グリーン	< 120 cm	< 180 cm
黄	< 80 cm	< 80 cm
赤	< 40 cm	< 45 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

か

さ

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

た

な

## パークアシストを無効にする

### 自動停止

- ✓ リバースから前進にギヤをシフトする (故障物が検出されない場合は約2分後)
  - または -
- ✓ PDK 装備車: セレクター レバーが P の位置にある。

は

ま

や

ら

わ

A-Z

### 手動での停止



図 159: オーバーヘッド コンソールのボタン

- ▷ オーバーヘッド コンソールのボタン A を押してください。  
ボタンのインジケーター ライトが点灯します。  
PCM には何も表示されません。PCM の表示を手動で再度 ON にすることはできません。

### 例外

構造上、パーキング アシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体 (例: 粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)
- 音波を反射する物体 (例: ガラス面や平らな塗装面など)
- 非常に細い物体 (細い支柱など)

その他、他車のエアブレーキ、掃除機、エアジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

### メンテナンス上の諸注意

- ▷ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▷ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▷ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▷ ナンバープレートホルダーの改造、またはナンバープレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

### リバースカメラ

#### リバースカメラの作動

##### 自動

- ✓ リバースギヤに入れてイグニッションを ON にする
  - または -
- ✓ 車両の後退が検知されている

##### 手動

- ▷ **CAR** ボタン ▶ アシスト ▶ パーキングアシスタントを表示する

#### リバースカメラの停止

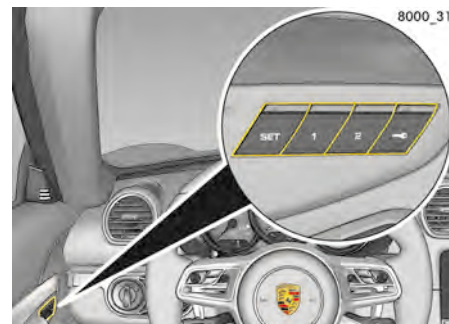
##### 自動



- ✓ リバースから前進にギヤをシフトする (故障物が検出されない場合は約2分後)
  - または -
- ✓ PDK 装備車: セレクター レバーが P の位置にある。

## パーソナル設定

### 概要

この概要説明は「パーソナル設定」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	メモリー パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しできますか？	ページ
運転席ドアのメモリー ボタン1または2を使用します。	<b>人間工学に基づいた設定 (装備仕様による)</b> - 運転席シート、ドアミラー、ステアリング ホイール	194
運転席ドアのキー ボタン  を使用します。	<b>人間工学に基づいた設定 (装備仕様による)</b> - 運転席シート、ドアミラー、ステアリング ホイール  <b>コンフォート設定 (装備仕様による)</b> - インストルメント パネル - エアコン システム  設定は運転席ドアのキー ボタン  およびキーに保存されます。	194

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## パーソナル設定の保存と呼び出し

### メモリーパッケージ



注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ メモリーボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押しと、必要に応じて人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。



図 160: 運転席ドアメモリーボタン (メモリーパッケージ)

車両の装備仕様により、メモリーパッケージではさまざまな設定をキーおよび運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

#### 人間工学に基づいた設定:

- 運転席シート
- ステアリングホイール
- ドアミラー

#### コンフォート設定:

- インストルメントパネル
- エアコンシステム

#### キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

#### インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。さらにキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

#### 運転席ドアの運転席キーボタン を押す

✓ イグニッションがONになっています。

1. 設定ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
2. 10秒以内にキーボタン を押してください。

人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定(キー特定)が保存されます。保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーターライトが消灯します。

#### キーから設定を呼び出す

##### 車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。  
使用中のキーの設定が呼び出されます。

#### 運転席ドアの運転席キーボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキーボタン を押し続けてください。  
-または-  
✓ イグニッションがOFFになっている。  
✓ 運転席ドアを開く  
▶ キーボタン を短く押してください。  
使用中のキーの設定が呼び出されます。

#### メモリーボタン1および2への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリーボタン1と2に割り当てることができます。

✓ イグニッションがONになっている。

1. 設定ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
2. メモリーボタン1または2を10秒以内に押してください。


人間工学に基づいた設定が保存されます。保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーターライトが消灯します。

#### メモリーボタン1または2による設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでメモリーボタン1または2を押し続けてください。  
-または-  
✓ イグニッションがOFFになっています。  
✓ 運転席ドアを開く  
▶ メモリーボタン1または2を短く押してください。  
設定が自動的に適用されます。

## パンク

### 警告シンボルへの対応

 シンボルが警告シンボルとともにマルチファンクションディスプレイに表示された場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

### 車両を安全な場所に停車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトを点滅させてください。
3. エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
4. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤレバーを1速にしてください。  
-または-  
PDK 装備車：セレクターレバーをP位置に入れてください。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：キーを抜き取ってください。ポルシェエントリー&ドライブ装着車：コントロールユニットを取り外します。
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。

8. 適切な距離に停止表示板を設置します。
9. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

### 損傷したタイヤの補修

#### 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると圧力を失ったり、バーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは4mm以下の切り傷や刺し傷のみに使用してください。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が-20°C未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h以上で走行しないでください。
- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が1.5 bar未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

パンクした場合、車両に付属のタイヤシーラントセット (Tyre Mobility System - TMS) を使用して、タイヤの傷を一時的にふさぐことができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- **タイヤシーラントセット (Tyre Mobility System - TMS)** は、フロントラゲッジコンパートメント内に収納されており、以下で構成されています。
  - 充填ボトル
  - 充填ホース
  - バルブ回し
  - 交換バルブインサート
  - 許容最高速度表示用ステッカー
  - 取扱説明書
- ▷ 「タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム - TMS) または工具セットの取り外しと収納」 (263 ページ) を参照してください。
- **コンプレッサー** はフロントラゲッジコンパートメント内にあります。
  - ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」 (264 ページ) を参照してください。

## タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)



警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。



警告

タイヤ空気圧の低下

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

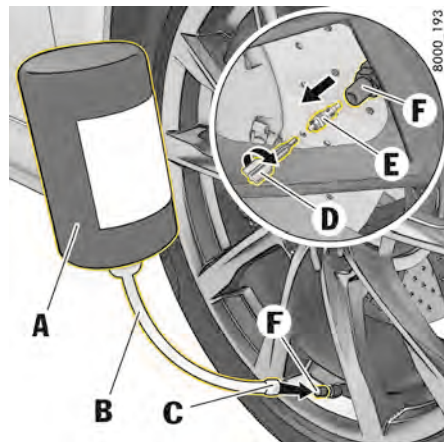


図 161: タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサート
- F タイヤバルブ

### 充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. フロントラゲッジコンパートメントからタイヤシーラントおよび同封のステッカーを取り出してください。タイヤシーラントは、ラゲッジコンパートメントの右側のボックスにあります。コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。



- ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(264 ページ)を参照してください。
  - ▷ 「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」(263 ページ)を参照してください。
- 3 許容最高速度を示すステッカーを、ドライブの目に付く場所に貼り付けてください。

#### タイヤシーラントの充填(Tire Mobility System - TMS)

- ▷ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル **A** を振ってください。
2. 充填ホース **B** を充填ボトルに取り付けてください。  
充填ボトルが開いています。
3. タイヤバルブ **F** からバルブキャップを取り外してください。
4. バルブターナー **D** を使用して、タイヤバルブからバルブインサート **E** を取り外します。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース **B** のプラグ **C** を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤバルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し **D** を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート **E** に確実にねじ込んでください。

#### タイヤ空気の充填

- ▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。
  - ▷ 「タイヤ空気の充填」(142 ページ)を参照してください。
1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
  2. バルブキャップをタイヤバルブ **F** に取り付けてください。

#### タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。  
タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 以上の場合、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」(291 ページ)を参照してください。

#### タイヤ交換

- ▷ 「タイヤとホイールの交換」(144 ページ)を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(139 ページ)を参照してください。

## ヒューズ

## 警告

短絡

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

## 警告

不適切な処置および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリ）のみを使用してください。認定アクセサリに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒューズの点検および交換

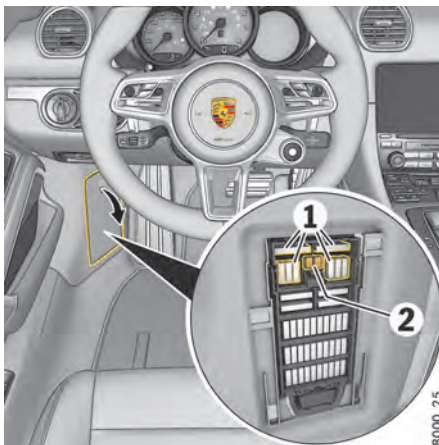


図 162: 左側足元のヒューズボックスにあるエレメント

- 1 スペアヒューズ
- 2 プラスチック製ヒューズリムーバー

短絡や過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。ヒューズボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。ヒューズリムーバーおよびスペアヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズボックス内にあります。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. 穴に指を入れて、プラスチックカバーを外してください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバー2を使用して、スロットからヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。

4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペアヒューズ1は左側のヒューズボックスのプラスチック製ヒューズリムーバー2の隣にあります。

## i

## インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 運転席側のヒューズ



図 163: 運転席側足元のヒューズキャリア

<b>A 列</b>		<b>4 インテリアライト</b>		<b>15A ■</b>		<b>C 列</b>		
1	左下: エアコンブロワー(右ハンドルの車のみ)	40A ■	ホールセンサー オリエンテーションライト リヤウィンドウヒーターリレー セントラルロッキングLED ドアパネルLED アンビエントライト ライセンスライト リヤフォグライト、左 ハイマウントブレーキライト ブレーキライト、右 リバースライト、右 テールライト、右 デイトタイムドライビングライト、右 ケイマン: リヤワイパー電気作動	10A ■	1	センターコンソールボタンパネル ゲートウェイコントロールユニット 故障診断用ソケット イグニッションロック ステアリングコラムロック ライトスイッチ ケイマン: ラゲッジコンパートメントライト	10A ■	
2	左上: PSMコントロールユニット	40A ■			2	フットウェルライト イグニッションロックの取り外し防止ロック 方向指示器、右フロントおよび右リヤ ハザードライト ボタンLED イグニッションロックライト 方向指示灯(サイド)、右フロントおよび左フロント ハイビームヘッドライト、右ロービームヘッドライト、右車幅灯、左フロント	40A ■	
3	右下: シートおよび運転席シートコントロールユニットの調整	25A ■	5	燃料ポンプシステムリレーおよびコントロールユニット	20A ■	3	未使用	
4	右上: Boxster: コンバーチブルトップ	40A ■	6	フィルターフラップロック ステアリングコラムロック端子30 ウォッシャーポンプ、フロントおよびリヤ	10A ■	4	ホーン	15A ■
<b>B 列</b>			7	未使用		5	フィルターフラップ リヤスポイラーコントロール(展開/格納) Boxster: コンバーチブルトップロッククロー징ングエイド Boxster: コンバーチブルトップコンパートメントキャッチの開閉	30A ■
1	ヘッドライトの右側/左側通行の変更 フロントリッドライト フロントリッドアクチュエーター ハイビームヘッドライト、左ロービームヘッドライト、左 サイドマーカーライト、右フロント 方向指示器、左リヤおよび左フロント	40A ■	8	エアコンコントロールユニット	7.5A ■	6	パワーウィンドウコントロールユニット、左 ドアコントロールユニット、左	25A ■
2	エキゾーストフラップコントロール ハイマウントブレーキライト、リヤスポイラー リヤリッドアクチュエーター リヤフォグライト、右 ブレーキライト、左 リバースライト、左 テールライト、左 左側デイトタイムドライビングライト	15A ■	9	未使用		7	ヘッドライトクリーニングシステム	30A ■
3	アラームホーン	15A ■	10	ステアリングコラム ストップウォッチ	15A ■			

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	8 PSMコントロールユニット	25 A ■
	9 アラームサイレン	5 A ■
	10 室内モニタリングシステムセンサー	2 A ■

## D 列

か	1 ケイマン:リヤワイパー	15 A ■
さ	2 未使用	
	3 左ヘッドライト	15 A ■
た	4 フロントカメラコントロールユニット PDCコントロールユニット ゲートウェイ/故障診断用ソケット エアクオリティセンサー ヘッドライトコントロールユニット	5 A ■
な	5 PSMコントロールユニット	5 A ■
は	6 ステアリングコラムスイッチモジュール 電動ステアリングギヤ 冷媒圧力センサー ラジエーターファンリレー	5 A ■
ま	7 セレクターレバーコントロールユニット クラッチスイッチセンサー	5 A ■
や	8 右ヘッドライト	15 A ■
ら	9 ルームミラー	5 A ■
わ	10 シートベンチレーション、左	5 A ■

## 助手席側のヒューズ

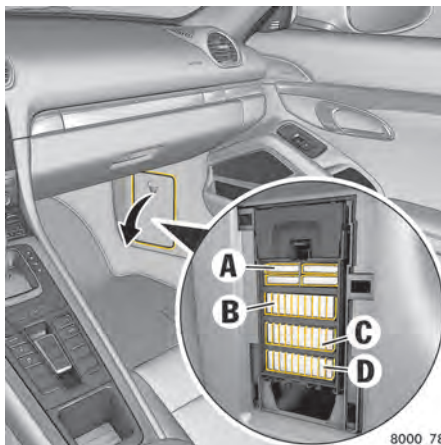


図 164: 助手席側足元のヒューズキャリア

## A 列

1	左下: DC/DCコンバーターPCM	40 A ■
2	未使用	
3	右下: 外気ブLOWERモーターおよびファンコントロール (左ハンドル車のみ)	40 A ■
4	右上: シートおよび助手席シートコントロールユニットの調整	25 A ■

## B 列

1	レインセンサー	5 A ■
2	エアコン/シートヒーターコントロールユニット	25 A ■
3	PCMコンポーネント: (リバースカメラ、アンテナアンブ、コントロールユニットディスプレイ、USBハブ、カップリングアンテナ、カードリーダー)	5 A ■
4	外部ブースター付きセントラルコンピューター	7.5 A ■
	内部ブースター付きセントラルコンピューター	20 A ■
5	TPMコントロールユニット エアコンコントロールユニット	5 A ■
6	サウンドシステムアンプ	40 A ■
7	Burmester® サブウーファーブースター	40 A ■
8	未使用	
9	インストルメントパネル	10 A ■
10	ドアハンドル近接センサー	5 A ■

## C列

1	未使用	
2	エレクトリック パーキング ブレーキ スイッチ	5 A ■
3	オーバーヘッド コンソール	5 A ■
4	PDK コントロール ユニット	25 A □
5	未使用	
6	フロント ワイパー モーター	30 A ■
7	パワー ウィンドウ コントロール ユニット、右 右ドア コントロール ユニット	25 A □
8	ステアリング コラム調整	25 A □
9	未使用	
10	未使用	

## D列

1	エアバッグ コントロール ユニット シート センサー コントロール ユニット	5 A ■
2	PASM コントロール ユニット	5 A ■
3	未使用	
4	ACC コントロール ユニット	5 A ■
5	未使用	
6	シート ベンチレーション、右	5 A ■
7	始動関連の電装品 DME、PDK、リヤ BCM	5 A ■
8	未使用	
9	センター コンソール ソケット シガー ライター	20 A ■
10	助手席 足元ソケット	20 A ■

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

# フロントウィンドウワイパー

## 概要

この概要説明は「フロントウィンドウワイパー」に記載された情報に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

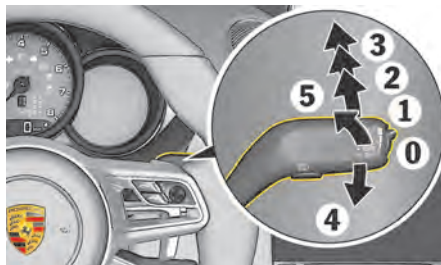


図 165: フロントウィンドウワイパーレバー



図 166: レインセンサー/間欠作動感度のスイッチ A

希望する操作	操作方法	ページ
フロントワイパーオート作動 (レインセンサー/間欠作動)	操作レバーを <b>1</b> の位置にしてください。	204
レインセンサー/間欠作動感度を設定する	操作レバー右部のスイッチ <b>A</b> を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 方向に押してください。	204
フロントワイパー作動	低速: 操作レバーを <b>2</b> の位置にしてください。 高速: 操作レバーを <b>3</b> の位置にしてください。 ワンタッチ: 操作レバーを <b>4</b> の位置に押してください (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	203
ワイパー&ウォッシャー作動	操作レバーをステアリングホイール方向 <b>5</b> に引いて、保持してください。	203
フロントウィンドウワイパーを格納位置から出す	イグニッションを OFF にして、ワイパーレバーを 1 回下方向 <b>4</b> に押してください。フロントウィンドウワイパーが上方に約 45 度移動します。	204

**警告**

ワイパーの不意の作動

フロントウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レインセンサーモードでは、フロントウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロントウィンドウワイパーをOFFにしてからフロントウィンドウを清掃してください。

**知識**

フロントウィンドウおよびワイパーシステムが損傷する恐れがあります。

- ▶ フロントウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパーブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レインセンサー機能により)不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロントウィンドウワイパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

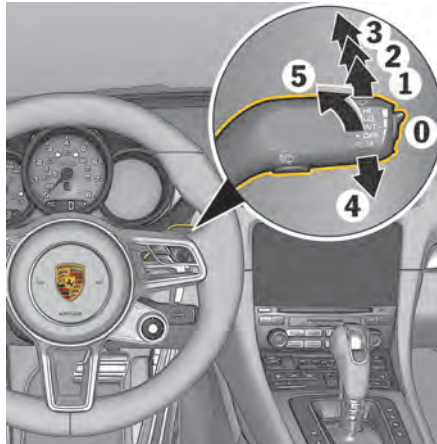
**フロントウィンドウワイパーの操作**

図 167: フロントウィンドウワイパーレバー

- 0 フロントウィンドウワイパーOFF  
フロントウィンドウワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパーアームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパーブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。
- 1 レインセンサー/間欠作動  
フロントウィンドウワイパー
  - ▶ ワイパーレバーを1段目の位置まで上方に押してください。
- 2 フロントウィンドウワイパー低速
  - ▶ ワイパーレバーを2段目の位置まで上方に押してください。

- 3 フロントウィンドウワイパー高速
  - ▶ ワイパーレバーを3段目の位置まで上方に押してください。
- 4 フロントウィンドウワイパーのワンタッチ機能
  - ▶ ワイパーレバーを下方に押してください。  
フロントウィンドウワイパーが1回作動します。
- 5 フロントウィンドウワイパー/ウォッシャーシステム
  - ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールに向かって引きます。  
レバーを引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。

**i インフォメーション**

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返して作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

フロントウィンドウワイパーブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▷ 「ワイパーブレード」(280ページ)を参照してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:  
▷ 「車両のお手入れ」(108ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

### アイス/サンシールドの装着とワイパーブレードの交換

- ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパーレバーを1回下方向**4**に押してください。フロントウィンドウワイパーが上方に約45°移動します。

### ワイパー作動間隔の調整



図 168: レインセンサー/間欠作動感度の切り替えスイッチ

レインセンサー非装備車では、フロントウィンドウワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチ**A**を上方向に押してください。フロントウィンドウワイパーが1回ワイパー作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチ**A**を下方向に押してください。

### レインセンサー作動の調節

レインセンサー装備車の場合、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロントウィンドウワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レインセンサーが自動的に作動します。速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

#### **i** インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーが既に**1**の位置にあった場合、速度が4km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパーレバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロントウィンドウワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

#### **i** インフォメーション

ラゲッジコンパートメントリッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーをONにするには、フロントウィンドウワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

### レインセンサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

#### 感度を高くする

- ▶ スイッチ**A**を上方向に押してください。フロントウィンドウワイパーが1回ワイパー作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

#### 感度を低くする

- ▶ スイッチ**A**を下方向に押してください。

### ヘッドライトウォッシャーシステムの操作

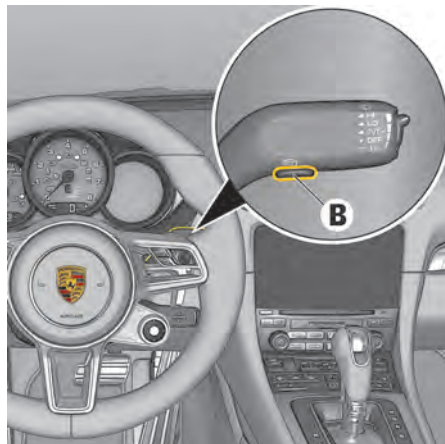


図 169: ヘッドライトウォッシャーシステムのボタン

✓ ロー/ハイビームが作動している

- ▶ ワイパーレバーの下側のボタン**B**を押してください。

#### **i** インフォメーション

なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。ロービームを消灯すると、フロントウィンドウウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。



## リヤワイパー

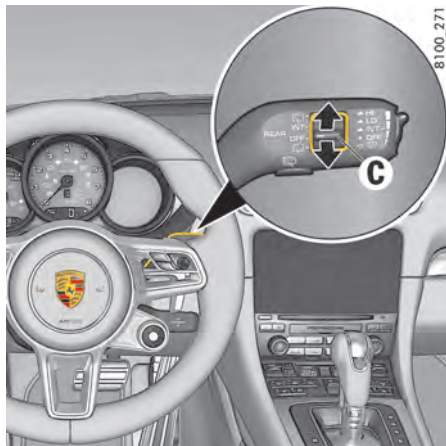


図 170: リヤワイパーのボタン C

✓ 718 Cayman、718 Cayman S

## リヤワイパーの間欠作動を ON にする

- ▶ レバーのボタン C を上方向 INT 位置まで押してください。

## リヤワイパーの間欠作動を OFF にする

- ▶ レバーのボタン C を下方向に OFF 位置まで押してください。

## ワイパーの手動操作

- ▶ ボタン C を OFF 位置から下に押すか、INT 位置から上へ押し続けてください。

## リバース (後退) ギヤ選択時のリヤワイパーの作動

雨天時やフロントウィンドウワイパーを作動させているときにリバース (後退) ギヤを選択した場合に、リヤワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクションディスプレイで切り替えることができます。

リバース (後退) ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「リバース (後退) ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定」(245 ページ) を参照してください

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ブレーキ

## エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。

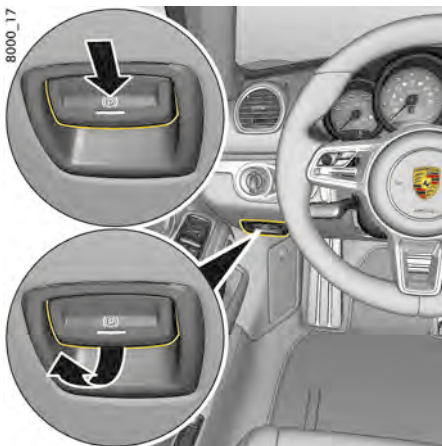


図 171: エレクトリック パーキング ブレーキスイッチ

## パーキングブレーキを作動させる

- ▶ (P) スイッチを押してください。  
スイッチのインジケータライト (P) とインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (Ⓜ) が点灯します。
- 警告灯およびインジケータライトに関するインフォメーション：
- ▶ 「インストルメント パネル」(36 ページ) を参照してください。

## パーキングブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションがONになっている。
- 1. ブレーキペダルを踏んでください。
- 2. (P) スイッチを引いてください。  
インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (Ⓜ) が消灯します。

## パーキングブレーキの自動解除

パーキングブレーキをかけたままでも通常発進することができます。

- ✓ エンジンが作動している。
  - ✓ 運転席ドアを閉じている。
  - ✓ 運転席シートベルトを着用している。
- エレクトリック パーキングブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキングブレーキを自動解除します。
- これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキングブレーキが自動解除されません。
- マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (Ⓜ) および (P) スイッチのインジケータライトが点滅します。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ) を参照してください。

## パーキングブレーキの自動ロック

- ✓ PDK 装備車
- セクターレバーが **D**、**R** または **M** の位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック パーキングブレーキがロックされます。
- (P) スイッチのインジケータライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (Ⓜ) が点灯します。
- 警告灯およびインジケータライトに関するインフォメーション：

- ▶ 「インストルメント パネル」(36 ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

パーキングブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

- ▶ (P) スイッチを引いてください。  
パーキングブレーキが解除された状態のままになります。
- エレクトリック パーキングブレーキの締結を無効にした場合、この機能はドアを再度開いた場合にのみ利用できます。

## 緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック パーキングブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ (P) スイッチを押し続けてください。  
インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (Ⓜ) および (P) スイッチのインジケータライトが点滅します。
- 緊急ブレーキ機能を解除するには：
- ▶ (P) スイッチを放してください。


## ▲ 警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

## 警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリックパーキングブレーキが完全にかからない場合、が点滅します。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## フットブレーキ

### 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。例：清掃などの際に。

### 警告

ブレーキブースターが作動しない

ブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(69ページ)を参照してください。

### 警告

ブレーキディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

### 警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

- ▶ 車両を長期にわたり駐車した場合、ブレーキディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。
- ▶ ブレーキディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください(ボルシェセラミックコンポジットブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキシステムを点検してください。ボルシェではボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジンブレーキを利用してください。急な下り坂でエンジンブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキペダルを踏んでください。ブレーキペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関するインフォメーション:

- ▷ 「ブレーキフルード」(209ページ)を参照してください。


## ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境(気温、湿度など)ブレーキがきしむ可能性があります。

## 警告シンボルへの対応

ブレーキパッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。
- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ボルシェセラミックコンポジットブレーキ (PCCB)**

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境（気温、湿度など）ブレーキがきしむ可能性があります。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ブレーキフルード

8000\_86



図 172: ブレーキ液タンク

### 警告シンボルへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストルメントパネルに①のシンボルが表示され、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキシステムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ) を参照してください。

### ブレーキフルードレベルの点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください(図.172)。フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキ液量がMINマークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ 「サーキット走行」(14 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ヘッドライト

## 知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドライトにカバー（ストーンガードやフィルムなど）を装着しないでください。

## i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- ▶ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

## ヘッドライト調整

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライトの照射方向を右側/左側通行用に切り替える  
〔ダイナミックコーナリング  
ライト装備車〕

- ✓ ボルシェダイナミックライトシステム (PDLS) またはボルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS プラス) 装備車両  
車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクションディスプレイで切り替える必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。
- ▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(245 ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

- 変更後は、イグニッションを ON にするたびにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
- ▶ 帰国したときは、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

## i インフォメーション

ダイナミックコーナリングライト (PDLS/ PDLS Plus) 非装備車のバイキセノンヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯で共通で、対向車の眩惑を防止します。

## 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換

方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージヘッドライト、テールライト、ライセンスライト、およびインテリアライトなど、様々なライトに発光ダイオード (LED) とロングライフバルブが使用されています。

LED は個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換はボルシェ正規販売店にお任せください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ボイスコントロール



**警告**

事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより、特定の状況で電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要したりする恐れがあります。

- ▶ PCM 経由で緊急電話にダイヤルしてください。

**PHONE**、**TUNER**、**NAV** および **MEDIA** のメインメニューの各種機能は、

ボイスコマンドで呼び出すことができます。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

- ▶ ボイスコマンドの例は page 214 を参照してください。

### **i** インフォメーション

- サウンドおよび車両のメインメニューは、ボイスコントロールでは操作できません。
- ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

### **i** インフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

## ボイスコントロールの呼び出し

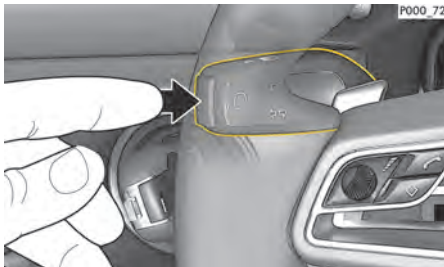


図 173: レバーのボイスコントロールボタン

### 音声操作の作動

- ✓ イグニッションが ON になっている。
  - ✓ 通話中でない。
  - ✓ パーキングアシストを使用していない
1. 操作レバーの ボタンを押してください (図 . 173)。起動音が鳴り、ボイスコントロールの アイコンが PCM に表示されます。
  2. ボイスコマンドを発話してください。

### ボイスコントロールの停止

- ✓ ボイスコントロールが作動している
- ▶ 操作レバーの ボタンを押してください (図 . 173)。終了音が鳴ります。
    - または -
  - ▶ ボイスコマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。
    - または -
  - ▶ PCM の任意のボタンを押してください。

ボイスコマンド ボタンのその他の機能  
操作レバーの ボタン (図 . 173) は、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

- 短く押すと、PCM のボイスコントロールが有効になります。
- 長押しすると、Siri ボイスコントロール システムが起動します。
  - ▶ 「Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する」(282 ページ) を参照してください。
- ボイスコントロールの現在のアナウンスを終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。

### **i** インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイスコマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答するので、再度ボイスコマンドを繰り返してください。2 回目以降は PCM が操作を支援します。
- 選択したメニュー言語 (**NAV** ボタン ▶ **目的地入力**メニューで選択) によっては、目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

ボイスコントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイスコマンドを強調してください。
- ボイスコントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウィンドウ、スライディンググループを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリーマイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイスコントロールを操作してください。


か

さ

た

な

## ボイスコントロールの調節

1. **CAR** ボタン ▶ 設定  ▶ システム ▶ ボイスコントロール
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- ショートダイアログ: この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- ヘルプテキスト: この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。



ま

や

ら

## ヘルプの呼び出し

### 文字による入力支援の呼び出し

1. 操作レバーの  ボタンを押してください (図. 173)。コマンド例のリストが PCM に表示されます。
2. PCM のフッターの  アイコンを選択してください。


わ

A-Z

3. 各メインメニューでコマンド例を表示させるには、PCM の該当するメインメニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。



### インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインの  アイコンで視覚的な入力支援を表示することができます。

- ▷ 「ボイスコントロールの調節」(212 ページ) を参照してください。

### 音声による入力支援の呼び出し

- ✓ ボイスコントロールが作動している
  - ▷ ヘルプと発話してください。
    - または -
    - ボイスコントロールのヘルプと発話してください。
    - または -
    - チューナーのヘルプ、メディアのヘルプなどと発話します。
- 各メインメニューで入力支援が得られます。

## ボイスコマンドの発話

基本的に、使用可能なボイスコマンドは 3 種類あります。

- グローバルボイスコマンド
- 一般ボイスコマンド
- ダイアログ関連ボイスコマンド

表示されるボイスコマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**電話する山田**と言う代わりに、**電話山田**または**ダイヤル山田**と発話することもできます。

- ▷ ボイスコマンドの例は Page 214 を参照してください。

## グローバルボイスコマンドの発話

特定の機能呼び出すために使用可能なすべてのボイスコマンドは、グローバルボイスコマンドです。グローバルボイスコマンドは、選択したメインメニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメインメニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えば、ナビメインメニューが表示されているときに、ボイスコマンド**放送局**(例: **ラジオ放送局 XY**)と発声すると、その放送局が呼び出されます。

以下はグローバルボイスコマンドの例です。

- **放送局ラジオステーション XY** (例)
- **電話する山田** (例)

### 一般ボイスコマンドの発話

一般ボイスコマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイスコマンドの例です。

- **新規項目**: ボイスコントロールを再開します。
- **修正**: たとえば、電話番号が複数のブロックで提供された場合 (0711911 など)、ボイスコマンドが最後に発せられたブロックを取り消します。
- **ヘルプ**: 入力支援で使用可能なボイスコマンドが表示されます。
- **キャンセル**: 会話を中断します。

### ダイアログ関連ボイスコマンドの発話

ダイアログ関連ボイスコマンドは、PCM の会話開始されるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイスコマンドが含まれています。

- **行 1**
- **次のページ / 前のページ**
- **はい / いいえ**



## 音声でリストを使用する

### リストをブラウズする

- ▶ リストを前/後にブラウズするには、**次のページ/前のページ**と発話してください。

-または-

タッチスクリーンまたはロータリー プッシュ ボタンでリストを使用します。

### リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

- ▶ ボイス コマンドで**行1**と発話してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ラジオのボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	注意
受信範囲を切り替える	(設定/ONにする)チューナー FM/AM (例)	
放送局を選択する	放送局を選択	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 ステーション XY (例) (選局)	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数を入力する	周波数 91.1 (例) (選択)	必要に応じて、周波数を直接選択する受信範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	チューナーのヘルプ	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

## メディアのボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	注意
メディアソースを変更する	再生 ディスク /SD カード /USB/ ジュークボックス /Bluetooth など	
アーティストを直接選択する	再生 アーティスト アラン テーラー (例)	有効なメディアソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話することができます。
アルバムを直接選択する	再生 アルバム Songs for the Road (例)	
トラックを直接選択する	再生 トラック Let the Music Flow (例)	
ジャンルを直接選択する	再生 ジャンル ロック (例)	
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	類似の曲を再生	
ヘルプの呼び出し	メディアのヘルプ	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

## 電話のボイス コマンド

✓ 電話が PCM に接続されている

▷ 「電話」(159 ページ)を参照してください。

希望する操作	どのように発話するのか?	注意
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	番号をダイヤル	次のステップでシステムが電話番号を尋ねます。
ボイス メールに電話する	ボイス メールに電話する	
保存されている連絡先に発信する	連絡先にダイヤル/電話帳を表示	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
通話履歴の呼び出し	通話履歴/不在着信/着信/発信	ボイス コマンドは、項目を選択したり、項目に電話をかけたりできるグローバル通話履歴を表示します。
保存されている連絡先に発信する	電話 山田(携帯/プライベート/ビジネス/一般)(例)	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
メッセージを読み上げる	(新着)Eメール/(新着)テキストを読み上げる	<p>✓ 接続されている携帯電話が Bluetooth® メッセージ アクセス プロファイルに対応していること</p> <p>✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと</p> <p>▷ 「接続」(135 ページ)を参照してください。</p> <p>これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。</p>
ヘルプの呼び出し	電話のヘルプ	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ナビゲーションのボイスコマンド

	希望する操作	どのように発話するのか？	注意
あ			
か	新しい目的地を入力する	ルート案内 (例) 案内東京都千代田区霞が関 1-3-2 住所を入力 / 新しい目的地を入力	「ルート案内」と一文で、または順次言うことで、ナビゲーションを使用することができます。
さ	ポルシェ コンシェルジュを開始する	コンシェルジュ サービス	
	目的地履歴から選択する	前回の目的地 / 保存した目的地	
た	目的地として自宅 / 職場を選択する	自宅へ帰る / 職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存 (お気に入り)」(181 ページ) を参照してください。
な	目的地または施設情報を検索する	検索 (施設情報) Porsche Service (例)	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます (例: 空港を探す)。
は	目的地をオンライン検索する	オンライン検索 / インターネット検索	✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「接続」(135 ページ) を参照してください。 これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。
ま	市町村を選択する	都道府県を入力	
	レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンドを検索する	次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンド	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
や	ルート案内を開始 / 終了する	ルート案内を開始 / 終了する	
	残りの燃料を計算する	走行可能距離 / 残可走距離 / タンク情報	
ら	交通情報を呼び出す	交通情報	✓ ルート案内を開始している
	到着時間を要求する	到着までの残り時間 / 到着時刻	✓ ルート案内を開始している
わ	ヘルプの呼び出し	ナビゲーションのヘルプ	最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを呼び出します。

## ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

PASM はショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブルダンパーシステムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます。

– 「ノーマル シャーシ」

– 「スポーツ シャーシ」

ノーマルモードでは、車両はスポーティで快適な設定となります。


「スポーツ シャーシ」シャーシ設定は、非常にスポーティなショックアブソーバーチューニングを提供します。(例：レースサーキットでの走行)。

走行状況に合わせて、マニュアルモードに加えて、PASMもショックアブソーバーを調整し、スポーティまたは快適な走行を可能にします。

## PASM モードの選択



図 174: センター コンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2.  ボタンを押してください。

「ノーマル シャーシ」(初期設定)を選択した場合、インジケーターライトは点灯しません。

「スポーツ シャーシ」を選択した場合、インジケーターライトが1つ点灯します。

さらに、選択したシャーシ設定はマルチファンクションディスプレイに短時間表示されます。

### インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

## 警告シンボルへの対応

PASM の故障がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション:

▷ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ポルシェ カー コネクト<sup>1)</sup>

一部の国で使用できるアプリを使用すると、携帯電話ネットワーク経由で車両に接続できます。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。

## 車両とアプリケーション間の通信の停止

車両と アプリ間の通信は、マルチファンクションディスプレイから停止できます。

▷ 「ポルシェ カー コネクトの設定」(247 ページ)を参照してください。



**警告**

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。

## **i** インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

1) 名前と機能は変更される可能性があります

## ボルシェコネクトアプリ<sup>1)</sup>

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両にネットワーク接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることができ、一部の車両設定をアプリから行うことができます。

### 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。

個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力などを、携帯電話から PCM に転送することができます。ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

## WiFi を使用したアプリの PCM への接続と PCM での起動

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされます (Apple App Store または Google® Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動しました。
- ✓ 携帯電話で WiFi を有効にしています。
- ✓ PCM で WiFi を有効にしています。
  - ▶ 「WiFi 設定の設定」(166 ページ) を参照してください。

1) 名前と機能は変更される可能性があります



図 175: デバイス マネージャーを開く

1. (接続ステータスに応じて) フッターの または を使用してデバイス マネージャーを開いてください。
2. PCM (外部 SIM カードによりデータ接続が確立されています) の WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) により接続を確立してください。
  - ▶ 「接続」(135 ページ) を参照してください。
  - a. デバイス マネージャーからボルシェコネクトアプリ ▶ PCM の WiFi ホットスポット設定を選択してください。
  - b. 携帯電話の WiFi 設定に PCM の WiFi データ (ホットスポット名およびホットスポットのパスワード) を入力してください。
3. **HOME** ボタンを押してください。
4. **アプリ** を選択してください。アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

## インフォメーション

- **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ WiFi 設定 ▶ PCM で WiFi ホットスポット設定を順に選択することによって、PCM の WiFi アクセス データを表示することもできます。
- デバイス マネージャーに関するインフォメーション：
  - ▶ 「デバイス マネージャー」(157 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や




ら

わ

A-Z




## ナビゲーション目的地およびカレンダー入力をPCMに転送する

✓ アプリがPCMに接続されています。


1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
  - a. **オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
  - b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
  - c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
  - d. **画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
2.  アイコンを使用して、目的地を登録目的地のお気に入りリストに追加してください。  
お気に入りリストに追加済みの項目にはチェックマークが付きます。
3. アプリがPCMに接続されている場合は、登録目的地に保存されている内容がPCMに転送されます。  
必要に応じて、PCM表示を **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  を使用して手動で更新してください。
4. **HOME** ボタン ▶ **アプリ** ▶ から登録目的地または **カレンダー** を選択してください。  
- または -  
**NAV**  ▶ ボタン 保存された目的地 ▶ **登録目的地** を選択してください。
5. 転送された目的地までのルート算出設定を開始します。

## PCMを使用して音楽を再生する

- ✓ 別途音楽サービス アプリをダウンロードし、音楽サービスの登録手続きを済ませている
- ▶ 音楽サービスのプロバイダーが提供する情報に従ってください。
- ✓ アプリがPCMに接続されています。

▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ 希望の音楽サービスを選択してください。  
- または -  
**SOURCE**  ボタン  
希望の音楽サービスを選択してください。  
- または -  
希望の音楽サービスが表示されるまで  
**MEDIA**  ボタンを押し続けてください。

### インフォメーション

MyMusic の **MEDIA**  メニューで、ユーザーはオフラインで保存された既存のプレイリストおよび楽曲を再生することができます。



## ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

### 概要

本概要は「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 . 176: PCM



図 177: タッチスクリーン、ホーム メニュー

希望する操作	操作方法	ページ
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ <b>A</b> を押してください。	
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ <b>A</b> を押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ <b>A</b> を回してください。	
オーディオソースのミュート	▶ ボリューム スイッチ <b>A</b> を短く押してください。	
メインメニュー (ラジオなど) を開く	▶ ボタン (例: <b>TUNER</b> ) を押してください。	
着信音設定を表示する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ サウンド設定 ▶ 音量 ◀ または サウンド ▶	228
デバイス マネージャーを開く / 接続を確認する	▶ フッターの  または  ( <b>B</b> を参照) を選択してください。	157/ 136
日付と時刻を変更する	▶ フッターの時刻 <b>9:34</b> ( <b>C</b> を参照) を選択してください。	222
個人画面を開いて設定する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ 個人画面	225
システム設定を変更する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ 設定	228
CD/DVD または SD カードから音楽を再生する	▶ CD/DVD または SD カードを挿入 ▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。	226
外部機器から音楽を再生する	▶ 外部機器を USB または Bluetooth® を介して接続する ▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。	227

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) は、ラジオ、サウンド設定、ナビゲーション システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター コントロール ユニットです。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

PCM の操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

### 警告

事故を起こす恐れがあります

PCM を操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って PCM の操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してから PCM の操作を行ってください。

▶ 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

### 警告

事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。

▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

### 注意

ケガをする恐れがあります。

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

▶ PCM はクラス 1 レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

### i

## インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

## PCM の ON/OFF



図 178: PCM の ON/OFF 切り替え

▶ PCM はイグニッションを ON にすると作動します。

▶ イグニッションの位置に関係なく、ボリュームスイッチ A を長押しすると PCM の ON/OFF を切り替えることができます。

## 日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

▶ フッターの時刻 9:34 を選択してください。

▶ 「全般的なシステム設定を変更する」(228 ページ) を参照してください。

## タッチスクリーンの操作ボタン



図 179: タッチスクリーンの操作ボタン

**A ホーム画面**

**HOME** ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

**B 有効なメインメニューの機能**

どのメインメニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

**C ツッター**

有効なメインメニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

**D 時刻または外気温ディスプレイ**

▶ 「日付と時刻の設定」(222 ページ)を参照してください。

**E ヘッドライン**

例えば、選択されたラジオまたはメディアソースが表示されます。

**F デバイスマネージャーを開く**

(電話を接続する、WiFi設定を表示しワイヤレスインターネットアクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する)

▶ 「デバイスマネージャー」(157 ページ)を参照してください。

**G コントローラー**

タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

**H 他のページを表示**

スクロール (スワイプ) すると、他のページが開きます。

**タッチスクリーンで PCM を操作する**

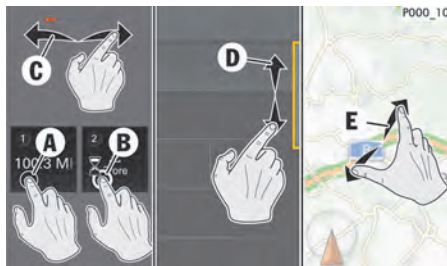


図 180: タッチスクリーンで PCM を操作する

**A タッチ (選択)**

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例: 機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

**B 長押し**

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例: **TUNER** メインメニューで放送局を保存する。

**C スワイプ**

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例: ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

**D スクロール**

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例: リストを手動でスクロールする。

**E ズーム**

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例: 地図を拡大表示する。

**ロータリープッシュボタンで PCM を操作する**



図 181: ロータリープッシュボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリープッシュボタンを押してください。

**メニューを開く**

**直接メインメニューを開く**

▶ PCM のボタン (例: **TUNER**) を押してください。

**i** **インフォメーション**

いずれかのメインメニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メインメニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら

わ

A-Z

## ホームメニューからメインメニューを開く

1. **HOME** ボタン▶メニュー 
2. メインメニュー(チューナーなど)を選択してください。

## 有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメインメニュー(例: **TUNER**)が選択されている

- ▶ **OPT** ボタンを押してください。  
該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

## テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。



図 182: タッチスクリーン キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B キーボードの表示 / 非表示
- C 手書き文字認識機能 (タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- D キーボードの調整
- E スペースを挿入する
- F 入力を決定する

- G 文字、数字および特殊文字の入力切り替え
- H 入力データを削除する
- I Caps Lock の ON/OFF を切り替える (大文字と小文字を切り替える)
- J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

## キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択してタッチスクリーンキーボードを開きます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

## ロータリー プッシュ ボタンによる入力


1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタン(図.181)を回してください。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

## 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図. 183: 手書き入力

1. を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

- ▶ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
- ▶ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。


## i インフォメーション


- PCM はひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。
- ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です(例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。
  - ▶ 「ボイスコントロール」(211ページ)を参照してください。

## デバイス マネージャーを開く

- ▶ 「デバイス マネージャー」(157ページ)を参照してください。

## アプリを開く

アプリ メニューからボルシェコネク サービスおよびアプリ機能にアクセスすることができます。

- ▶ **HOME** ボタン▶アプリ 

- ▶ 「ボルシェコネク アプリ」(219ページ)を参照してください。

## バックグラウンドイメージを表示する

バックグラウンドイメージは、**HOME** メニューで表示 / 非表示を切り替えることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ バックグラウンドイメージを表示

## 個人画面の設定

個人画面メニューでは、さまざまなカテゴリー (**NAV** や **電話** など) のタッチスクリーンコンテンツを希望に合わせて個別にグループ分けすることができます。

合計 3 種類の個人画面を設定できます。

### 個人画面を作成する




1. **HOME** ボタン ▶ 個人画面  ▶ **OPT** ボタン ▶ 個人画面設定
2. 個人画面 1、個人画面 2 または 個人画面 3 を選択してください。
3. カテゴリー (**SOURCE** など) を選択して、選択可能なタイルのリストを開いてください。




図 184: 個人画面の設定

4. 希望のタイルをクリックし、左側のプレビューにある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えたとすぐにコンテナに挿入することができます。
5.  または  で個人画面を設定メニューを終了してください。
  - ▶ 左側のプレビューからタイルを取り除くには、ドラッグ&ドロップで削除したいタイルをコンテナから取り除くか、別のタイルと入れ替えてください。


電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

- ▶ 「個人画面にお気に入りを追加」(164 ページ) を参照してください。

### 個人画面を開く

1. **HOME** ボタンを押してください。
  2. 個人画面  を選択してください。直前に有効にした個人画面が表示されます。
- ▶ 個人画面 1、個人画面 2 および 個人画面 3 を切り替えるには、該当する個人画面が表示されるまで左右にスワイプしてください。

### 個人画面をリセットする

1. **HOME** ボタン ▶ 個人画面  ▶ **OPT** ボタン ▶ 個人画面設定
2. 個人画面をリセットを選択してください。個人画面の 2 ページおよび 3 ページのコンテンツが削除されます。個人画面の 1 ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。
- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されません。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負い兼ねます。大切なデータは、SD カード、ジュークボックス、CD/DVD またはポータブルプレーヤーに決して保存しないでください。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的に CD/DVD が再生できなくなる場合があります。CD/DVD および走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
- PCM は、コピー プロテクト機能付きの CD/DVD または規格に準拠していない CD/DVD を再生できない場合があります。
- 原則として私的使用を目的とする場合のみ、CD/DVD のコピーを作成することが認

められています。コピーされた CD/DVD を第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3 ファイルとして作成され MP3 モードで再生可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

## CD/DVD ドライブを読み込む

### 知識

CD/DVD を正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径 12cm の丸型、標準タイプの CD/DVD のみを使用してください。
- ▶ CD/DVD に触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVD への汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
- ▶ CD/DVD には何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVD を変形させないようにしてください。
- ▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

## CD/DVD を挿入する

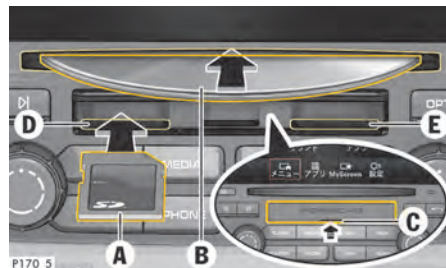



図 185: CD/DVD または SD カードのロード

1. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット **B** に押し込んでください。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

## CD/DVD を取り出す

- ▶  ボタンを押し、CD/DVD を取り出してください。

## SD カードを挿入する

### 知識

SD カードを正しく使用しないと PCM が破損する恐れがあります。

- 一体型以外の SD カードを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カードリーダーに詰まる恐れがあります。
- ▶ SD カード アダプターは使用しないでください。

## SD カードを挿入する

1. 指の爪でスロット **C** ( 図 . 185 ) のカバーを上方に開けてください。
2. SD カード **A** をラベル面を上にして、SD カードリーダー 1 ( **D** を参照 ) または 2 ( **E** を参照 ) または 2 に、ぴったりと収まるまで押し込みます。

## SD カードを取り出す

- ✓ SD および SIM カードリーダー カバーが開きます。

1. 挿入されたカードを押して、取り出してください。
2. SD および SIM カードリーダー カバーを閉じてください。

## SIM カードの挿入および取り出し

- ▷ 「外付け SIM カード経由でデータ接続を確立する」 ( 135 ページ ) を参照してください。

## 外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」 ( 221 ページ ) を参照してください。

### **i** インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCM で希望の音量に設定してください。

## USB を介して外部機器を接続する

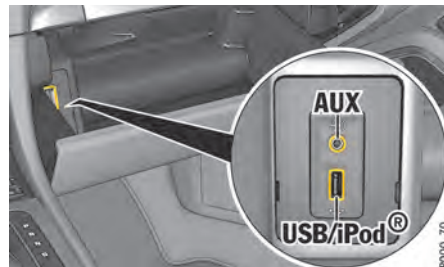


図 . 186: グローブボックスの USB (タイプ A) および汎用オーディオ (AUX) ポート ( 装備仕様による )



図 . 187: センターコンソールの USB ポート (タイプ A)

1. グローブボックスまたはセンターアームレストを開いてください。
2. 外部デバイス (iPod、USB フラッシュドライブなど) を USB ポート (タイプ A) に接続します。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

### **i** インフォメーション

- USB ポートは、グローブボックス内およびセンターコンソールに配置されています。Apple CarPlay は、センターコンソールの USB ポートを介してのみ使用できます。▷ 「Apple CarPlay」 ( 281 ページ ) を参照してください。
- 外部機器 (携帯電話など) は、USB 充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。
- 携帯電話をセンターコンソールに置く前に、キーボード / コードロックを有効にすることを勧めます。

## 外部機器を Bluetooth® 経由で接続する

1. フッターの または を選択してください。 ( 接続ステータスによって異なります ) 。  
- または -  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャー
2. **Bluetooth オーディオ ▶ 新しいデバイス** を検索を選択してください。  
6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較してください。
4. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。  
機器の接続に成功すると、機器の概要に表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら



わ

A-Z

Bluetooth® 機器の管理に関するインフォメーション:

- ▷ 「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」(161 ページ)を参照してください。



## 全般的なシステム設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ 設定  ▶ システム  
- または -  
**CAR** ボタン ▶ 設定  ▶ システム
- 2 以下の希望の項目を選択してください:

- 日付 & 時刻
  - オートタイム: GPS 信号で時刻、日付、サマータイムを同期します。
  - 時間
  - 日付
  - 自動タイムゾーン: オートタイム モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
  - タイムゾーン
  - 時刻表示形式
  - 日付表示
- 単位
  - 速度
  - 温度
  - 圧力 (タイヤ空気圧)
  - 燃費
- 言語: システム言語を選択してください。
  - 英語
  - 日本語

- ボイスコントロール:
  - ショートダイアログ: ボイス コントロールはショート ボイス コマンド テキストを使用します。
  - ヘルプテキスト: アクティブ ボイス コントロールで可能なコマンドを表示します。
- 工場設定
  - 工場出荷時の設定: すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
  - 車両の引渡し: すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号などの、すべての個人データが削除されます。

## PCM ディスプレイの設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ 設定  ▶ PCM 表示  
- または -  
**CAR** ボタン ▶ 設定  ▶ PCM 表示
- 2 以下の希望の項目を選択してください:


- ディスプレイを OFF にする: 次にタッチするまでタッチスクリーンが OFF になります。
- ディスプレイの明るさ
- フッター
  - 温度: フッターに温度を表示します。
  - 時刻: フッターへの時刻表示。
- 近接センサー: 近接センサーを有効 / 無効にします。
- タッチ操作音設定: ディスプレイにタッチした時の操作音を有効 / 無効にします。

## 音量および音質の変更


### 音量を調節する

ボリュームスイッチ A (図 .178 を参照) を回すと、音量を調節できます。

### オーディオソースのミュート

- ▷ ボリュームスイッチ A (図 .178 を参照) を短く押してください。  
フッターにミュートの  シンボルが表示されます。  
運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▷ ミュート機能を解除するには、ボリュームスイッチ A を再び短く押してください。

### 着信音設定の変更

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定 ▶ サウンド 
- 2 オプションを選択して、設定を変更してください。

- バス: 低音域の調節
- トレブル: 高音域の調節
- フェーダー: 前後スピーカーの音量調節
- バランス: 左右スピーカーの音量調節

### 音量設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定 ▶ サウンド 
- 2 以下の希望の項目を選択してください:

- ナビゲーション案内: ナビゲーション案内の音量を設定



- 速度対応音量: 車速に応じた音量調節
- Bluetooth オーディオ: Bluetooth® オーディオ再生用の音量を設定
- マイク音量: 通話中のマイク音量を調整
- 着信音量: 着信音の音量を設定
- 電話中のナビゲーションをミュート: 通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
- タッチ操作音設定: ディスプレイにタッチした時の操作音を設定
- メッセージの受信音: テキストメッセージおよびEメール受信時のサウンド ON/OFFを切り替える
- サラウンド: 非常に開放感を感じる音響設定
- リニア: 低音重視の音質設定 (リニア OFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニア ON) に変更
- オーディオパイロット®: この機能を ON にすると、車内のノイズレベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

### Burmester® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定

2. **Burmester** を選択します。

3. 以下の希望の項目を選択してください:

- ピュア: 純粋で忠実な音響設定。
- スムーズ: リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- サラウンド: 非常に開放感を感じる音響設定
- ライブ: ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- ポジション: 座席別の音質調整
- サウンドコンディショナー: 音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

### BOSE® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定

2. **BOSE** を選択してください。

3. 以下の希望の項目を選択してください:

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ボルシェスタビリティマネージメント (PSM)

PSM は、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSM は、アンチロックブレーキシステム (ABS) とエンジンドラッグトルクコントロールシステム (MSR) の機能と同様に、オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD) とアンチスリップコントロール (ASR) システムの両方を利用します。



**警告**

車両コントロールの喪失

PSM を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSM は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件で PSM コントロールの作動を知ることができます。

- インストルメントパネルの PSM 警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSM がブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。  
最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

### オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

### アンチスリップコントロール (ASR)

アンチスリップコントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

### エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

### ステアリングトルクパルス

ステアリングトルクパルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

## PSM スポーツの作動

✓ スポーツクロノパッケージ装備車


PSM スポーツが作動すると、システムが特定のスポーツモードに切り替わります。



**警告** PSM サポート制限

PSM スポーツモードの場合、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では PSM サポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることをお勧めします。

- ▶  ボタンを短く押してください。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯が点灯します。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに PSM スポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

## PSM の解除





図 . 188: センターコンソールの PSM OFF ボタン



**警告** PSM アシストの停止

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況で PSM サポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。

- ▶  ボタンを短く押してください (スポーツ クロノパッケージ装備車: ボタンを2秒以上押してください)。ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルのPSM OFF 警告灯  が点灯します。マルチファンクションディスプレイにPSMがOFFに切り替わったことを示す警告が表示されます。

### インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしても空転を抑制します。



ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です。

- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合。
- スタックした車両を脱出させる場合。


### インフォメーション

PSMスポーツモードが作動しているとき、PSMを事前にONにしていた場合のみPSM OFFモードへの切り替えが可能です。


## PSMを再度ONにする

- ▶  ボタンを押してください。直ちにPSMが復帰します。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルのPSM OFF 警告灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイにPSMがONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

## 警告シンボルへの対応

PSM 警告灯 に関するインフォメーション   
 ▶ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## ABS ブレーキシステム (アンチロックブレーキシステム)

 **警告** 車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴:

- ステアリングの操作性の確保: 安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性: ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮: ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避: タイヤのフラットスポットを回避できます。

### 機能

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリングコントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイールロックを回避します。


ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合:

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが振動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないうでください。

## 警告シンボルへの対応

ABS 警告灯  に関するインフォメーション:  
 ▶ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## マルチコリジョンブレーキ

マルチコリジョンブレーキは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

### 前提条件

- マルチコリジョンブレーキは以下の場合にのみ作動します。
- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
  - エアバッグコントロールユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき。
  - 車両が次の速度以上で走行しているときに事故が発生した場合: 約 10km/h。

あ

## **i** インフォメーション

事故後に PSM や電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSM が自動的に油圧ブレーキを作動させます。

---

か

### **例外**

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません。

- ドライバーが急激にアクセルペダルを踏んだとき。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より高いとき。

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ポルシェトラックプレジジョンアプリ<sup>1)</sup>

アプリを使用して、無線 LAN (WiFi) 経由で車両に接続できます。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。

アプリのインストールと機能に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、[www.porsche.com](http://www.porsche.com) またはポルシェ正規販売店から入手できます。



**危険**

車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビングスキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときのみ使用してください。公道では使用しないでください。



**警告**

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。



### インフォメーション

このアプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

1) 名前と機能は変更される可能性があります

## 補給

## ⚠ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

## ⚠ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

## i インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをONにすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

- ▶ 「J-燃料計」(37ページ)を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量（モデルによって異なる）を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクションディスプレイの警告灯

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「充填容量」(286ページ)を参照してください。

## 適切な燃料の選択

## 知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでください。

## i インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛プレミアムガソリン**を使用した場合に最適に作動するように設計されています。

モデル	推奨燃料 最低オクタン価：	代替燃料
すべて	RON 98/ MON 88	RON 95/ MON 85

この車両のエンジンは、エタノール含有量10%以下の燃料の使用に適しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



## i インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価**91 RON/82.5 MON**の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が**91 RON/82.5 MON**以上の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルロットルで走行しないでください。

## オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

## 知識

ボルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がボルシェ社の基準を満たしていないことがあります。基準を満たす燃料を入手できない場合は、ボルシェが販売し推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ 部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービスインターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

## 燃料の給油

### 知識

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

- ▶ デコラティブフィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

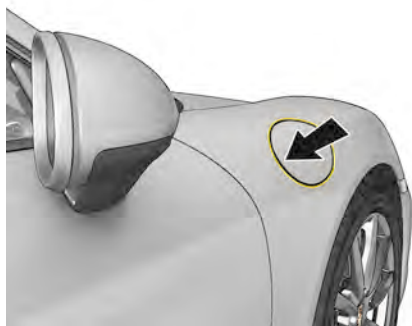


図 189: フィラーフラップを開く

8000\_23



図 190: タンク キャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
  - ✓ イグニッションがOFFになっている。
  - ✓ 車両がロック解除されている。
1. フィラーフラップの後部 (図.189) を押すと、フラップが開きます。  
この車両に使用できる燃料の種類は、フィラーフラップの裏のステッカーに明示されています。
  2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
  3. 取り外したキャップをホルダー (図.190) にかけてください。
  4. 給油ノズルは下に向けて、確実にフィラーネックの奥まで差し込んでください。
  5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
- ▶ 「充填容量」(286 ページ) を参照してください。

8000\_24

6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
7. フィラーフラップを閉じてフィラーフラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

### i インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

### フィラーフラップの緊急解除

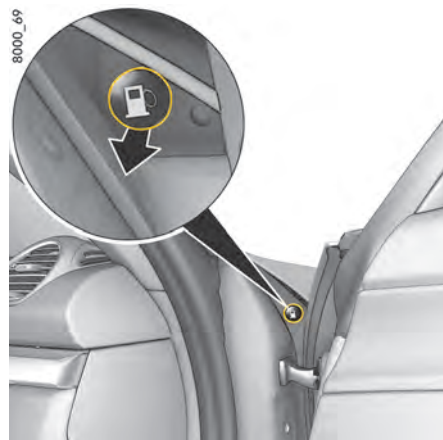


図 191: 緊急時のフィラーフラップの操作

フィラーフラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィラーフラップを開くことができます。

1. 助手席側ドアを開いてください。
2. 助手席ドア開口部にあるボタン (図.191) を引いてください。  
フィラーフラップが開きます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## マルチファンクションディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。



**警告**

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクションディスプレイ、マルチファンクションステアリングホイール、ラジオ、ナビゲーションシステム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

8020\_2



図 192: マルチファンクションディスプレイの位置

### **i** インフォメーション

マルチファンクションディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

## マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作



図 193: ステアリングコラムレバーの機能

メニューおよび機能 / オプションを選択する (スクロール)

- ▶ レバーを下方向3または上方向4に押ししてください。

**選択の決定 (Enter)**

- ▶ レバーを前方1に押ししてください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ レバーをステアリングホイールの方向2へ1回、または数回引いてください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ レバーを下方向3または上方向4に押し続けてください。

頭文字を選択する画面が表示されます。

- ▶ 任意の頭文字を選択してください。選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

## マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作

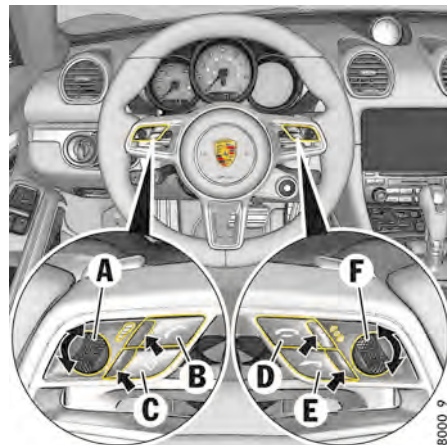


図 194: マルチファンクションステアリングホイールのファンクションボタン



**i** インフォメーション

マルチファンクションステアリングホイールの操作では、ボルシェコミュニケーションシステムをON/OFFできません。

## 音量を上げる / 下げる

- ▶ ボリュームスイッチ **A** を上方または下方に回してください。

## ミュート機能のON/OFFを切り替える

- ▶ ボリュームスイッチ **A** を押してください。

## メニューおよび機能 / オプションを選択する (スクロール)

- ▶ ロータリーノブ **F** を上方向または下方向に回してください。

## 電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ ロータリーノブ **F** を上方向または下方向に素早く回してください。  
頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。  
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

## 選択の決定 (Enter)

- ▶ ロータリーノブ **F** を押してください。

## 保存された機能を有効にする

- ▶ **◇** ボタン **C** を押してください。

ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオソースの選択に設定されています。

ボタンの個別設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更」(245ページ)を参照してください。

## 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ バックボタン **E** を押してください。

## 着信を受ける

- ▶ ハンドセットピックアップボタン **B** を押してください。

## 通話を終了するまたは着信を拒否する

- ▶ ハンドセットハンガアップボタン **D** を押してください。

## マルチファンクションディスプレイの表示エリア



図 195: マルチファンクションディスプレイの表示エリア

## A/D-上部/下部ステータスエリア

上部/下部ステータスエリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータスエリア表示は個別の設定ができます。

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイの表示を変更する」(241ページ)を参照してください。

## B-メニューインジケータ付きタイトルエリア

タイトルエリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニューインジケータ(灰色のバー)には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニューインジケータの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

## C-インフォメーションエリア

インフォメーションエリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

## オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

## 複数のオプションから1つを選択

オプションは選択されています。

オプションは選択されていません。

## 機能の作動 / 停止

機能は作動しています。

機能は作動していません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

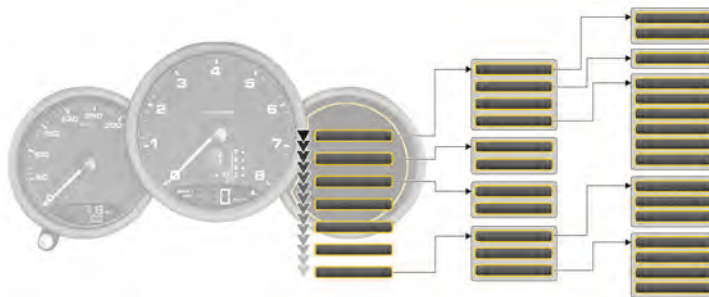
わ

A-Z

## メニュー概要

マルチファンクションディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ（ラジオ、CD、iPod など）、オイルレベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーションシステムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPM）の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

8000\_214



メニュー	何ができるか	ページ
▶ 車両 ▶ 情報	車両情報を表示する（メッセージ、サービス間隔）	239
▶ 車両 ▶ オイルレベル	エンジンオイルレベルの測定と表示	54
▶ 車両 ▶ 制限	速度制限の設定	239
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示	マルチファンクションディスプレイの表示を変更する	241
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻	日付と時刻の調整	243
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム	アシスタンスシステムの調整	243
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ パーソナル	走行モードのパーソナル設定を調整する	244
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー	エクステリアライト、インテリアライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロントウィンドウワイパー設定の調整。	244
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ▶ ◇ ボタン	マルチファンクションステアリングホイールの ◇ ボタンの割り当て	245
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック	ロック解除 / ロックの設定	246
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン	エアコンの設定	246
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量	警告音およびパーキングアシスタントの音量調節	247
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	247
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 言語	言語を変更する	247
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カーコネクト	車両とアプリ間の通信設定	247
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット	工場出荷時の設定に戻す	248

メニュー	何ができるか	ページ
▶ オーディオ	有効なオーディオ ソースから放送局またはトラックを選択する	270/253
▶ 電話	電話を使用する	159
▶ マップ	地図画面を表示および調整します	182
▶ ナビゲーション	ナビゲーション システムを使用する	178
▶ トリップ	走行データを表示/リセットする	95
▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	140
▶ クロノ	ストップウォッチで時間を計る	119
▶ ギヤシフト アシスト	ギヤシフト アシストを使用する	240
▶ G-Force	縦加速度および横加速度を表示する	240
▶ ACC	アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用する	27

## 車両メニュー

### メッセージの表示

#### ▶ 車両 ▶ 情報 ▶ メッセージ

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のステータス エリアに表示される警告シンボルマークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージリストで閲覧できます。

### サービスインターバルの表示

次回のサービス時期が表示されます。

#### 1. 車両 ▶ 情報 ▶ サービスインターバル

2. 任意のサービスインターバルを選択します。

## 制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告シンボルが表示されます。たとえば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

#### 1. 車両 ▶ 制限 ▶ 制限 1 または 制限 2

2. 任意の制限を選択してください。

– **現在の速度**：現在の速度を設定してください。

– **手動**：任意の速度値を設定してください。

– **有効**：

速度制限が作動しています。

制限速度は無効です。

## 車両設定の調節

▶ 「マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定」(241 ページ)を参照してください。

## オーディオメニュー

▶ 「マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する」(271 ページ)を参照してください。

▶ 「メディア」(253 ページ)を参照してください。

## 電話メニュー

▶ 「電話」(159 ページ)を参照してください。

## 地図メニュー

▶ 「マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定」(183 ページ)を参照してください。

## ナビゲーションメニュー

- ▷ 「マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力」(181ページ)を参照してください。
- ▷ 「ルート案内の開始/停止」(181ページ)を参照してください。

## トリップメニュー

- ▷ 「マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する」(176ページ)を参照してください。

## クロノメニュー

- ▷ 「スポーツクロノストップウォッチ」(118ページ)を参照してください。

## ギヤシフトアシストメニュー

- ✓ マニュアルトランスミッション装備車。

8070\_15



図 196: ギヤシフトアシストの例

- ▶ ギヤシフトアシストメニューを選択してください。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケータが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

8070\_16



図 197: 例: ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤になると、+記号が現在のギヤの横に表示され次のギヤにシフトするよう促します。

## G-Forceメニュー

8070\_17



図 198: 加速度の例

- ▶ G-Forceメニューを選択してください。

現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

最大縦加速度および横加速度を表示する

- ▶ G-Force ▶ G-Force max

最大縦加速度および横加速度をリセットする

- ▶ G-Force ▶ G-Force max ▶ リセット

## ACCメニュー

- ▷ 「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」(27ページ)を参照してください。

## マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

メモリーパッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(193 ページ) を参照してください。

## オプションの選択および機能の有効化

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択

オプションは選択されています。

オプションは選択されていません。

機能の作動 / 停止

機能は作動しています。

機能は作動していません。

## PCM を介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▷ **CAR** ボタン ▶ 設定  ▶ 車両機能

## マルチファンクションディスプレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクションディスプレイの表示エリア」(237 ページ) を参照してください。

上部のステータスエリアの表示を変更する

▷ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 上のライン ▶ 残可走距離

機能が有効になると走行可能距離が表示されます。

情報エリアを変更する



図 199: 情報エリアの構成例

- A フィールド1: チャージ圧力
- B フィールド2: 冷却水温度
- C フィールド3: エンジン油温
- D フィールド4: エンジンオイルプレッシャー

フィールド1、2、3、4に表示できる多くの車両情報の中から4つを選択できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

## B - 冷却水温度

バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

▷ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度  
外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッドゾーンを示すことがあります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

パーがレッドゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクションディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告灯が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。

▷ 「クーラントレベルを点検し、クーラントを補充する(4シリンダーモデル)」(64ページ)を参照してください。

## C- エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

## D- エンジン油圧

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が5,000 rpmのときに少なくとも3.5 barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73ページ)を参照してください。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶ フィールド1またはフィールド2またはフィールド3またはフィールド4

2. 希望の表示項目を選択してください：

- バッテリー電圧
- チャージ圧力
- オイル圧力：エンジンオイルプレッシャー
- オイル温度：エンジン油温
- クーラント温度：冷却水温度
- 残可走距離
- 目的地：到着：目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- 目的地：走行時間：目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離

- コンパス
- GPS高度：車両の海拔標高
- 時間
- 日付
- 放送局/曲：現在のラジオ放送局または音楽トラック
- 電話情報：ネットワークの強さまたはネットワーク名
- 表示なし：空白

## 下部ステータスエリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 下のライン

2. 希望の表示項目を選択してください：

- 時間
- 温度
- 時間 & 温度

## メインメニューを変更する

メインメニューの特定の項目を必要に応じて表示する / 非表示にすることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ メニュー種類

2. 希望の表示項目を選択してください：

- オーディオ
- 電話
- マップ
- ナビゲーション
- トリップ
- タイヤ空気圧
- クロノ
- ギヤシフトアシスト
- G-Force
- ACC

## マルチファンクションディスプレイに PCM 情報を一時的に表示する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ PCM 表示
2. 希望する PCM 情報を選択してください。

- 地図情報：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- 矢印情報：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- 電話情報：着信 / 発信電話の情報が表示されます。
- ボイスコントロール：ボイスコントロールボタンを押すとヘルプテキストが表示されます。

## マルチファンクションディスプレイの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ 明るさの表示
2. 希望の明るさを選択してください。

## メニュー項目のヘルプテキストの表示 / 非表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ ヘルプテキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプテキストが数秒間表示されます。

## 日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

## 時刻の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 時間 / 分
2. 任意の時刻を設定してください。

## 時刻表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 形式
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- 12h: 12 時間表示
- 24h: 24 時間表示

## GPS 信号により自動的に時刻を同期する

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 自動時刻調整

機能が有効なときは、時刻は GPS 信号と同期されます。

## インフォメーション

時刻を GPS 信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

## ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時間 - クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

## 日付の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 日付
2. 任意の日付を設定してください。

## 日付形式の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 形式
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

- DD.MM.YYYY
- MM/DD/YYYY
- YYYY/MM/DD

## アシスタンス システムの設定

### インフォメーション

設定はイグニッションの ON/OFF を切り替えても保存され続けます。

## ポルシェ アクティブ セーフ (PAS) の ON/OFF

- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンス システム ▶ アクティブ セーフ (PAS) ▶ システム ON

機能が有効なときは、すべてのポルシェ アクティブ セーフ機能が ON になります。



すべてのポルシェ アクティブ セーフ機能を OFF にすると、マルチファンクションディスプレイのステータス エリアに灰色シンボルが表示されます。

あ

- ▷ 「アクティブセーフティ-ボルシェアクティブセーフ (PAS)」 (34 ページ) を参照してください。

## ボルシェアクティブセーフ (PAS) の ON/OFF を切り替える前の事前警告

- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車。

か

さ

## i インフォメーション

潜在的および予期警告機能は、初期設定では OFF になっています。緊急警告機能は有効になっており、解除できません。

た

な

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ アクティブセーフ (PAS) ▶ 事前警告 オン

機能が有効なとき、ボルシェアクティブセーフの潜在的および事前警告機能が ON になります。

- ▷ 「アクティブセーフティ-ボルシェアクティブセーフ (PAS)」 (34 ページ) を参照してください。

は

ま

## レーンチェンジアシスト (LCA) の ON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ LCA ▶ システム オン

機能が有効なとき、レーンチェンジアシストのインフォメーションおよび警告ステージが ON になります。

や

ら

わ

A-Z

## ドアミラーのレーンチェンジアシスト (LCA) の画面の明るさを調整する

### i インフォメーション

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告ステージ) は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ LCA ▶ 明るさ

2. 希望の明るさを選択してください。

- 暗い
- 中
- 明るい



設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーションステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーションステージの明るさに基づきます。

- ▶ インフォメーションステージの明るさは、ドアミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。
- ▷ 「レーンチェンジアシスト (LCA)」 (275 ページ) を参照してください。

## パーソナルモードの調整

さまざまな車両設定をパーソナルモードで調整することができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ パーソナル
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- スポーツ：機能が有効になると、スポーツモードが有効になります。
- スポーツプラス：機能が有効になると、スポーツプラスモードが有効になります。
- ：機能が有効になると、オートスタート/ストップ機能が有効になります。
- スポーツシャーシ：機能が有効になると、「スポーツシャーシ」設定が有効になります。
- ：機能が有効になると、スポーツエキゾーストシステムが有効になります。
- スポイラー：機能が有効になると、リヤスポイラーが展開します。

## ライト、フロントウィンドウワイパーおよびミラーの調整

### ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 外部ライト ▶ 遅延消灯
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

- ▷ 「オートマチックカミングホームライトを ON にする」 (259 ページ) を参照してください。



## 左側 / 右側通行でヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS) またはポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS プラス) 装備車両
- ✓ 車両が停止している。

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 外部ライト ▶ 左 / 右側通行

### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **標準**：ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
- **反転**：ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

## **i** インフォメーション

ヘッドライトの位置を**反転**に設定すると、イグニッションまたはロービームをONにするたびに、マルチファンクションディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

## ダイナミック ハイビームの作動 / 停止

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 装備車

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 外部ライト ▶ 動的前方照明

機能が有効なとき、ダイナミック ハイビームを使用することができます。

- ▶ 「ダイナミック ハイビーム」(260 ページ) を参照してください。

## ドアを開いたときのインテリア ライト 自動点灯の有効 / 無効

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ ドアを開くとき

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリア ライトが点灯します。

## オリエンテーション ライトの明るさを調節する

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ オリエンテーション

### 2. 希望の明るさを選択してください。

## アンビエントライトの明るさ調節

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ アンビエントライト

### 2. 希望の明るさを選択してください。

## インテリア ライトの遅延消灯モードを設定する

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ 消灯遅延

### 2. 任意の遅延消灯を設定してください。

## リバース (後退) ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ ワイパー ▶ リヤワイパー

### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **自動**：雨天時にリバース ギヤを選択すると、リヤワイパーが自動的に作動します。
- **手動**：リバース (後退) ギヤを選択しても、リヤワイパーは自動的に作動しません。

## リバース ギヤ選択時に助手席ドア ミラーを下向きにする

- ✓ メモリー パッケージ装着車

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 後退オプション ▶ ミラー下向き

機能が有効なとき、リバース ギヤが締結すると助手席側のドア ミラーが下向きになります。

## マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクション ステアリング ホイールの◇ボタンに、マルチファンクションディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ▶ ◇ボタン ▶ PCM 機能 または 組み合わせ機能

### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

#### PCM 機能：

- **オーディオソース**：オーディオを切り替えます。
- **ボイスコントロール**：音声操作の作動
- **音声案内繰返**：ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- **放送局 / 曲 <**：前の放送局または曲を選択します。
- **放送局 / 曲 >**：次の放送局または曲を選択します。

- **地図**：PCM にナビゲーション地図を表示します。

## 組み合わせ機能：

- **計時開始/停止**：計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
- **オーディオ設定**：オーディオメニューを表示します。
- **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
- **地図メニュー**：マルチファンクションディスプレイにナビゲーション地図を表示する
- **ナビメニュー**：ナビゲーションメニューを表示します。
- **トリップメニュー**：トリップメニューを表示します。
- **TPMメニュー**：TPMメニューを表示します。
- **クロノメニュー**：スポーツクロノメニューを表示します。
- **ACCメニュー**：ACCメニューを表示します。
- **G-Forceメニュー**：G-Forceメニューを表示します。
- **ギヤシフトアシスト**：ギヤシフトアシストを表示します。

## ドアロック機能を設定する

### ドアのロック解除機能の設定

#### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ロック解除

#### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **すべてのドア**：車両のロックを解除すると、すべてのドアのロックが解除されます。
- **運転席ドア**：車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックが解除されます。

## ドアのロック機能の設定

#### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ドアロック

#### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **OFF**：乗車後にドアは自動でロックされません。
- **イグニッションONの後**：イグニッションをONにすると、ドアが自動的にロックされます。
- **発車の後**：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

## ドアミラーの自動格納のON/OFF

#### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ミラー格納

機能を有効にすると、車両をロックしたときにドアミラーが自動的に格納します。

## イージーエントリーのON/OFF

#### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ コンフォートエントリー

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリングホイールを自動的に遠ざけることができます。

## オートメモリーのON/OFF

#### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ オートメモリー

この機能が有効な場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

- ▷ 「パーソナル設定の保存と呼び出し」(194ページ)を参照してください。

## エアコン設定

✓ 2ゾーンオートエアコン装備車。

## 送風の強さと送風量を調節する

#### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 風量

#### 2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **弱**：エアイベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- **標準**：標準の設定です。
- **強**：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

## アッパーベンチレーションパネルのON/OFF

#### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ ベンチレーションフィールド

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパーベンチレーションパネルがONになります。

## 自動内気循環モードの切り替えON/OFF

#### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

## 警告音量およびパーキングアシスタントの調節

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 音量 ▶  
パーキングアシスタントまたは警告音
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 高速
- 中速
- 小

## 単位の設定

### スピードメーターの単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ スピードメーター
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- km / km/h
- マイル / mph

### **i** インフォメーション

- 単位は以下のディスプレイで調整されます。
- 合計距離およびトリップ表示
  - デジタルスピードメーター
  - マルチファンクションディスプレイ
  - PCM

### 温度計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 温度
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- °C
- °F

### **i** インフォメーション

- 単位は以下のディスプレイで調整されます。
- マルチファンクションディスプレイ
  - PCM

### 圧力計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- bar
- psi

### **i** インフォメーション

- 単位は以下のディスプレイで調整されます。
- マルチファンクションディスプレイ
  - PCM

### 平均燃費の表示単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 燃費
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- L/100 km
- mpg (米国)
- mpg (英国)
- km/L

### **i** インフォメーション

- 単位は以下のディスプレイで調整されます。
- マルチファンクションディスプレイ
  - PCM

## 言語設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 言語
2. 任意の言語を選択してください。

### **i** インフォメーション

- マルチファンクションディスプレイの言語が調整されます。

## ポルシェカーコネクトの設定<sup>1)</sup>

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Car Connect ▶ プライバシー

機能を有効にすると、車両とアプリ間の通信が制限されます。車両固有の情報はアプリに送信されません。このアプリを使用した車両設定は実施できません。車両の契約が有効でない場合、**カーコネクト**メニュー項目がグレー表示されます。

▷ 「ポルシェカーコネクト」(218ページ)を参照してください。

詳しい情報は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。

1) 名前と機能は変更される可能性があります

あ

## **i** インフォメーション

プライバシー機能を有効にしても、車両が故障したとき、緊急電話をかけたとき、または車両が盗まれたときなどは車両の位置情報が送信されます。

- ▶ 車両を使用するすべての人に、プライバシー機能が解除される場合があることを伝えてください。

---

## 工場出荷時の設定に戻す

## **i** インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクションディスプレイで選択した**すべての設定**が削除されます。

- 
- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット ▶ 工場設定 ▶ はい

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ミラー

## ドアミラーの使用

## ⚠ 警告

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

## ⚠ 注意

電解液の流出

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

## 知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

## 知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。

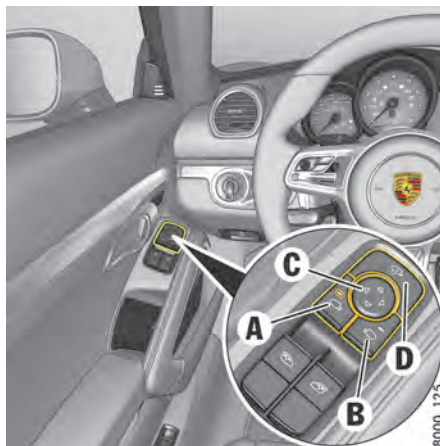


図 200: ドアミラーの操作

- A ドアミラーの選択 - 運転席側
- B ドアミラーの選択 - 助手席側
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰

## ドアミラーの調節

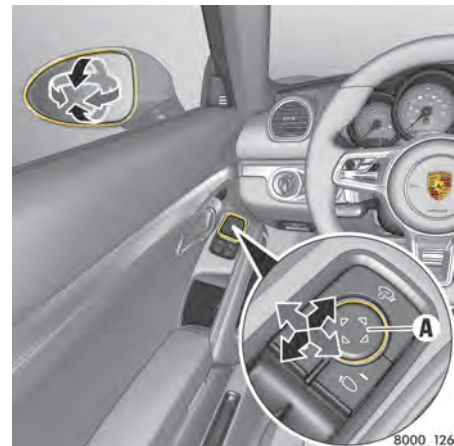


図 201: ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションが ON になっている。  
- または -
  - ✓ イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大 10 分以内）
1. 運転席側のドアミラーを調節するときはボタン A を、助手席側を調節するときはボタン B を押してください。  
選択したボタンのインジケータライトが点灯します。
  2. 調節ボタン C を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

## 電動調節機能が故障した場合

- ▶ ドアミラー表面を手で押して角度を調節してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ドアミラーの格納および復帰

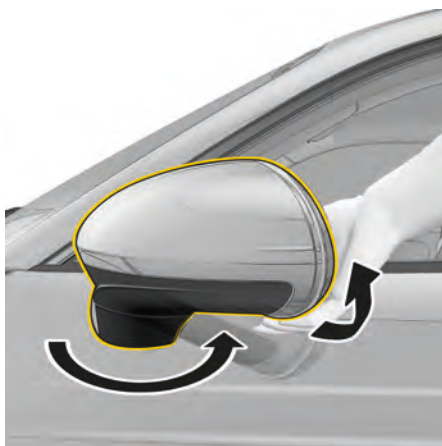


図 202: ドアミラーの格納および復帰

### ドアミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

### ドアミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

### ドアミラーの電動格納 / 復帰

- ✓ 約 50 km/h (30 mph) の最高速度。
- ▶ ボタン **D** を押してください (図 . 200 を参照)。  
両方のドアミラーが格納または復帰します。

### 電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーの手動格納と手動復帰

車外からのドアミラーの格納および復帰  
車両がロックされるときに、ドアミラーを格納することが可能です。

- ▶ キーの **🔒** ボタンを少なくとも 1 秒間押し続けてください。  
ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車 : 運転席側のドアハンドルのタッチセンサーに 1 秒以上触れてください。  
ドアミラーが格納されます。

### ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にします。  
ドアミラーが自動的に復帰します。

### ドアミラーの自動的な格納 / 復帰

- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 「ドアミラーの自動格納の ON/OFF」 (246 ページ) を参照してください。

### ドアミラーの自動格納

- ▶ 車両をロックします。  
ドアミラーが自動的に格納されます。

### ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にします。  
ドアミラーが自動的に復帰します。

## **i** インフォメーション

ボタン **D** を押して手動でドアミラーを格納した場合は、イグニッションを ON にした後、自動的に元の位置に復帰しません (図 . 200)。

## ドアミラー設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、個々のドアミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」 (193 ページ) を参照してください。

## ドアミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルームミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。

- ▶ 「ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF」 (251 ページ) を参照してください。

## 駐車時の助手席ドアミラー 下向き自動切り替え

メモリーパッケージ装備車では、リバース (後退) ギヤを選択すると、助手席側ドアミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

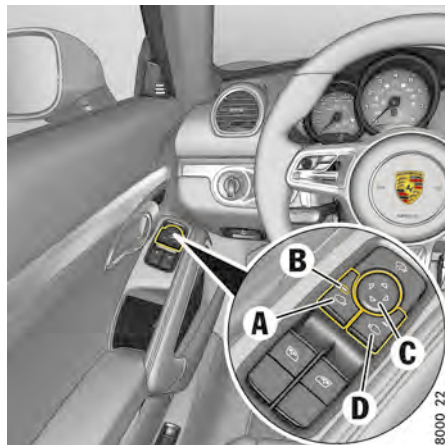


図 203: 駐車時の助手席ドアミラー下向き自動切り替え

**ドアミラーを自動で下向きにする**

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 「リバース ギヤ選択時に助手席ドアミラーを下向きにする」(245 ページ)を参照してください。

**手動でのミラーガラスの下向き切り替え**

1. ギヤをリバース(後退)に入れてください。運転席側ドアミラーを調節するためのボタンAのインジケータライトBが点灯します。
2. 助手席側ドアミラーを調節するにはボタンDを押してください。  
助手席のドアミラーが下向きになります。

**ドアミラーの下向き角度の個別調整:**

- ▶ 調節ボタンCを操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリーパッケージ装備車では、この設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。車両設定の取り出しおよび保存に関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」(193 ページ)を参照してください。

**ドアミラーを通常位置に戻す**

次の場合、ドアミラーが通常の位置に戻ります。

- リバース(後退)以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が 15km/h 以上になったとき

手動操作で助手席のドアミラーを通常位置に戻す:

- ▶ 運転席側ドアミラーのボタンAを押してください。

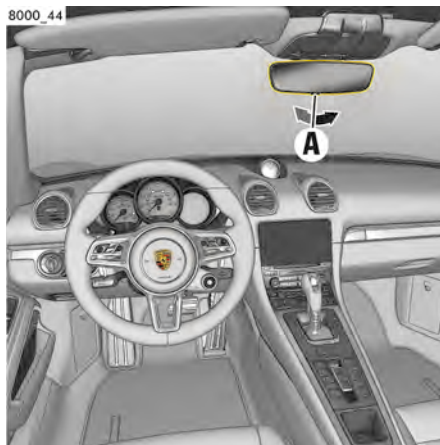
**ルームミラー防眩機能の手動操作**

図 204: ルームミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、減光のレバーAを車内側に向けてください。

- ▶ 通常位置 - レバーを車内側に向けます。
- ▶ 減光位置 - レバーをフロントウィンドウ側に向けてください。

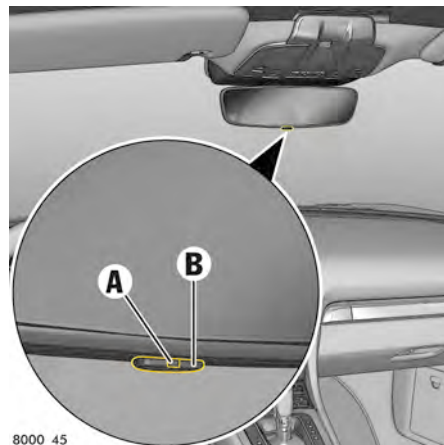
**ルームミラーの自動防眩機能のON/OFF**

図 205: ルームミラーの自動防眩機能

**自動防眩機能をONにする**

- ▶ ボタンBを押します。  
インジケータライトAが点灯します。  
ルームミラーは、光の強さに応じて、自動的に減光に変わるか、通常の状態に戻ります。

**i インフォメーション**

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動減光機能は作動しません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**自動防眩機能を OFF にする**

- ▶ ボタン **B** を押します。  
インジケーター ライト **A** が消灯します。

**▲ 注意**

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

**知識**

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

**i インフォメーション**

ルームミラーに投射する光を妨げないでください。(リヤウインドウにステッカーを貼り付けたら、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジコンパートメントまたはラゲッジコンパートメントカバーに積むなど)。同様に、フロントウインドウを通して照度センサーに当たる光を(ステッカーなどで)妨げないようにしてください。



## メディア

### 概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。

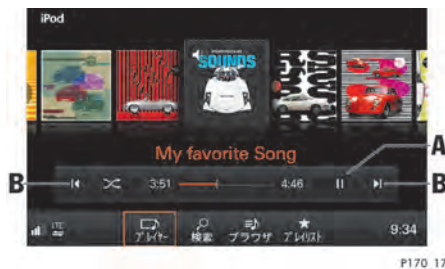


図 206: メディアソース、iPod など



図 207: メディアソース、USB など

希望する操作	操作方法	ページ
メディアソースから音楽やビデオファイルを再生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CD/DVD を挿入してください。</li> <li>▶ メディアの内容をジュークボックス (内部メモリ) にインポートしてください。</li> <li>▶ SD カードを挿入してください。</li> <li>▶ USB を介して外部機器を接続してください。</li> <li>▶ 外部デバイスを Bluetooth® 経由で接続してください。</li> <li>▶ アプリでオンライン ラジオ サービスを開きます。</li> </ul>	226 256 226 227 219
メディアソースを選択する	▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。 -または- ▶ <b>MEDIA</b> ボタンを繰り返し押してください。	254
音楽を再生 / 一時停止する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ プレーヤー  ▶  または <b>  </b> (Aを参照) を選択してください。	254
再生中に次の / 前のトラックの頭出しをする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ プレーヤー  ▶  または <b>▶</b> (Bを参照) を選択してください。	254
メディアライブラリー内を検索する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ 検索  (Cを参照) または ブラウズ  (Dを参照) を選択してください。	255
プレイリストを開く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ プレイリスト  (Eを参照) を選択してください。	256
類似の音楽を聴く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ 似たテイストの曲を再生	255
オーディオ / ビデオ ファイルを Jukebox ヘインポートする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ Jukebox ヘコピー	256

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## メディアソースの挿入 / 接続

- ▷ 「CD/DVD ドライブを読み込む」(226 ページ)を参照してください。
- ▷ 「SD カードを挿入する」(227 ページ)を参照してください。
- ▷ 「外部機器の接続」(227 ページ)を参照してください。

## メディアソースの選択

- ▶ **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

-または-

- ▶ 希望のメディアソースが選択されるまで **MEDIA** ボタンを押ししてください。

-または-

1. ヘッドラインに表示されたメディアソースを押ししてください。  
選択可能なソースが表示されます。
2. メディアソースを選択してください。

## メディアの再生

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオフォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)」(221 ページ)を参照してください。

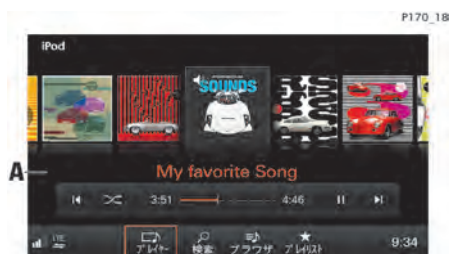


図 208: 音楽を再生する



図 209: ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	
メディアを一時停止する	
次のトラック / チャプターへ進む	
前のトラック / チャプターに戻る	
音楽をランダムに再生する	
カバーフロービューを表示する	

機能	ボタン
ビデオをフルスクリーンモードで表示する	
カバーフロービューまたは用意されたビデオソースを開く	
ビデオメインメニューに戻る	





## 音楽を再生する

- ✓ オーディオソースが選択されている

1. **MEDIA** ボタン▶ **プレーヤー**
2. カバーフロービュー A (図 208) で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。  
-または-  
アルバムを再生するには、を選択してください。  
-または-  
ロータリー プッシュ ボタンを押ししてください。  
-または-  
アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。  
オーディオソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。





## 次の / 前のトラックの頭出しをする

✓ メディアソースが選択されています。

- ▶ 前にスキップするには、を選択するか  ボタンを押してください。  
トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。
- ▶ 次にスキップするには、を選択するか  ボタンを押してください。


## 早送り / 早戻し

✓ メディアソースが選択されています。

- ▶ 希望の位置になるまで  /  または  /  ボタンを押し続けてください。  
- または -  
タイムバーを希望の位置までスライドさせてください。

## ランダム再生の ON/OFF

✓ メディアソースが選択されています。


- ▶  を選択してください。  
ランダム再生が ON になります。
- ▶ ランダム再生を OFF にするには、もう一度ボタンを押してください。

## 類似の音楽を表示する

1. **OPT** ボタンを押してください。
2. 似たテイストの曲を再生を選択してください。




## 曲を繰り返し再生する

✓ メディアソースが選択されています。  
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1. **OPT** ボタンを押してください。
  2. トラックをリピートを選択してください。  
ヘッドラインにリピートモードが表示されます。
- ▶ リピートモードを OFF にするには、 ボタンを押してリピート OFF を選択してください。

## ビデオの再生

✓ ビデオソースが選択されている

- ▶  を選択してください。  
- または -  
希望するビデオを選択してください。  
- または -  
 および希望のチャプターを選択してください。
- ▶ ビデオのメインメニューに戻るには、 を選択してください。

## マルチファンクションディスプレイを使用して、有効なオーディオソースからトラックを選択する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。


▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

1. オーディオメニューを選択してください。
2. 有効なオーディオソース (ディスクなど) からトラックを選択してください。

## メディアソースの検索


## トラックまたはビデオを検索する

✓ メディアソースが選択されています。

1. 検索  を選択してください。
2. 検索を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。  
- または -  
検索に使用するカテゴリ (ジャンル、アーティスト、アルバム、トラック、ビデオ) を選択します。
3. 希望のトラックを選択してください。

## メディアの閲覧

✓ メディアソースが選択されている。

1. ブラウザ  を選択してください。
2. 希望のフォルダーおよびメディアトラックを選択してください。

▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディアフォルダーを選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## プレイリストを開く

選択したメディアソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

### プレイリストを開く

✓ オーディオソースが選択されている

1. **プレイリスト**  を選択してください。
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 現在の再生リスト：選択したソースのフォルダー構成またはトラック/チャプターリストが表示されます。
- 前回再生
- 再生回数が多い
- 星評価を含むトラック

## ジュークボックスのオーディオ/ビデオファイルのインポートおよび削除

USB フラッシュドライブまたは SD カードのオーディオおよびビデオファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバムのインポート中

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディアソースを選択している
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

### 1. **OPT** ボタン ▶ **Jukebox** ヘコピー

2. 現在のトラックをコピーまたは現在のアルバムをコピーを選択してください。  
トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイルのコピー中

✓ メディアソースが選択されています。

### 1. **OPT** ボタン ▶ **Jukebox** ヘコピー

2. **ファイル/フォルダーをインポート**を選択してください。  
使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
3. **選択/選択解除**により、希望のファイルまたはフォルダーを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには**コピー**を選択してください。

### ジュークボックスからメディアコンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている

### 1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox** 設定

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 現在のトラックを削除
- 現在のアルバムを削除
- **ファイル/フォルダーを削除**：選択/選択解除によりファイルまたはフォルダーを選択し、**削除**を押して決定してください。

### 記憶容量（空き領域/使用領域）を表示する

✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている

### 1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox** 設定

2. ソースの詳細を選択してください。

## 設定の変更

### 全般的なメディア設定

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **メディア設定**
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **スマートフォンリンク**：USB で接続されたスマートフォンを管理します。
- **Bluetooth オーディオ**：Bluetooth® 接続の ON/OFF を切り替えます。
- **Gracenote Online**：機能が作動しており、データ接続が有効な場合、インターネットから、アルバムカバーがダウンロードできます。
- **Bluetooth**：Bluetooth® 機能およびデバイスを管理します。  
▷ 「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」(161 ページ)を参照してください。

### ビデオの設定

✓ ビデオファイルを含む DVD が挿入されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **DVD 設定**
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **画面比率**：アスペクト比を設定します。
- **音声トラック**：サウンドトラックおよび音質を設定します。
- **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
- **チャイルドロック**：ビデオファイルの再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK**を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。

- **DVDセーフティレベル**:セーフティレベルを選択してください。セーフティレベル5を選択すると、セーフティレベル1~5のすべてのDVDが再生されません。セーフティレベルがこれより高いDVDの再生はブロックされます。セーフティレベルが必要ない場合は**レベル0**を選択してください。
- **パスコードを変更**:チャイルドロック用の新しいパスワードを入力することができます。

### **i** インフォメーション

- チャイルドロックは挿入されたDVDに応じてON/OFFを切り替えることができます。
- 誤ったチャイルドロック用パスワードを3回入力した場合：
  - ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ライト

### ライトスイッチの設定

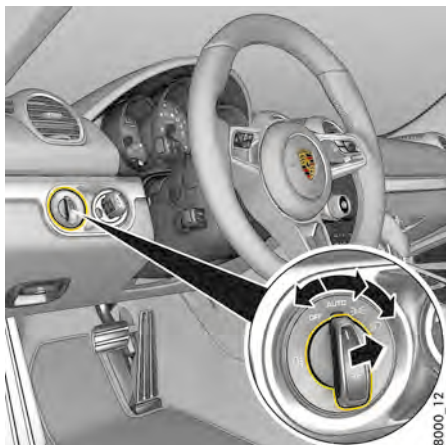


図 210: ライトスイッチ

#### ☀️ ライトスイッチ

##### OFF ライトの消灯

イグニッションが ON のとき、デイトタイムドライビングライトが点灯します。

##### AUTO オートマッチックドライビングライトアシスタント

日中にイグニッションが ON のとき、デイトタイムドライビングライトは自動的に点灯します。



#### 車幅灯

ライセン斯拉イト、インストルメントライトおよびデイトタイムドライビングライトが点灯します。



#### ロービーム/ドライビングライト

イグニッションが ON のときのみ、フォグライト、モーターウェイライトおよびダイナミックハイビームが非作動となります。



#### リヤフォグライト

ロービーム位置でスイッチを引いてください。インジケーターライトが点灯します。



#### インフォメーション

- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がり防止します。各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。
- 気温と湿度により、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

### ロービーム/ドライビングライト

ライトスイッチを **AUTO** の位置にすると、次の状況でロービームが自動的に点灯します。

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行 (ボルシェダイナミックライトシステム PDLs 装備車)

ロービームの点灯時には、スピードメーターのインジケーターライト が点灯します。



#### インフォメーション

オートマッチックヘッドライトは、霧を感知することができません。

- ▶ 霧が発生したときは、手動でドライビングライトを点灯させてください。

#### 雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビングライトが自動的に ON になります。

周囲が明るくワイパーが約4分間使用されない状態が続くと、ドライビングライトが消灯します。

### オートマッチックドライビングライトアシスタント

オートマッチックドライビングライトアシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビングライト(ロービーム)は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマッチックヘッドライト機能は、デイトタイムドライビングライト、オートマッチックカミングホームライトおよびダイナミックコーナリングライト(装備仕様による)も制御します。

オートマッチックドライビングライトアシスタントを有効にするには:

- ▶ ライトスイッチを **AUTO** の位置に回してください

## i インフォメーション

なおドライビングライトアシスタントを作動させていても、法律等を遵守し、ライトスイッチの手動操作によってドライビングライトの点灯/消灯することは運転者の責務です。ドライビングライトアシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビングライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

### ▲ 警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーや歩行者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 地域の法律などを遵守してロービームで走行してください。

## オートマチックカミングホームライトをONにする

- ▶ ライトスイッチを にしてください **AUTO** 一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：
  - デイタイムドライビングライト
  - ドアミラーのカーテシーライト〔電動格納式ドアミラー装備車〕
  - リヤの車幅灯
  - ライセンスプレートライト

## ウェルカム ホーム機能 (遅延消灯)

キーを抜き取った場合(ボルシェ エントリー & ドライブ非装備車)または運転席ドアを開いた場合(ボルシェ エントリー & ドライブ装備車)は、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになります。マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム ホーム / エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」(244 ページ)を参照してください。

## エントリー / イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合には、ライトが消灯します：

- イグニッションがONになっている。
- ライトスイッチを **AUTO** の位置から動かし たとき

マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム ホーム / エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」(244 ページ)を参照してください。

## ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)

ダイナミックコーナリングライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには：

- ▶ ライトスイッチを の位置に回してください **AUTO**

## ダイナミックコーナリングライト

約 8 km/h 以上の速度で走行している場合、車両の速度とステアリングホイールの回転の程

度に応じて、コーナーの先に向けてロービームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミックコーナリングライトが故障した場合、インストールメントパネルのPDLS警告灯が点滅します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

## 夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約 130km/h を超えるとドライビングライトの配光特性が変化します。

このときドライビングライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

## フォグライト

速度が 70 km/h 以下でリヤフォグライトが点灯している場合、ドライビングライトの配光特性が変化します。

このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

## ポルシェダイナミックライトシステム プラス (PDLS Plus)

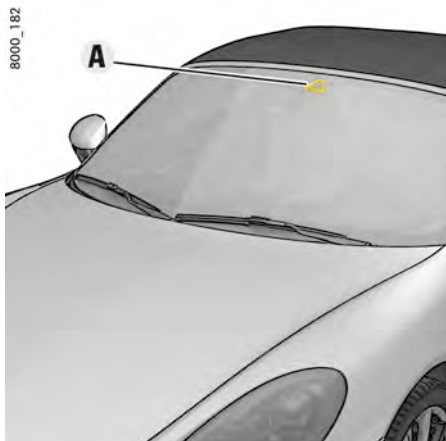


図 211: カメラの取り付け位置

### ダイナミックハイビーム

ダイナミックハイビーム装備車では、ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビングライトの遮光ポイントをハイビームからロービームの間で段階的に調節します。ドライビングライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

- ✓ ライトスイッチの **AUTO** 位置が選択されています。
- ✓ 車速は約 60km/h を超えています。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
  - ▷ 「ダイナミックハイビームの作動/停止」(245 ページ) を参照してください。
- ✓ ダイナミックハイビームが ON になっている。
  - ▷ 「ハイビームの作動」(261 ページ) を参照してください。

市街地走行時にハイビームに切り替わらないようにするため、ダイナミックハイビームは約 35km/h 以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイビームからロービームに切り替わります。

### 警告

集中力の低下

ダイナミックハイビームを過信せず、たとえば運転中の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じて手動でハイビームを調整するのは常にドライバーの責任です。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
- 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
- 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
- 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
- 明かりが少ない市街地
- 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
- フロントウィンドウのカメラの視界に曇り、汚れ、凍結がある、またはステッカーで覆われている
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要な場合、ハイビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

### i インフォメーション

- ▶ カメラの作動を干渉する物が無いことを確認してください。ルームミラーのカメラの視界(図.211を参照)をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。



- ▶ 車両のお手入れについて：「車両のお手入れ」(108 ページ)を参照してください。

## 方向指示灯/ハイビームレバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイビームに加えて、パーキングライトおよびヘッドライトパッシングも操作できます。



図 212: 方向指示灯およびハイビーム操作レバー

- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイビーム、ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

### 方向指示器の操作


- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** まで操作レバーを動かします。

方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

- ▶ 操作レバーを **1** または **2** 段階目まで 1 回動かしてください。  
方向指示灯が 3 回点滅します。

### ハイビームの作動

ハイビームの点灯/消灯 (ダイナミックハイビーム非装備車)


- ▶ **ON** にする：抵抗を感じる位置 **3** まで操作レバーを 1 度押してください。  
インジケーターライト  が点灯します。
- ▶ **OFF** にする：レバーを **4** 段階目まで 1 回動かしてください。


### ダイナミックハイビームの作動/停止


ダイナミックハイビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ✓ 車速は約 60km/h を超えています。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
  - ▶ 「ダイナミックハイビームの作動/停止」(245 ページ)を参照してください。

- ▶ **作動**：レバーを **3** 段階目まで 1 回動かしてください。


インジケーターライト  が点灯します。ロービームとハイビームの間で段階的に配光が自動調節されます。

ハイビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、 インジケーターライトが点灯します。


- ▶ **停止**：レバーを **4** 段階目まで 1 回動かしてください。  
インジケーターライト  が点灯しているときのみダイナミックハイビームを解除できます。

ダイナミックハイビームの手動点灯/消灯  
ダイナミックハイビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

以下の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ▶ **ON** にする：レバーを **3** 段階目まで 2 回動かしてください。  
インジケーターライト  が点灯します。
- ▶ **OFF** にする：レバーを **4** 段階目まで 1 回動かしてください。

### ヘッドライトパッシングを操作する

- ▶ レバーを **4** 段階目まで 1 回動かしてください。  
インジケーターライト  が短時間点灯します。

### パーキングライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ▶ 操作レバーを上方向 **2** または下方向 **1** に押すと右または左側のパーキングライトが点灯します。

パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションを OFF にしてドアを開くとマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。

## ハザードライトの ON/OFF



図 213: センターコンソールのハザードライトボタン

ハザードライトはイグニッションが OFF のときでも機能します。

### ハザードライトの ON/OFF

- ▶ センターコンソールのハザードライトボタンを押してください。  
すべての方向指示灯とボタンのインジケータライトが同時に点滅します。

### 緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約 70km/h 以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキライトが点滅し、車両の停車後にハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

### 事故後のハザードライトの解除

衝突時、ハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ ハザードライトを停止するためには、イグニッションを OFF にした後、再度イグニッションを ON にしてください。

## 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換

デイトタイムドライビングライト、フロントサイドライト、方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージバルブ、テールライト、ライセンスライト、ハイマウントブレーキライト、インジケータライトおよびブルーームライトは、発光ダイオード (LED) およびロングライフバルブが使用されています。

LED は個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換はボルシェ正規販売店にお任せください。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ラゲッジコンパートメント 荷物の積載



警告

積載時の車両の操縦性の  
変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

▶ 「重量」(287 ページ)を参照してください。

### 停止表示板の取り外し

停止表示板は、ラゲッジコンパートメントの裏側(図.214のA)に収納されています(国別仕様により異なります)。

### 応急処置セットの固定および 取り外し

応急処置セット(国によって異なります)は、フロントラゲッジコンパートメント内のカーペット(ベルクロストラップ、図.215、B)に固定することができます。

## タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または 工具セットの取り外しと収納

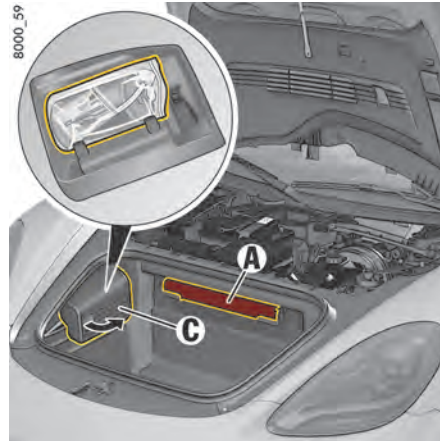


図 214: タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)を収納したプラスチックボックスC

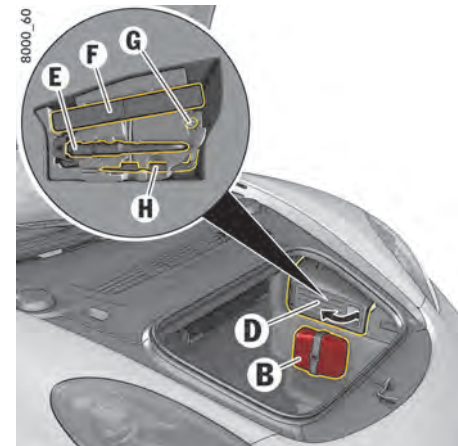


図 215: 工具セットを収納したプラスチックボックスD

E けん引フック

F 車載工具

G 盗難防止ホイールボルト用アダプター

H コンパチブルトップの緊急操作用キー  
(718 Boxster)

### タイヤシーラントおよび工具セットの 取り外し

- ▶ プラスチックボックスの取っ手をつかんで、取り外してください。

### タイヤシーラントおよび工具セットの 収納

1. 後部のラグを挿入してください。
2. プラスチックボックスの前部をはめ込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## タイヤ充填コンプレッサーの 取り外しおよび収納

### タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

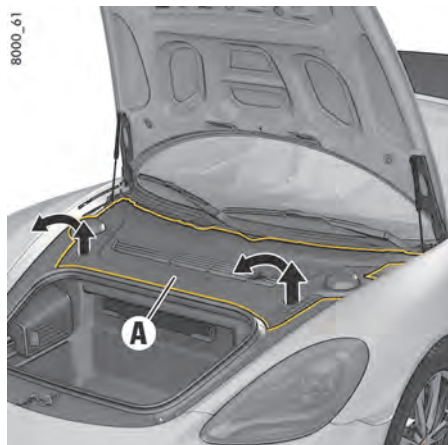


図 216: プラスチックカバーの取り外し

1. プラスチックカバー **A** の取っ手〔矢印〕を持って持ち上げ、ラッチを外してください〔外れる音が聞こえます〕。
2. プラスチックカバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。

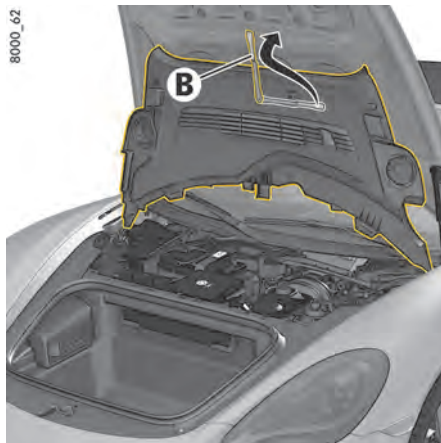


図 217: プラスチックカバーの取り付け

3. プラスチックカバー下側の固定ストラップ **B** を外し、ラゲッジコンパートメントリッドに取り付けてください。

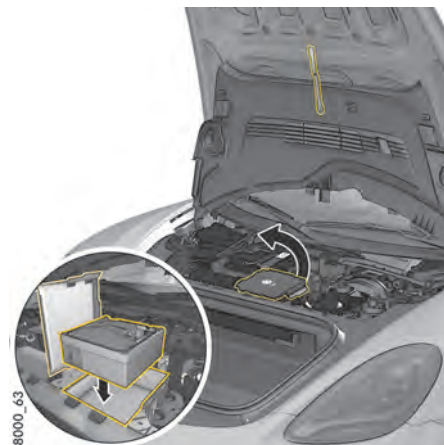


図 218: タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開いてください (図 .218)。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

## タイヤ充填コンプレッサーの収納

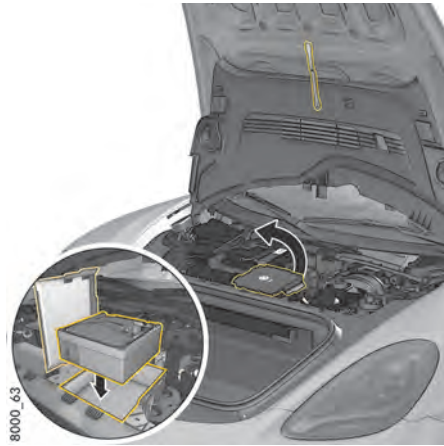


図 219: タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックスに入れてください(図.219)。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。

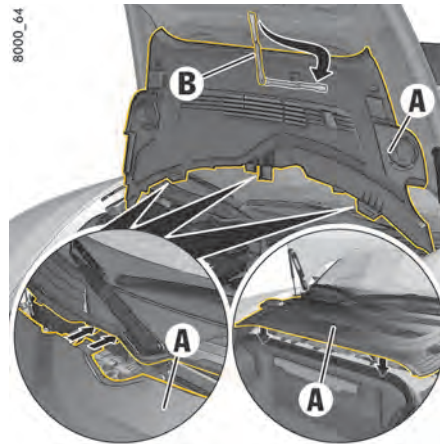


図 220: プラスチックカバーを閉じる

3. 固定ストラップ **B** を外し、プラスチックカバーにはめ込んでください。
4. プラスチックカバー **A** の後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。プラスチックカバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリングピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取手部分を下に押ししてください。

## ラゲッジカバーの取り外し / 取り付け

✓ 718 Cayman

ラゲッジカバーはラゲッジコンパートメント内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

## 知識

ラゲッジカバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジカバーを損傷する恐れのある荷物を積み込むときは、ラゲッジカバーを取り外してください。

## ラゲッジカバーを取り外す

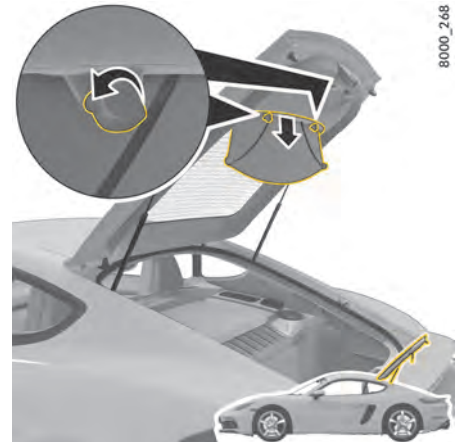


図 221: ラゲッジカバーを取り外す

1. 片手でラゲッジカバーを押さえながら、両方のロックを反時計回りに回してください。
2. 両手でラゲッジカバーを取り外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ラゲッジカバーを取り付ける

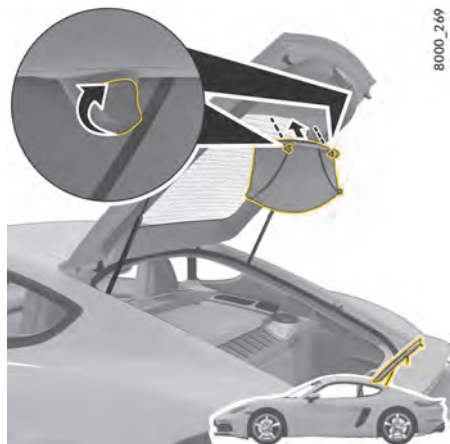


図 222: ラゲッジカバーを取り付ける

- ▶ 両手でラゲッジカバーをマウントに差し込み、片手で押さえながら両方のロックを時計回りに回してください。

## ラゲッジコンパートメントリッド

### ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック

車内のボタンでフロントラゲッジコンパートメントリッドを開く

#### 知識

ラゲッジコンパートメントリッドまたはフロントウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開くときは、フロントウィンドウワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントウィンドウワイパーをOFF(ワイパーレバーを0の位置)にしてください。衝突の危険があります。ワイパーアームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的にONにしてからOFFに切り替えてください。

- ▶ 「フロントウィンドウワイパーの操作」(203ページ)を参照してください。

#### **i** インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続すればフロントラゲッジコンパートメントリッドを開くことができます。

- ▶ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(268ページ)を参照してください。

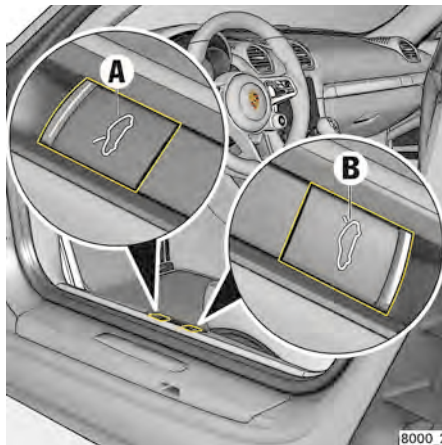


図. 223: フロントラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

- A** フロントラゲッジコンパートメントリッドボタン  
**B** リヤラゲッジコンパートメントリッドボタン

1. ボタン **A** を引いてください。  
リッドがロック解除されます。



図 224: フロントラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

- 2 リッドを少し持ち上げ、セーフティラッチ(矢印)を解除してください。
- 3 リッドを完全に開いてください。

車内のボタンでリヤラゲッジコンパートメントリッドを開く

1. ボタン **B** を引いてください。  
リッドがロック解除されます。
- 2 リッドをわずかに持ち上げ、それから完全に開いてください。

リヤラゲッジコンパートメントリッドのロック

✓ 718 Cayman

ラゲッジコンパートメントリッドは、2箇所の位置で開いたままロックすることができます。

- ▶ **位置1**: ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置まで持ち上げてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ **位置2**:ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置からさらに持ち上げてください。

## キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く

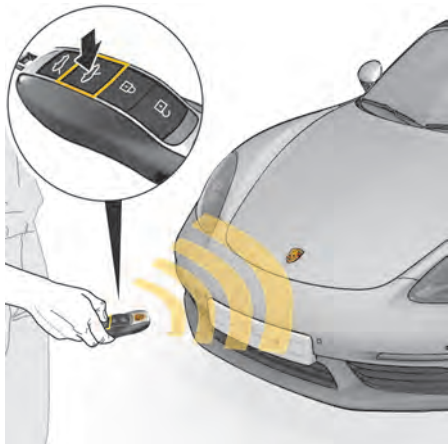


図 225: キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く

1. または ボタンを押してください。リッドがロック解除されます。
2. リッドを少し上げてください。
3. フロントラゲッジコンパートメント: セーフティラッチの解除
4. リッドを完全に開いてください。

### **i** インフォメーション

キーを使用してラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

## ラゲッジコンパートメントリッドを閉じる



**注意**

重いラゲッジコンパートメントリッド

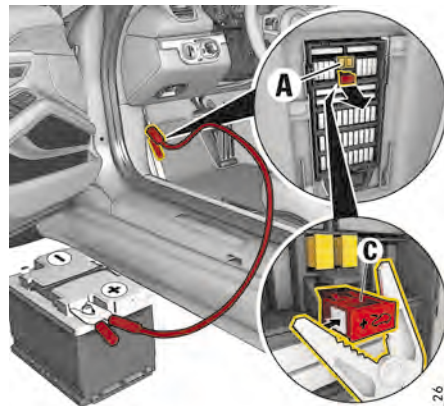
半分開いた状態のラゲッジコンパートメントリッドを閉じるとき、それ自体の重さが原因でロックされます。

- ▶ 可動部品(ヒンジ)付近やラゲッジコンパートメントリッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手で押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
3. リッドが正しく閉じていない場合、走行時にマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

## ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、フロントラゲッジコンパートメントリッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。



8000\_26

図 226: ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - プラス端子の接続

- A** プラスチック製ヒューズリムーバー
- C** プラス端子 (赤色)

1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロックを解除してください。
  - ▶ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(173ページ)を参照してください。
  - ▶ 「緊急ドアロック解除の実行」(133ページ)を参照してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り外してください。
3. ヒューズリムーバー **A** (黄色) を使用して、ヒューズボックスのプラス端子 **C** (赤色) を引き出してください。



4. 赤いジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズボックスのプラス端子 **C** を接続してください。

**i** インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

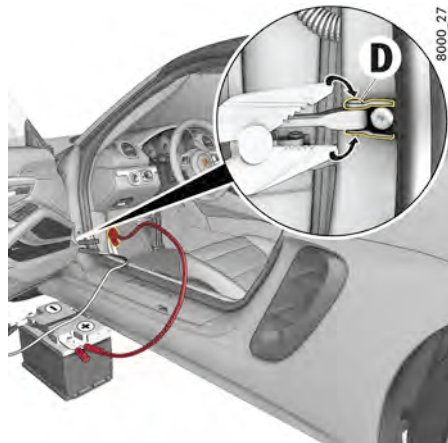



図 227: ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除  
- マイナス端子の接続

5. 黒色のジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドアラッチ **D** を接続してください。
6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。  
フロントラゲッジコンパートメントリッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。

7. マイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。
8. プラス端子 **C** (図 .226) をヒューズボックスに押し込み、ヒューズボックスのプラスチェックカバーを取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ラジオ

## 概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」(221 ページ) を参照してください。



図. 228: FM周波数

希望する操作	操作方法	ページ
周波数帯を設定する	▶ <b>TUNER</b> ボタンを押して、希望する周波数範囲 ( <b>AM</b> または <b>FM</b> ) をヘッドラインに表示してください。	271
放送局リストから放送局を選択する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ リスト  ▶ 放送局を選択してください。	271
スキップボタンで選局する	▶  ボタンまたは  ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。	
放送局リストから放送局を保存する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ リスト  ▶ 放送局を選択 ▶ <b>保存</b> ▶ 放送局ボタンを選択してください。	272
保存した局を選択する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ プリセット  ▶ 希望の放送局ボタン ( <b>A</b> など) を選択してください。	271
放送局の詳細を表示する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ プリセット  ▶ <b>詳細</b> を選択してください。	272

## 周波数を設定する


1. **SOURCE** ボタンを押してください。
2. **AM** または **FM** を選択してください。  
- または -  
▶ **TUNER** ボタンを押して、希望の周波数範囲 (**AM** または **FM**) を設定してください。  
- または -  
1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数を選択してください。
3. **SOURCE** メニューから **AM** または **FM** の希望する周波数帯を選択してください。

## 選局

### 保存した放送局を表示および選択する



図 . 229: 放送局ボタン


1. **TUNER** ▶ ボタンプリセット 
2. 放送局を選択してください。  
選択した放送局ボタン (例: **A**) がハイライトされます。

計 20 の放送局ボタン (プリセット) を使用して、放送局を割り当てることができます。最初の 3 ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます (現在選択されているページを表示させるには、**B** を参照)。受信電波の最も強い 5 つのラジオ放送局が、自動的に 4 ページの放送局ボタンに割り当てられます (ベスト FM レベル)。


### スキップ ボタンで選局する

- ▶ 選択したメインメニューに関わらず、**[K]** および **[D]** のスキップ ボタンを使用して選局することができます。放送局一覧の次 / 前の放送局または利用可能な周波数が設定されます。

### 手動で選局する

1. **TUNER** ボタン ▶ 選局 
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

### 放送局リストから放送局を選択する

1. **TUNER** ボタン ▶ リスト 
2. 放送局を選択してください。  
受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます (最高 100 局まで)。

### 放送局のスキャンと選局

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **スキャン開始** を選択してください。  
周波数の各放送局のスキャンには約 5 秒かかります。
3. スキャンした放送局で停止するには、コントロールラーで **停止** を選択してください。  
- または -  
**OPT** ▶ ボタンスキャンを停止を選択してください。

### マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する


マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(236 ページ) を参照してください。

1. **オーディオメニュー** を選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

## 放送局の保存


### 選局した放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン▶プリセット 
2. 希望の放送局 ボタンを 3 秒間押してください。


–または–

1. **TUNER** ボタン▶**OPT** ボタン
2. **放送局を保存**▶放送局 ボタンを選択してください。

–または–



1. ボタン **TUNER** ▶選局  / リスト 
2. 放送局を選択して、 を選択してください。
3. 希望の放送局 ボタンを選択してください。

### 放送局を自動で保存する

1. **TUNER** ▶ ボタンプリセット 
2. **AS** を 1 秒以上押し続けてください。  
検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、選択されているページに保存され、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

## 放送局情報の表示

### 放送局の詳細を表示する

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. プリセット  ▶詳細を選択してください。  
–または–  
リスト  ▶**OPT** ボタン▶放送局の詳細を選択してください。プログラム関連情報が表示されます。

## 設定の変更

1. **TUNER** ボタン▶**OPT** ボタン▶**AM** 設定 / FM 設定
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **放送局トラッキング** (FM)：機能が有効で FM 周波数の電波品質が低い場合、チューナーが選局した放送局の代替周波数へ自動的に切り替えを試みます。
- **リージョン適応** (FM)：地域によって、FM 周波数のプログラムは一部異っており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。この機能を ON にすると、その地域の代替周波数に切り替えることができます。
- **ソート条件**
  - **放送局名** (FM)：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
  - **周波数** (FM、AM)：放送局リストの放送局は、周波数域順にソートされています。

- **ジャンル** (FM)：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンル (ポップス、ロックなど) によって並び替えられます。
- **受信状態** (FM、AM)：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。
- **放送局の表示設定** (FM)
  - **放送局名**：放送局名が表示されます。
  - **周波数**：放送局の周波数が表示されます。
- **ステーションイメージ** (FM)：
  - **ステーションイメージ表示地域**：放送局のロゴを選択する地域の調整
  - **ステーションイメージを表示**：放送局ロゴの表示 / 非表示を切り替えます。

### 放送局名の固定

1. **TUNER** ボタン▶**OPT** ボタン
2. **選曲名**を選択してください。  
現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。  
▶ テキストをもう一度スクロールするには、**リリース名**を選択してください。

## リヤウィンドウヒーター /ドアミラーヒーター


### リヤウィンドウヒーターおよび ドアミラーヒーター



8100\_166


図 230: リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターボタン

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターを ON にする


- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

外気温度によって、約 5 ~ 20 分後にリヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的に OFF になります。

### 再度 ON にする

- ▶  ボタンをもう一度押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。

### インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## リヤスポイラー

リヤスポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

### オートモード

車速とスライディング/チルティングループの位置に応じて、リヤスポイラーは車速が約125 km/h 以上になると自動的に展開し、約80 km/h 以下になると格納します。

オートコントロールシステムに不具合があると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(73 ページ)を参照してください。



**警告**

格納式リヤスポイラーの故障

格納式リヤスポイラーが故障すると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。高速走行時にリヤアクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## マニュアルモード




図 231: センターコンソールのリヤスポイラー操作ボタン

リヤスポイラーは、イグニッションを ON にして、センターコンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。

リヤスポイラーがマニュアルモードの場合、ボタンのインジケーターライトが点灯します。

### 手動でのリヤスポイラーの展開

- ▶  ボタンを短く押してください。


リヤスポイラーが展開します。

ボタンのインジケーターライトが点灯します。


リヤスポイラーはマニュアルモードに切り替わります。

### 手動での格納

0 ~ 15 km/h :

- ▶ ボタンのインジケーターライトが消灯するまで、 ボタンを押し続けてください。

15 km/h を超える速度 :

- ▶  ボタンを短く押してください。  
ボタンを押した後、すぐにインジケーターライトは消灯します。  
リヤスポイラーはオートモードに切り替わります。



**注意**

リヤスポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤスポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤスポイラーが稼動する範囲に人や物がいないことを確認してください。

### 知識

リヤスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。

## レーンチェンジアシスト (LCA)

レーンチェンジアシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラー取付部フィニッシャーに一体化されている警告インジケーターが直ちに点灯します。



図 232: ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーター A

### 警告

集中力の低下

レーンチェンジアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### 警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候〔雨、雪、氷、強い水しぶき〕では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### 警告

車両が検出されない

- レーンチェンジアシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
- レーンチェンジアシストは急カーブ〔半径約 100 m 未満のカーブ〕では機能しません。
- レーンチェンジアシストは約 30 km/h 以上の速度で走行しているときのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## 一般情報

- システムは約 30 km/h ~ 250 km/h での走行中に機能します。
- この警告インジケーターはドライバーがドアミラー取付部フィニッシャーを一目見ただけで気づくよう設計されています。
- レーンチェンジアシストのレーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーンチェンジアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物〔高いまたは隆起した中央分離帯など〕を検出する場合があります。

### i

## インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダーセンサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずボルシェ正規販売店でレーンチェンジアシストシステムを点検してください。

## レーンチェンジアシストの作動 / 停止

レーンチェンジアシストはマルチファンクションディスプレイで作動 / 停止します。

- ▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA) の ON / OFF」〔244 ページ〕を参照してください。

### i

## インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには:

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部〔図、233〕をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

8000\_206



図 233: リヤバンパーのレーダーセンサー

## 作動原理

レーンチェンジアシストは、リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方約 70m の範囲 (アプローチゾーン) および死角を監視しています。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラー取付部フィニッシャーに表示します。

車両の右側および左側に個別に表示されます。たとえば、左ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

危険と判断された車両が方向指示灯を操作した場合、該当するドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

## i インフォメーション

レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダーセンサーで検出されません。

## 情報および警告ステージ

レーンチェンジアシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーター作動ステージがあります。

### 情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

### 警告ステージ

レーンチェンジアシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

## i インフォメーション

ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。

- ▷ 「ドアミラーのレーンチェンジアシスト (LCA) の画面の明るさを調整する」 (244 ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドアミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバースクリーンに警告されます。
- ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合は、車線変更は危険であると考えられます。

## 運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。



運転状況 - 高速で接近する車両

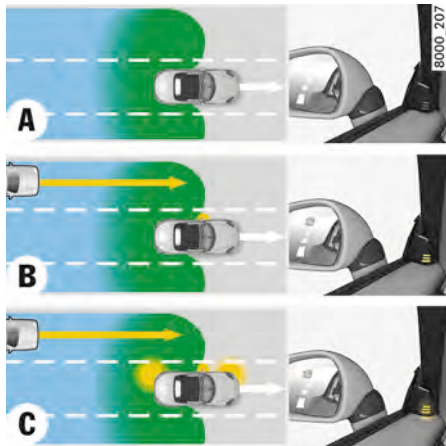


図 234: 急速に接近する車両

**A** - ドアミラー取付部トリムの警告インジケータが点灯していない

センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。

**B** - 警告インジケータがインフォメーションステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しています (図の例は左車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両は既に車速変更を行うには危険と判断されます。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケータが点灯します。

**C** - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケータが数回明るく点滅します。

レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと接近する車両

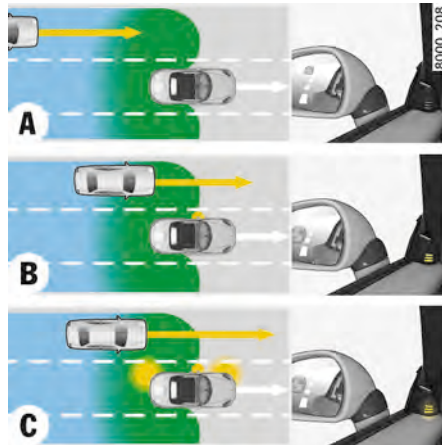


図 235: ゆっくりと接近する車両

**A** - ドアミラー取付部トリムの警告インジケータが点灯していない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しています (図の例は左側車線を示しています)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドアミラー取付部フィニッシャーに表示されません。

**B** - 警告インジケータがインフォメーションステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケータが点灯します。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドアミラー取付部フィニッシャーに表示され

ます。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

**C** - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと遠ざかる車両

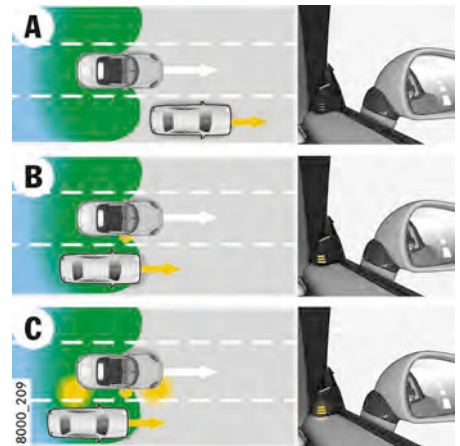


図 236: ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

**A** - ドアミラー取付部トリムの警告インジケータが点灯していない

レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラー取付部トリムの警告インジケータの表示はありません。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## B- 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する

この例では、レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約 15km/h 未満）を右側車線で検出しました。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

## C- 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

### 運転状況 - 高速で遠ざかる車両

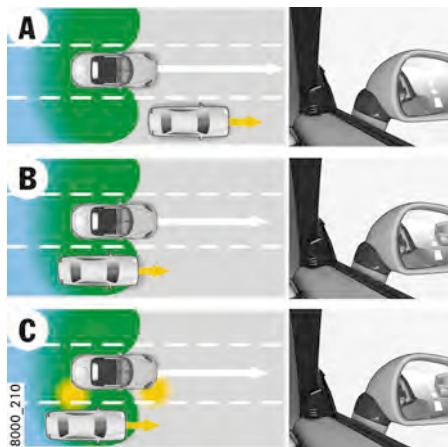


図 237: 高速で遠ざかる車両

## A- ドアミラー取付部トリムの警告インジケーターが点灯していない

レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラー取付部トリムの警告インジケーターの表示はありません。

## B- ドアミラー取付部トリムの警告インジケーターは点灯していない

この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両（速度差約 15km/h 以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラー取付部トリムの警告インジケーターの表示はありません。

## C- ドアミラー取付部トリムの警告インジケーターが点灯していない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯しません。

## カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーンチェンジアシストは 1 つ離れた車線を走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブでは車両を検出できません（約 100m 未満の半径のカーブ）。

- ▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

## 車線幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーンチェンジアシストの検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では 1 つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーンチェンジアシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

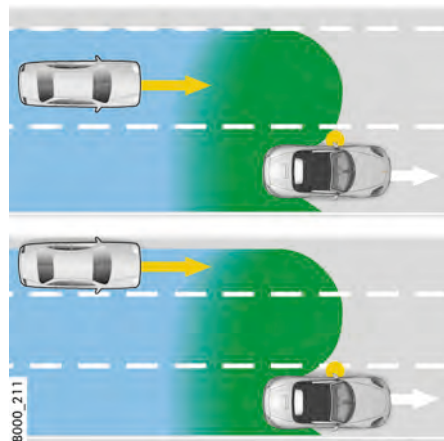


図 238: 車線の幅と検出エリア

## ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケータの明るさの設定

警告インジケータ（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクションディスプレイで調節することもできます：

- ▷ 「ドアミラーのレーンチェンジアシスト (LCA) の画面の明るさを調整する」 (244 ページ) を参照してください。

### **i** インフォメーション

明るさを調整している間はレーンチェンジアシストが作動しません。警告インジケータは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

---

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ワイパー ブレード

## 知識

ワイパー アームが不意に倒れるとフロントウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

## 知識

ワイパー ブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

## 知識

不適切な清掃をすると、ワイパー ブレードのグラフィット層が損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄水をワイパー ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードは必ずきれいな水で洗浄してください。

## ワイパー ブレードのお手入れ

フロントウィンドウワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください(「ウィンドウの清掃」(110 ページ)を参照してください)。特に洗車機を使用した後は清掃してください。ボルシェは、ボルシェ テクニク用品のカーケア用品の使用を推奨します。

- ▶ 汚れがひどい場合(虫の残骸などによって)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃してください。

## ワイパー ブレードの交換

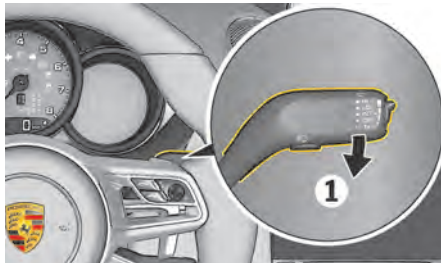


図 239: ワイパー レバー

## 知識

ワイパー ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

ワイパー ブレードは年に2回(寒季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

✓ イグニッションがOFFになっている。

1. ワイパー レバーを下方向(図.239、1)に1回動かしてください。  
ワイパーが上方に約45°移動します。

2. メーカーの取扱説明書(別冊)に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードを交換する場合は、左右でワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

## i インフォメーション

必要な場合は、ボルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## Apple CarPlay

### PCM で Apple CarPlay を開く

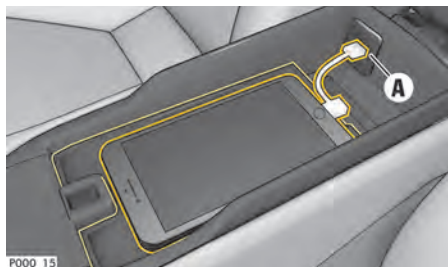


図 .240: センターコンソールの USB ポート (タイプ A)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上
- ✓ Siri および Apple CarPlay がお使いの iPhone の設定で有効になっている

1. iPhone をセンターコンソールの USB ポート A (タイプ A) に接続してください。
  - ▷ 「USB を介して外部機器を接続する」 (227 ページ) を参照してください。
2. Apple CarPlay の使用を希望していることを確認してください。  
利用可能なアプリが表示されます。
3. **HOME** ボタン ▶ メニュー  ▶ **Apple CarPlay**

#### インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone 内のアプリのみが表示されます。アプリの可用性に関する情報については、Apple のウェブサイトをご参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。お住まいの国での可用性については、Apple のウェブサイトをご参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。アプリ使用中には、挿入している外付け SIM カードを電話をかけるために使用することができません。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。


#### インフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」 (221 ページ) を参照してください。

### PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチスクリーン、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで使用できます。

- ▶ **Apple CarPlay** のメインメニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

- ▶ PCM のメイン機能に変更するには、**HOME** ボタン ▶ **ボルシェ** を押してください。  
- または -  
いずれかのワンタッチ ボタン (例: **TUNER**) を押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する

### Siri を有効にする

- ✓ Siri がお使いの iPhone の設定で有効になっています。
- ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パーキング エイドを使用していない
- ✓ PCM ボイスコントロールが作動していない。

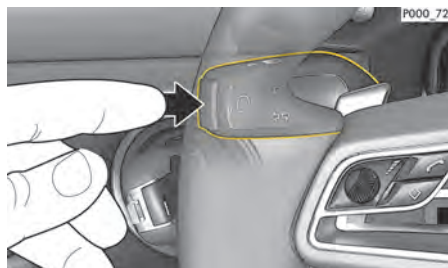





図 241: レバーのボイスコントロール ボタン


1. 操作レバーの  ボタンを押し続けてください。  
- または -  
PCM タッチスクリーンのホーム ボタン  を押し続けてください。
2. 希望のボイス コマンドを発話してください。

### Siri を解除する

- ✓ 音声認識が有効で、ボイス コマンドを待機している。

- ▶ 操作レバーの  ボタンを押してください。終了音が鳴ります。  
- または -  
ボイス コマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。  
- または -  
PCM の任意のボタンを押してください。該当する機能が開きます。

### i インフォメーション

操作レバーの  ボタンを素早く押すと、PCM の音声認識機能が有効になります。

- ▶ 「ボイスコントロール」(211 ページ) を参照してください。

## iPhone を iPod として使用する 場合および Apple CarPlay モード で使用する場合の切り替え

iPhone をセンター コンソールの USB ポートに接続した後に iPod として接続した場合、Apple CarPlay は使用できません。

デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。



図 242: デバイス マネージャーを開く

1. フッターの  または  を選択する (接続ステータスによって異なります)。
2. スマートフォンリンクを選択してください。
3. ご使用中の iPhone を選択してください。
4. iPod として使用  
- または -  
Apple CarPlay モードで使用。

## HOLD 機能

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD 機能が作動すると、インストルメントパネルの **HOLD** インジケーターライトが点灯します。

HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。



**警告**

車両コントロールの喪失

上り坂で発進するときは、HOLD 機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

HOLD 機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役に立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。

HOLD 機能が作動しないと、ドライバーは坂道発進アシストを受けられません。

▶ フットブレーキをかけて停車してください。

## マニュアルトランスミッション装備車の HOLD

✓ エンジンが作動している。

1. 坂道では、フットブレーキをかけて停車してください。
2. クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。
3. 坂道を登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバースギヤ）。

4. クラッチペダルを踏んだまま、フットブレーキから足を放してください。

車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。

5. 通常の運転操作で発進してください。



### インフォメーション

マニュアルトランスミッション装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動しません。

- クラッチを踏んでいないとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。

## PDK 装備車の HOLD

車両が停止状態にあるときに HOLD 機能が作動します。

この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。



### インフォメーション

PDK 装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動しません。

- 作動モードが **P** および **N** のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。



### インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、セレクターレバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。



**警告**

上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフットブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

▶ ブレーキペダルの操作でブレーキ力を大きくすることにより、車両の保持をアシストします。



### インフォメーション

HOLD 機能が作動したときは、ブレーキペダルの感触が変化したり、ブレーキシステムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## テクニカルデータ

以降のページには、車両に関するテクニカルデータが掲載されています(メーカー参考値)。



## テクニカルデータ

### 車両の識別データ

#### 車両識別番号

8000\_85



図 243: 車両識別番号

車体番号はフロントウィンドウ枠の左下と助手席シートの下にあります。

- ▶ スペアパーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

#### ビークルプレート



図 244: ビークルプレートの記載箇所

ビークルプレートは助手席側ドアシル（ドア開口部）に取り付けられています。

#### タイヤ空気圧プレート

8000\_113



図 245: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドアシル（ドア開口部）に貼られています。

#### 車両データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

## 寸法

全長 ( 装備仕様により異なる )	4,379 mm ~ 4,405 mm
全幅	1,801 mm
ドアミラーを含む全幅	1,994 mm
DIN 規定の空車重量での車高 装備によって異なります	1,261 mm ~ 1,295 mm
DIN 規定の空車重量での地上高 装備によって異なります	112 mm ~ 133 mm

## 充填容量

- ▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

燃料	<b>718 Boxster、718 Boxster T、718 Cayman、718 Cayman T :</b> 約 54 リットル ( オプション : 約 64 リットル )、予備は約 8 リットル <b>718 Boxster S、718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman S、718 Cayman GTS 4.0 :</b> 約 64 L ( 予備用の約 8 L を含む )
フロントウィンドウ/ヘッドライト洗淨水	約 2.5 L ( ヘッドライトウォッシャーシステム装備車は約 5 L )

## 燃料消費量と CO<sub>2</sub> 排出量

CO<sub>2</sub> 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO<sub>2</sub> 排出量を最小限に抑制できます。

### **i** インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります ( 例 : 「適合証明」 )。所定の測定方法による値を表示しています (Euro 6 : 現行バージョンの Regulation (EC) 715/2007 ; Euro 5 : ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ )。

## 重量

EU 規格 1230/2012 に基づく空車重量 (運転者 1 名 + 荷物分 (75 kg) を含む)。

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

	718 Boxster マニュアルトランス ミッション	718 Boxster PDK	718 Boxster T マニュアルトランス ミッション	718 Boxster T PDK
<b>空車重量 (装備仕様により異なる)</b>				
DIN 70020 規格	1,335 kg ~ 1,465 kg	1,365 kg ~ 1,495 kg	1,350 kg ~ 1,465 kg	1,380 kg ~ 1,495 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,410 kg ~ 1,540 kg	1,440 kg ~ 1,570 kg	1,425 kg ~ 1,540 kg	1,455 kg ~ 1,570 kg
最大軸荷重、フロント	770 kg	775 kg	770 kg	775 kg
最大軸荷重、リヤ	915 kg	940 kg	915 kg	940 kg
最大総重量	1,655 kg	1,685 kg	1,655 kg	1,685 kg

	718 Boxster S マニュアルトランス ミッション	718 Boxster S PDK	718 Boxster GTS 4.0 マニュアルトランス ミッション	718 Boxster GTS 4.0 PDK
<b>空車重量 (装備仕様により異なる)</b>				
DIN 70020 規格	1,355 kg ~ 1,475 kg	1,385 kg ~ 1,505 kg	1,405 kg ~ 1,505 kg	1,435 kg ~ 1,535 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,430 kg ~ 1,550 kg	1,460 kg ~ 1,580 kg	1,480 kg ~ 1,580 kg	1,510 kg ~ 1,610 kg
最大軸荷重、フロント	780 kg	785 kg	795 kg	795 kg
最大軸荷重、リヤ	915 kg	940 kg	945 kg	975 kg
最大総重量	1,665 kg	1,695 kg	1,700 kg	1,730 kg

	718 Cayman マニュアルトランス ミッション	718 Cayman PDK	718 Cayman T マニュアルトランス ミッション	718 Cayman T PDK
空車重量 ( 装備仕様により異なる )				
DIN 70020 規格	1,335 kg ~ 1,465 kg	1,365 kg ~ 1,495 kg	1,350 kg ~ 1,465 kg	1,380 kg ~ 1,495 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,410 kg ~ 1,540 kg	1,440 kg ~ 1,570 kg	1,425 kg ~ 1,540 kg	1,455 kg ~ 1,570 kg
最大軸荷重、フロント	765 kg	770 kg	765 kg	770 kg
最大軸荷重、リヤ	930 kg	955 kg	930 kg	955 kg
最大総重量	1,655 kg	1,685 kg	1,655 kg	1,685 kg

	718 Cayman S マニュアルトランス ミッション	718 Cayman S PDK	718 Cayman (GTS 4.0 装備車) マニュアルトランス ミッション	718 Cayman (GTS 4.0 装備車) PDK
空車重量 ( 装備仕様により異なる )				
DIN 70020 規格	1,355 kg ~ 1,475 kg	1,385 kg ~ 1,505 kg	1,405 kg ~ 1,505 kg	1,435 kg ~ 1,535 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,430 kg ~ 1,550 kg	1,460 kg ~ 1,580 kg	1,480 kg ~ 1,580 kg	1,510 kg ~ 1,610 kg
最大軸荷重、フロント	775 kg	780 kg	775 kg	775 kg
最大軸荷重、リヤ	930 kg	955 kg	965 kg	995 kg
最大総重量	1,665 kg	1,695 kg	1,700 kg	1,730 kg

## ホイールおよびタイヤ

### ホイールおよびタイヤのサイズ

ボルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数 (「94」など) と速度記号 (「Y」など) 以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

▷ 「タイヤおよびホイール」[139 ページ] を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたタイヤ / ホイール サイズにのみ、またリヤホイールにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ボルシェ社が認可したファインリンク エッジチェーンのみを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤ / ホイールが EU 規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳しくは、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>718 Boxster、718 Boxster T、718 Cayman、718 Cayman T</b>			
サマータイヤ	FA : 235/45 ZR 18 94Y RA : 265/45 ZR 18 101Y	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	不可
	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) RA : 265/40 ZR 19 (98Y)	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウィンタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
<b>718 Boxster S、718 Cayman S</b>			
サマータイヤ	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) RA : 265/40 ZR 19 (98Y)	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウィンタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0</b>			
サマータイヤ	FA : 235/35 ZR 20 (88Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57	不可
	RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	RA : 10.5J x 20、RO 47	
ウィンタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S	FA : 8J x 18、RO 57	可
	RA : 265/45 R 18 101V M+S	RA : 9.5J x 18、RO 49	
	FA : 235/40 R 19 92V M+S	FA : 8J x 19、RO 57	不可
RA : 265/40 R 19 98V M+S	RA : 10J x 19、RO 45		

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、  
RO = リム オフセット

## タイヤ空気圧

これらの標準およびコンフォートタイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧 (20 °C) として、ボルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで、コンフォートプレッシャー/標準空気圧を選択してタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」 (139 ページ) を参照してください。
- ▷ 「タイヤおよびホイール」 (139 ページ) を参照してください。

### 標準タイヤ空気圧

タイヤ	718 Boxster、718 Boxster T、 718 Cayman、718 Cayman T		718 Boxster S、 718 Cayman S		718 Boxster GTS 4.0、 718 Cayman (GTS 4.0 装備車)	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマータイヤ</b> 235/45 ZR 18 / 265/45 ZR 18	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	—	—	—	—
<b>サマータイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 265/40 ZR 19	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	—	—
<b>サマータイヤ</b> 235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.4 bar 240 kPa 35 psi	2.4 bar 240 kPa 35 psi
<b>ウィンタータイヤ</b> 235/45 R 18 / 265/45 R 18	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi
<b>ウィンタータイヤ</b> 235/40 R 19 / 265/40 R 19	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル

**270 km/h の速度までに適用するコンフォートタイヤ空気圧**

- ✓ マルチファンクションディスプレイで「コンフォート プレッシャー」を設定した車両
- ✓ 20 インチ サマータイヤ装備車



**警告**

タイヤ空気圧の不足

[コンフォート] オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで「コンフォート プレッシャー」を設定した車両にのみ、コンフォートタイヤ空気圧を設定してください。

タイヤ	FA	RA
<b>サマータイヤ</b>	2.1 bar	2.1 bar
235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	210 kPa	210 kPa
	30 psi	30 psi

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル



## ポルシェコミュニケーションマネジメントシステム (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオファイル	
対応するメディア	<p><b>SD カード</b> (最大 128 GB)</p> <p>DVD ドライブ オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、ビデオ DVD 互換 DVD オーディオ</p> <p>ポータブル プレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイスサブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス、例：USB スティック、専用ドライバー不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュメモリーおよびハードディスク</p>
ファイルシステム	<p><b>SD/SDHC/SDXC/MMC</b> メモリーカード</p> <p><b>USB マスストレージ</b> exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイルシステム (最大 4 パーティション)</p> <p><b>DVD ドライブ</b> ISO9660、Joliet、UDF</p>
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3; Windows Media Audio 9 および 10; MPEG 2/4; FLAC; MPEG 1/2; ISO-MPEG4; DivX 3, 4 および 5; Xvid; ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC); Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.aax、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
プレイリスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	<p><b>DVD ドライブ</b> 最大 1,000 ファイル DVD</p> <p><b>Jukebox</b> (最大 10 GB ストレージ容量) 最大 3,000 ファイルをコピー可</p> <p><b>USB 大容量記憶装置およびメモリーカード</b> 最大 10,000 ファイル (1 メディアあたり)、最大 1,000 ファイル (1 ディレクトリ/プレイリストあたり)</p>
メタデータ	アルバム カバー最大 800x800 ピクセル、GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote® <sup>1)</sup> データベース経由
ビデオ DVD リージョンコード	<p>コード 1：USA、カナダおよび米国自治領</p> <p>コード 2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本</p> <p>コード 3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾</p> <p>コード 4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ</p> <p>コード 5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ</p> <p>コード 6：中華人民共和国</p> <p>コード 8：国際領土 (船舶、航空機)</p>

1) Gracenote ロゴは米国およびその他の国における Gracenote の商標または登録商標です。

テクニカルデータ：接続

<b>モバイルネットワーク</b>	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII) /1800 MHz (Band III) /2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20) /900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3) /2600 MHz (Band 7)
<b>WiFi</b>	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
<b>Bluetooth®</b>	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m
<b>SIM カードの挿入および取り出し</b>	ミニ SIM、寸法 25 x 15 mm



テクニカルデータ：ラジオ

<b>周波数範囲 / 規格</b>	UKW (FM)：87.5 ~ 108 MHz (100 kHz ごとの手動調節) MW (AM)：531 ~ 1,602 KHz (1 kHz ごとの手動調節)
<b>放送局の自動検索による選局グリッド</b>	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz

テクニカルデータ：CD/DVDドライブ

<b>一般情報</b>	製造時に、このレーザー製品はドイツ / 国際規格 DIN EN 60825-1 に準拠して製造されています：2008-05 および DHHS ルール 21 CFR Subchapter J、クラス 1 レーザー製品として分類されています。クラス 1 レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
<b>レーザー光線出力</b>	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
<b>レーザー光線波長</b>	DVD：665 nm CD：795 nm

## ライセンスについて

<b>Bluetooth®</b>	Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。
<b>Dolby Digital</b>	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。
<b>DTS Digital Surround</b>	 <p>DTS の特許については、<a href="http://patents.dts.com">http://patents.dts.com</a> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。 © DTS, Inc. 全権利は保護されています。</p>
<b>Gracenote</b>	 <p>Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。</p>

## エンドユーザーライセンス合意

## Gracenote®

このアプリケーションまたは機器には Gracenote, Inc. (カルフォルニア州エメリービル) (「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。このアプリケーションは Gracenote のソフトウェア (「Gracenote Software」) を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 (「Gracenote Data」) をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンドユーザー機能によってのみ Gracenote データを使用することができます。

Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。

Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブページを参照してください。

Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データタイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。

Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的または付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

**Bluetooth® 認証 ( 抜粋 )**

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

## リサイクル

### エアバッグおよびシートベルトテンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルトテンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### 電気/電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気/電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 電気/電子部品および使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 無線機器 (EU 地域外)

## 検査マークおよび適合宣言書

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Moldova, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.



Australia



Argentina



CNC ID: H-24905 (Key-Basic)  
 CNC ID: H-21423 (Key-Kessy)  
 CNC ID: H-21518 (BCM 433)  
 CNC ID: H-24102 (TPMS)  
 CNC ID: C-21798 (MRR1Rear)  
 CNC ID: C-14451 (MIB2)  
 CNC ID: H-21517 (BCM Basis 434)  
 CNC ID: H-24892 (LTE Compensor)

Bahamas

Continental Automotive GmbH  
 PAG-BCU-433-180528  
 SN (Serial Number)  
 FCC ID: KR5315-140930  
 Continental Automotive GmbH  
 PAG-BCU-434-180528

SN (Serial Number)  
 FCC ID: KR5315-140930

Belarus



Brazil



Incorporates a product type-approved by Anatel under number:

07137-19-08137 (TPMS)  
 03002-09-03745 (LRR3)  
 02230-14-03745 (MRR1Rear)  
 00267-18-10188 (LTE Compensor)  
 01370-15-02149 (BCM Basis)  
 01687-18-02149 (Key Basic, Kessy)  
 02483-14-06324 (Homelink)  
 00278-15-07978 (MIB2)

Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)

Brunei



DTA-005816 (Homelink)  
 DTA-006261 (LRR3)  
 DTA-006367 (MRR1Rear)

Canada

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radio-fréquence suivants:

IC: 3887A-MRR1REAR (MRR1 Rear)  
 IC: 3887A-LRR3SCU (LRR3)  
 IC: 4774A-MBCNAR2 (LTE-Compensor)  
 IC: 7812D-5WK50138 (Key Basic)  
 IC: 7812D-315140930 (BCM Basis 315)  
 IC: 7812D-315180528 (Key Kessy)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and these devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) These devices may not cause interference; and
- (2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs

exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

(1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et

(2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

### Custom Union



Declaration of Conformity Based on Technical Regulation of Customs Union 020/2011 No. EAЭС No RU Д-DE.ЭМ03.В.00128 valid from 10.11.2017 until 09.11.2022, registered by Certification Body-Branch of the FSUE NIIR TESTING CENTRE "OMEGA".

Декларация о соответствии TP TC 020/2011 EAЭС №

RU Д-DE.ЭМ03.В.00128 от 10.11.2017, действительна по 09.11.2022, зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП ОрденаТрудового

Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»  
Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex

Сделано в Германии

Электропитание : 12V 400mA

### Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-13B (BCM Basis 434)

NCA APPROVED: 7T6-5H-7DF-163 (MIB2)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-X53 (Key Kessy)

NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-X68 (Key Basic)

### Great Britain



Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to The Radio Equipment Regulations 2017. The full text of the relevant Declaration of Conformity is available at the following website: <https://www.porsche.com/international/accessoriesand-service/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017:

Porsche Cars Great Britain Ltd.  
Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE  
United Kingdom

### Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



### India

ETA-2221/15-RLO(NR) (MIB2)  
ETA-3000/16-RLO(WR) (MRR1Rear)  
NR-ETA/9099-RLO(NR) (Key Kessy)  
NER-ETA/596 (BCM Basis)  
NER-ETA/668 (Key Basic)

### Indonesia



73337/SDPPI/2021  
2692



73286/SDPPI/2021  
2692



70530/SDPPI/2020  
269266074/SDPPI/2020  
433463118/SDPPI/2019  
2692**Israel**

Model Name: LRR3

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: MRR1Rear

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: TSS RE 4Uf/TSS SG 4G5b

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

**Jamaica**These products have been Type Approved by  
Jamaica:

SMA – PAG-KEY- 434-180528 (Key)

SMA – PAG-BCU-433-180528 (BCM Basic 433)

SMA – PAG-BCU-434-180528 (BCM Basic 434)

**Japan**

R 202 -LSC006



R 201-180199



R 201 Y 09215024



R 202 -YK08560751

Japanese Radio Law Compliance. This device is  
granted pursuant to the Japanese Radio Law.This device should not be modified (otherwise the  
granted designation number will become invalid).本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準  
適合証明などを受けております。認証番号：  
202-LSC006本製品の改造は禁止されています。（適合証明番号  
などが無効となります。）**Jordan**

TRC/LPD/2014/186 (MIB2)

TRC/LPD/2014/258 (Homelink)

TRC/34/7730/2020 (BCM 434)

TRC/36/6451/2020 (BCM 433)

TRC/LPD/2014/73 (MRR1Rear)

TRC/32/7603/2020 (LRR3)

**Malaysia**

CIDF20098171

CIDF20102089

CIDF15000490 (LRR3)

CIDF15000490 (MRR1Rear)

**Morocco**

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 5371 ANRT 2010  
Date d'agrément: 05/12/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 9186 ANRT 2014  
Date d'agrément: 22/04/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15965 ANRT 2018  
Date d'agrément: 05/03/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15787 ANRT 2018  
Date d'agrément: 12/03/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24001 ANRT 2020  
Date d'agrément: 13/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15102 ANRT 2017  
Date d'agrément: 03/11/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 25086 ANRT 2020  
Date d'agrément: 31/07/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15960 ANRT 2018  
Date d'agrément: 05/03/2018



3NR: 2018-05-I-000183 (Key-Kessy 434)  
 NR: 2019-05-I-000236 (MRR1Rear)  
 NR: 2020-07-I-000512 (Key-Basic)  
 NR: 2021-06-I-0309 (MIB2)  
 NR: 2020-09-1-0664 (Homelink)

**Philippines**



NTC  
Type Approval No.: ESD-1408917C

NTC  
Type Approved  
No.: ESD-RCE-2022725

NTC  
Type Approved  
No.: ESD-GEC-1402882


NTC  
Type Approved  
No.: ESD-1816527C



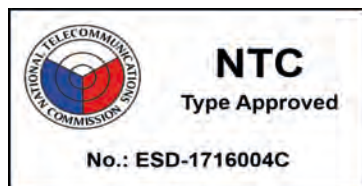
NTC  
Type Approved  
No.: ESD-1816879C



NTC  
Type Approved  
No.: ESD-2022730C



NTC  
Type Approved  
No.: ESD-1816880C



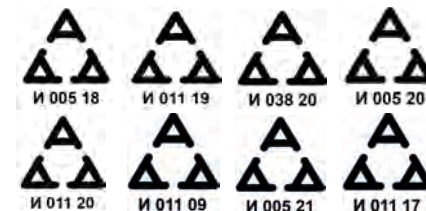
NTC  
Type Approved  
No.: ESD-1716004C

**Qatar**

Approval Ref.: CRA/SM/2020/S-0006251 (MIB2)  
 Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7682 (Homelink)  
 Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6937 (Key Kessy 434)  
 Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6938 (Key Kessy 433)

Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2012/R-2944 (BCM 434)  
 Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2012/R-1878 (LRR3)  
 Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2014/R-3957 (MRR1Rear)

**Serbia**












И 005 18    И 011 19    И 038 20    И 005 20  
 И 011 20    И 011 09    И 005 21    И 011 17

**Singapore**


Complies with IMDA Standards DB101762	Complies with IMDA Standards DB106879
Complies with IMDA Standards DB107205	Complies with IMDA Standards DB109950


South Africa


- 
TA-2009/464  
APPROVED
- 
TA-2014/2597  
APPROVED
- 
TA-2014/212  
APPROVED
- 
TA-2015/158  
APPROVED
- 
TA-2005/614  
APPROVED
- 
TA-2012/399  
APPROVED
- 
TA-2018/217  
APPROVED
- 
TA-2018/218  
APPROVED
- 
TA-2014/1837  
APPROVED


- 
TA-2019/1853  
APPROVED
- 
TA-2020/6392  
APPROVED
- 
TA-2019/5116  
APPROVED

South Korea


<p><b>ACC ( LRR3 ) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Robert Bosch GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 특정소출력 무선기기(차량 충돌방지용 레이더 무선기기)</p> <p>인증번호: B02-LRR3</p> <p>제조사/제조국가: Robert Bosch GmbH</p>	
--	---


<p><b>Key Kessy (433) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Continental Automotive GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 특정소출력 무선기기(레이더전송용 무선기기)</p> <p>인증번호: R-CRM-TAL-PAG-433-180628</p> <p>제조사/제조국가: Continental Automotive GmbH/독일</p>	
--	---


<p><b>BCM Basic (433) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Continental Automotive GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 미약 권제강도 무선기기</p> <p>인증번호: MSIP-RRM-TAL-433-1409</p> <p>제조사/제조국가: Continental Automotive GmbH/독일</p>	
--	--

<p><b>Wireless Charger 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Molex CVS Dabendorf GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): WCH-193</p> <p>인증번호: R-R-N7V-WCH-193</p> <p>제조사/제조국가: Molex CVS Dabendorf GmbH/독일</p>	
--	---

<p><b>LCA ( MRR1Rear ) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Robert Bosch GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 특정소출력 무선기기(차량 충돌방지용 레이더 무선기기)</p> <p>인증번호: MSIP-CMM-B02-MRR1Rear</p> <p>제조사/제조국가: Robert Bosch GmbH</p>	
---	---

<p><b>Key Basic (433) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Continental Automotive GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 태이너전송용 무선기기</p> <p>인증번호: TAL-5WK50137</p> <p>제조사/제조국가: Continental Automotive GmbH/독일</p>	
--	---

<p><b>BCM Basic (434) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Continental Automotive GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 미약 권제강도 무선기기</p> <p>인증번호: MSIP-RRM-TAL-434-140930</p> <p>제조사/제조국가: Continental Automotive GmbH/독일</p>	
--	---

<p><b>TPMS (TSSRE4Uf) 인증정보</b></p> <p>적합성평가를 받은자의 상호: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH</p> <p>기차재의 명칭(모델명): 특정소출력 무선기기</p> <p>인증번호: R-C-HEB-TSSRE4Uf</p> <p>제조사/제조국가: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일</p>	
---	--

**TPMS (TSSSG4G5b) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기자재의 명칭(모델명):  
TPMS ECU E5.5 433MHz

인증번호:  
R-R-HEB-TSSSG4G5b

제조자/제조국가:  
Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



**LTE Compensor 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
Molex CVS Dabendorf GmbH

기자재의 명칭(모델명):  
LTE-MBC-CN

인증번호:  
MSIP-CMM-N7V-LTE-MBC-CN

제조자/제조국가:  
Molex CVS Dabendorf GmbH/독일



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

(English Translation: This equipment has been tested for compliance with the intended use in a commercial environment. If the equipment is used in a domestic environment, it may cause radio interference.)

**Taiwan**

-  CCAE09LP0150T1
-  CCAB10LP3800T1
-  CCAE18LP0570T8
-  CCAE15LP0170T7
-  CCAE18LP0610T7

**低功率電波輻射性電機管理辦法**  
第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。  
第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

**Thailand**



Importer No.: 6550000  
Dealer No.: 6550001 (Bangkok)  
Dealer No.: 6550002 (Pattanakorn)

- 1) เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์ที่มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดของ กสทช.
- 2) เครื่องวิทยุคมนาคมที่มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด

**Turkey**

**TELSİZ EKİPMANLARI YONETMELİĞİ (2014/53/AB)**

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yonetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalatçısı\*:  
Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş. Şekerpinar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayırova/Kocaeli  
\*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

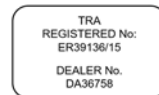
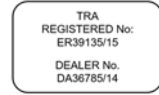
**Ukraine**

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>



**United Arab Emirates**



TRA  
REGISTERED No:  
ER39739/15  
DEALER No.  
DA36758/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER35423/14  
DEALER No.  
Gentex Corporation

TRA  
REGISTERED No:  
ER80562/20  
DEALER No.  
DA36975/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER61807/18  
DEALER No.  
DA36975/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER48512/18  
DEALER No.  
DA36975/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER61808/18  
DEALER No.  
DA36975/14

**USA**

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: KR5315-140930 (BCM Basic)

FCC ID: KR5315-180528 (Key Kessy)

FCC ID: KR55WK50138 (Key Basic)

FCC ID: NF3-LRR3SCU (LRR3)

FCC ID: NF3-MRR1REAR (MRR1Rear)

FCC ID: RK7MBC-NAR2 (LTE Compensor)

FCC ID: T8GA270 (MIB2)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions  
(1) These devices may not cause harmful interference, and  
(2) These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits.

Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help."

**Vietnam**



## 索引

## 符号

(PSM) ボルシェ スタビリティ マネージメント OFF にする	230
◇ ボタンの割り当て	245

## ア

アームレスト	
小物入れを開く	114
アイス シールド / サン シールド の装着	204
アシスタンス システム	
ボルシェ アクティブ セーフ 設定	243
レーン チェンジアシスト (LCA) 設定	244
アダプティブ クルーズ コントロール	27
作動原理	28
作動状態	29
ボルシェ アクティブ セーフ	34
目標車間距離の設定	30
目標速度の設定 / 変更	30
レーダー センサー	27
例外	32
ON/OFF の切り替え	29
アダプティブ クルーズ コントロールの 中断 / 再開	32
アダプティブ シリンダー コントロール	
3 気筒作動	60
エンジン ノイズ	60
アダプティブ ライト システム、ドライビング ラ イト アシスタント	258
アダプティブ・クルーズ・コントロール 機能概要	27
アプリ	
デバイス マネージャー	157
ボルシェ カー コネクト	218
ボルシェ コネクト	219
アルミニウム リム	
お手入れの諸注意	111
アンダー コーティング、お手入れの諸注意	110
アンチロック ブレーキ システム (ABS) 機能概要	231
アッパー ベンチレーション パネル 2 ゾーン エアコン	46

## イ

イグニッション ロック 機能概要	58
イグニッション ロック キーの緊急操作	174
イモビライザー 機能概要	177
インジケーター ライト	37
インストールメント クラスタ	
エンジン 油温計	242
オドメーター	36
概要	36
クーリング システム、水温計	241
警告灯およびインジケーター ライト	37
スピードメーター	36
タコメーター	36
燃料計	37
総走行距離およびトリップ ディスプレイ	36
インストールメント パネル	
エンジン 油温計	242
オドメーター	36
概要	36
クーリング システム、水温計	241
警告灯およびインジケーター ライト	37
スピードメーター	36
タコメーター	36
燃料計	37
ライトの調整	39
総走行距離およびトリップ ディスプレイ	36
インストールメント 照明 明るさ調整	36
インターネット データ接続を確立する (PCM)	135
インテリア ライト オリエンテーション ライト	40
ON/OFF の切り替え	39

## ウ

ウインター タイヤ 一般情報	145
タイヤの交換	146
ウィンド デフレクター 取り外し / 取り付け	94
ウィンドウ 手入れに関する指示	110

ウェルカム ホーム 機能 ON にする	259
------------------------	-----

## 運

運転席キー (リモート コントロール) ウィンドウの開閉 (ボルシェ エントリー & ドライブなし)	42
--	----

## エ

エア ベント	
開閉 (2 ゾーン エアコン)	46
開閉 (マニュアル エアコン)	50
調整	46
調整 (2 ゾーン・エアコン)	46
調整 (マニュアル エアコン)	50
エアコン	
アッパー ベンチレーション パネル	46
エアコン コンプレッサー ON/OFF の切り替え	46
エアコン コンプレッサーのインフォメーション	44
オート モードの ON/OFF の切り替え	44
最大冷房出力の ON/OFF の切り替え	47
自動内気循環モードの設定	48
自動負荷スイッチ OFF	44
冷房機能の ON/OFF の切り替え	46
A/C モードの ON/OFF の切り替え	46
A/C MAX モードの ON/OFF の切り替え	47
エアコン 空気量 の設定	45
エアコン コンプレッサー 2 ゾーン エアコン	44
マニュアル エアコン	49
エアコン システム 空気量の設定	49
フロント ウィンドウのデフロスター	48
内気循環モードの ON/OFF の切り替え	47
エアコン システム (マニュアル)	
エアコン コンプレッサーに関する情報	49
エアコン コンプレッサーの ON/OFF の切り替え	50
最大冷房出力の ON/OFF の切り替え	51
自動負荷スイッチ OFF	49
フロント ウィンドウのデフロスター	51
冷房機能を ON/OFF にする	50
A/C MAX モードの ON/OFF 切り替え	51
A/C モードの ON/OFF 切り替え	50
内気循環モードの ON/OFF 切り替え	51

エアコンシステム(マニュアル)温度		エントリー&ドライブ		オイル	
温度の設定	49	作動原理	129	一般情報	55
エアコン温度		エントリー&ドライブ		温度計	242
の設定	45	ボルシェ エントリー&ドライブによる車両		交換量	286
エアバッグ		ドアのロック	131	フィルター開口部	56
お手入れの諸注意	112	エントリー機能、乗車時のカーテシーライトの点灯	259	補充	55
機能	52	<b>お</b>		マルチファンクションディスプレイのオイルレベル表示	54
タコメーターの警告灯	52	お手入れに関する指示		マルチファンクションディスプレイのオイル圧力の警告	80
取り付け位置	52	アンダーボディ保護	110	油圧計	242
に関する安全注意事項	52	合金製ホイール	111	レベルゲージ	54
廃棄	298	洗車	108	レベルの点検	54
エキゾーストシステム		塗装	110	オクタン価、ガソリン	234
スポーツ	117	お手入れの諸注意		オリエンテーションライト	40
エマージェンシーキー	173	エアバッグ	112	オンボードコンピューター	
エミッションコントロール(チェックエンジン)		カーベット	112	オイルレベル測定	54
機能概要	38	革	111	作動原理	236
エミッションコントロール警告灯	38	シートベルト	113	タイヤ空気圧モニタリング	139
エミッション値	286	シール	111	電話を使用する	163
エレクトリックパーキングブレーキ		車両の積み下ろし	113	ドライビングデータディスプレイ	
解除	206	フロアマット	112	[トリップ情報]	176
警告灯	206	ファブリックライニング	112	マルチファンクションステアリングホイールでの操作	236
作動	206	ホイールポルト	146	マルチファンクションディスプレイ	236
発進時のパーキングブレーキの自動解除	206	Alcantara®/ Race-Tex/その他の生地	112	マップビュー	183
ブレーキテストスタンドのテスト	156	PCM	113	メニュー概要	238
緊急ブレーキ機能	206	<b>オ</b>		ラジオ局の選択	271
エンジン		オートスタート/ストップ機能		ロングリストのブラウズ	236
オイルレベルゲージ	54	エンジンを自動的に始動	60	オンラインサービス	
オイルレベルの測定および表示	54	作動原理	60	データ接続の確立(PCM)	135
オイルの補充	55	前提条件	60	<b>音</b>	
クーリングシステム	241	表示	62	音楽(PCM)	
停止	59	例外	60	設定	256
の自動停止(オートスタート/ストップ機能)	60	ON/OFFの切り替え	62	プレイリストを開く	256
始動	59	オートマチックカミングホームライト	259	メディアソースの選択	254
エンジンオイル		オートマチックトランスミッション	168	CD/DVDの読み込み	226
一般情報	55	オートマチックドライビングライトアシスタント	258	Jukeboxの充填	256
交換量	286			再生	254
フィルター開口部	56			対応データ形式	293
補充	55			音楽(PCM)	
マルチファンクションディスプレイのオイルレベル表示	54			メディアソースの検索	255
マルチファンクションディスプレイのオイル圧力の警告	80			音量と音質の調節(PCM)	228
レベルゲージ	54			<b>温</b>	
レベルの点検	54			温度の設定	
エンジンノイズ				2ゾーンエアコン	45
3気筒作動	60			マニュアルエアコン	49
エンジンオイル					
温度計	242				
油圧計	242				



## カ

カーケア	
ホイール ボルト .....	146
カーテシーライト、エントリー機能 .....	259
カーベット、お手入れの諸注意 .....	112
カップホルダー .....	63

## ガ

ガソリン	
オクタン価 .....	234
給油 .....	234
消費量 .....	286
タンク容量 .....	286
燃料計 .....	37
燃料残量警告灯 .....	37
品質 .....	234

## 開

開閉	
コンバーチブルトップ .....	93
開閉操作とロック	
概要 .....	128
キーによるドアのロックの解除 (リモートコントロール) .....	129
車内からのドアの開閉とロック .....	132
パーソナル設定の保存 / 呼び出し .....	193
ボルシェ エントリー & ドライブによる .....	131
ボルシェ エントリー & ドライブ装備車のドアのロック .....	131

## 解

解除	
キーからパーソナル設定を呼び出す .....	193
キーによるドアのロックの解除 (リモートコントロール) .....	129
ラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除してリッドを開く .....	267

## 外

外部機器 (PCM) の接続 .....	227
----------------------	-----

## 概

概要	
ドアの開閉 .....	128

## 格

格納式リヤスポイラー	
展開と格納 .....	274

## 革

革、お手入れの諸注意 .....	111
------------------	-----

## キ

キー	
エマージェンシーキーを取り外す .....	173
キーの交換 .....	175
コンバーチブルトップの開閉 .....	94
車両ドアのロック .....	130
ドアのロック解除 .....	129
ドライバーのキー .....	173
パーソナル設定の保存と呼び出し .....	193

キー (リモートコントロール)	
コンバーチブルトップの開閉 .....	94
バッテリーの交換 .....	174

キー (リモートコントロール)	
ドアのロックの解除 .....	129

キー (リモートコントロール)	
イグニッションロック時のキー / コントロールユニットの緊急操作 .....	174

キーの交換 .....	175
-------------	-----

## ギ

ギヤシフト アシスト .....	240
ギヤシフト インジケーター	
PDK トランスミッション .....	37
ギヤポジションインジケーター .....	37
ギヤシフト	
ギヤシフト アシスト .....	240
シフト プロンプト .....	36
マニュアルトランスミッション .....	167

## 給

給油	
フィルター フラップ位置の表示 .....	37

## 曲

曲の再生 (PCM) .....	254
------------------	-----

## 空

空気量の設定	
2ゾーンエアコン .....	45

## ク

クーラント	
レベルの点検 .....	64
不凍液 .....	64

クーリングシステム	
マルチファンクションディスプレイの警告 .....	81

クラッチ	
マニュアルトランスミッション .....	167

クルーズコントロール	
機能概要 .....	67
速度の保存 .....	67
中断操作 .....	67
OFF にする .....	68
ON にする .....	67

## グ

グローブボックス	
開口部 .....	114
ロックする .....	114
閉じる .....	114

## け

けん引	
一般情報 .....	69
けん引フック .....	70
けん引ロープまたはけん引バーの使用 .....	69

## 警

警告および情報メッセージ	
安全 .....	73
エンジン .....	79
車両 .....	84
ドライビングシステム .....	89

警告 シンボル	
タイヤ空気圧 .....	142

警告灯 .....	37
-----------	----

警報システム	
機能概要 .....	72
ON/OFF の切り替え .....	72
室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを OFF にする .....	72

## 軽

軽修理	
車両をけん引する .....	69
タイヤがパンクした場合 .....	195

## 計

計器照明	39
------	----

## 携

携帯電話	
接続ステータスの表示	161
Bluetooth® 経由で接続する	160

## 言

## 言語

マルチファンクションディスプレイで変更	247
PCMの設定	228

## コ

コーナリングライト	
ダイナミック	259
コネク	
ボルシエコネクトログイン	136
コントローラー(PCM)	222
コントロールシステム	
概要(PSM、PASM、PADM、PTV)	172
コンバーチブルトップ	
ウィンドデフレクターの取り外し/取り付け	94
開閉	93
キーによる開閉(リモートコントロール)	94
車両のお手入れ	109
緊急操作	95
コンフォートブレッシャー	
選択	141
テクニカルデータ	292
コンフォート空気圧	
速度警告	141
コックピット	
エンジン油温計	242
オドメーター	36
クーリングシステム、クーラント温度計	241
警告灯およびインジケーターライト	37
合計距離およびトリップ表示	36
スピードメーター	36
タコメーター	36
燃料計	37
ライトの調整	39

## 交

交通(交通情報の表示)	183
交通情報の表示(ナビゲーション、PCM)	183

## 故

## 故障

イグニッションロック内のイグニッション	
キー/コントロールユニットの緊急操作	174
警告および情報メッセージ	73
コンバーチブルトップ	95
パワーウィンドウ	42
緊急時のフィラーフラップの操作	235
故障診断用ソケット	5

## 合

合金製ホイール	
お手入れの諸注意	111

## サ

サイドウィンドウ	
停止位置の保存	42
ドアハンドルの近接センサーを使用して閉じる(ボルシエエントリー&ドライブ付き車両)	42
ドライブキーで開閉する(リモートコントロール)	42
サイドウィンドウの開閉	41
サマータイヤ	
ストレージ	145
タイヤの交換	146
サンバイザー	98

## シ

シート	
シート位置の調整	99
シート位置の保存/呼び出し	193
バックレストを前方または後方へ倒す	100
フロントシートの調節	99
シートヒーターをON/OFFにする	101
シートベルト	
お手入れの諸注意	113
警告	103
警告シンボル	103
タコメーターの警告灯	103
着用	104
プリテンショナー付きシートベルト	103
ベルトバックルを解除してベルトを外す	104
シートベルトプリテンショナー	103
廃棄	298
シートベンチレーターをON/OFFにする	101
シートメモリー	193
シート後方の外側の小物入れ	
を開く	115

シート後方の外側の小物入れを開く	115
シート位置の調節	99
シールラント/シーリングセット	
不具合のあるタイヤ用	195
シール、お車のお手入れ66	111
シガーライター	126
シフトアッププロンプト	36
シャーシコントロールシステム	
概要(PSM、PASM、PADM、PTV)	172
シャーシ設定	
選択	217
シャーシ番号、位置	285

## ジ

ジェネレーター	
車両エレクトリカルシステム電圧警告	84
ジャンパーケーブルによる始動、外部電源	106
ジャッキ	
車両のリフトアップ	105

## 施

施設情報の入力(ナビゲーション、PCM)	180
----------------------	-----

## 自

自動減光機能の作動/停止	251
自動内気循環モードの設定	
2ゾーンエアコン	48

## 車

車両設定	
レオンチェンジアシスト(LCA)設定	244
車両ケア	
警告	108



## 設

設定	
キーに保存する	193
車両ドアを開いたときに呼び出す	194
パーソナル設定の保存	193
マルチファンクションディスプレイでの調節	241

## 洗

洗車	108
洗浄水	
充填量	286
補充	138
不凍液	138
洗浄水内の不凍液	138

## 選

選局 (ラジオ)	271
----------	-----

## ソ

ソース (PCM メディア) の選択	254
ソースの検索 (PCM メディア)	255
ソケット (12 V)	158

## タ

タイヤ	
ウィンタータイヤ (一般情報)	145
空気圧モニタリングシステム (TPM) に新しいタイヤを登録する	142
コンフォートまたは標準プレッシャーの選択	141
交換	146
シラント	195
スノーチェーン (一般情報)	145
タイヤ空気圧プレート	285
タイヤ交換 (一般情報)	144
タイヤ表記	143
パンクの修理	195
ホイールボルトの締め付けトルク	147
ホイール表記	143
保管	145
マルチファンクションディスプレイで種類およびサイズを設定する	141
タイヤシラント	
取り外しと収納	263
タイヤシラント / シーリングセット	
不具合のあるタイヤ用	195
タイヤバルブ	144

タイヤ空気圧	
警告	142
コンフォートプレッシャー	141
システム学習	142
速度警告	141
タイヤ空気圧プレート	285
テクニカルデータ	291
電流設定	139
マルチファンクションディスプレイでの取得	139
タイヤ空気圧警告灯	37
タイヤ空気圧プレート	285
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	139
タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)	
登録	142
タイヤ充填コンプレッサー	
収納	265
取り外し	264
タイヤの速度記号	143
タコメーター	
表示	36
タッチスクリーンでPCMを操作する	223
ダイナミックコーナリングライト	259

## ダ

縦	
縦方向の加速度	
ディスプレイ	240

## チ

チェックエンジン (排出ガスコントロール)	
機能概要	38
チャイルドシート	149
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	154
チャイルドシートシステム	
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	154
チャイルドシート助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	154

## 遅

遅延消灯	
ONにする	259

## 着

着信に応答する / 通話を終了する (電話)	162
------------------------	-----

## ツ

ツール	263
ツールキット	
取り外しと収納	263

## テ

テクニカルデータ	
コンフォートプレッシャー	292
重量	287
タイヤ、ホイール	288
燃費	286
テストスタンド	
ブレーキテスト	156

## デ

データ接続 (PCM)	
設定	166
PCM ホットスポットの使用	137
WiFi 設定	166
データ接続 (PCM)	
デバイスマネージャー	157
データ接続を確立する (PCM)	135
デジタルスピードメーター	36
デバイスマネージャー (PCM)	157

## 停

停止	
エンジン	59
エンジン自動停止 (オートスタート / ストップ機能)	60
停止表示板	263

## 点

点検マーク	
ラジオシステム	299

## 電

電球の交換	262
電話	
接続ステータスの表示	161
ボイスメールを聞く	162
メッセージの作成	165
メッセージの表示および消去	164
Bluetooth® 経由で接続する	160
通話履歴	163
連絡先	163

電話接続	
SIMカードによる	161
電話の接続	
設定	165
電話番号をダイヤルする	161
会議	163
通話の保留	162
電話を接続する	
着信に応答する / 通話を終了する	162
電話を使用する	
マルチファンクションディスプレイで	163
<b>ト</b>	
トイイングラグ	
インツールキット	263
トランスミッション	
マニュアルトランスミッション	167
トランスミッションおよびシャシーコントロー	
ルシステム	
概要 (PSM、PASM、PADM、PTV)	172
トランスミッションギヤシフト	
Porsche Doppelkupplung(PDK)	168
トリップカウンター	
表示	36
リセット	36
トルク	
ホイールボルトのトルク締め付け	147
トルク締め付け	
ホイールボルト	147
<b>ド</b>	
ドア	
開操作	132
キーによる解除 (リモートコントロール)	129
キーによるドアのロック	
[リモートコントロール]	130
車内からの開閉操作とロック	132
車内からのロック解除	132
ボルシェントリリー&ドライブ装備車のドア	
[キーレス操作]	131
緊急ロック	134
ドアミラー	
格納/復帰	250
設定の記憶 (メモリー機能)	250
調節	249
パーキングエイドとしての調整	250
ドアミラーヒーターのON/OFFの切り替え	273
ドアミラーのレーンチェンジアシスト(LCA)	
の警告表示の明るさを設定する	244

ドライバーのキー	173
ドライビングライトアシスタント	
ON	258
ドライビングライトアシスト	
ダイナミックコーナリングライト	259
ロービーム	258

**盗**

盗難防止	
エンジンイモビライザー、	
ステアリングコラムロック	177
盗難防止機能	177
盗難防止ホイールボルト用レンチソケット	
使用	147
盗難防止装置	
警報システム	72

**塗**

塗装	
スポットおよび染みの除去	110
保護	110
仕上げ研磨	110
損傷の修理	110
塗装作業の	
お手入れに関する指示	110
塗装面のお手入れ	110

**ナ**

ナビ	
目的地の検索 (検索、オンライン検索)	179
ナビゲーション	
交通情報の表示	183
施設情報の入力	180
設定	184
前回の目的地の使用	180
ナビゲーションデータベースの更新	184
マルチファンクションディスプレイのマップ	
ビューの設定	183
マップコード	180
マップビューを開いて設定する	182
目的地の保存および使用 [お気に入り]	181
目的地住所の入力	179
ルート情報の表示	182
地図からの目的地の確定	180

**荷**

荷重	
けん引	263

**燃**

## 燃料

オクタン価	234
給油	234
消費量	286
タンク容量	286
燃料計	37
燃料残量警告灯	37
品質	234
燃料計	37
燃料レベルインジケーター	
燃料計	37

**ハ**

ハイビームヘッドライト	
スイッチ	261
ハイビーム操作レバー	261
ハザードライトのON/OFF	262
ハンドブレーキ	
[エレクトリックパーキングブレーキ]	
自動解除	206
手動解除	206
ハンドブレーキ	
[エレクトリックパーキングブレーキ]	
作動	206

**パ**

バケットシート	100
パニティーミラー	98
バックレストを前方または後方へ倒す	100
バッテリー	
一般情報	187
交換	187
ジャンパーケーブルの始動	106
車両エレクトリカルシステム電圧警告	84
充電	187
接続後の作業	190
取り付け位置	187
バッテリーの警告	188
バッテリー上がり時のジャンパーケーブルによるエンジンの始動	106

**パ**

パーキング	
PDK	168
パーキング/発車	
機能概要、パークアシスト	191

パーキング エイド ミラーガラスを回転させる .....	250	<b>フ</b>		ブレーキフルード .....	209
パーキング ブレーキ 解除 .....	206	フルードおよび燃料		<b>プ</b>	
作動 .....	206	エンジンオイル .....	286	プレイリストを開く (PCM) .....	256
ブレーキ テスト スタンドのテスト .....	156	洗浄水 .....	286	プレッシャー タイヤ .....	290
パークアシスト 機能説明 .....	191	燃料 .....	286	<b>部</b>	
パワー ウィンドウ 停止位置の保存 .....	42	フロアマット、お手入れの諸注意 .....	112	部分負荷	
ドア ハンドルの近接センサーを使用 してサイドウィンドウを閉じる (ボルシェ エントリー & ドライブ付き車両) .....	42	フロント アームレストの収納コンパートメント 、開く .....	114	3 気筒作動 .....	60
ドライバー キーでサイドウィンドウを開閉する (リモートコントロール) .....	42	フロント ウィンドウ ウォッシャー システム 充填量 .....	286	エンジンノイズ .....	60
パワーウィンドウの停止位置の保存 .....	42	洗浄水の追加 .....	138	部分負荷時のエンジンノイズ .....	60
		不凍液 .....	138		
<b>発</b>		フロント ウィンドウワイパー お手入れに関する指示 .....	280	<b>へ</b>	
発車 / パーキング 機能概要、パークアシスト .....	191	概要 .....	202	ヘッドライト	
発達 ローンチコントロールを使用 .....	171	操作 .....	203	ウォッシャー システムの操作 .....	204
PDK トランスミッションの停止制御 .....	283	フロント ウィンドウ プラス ウォッシャー システムのワイピング .....	203	お手入れの諸注意 .....	111
上り坂発進時のアシスト .....	283	リヤウィンドウワイパー .....	205	左 / 右側通行への切り替え .....	210
		レインセンサーをONにする .....	203	<b>べ</b>	
<b>灰</b>		ワイパー ブレードの交換 .....	204	ベビー キャリア .....	154
灰皿		ワンタッチ機能 .....	203	ベビーシート .....	154
開ける .....	126	フロント ウィンドウのデフロスター 2 ゾーン・エアコン .....	48	助手席エアバッグのON/OFFの切り替え .....	154
空にする .....	126	エアコンシステム .....	48	ベルト	
		マニュアルエアコン .....	51	お手入れの諸注意 .....	113
<b>廃</b>		フロントシート 調節 .....	99	警告シンボル .....	103
廃棄		フロントシート シートのバックレストを前方または後方へ倒す .....	100	シートベルト プリテンショナー .....	103
エアバッグ .....	298	ファブリックライニング (お手入れの諸注意) .....	112	タコメーターの警告灯 .....	103
シートベルト プリテンショナー .....	298	ファンの設定		着用 .....	104
		2 ゾーン エアコン .....	45	ベルト バックルを解除してベルトを外す .....	104
<b>排</b>		マニュアルエアコン .....	49	注意 .....	103
排出ガス .....	286	フィルター フラップ フィルター フラップ位置の表示 .....	37	ベンチレーション パネル アッパー .....	46
		フィルター フラップ、緊急操作 .....	235	<b>ホ</b>	
<b>番</b>		フットブレーキ に関する安全注意事項 .....	207	ホーン .....	18
番号をダイヤルする (電話) .....	161	<b>ブ</b>			
<b>ヒ</b>		ブレーキ			
ヒューズの交換 .....	198	テストスタンド .....	156		
		フットブレーキ .....	207		
<b>ビ</b>		ブレーキパッドの警告シンボル .....	207		
ビークルプレート、位置 .....	285	マルチコリジョン ブレーキ .....	231		
ビデオの再生 (PCM) .....	254	ブレーキパッド 警告シンボル、ブレーキ .....	207		

ホイール		ボルシエスタビリティマネージメント (PSM)		マップ (ナビゲーション、PCM)	
ウインタータイヤ (一般情報) .....	145	OFF にする .....	230	設定 .....	185
概要 .....	288	ボルシエスタビリティマネージメント (PSM)		マップビューを開いて設定する .....	182
交換 .....	146	機能概要 .....	230	マップ (ナビゲーション、PCM)	
サイズ .....	288	ボルシエセラミックコンポジットブレーキ (PCCB)		マップコード .....	180
ストレージ .....	145	一般情報 .....	208		
スノーチェーン (一般情報) .....	145	ボルシエダイナミックライトシステム (PDLs)		<b>ニ</b>	
タイヤシールド .....	195	ボルシエダイナミックライトシステムプラス		ミラー	
タイヤ空気圧 .....	290	(PDLs Plus) .....	260	自動減光機能の ON/OFF 切り替え .....	251
タイヤ空気圧プレート .....	285	ボルシエトラックプレジジョンアプリ .....	233	ドアミラーヒーター .....	273
タイヤ交換 (一般情報) .....	144			ドアミラー設定の保存 (メモリー機能) .....	250
タイヤ表記 .....	143	<b>補</b>		ドアミラーの格納/復帰 .....	250
盗難防止ホイールボルト (レンチソケット) .....	147	補給 .....	234	ドアミラーの調整 .....	249
バランス調整 .....	146	<b>保</b>		ドアミラーのパーキングエイドとしての調整 .....	250
バンクの修理 .....	195	保存		パニティーミラー .....	98
ホイールボルト (お手入れの諸注意) .....	146	パーソナル設定の保存 .....	193	ミュージック (PCM)	
ホイール表記 .....	143			外部機器の接続 .....	227
リムオフセット .....	288	<b>マ</b>		ミュージック (PCM)	
締め付けトルク .....	147	マニュアルトランスミッション		SDカードの挿入および取り出し .....	226
ホイールボルト .....	146	シフトアップインジケータ .....	167		
ホイールのお手入れ .....	111	マルチコリジョンブレーキ		<b>メ</b>	
ホットスポット		機能概要 .....	231	メディア (PCM)	
PCM WiFi ホットスポットの使用 .....	137	マルチファンクションステアリングホイール		設定 .....	256
		◇ ボタンを割り当てる .....	245	プレイリストを開く .....	256
<b>ボ</b>		マルチファンクションステアリングホイールの		メディアソースの選択 .....	254
ボイスコントロール		◇ ボタンを割り当てる .....	245	CD/DVD の読み込み .....	226
調節 .....	212	マルチファンクションディスプレイ		Jukebox の充填 .....	256
電話のボイスコマンド .....	215	オイルレベルの点検 .....	54	再生 .....	254
ナビゲーションのボイスコマンド .....	216	作動原理 .....	236	対応データ形式 .....	293
メディア用ボイスコマンド .....	214	車両情報の取得 .....	239	メディア (PCM)	
呼び出し .....	211	スポーツクロノ .....	118	外部機器の接続 .....	227
ラジオ用ボイスコマンド .....	214	タイヤ空気圧警告 .....	142	メディアソースの検索 .....	255
Siri .....	282	タイヤ空気圧モニタリング .....	139	メディア (PCM)	
ボイスメール (電話) を聞く .....	162	ディスプレイエリア .....	237	SDカードの挿入および取り出し .....	226
		電話の使用 .....	163	メモリー .....	193
<b>ポ</b>		ドライビングデータディスプレイ		メモリーパッケージ .....	193
ボルシエアクティブサスペンションマネージメント		(トリップ情報) .....	176	メンテナンス作業	
(PASM)		マルチファンクションステアリングホイー		エンジンオイルレベルの点検 .....	54
機能説明 .....	217	ルでの操作 .....	236	エンジンオイルの補充 .....	55
シャシモードの選択 .....	217	マップビュー .....	183	クーラントレベルの点検およびクーラ	
ボルシエアクティブセーフ .....	34	メニュー概要 .....	238	トの補充 .....	64
ボルシエエントリー&ドライブ		ラジオ局の選択 .....	271	洗浄水の追加 .....	138
作動原理 .....	129	ロングリストのブラウズ .....	236	メンテナンス位置 .....	204
車両をロック .....	131	マルチファンクションディスプレイオプション		メッセージ	
ボルシエコネク		の選択と機能の起動 .....	237	表示および消去 .....	164
ログイン .....	136	マルチファンクションディスプレイのドライビ		書き込み .....	165
ボルシエコネク		ングデータ .....	176		
アプリ				<b>モ</b>	
デバイスマネージャー .....	157			モードスイッチ .....	122

## 目

目的地の検索 (ナビゲーション、PCM)	179
目的地の保存および使用 (お気に入り) (ナビゲーション、PCM)	181
目的地住所の入力 (ナビゲーション、PCM)	179

## 横

横方向の加速度 ディスプレイ	240
-------------------	-----

## ラ

ライト	
お手入れの諸注意	111
車両から離れるときに点灯する	259
電球の交換	262
ヘッドライトフラッシャー	261
雨天時の作動	258
乗車時に点灯	259
乗車時のカーテシーライトの点灯	259
ライトスイッチ	
概要	258
AUTO機能	258
ラゲッジカバー	265
ラゲッジカバーの取り外し/取り付け	265
ラゲッジコンパートメント	263
開く	267
ラゲッジカバー	265
閉じる	268
ラゲッジコンパートメントリッド	267
開く	267
閉じる	268
ラゲッジコンパートメント	
緊急解除	268
ラゲッジコンパートメントリッド	
緊急解除	268
ラジオ(PCM)	
設定	272
選局	271
放送局の保存	272
ラジオシステム	
点検マーク	299
ラジオ(PCM)	
周波数帯の設定	271
ラジオ(PCM)	
放送局情報の表示	272

## リ

リモートコントロール	173
コンバーチブルトップの開閉	94
車両ドアのロック解除	129
車両ドアをロックする	130
リヤウィンドウヒーターのON/OFFの切り替え	273
リヤスポイラー	
作動原理	274
リヤフォグライト	
ドライビング・ライトの調整	259
ONにする	258
リヤワイパー	205
リレー	
交換	198

## ル

ルート情報の表示 (ナビゲーション、PCM)	182
ルームミラー	
減光	251
自動減光機能のON/OFF切り替え	251
調整	251

## レ

レーダーセンサー	27
レーンチェンジアシスト(LCA)	275
レインセンサー作動	204

## 冷

冷却機能	
2ゾーンエアコン	46
マニュアルエアコン	50

## ロ

ロータリープッシュボタンで PCMを操作する	223
ローンチコントロール	171
ロック	
キーによるドアのロック [リモートコントロール]	130
車両ドアとキー[リモートコントロール]	130
車内からのドアロック	132
ボルシェントリリー&ドライブによる	131
ボルシェントリリー&ドライブによるドア のロック	131
ボルシェントリリー&ドライブ装備車のドア [キーレス]	131

ロックの解除	
車内からのドアロックの解除	132

## ワ

ワイパー	
操作	203
ワイパーブレード	
お手入れに関する指示	280
交換	280
ワイパー作動間隔の調整	204
ワイヤレスインターネットアクセス	137

## 字母

A/C MAX ボタン	
2ゾーンエアコン	47
マニュアルエアコン	51
A/C ボタン	
2ゾーンエアコン	46
マニュアルエアコン	50
ABS (アンチロックブレーキシステム) 機能概要	231
ACC	
アダプティブクルーズコントロール	27
Alcantara®、お手入れの諸注意	112
Apple CarPlay	
PCMで開く	281
Siri	282
AUTO (ライトスイッチ)	258
AUTO (ライトスイッチ) ドライビングライトアシスト	258
Bluetooth®	
デバイス管理	161
電話を接続する	160
Boxster	
ウィンドデフレクター	94
コンバーチブルトップのお手入れ	109
コンバーチブルトップの開閉	93
CD/DVDドライブを読み込む	226
Eメール	
表示および消去	164
メールの作成	165
Funksysteme	
Prüfenzzeit	299
G-Force ディスプレイ	240
HOLD 機能	
オートスタート/ストップ機能	60
発進アシスタント、停止制御	283



ISOFIX システム		PCM システム設定	228	個人画面 (PCM) の設定	225
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	154	PCM ドライブ		誤動作	
ISOFIX システム付きチャイルドシート		外部デバイスの接続	227	サイドウィンドウの停止位置の保存	42
の取り付け	155	PCM の操作		高圧洗浄機	
Jukebox に入れ管理する (PCM)	256	ボイスコントロール	211	使用説明書	108
Konformitätserklärung	299	ON/OFF の切り替え	222	左側通行 (ヘッドライトの切り替え)	210
ON/OFF の切り替え (PCM)	222	PDK	168	座席	
PADM	172	シフトアップインジケーター	170	チャイルドシート	149
PCCB ボルシェセラミックコンポジットブレーキ		ステアリングホイールでのギヤシフト	170	ベビーシート、ベビーキャリア	154
一般情報	208	Porsche Doppelkupplung (PDK)	168	始動	
PCM		Porsche Doppelkupplung (PDK)		エンジン	59
お手入れの諸注意	113	Porsche Doppelkupplung (PDK)		時計	
外部機器の接続	227	セレクターレバー位置	168	スポーツクロノストップウォッチ	118
システム設定	228	Porsche Doppelkupplung (PDK) ステアリングホイールの		手入れに関する指示	
接続 (データ接続)	135	ギヤシフト	170	ウィンドウ	110
電話	159	Prüfenzzeichen		助手席エアバッグ OFF 警告灯	53
ドライビングデータ		Funksysteme	299	助手席ミラー	
(トリップ情報) を表示する	176	PSM スポーツ	230	格納/復帰	250
ナビゲーション	178	作動	230	調整	249
パークアシスト	191	PSM (ボルシェ スタビリティ マネージメント)		パーキング エイドとしての調整	250
ボイスコントロール	211	機能概要	230	小物入れ	
メディア	253	PTV	172	グローブボックス	114
ラジオ	270	Race-Tex、お手入れの諸注意	112	収納	114
Apple CarPlay	281	SD カードの挿入および取り出し	226	積算距離計 / トリップ	
CD/DVD ドライブを読み込む	226	SIM の挿入と取り外し		ディスプレイ	36
PCM ホットスポットの使用	137	挿入と取り外し	161	走行距離計	
SD カードの挿入および取り出し	226	Siri	282	表示	36
個人画面の設定	225	SMS		リセット	36
PCM 設定		表示および消去	164	走行距離とトリップ合計	
一般	228	メッセージの作成	165	リセット	36
音量と音質	228	TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	139	走行距離の表示	176
電話の接続	165	WiFi (PCM)		走行時間の表示	176
ナビゲーション	184	設定	166	送風量の設定	
マップ	185	WiFi を使用してアプリを PCM に接続する	219	エアコンシステム	49
メディア	256	WiFi (PCM)		地図 (ナビゲーション、PCM)	
ラジオ	272	PCM WiFi ホットスポットの使用	137	地図からの目的地の確定	180
PCM ドライブ		右側通行 (ヘッドライトの切り替え)	210	地図 (ナビゲーション、PCM)	
CD/DVD を読み込み	226	応急処置セット	263	マルチファンクションディスプレイのマッ	
SD カードの挿入と取り出し	226	会議 (電話)	163	ビューの設定	183
備考	226	緊急解除		通話の保留 (電話)	162
PCM ドライブに関する参考	226	ラゲッジコンパートメントリッドの	268	通話履歴 (電話)	163
PCM にドライビングデータを表示する	176	緊急操作		適合宣言書	299
PCM にバックグラウンドイメージを表示する	225	コンバーチブルトップ	95	内気循環ボタン	47
PCM の設定		フィルターフラップ	235	マニュアルエアコン	51
日付と時刻	222	緊急ブレーキ機能	206	内気循環モードを ON にする	
PCM の操作		個人画面 (PCM)		エアコンシステム	47
概要	221	設定 (PCM)	225	マニュアルエアコン	51
タッチスクリーンエレメント	222	電話のお気に入りを追加する (PCM)	164		
テキストと文字の入力	224				

日付と時刻の設定	
[マルチファンクションディスプレイ] .....	243
日付と時刻の設定 (PCM) .....	222
不凍液	
クーラント内 .....	64
平均速度の表示 .....	176
平均燃費の表示 .....	176
閉める	
車内からのドアロック .....	132
放送局を保存する (ラジオ) .....	272
放送局情報の表示 (ラジオ) .....	272
方向指示器操作レバー .....	261
方向指示灯、スイッチ .....	261
輸送 (鉄道、船舶など)	
車両の固定 .....	71
履歴 (電話) .....	163
連絡先 (電話) .....	163



- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120"846-911



車両受領証  
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

-----  
販売店スタンプ

-----  
日時

-----  
お客様の署名

---

